

新刊書

(2020年11月～2021年10月)

二〇二〇年十一月



A. E. マクグラス 矢内義顕／辻内宣博／平野和歌子訳

宗教改革の知的な諸起源

本体4,800円 →p.47



H. キュンク 福田誠二訳

キリスト教
本質と歴史

本体8,800円 →p.78



片柳弘史

やさしさの贈り物
日々に寄り添う言葉366

本体900円 →p.75



大嶋裕香

絵本へのとびら

本体1,000円 →p.92



F. シュライアマハー 安酸敏眞訳

キリスト教古典叢書
キリスト教信仰

本体15,000円 →p.6



加藤常昭

加藤常昭説教全集36
新約聖書書簡の説教2

本体3,300円 →p.141



アウグスティヌス 荒井洋一／出村和彦／金子晴勇／田子多津子訳

アウグスティヌス著作集 第19巻II
詩編注解(4)

本体9,500円 →p.123



小林孝吉

内村鑑三の聖書講解
神の言のコスモスと再臨信仰

本体5,300円 →p.86

二〇二〇年十二月



松谷曄介編訳

香港の民主化運動と信教の自由

本体1,800円 →p.89



國友淑弘

黒人霊歌の即興性

Slave Songs of the United States (1867) を基に

本体3,800円 →p.96



加藤常昭

加藤常昭説教全集31

使徒言行録講話

本体3,900円 →p.141



ローワン・ウィリアムズ ネルソン橋本ジョシュア諒訳 西原廉太監訳

キリスト者として生きる

洗礼、聖書、聖餐、祈り

本体1,600円 →p.64



G. フォン・ラート 荒井章三編訳

ナチ時代に旧約聖書を読む

フォン・ラート講演集

本体2,100円 →p.23



佐々木悠

言葉を歌う

グレゴリオ聖歌セミオロジーとリズム解釈

本体3,000円 →p.96



芝山 豊／滝澤克彦／都馬バイカル／荒井幸康編

聖書とモンゴル

翻訳文化論の新たな地平へ

本体3,200円 →p.79



袴田康裕

改革教会の伝統と将来

本体1,800円 →p.19



川村信三編 キリスト教史学会監修

キリシタン歴史探求の現在と未来

本体2,400円 →p.58



朴 憲郁

[増補改訂版] パウロの生涯と神学

本体2,500円 →p.30



E. シューラー 高井啓介／飯郷友康訳

イエス・キリスト時代のユダヤ民族史VI

本体10,000円 →p.130



加藤常昭

加藤常昭説教全集32

コリントの信徒への手紙一講話

本体3,900円 →p.141



上田光正

キリスト教の死生観

本体2,500円 →p.15



山崎龍一

教会実務を神学する

事務・管理・運営の手引き

本体1,800円 →p.21



P. リクール／A. ラコック 久米 博／日高貴士耶訳

聖書を考える

本体5,400円 →p.87



近藤存志

ゴシック芸術に学ぶ現代の生きかた

N. ペヴスナーとA.W.N. ピュージンの共通視点に立って

本体1,200円 →p.99



加藤常昭

加藤常昭説教全集33

コリントの信徒への手紙二講話

本体3,800円 →p.141



ジョン・ヒック 間瀬啓允監訳

宗教と理性をめぐる対話

信仰と懐疑のはざまにて

本体2,500円 →p.83



船本弘毅

聖書に聴く「人生の苦難と希望」

本体1,800円 →p.72



H. J. セルダールハウス 石原知弘訳

カルヴァンの詩編の神学

本体4,600円 →p.51



小原 信

十四歳からの読書ナビ

本体2,000円 →p.96



N. T. ライト 浅野淳博訳

N.T. ライト新約聖書講解9

ローマ書1

1-8章

本体2,300円 →p.116



加藤常昭

加藤常昭説教全集37

旧約聖書・福音書の説教

本体3,800円 →p.141



関野和寛

天国なんてどこにもないよ

それでもキリストと生きる

本体1,500円 →p.70



M. デイペリウス H. コンツェルマン改訂増補 山口雅弘訳

牧会書簡注解

第1・第2テモテ書、テトス書

本体5,000円 →p.30



マルティン・ルター 金子晴勇訳

主はわたしの羊飼い

詩編1編、8編、23編の講解

本体2,700円 →p.50



斎藤惇夫

子ども、本、祈り

本体1,500円 →p.92



小友 聡

旧約聖書と教会

今、旧約聖書を読み解く

本体2,000円 →p.36



袴田康裕訳

ウェストミンスター大教理問答

本体1,400円 →p.53



大貫 隆

イエスの「神の国」のイメージ

ユダヤ主義キリスト教への影響史

本体4,500円 →p.28

オンデマンド復刊

オンデマンド出版とは、ご注文に応じて、1冊ずつコンピュータのデータをもとに印刷・製本する出版のことです。1冊からご注文を受け付け、2～3週間で書店にお届けします。



由木 康訳

キリストにならいて

イミタチオ・クリスチ [新装版]

本体2,000円 →p.73

キリスト教古典叢書

アウグスティヌス 宮谷宣史訳

告白録

1804-8 A 5判 670頁 本体4,800円

「最初の近代人」「西洋の教師」と評される偉大な思想家アウグスティヌスが、自らの半生を克明に綴った魂の遍歴。人間存在に深く潜む神へのあこがれを探求した名著が、最新の研究成果に基づく原典からの翻訳で現代に甦る！（2012.2）

アウグスティヌス 金子晴勇／泉 治典ほか訳

神の国

1807-9 (上) A 5判 792頁 本体6,200円
1808-6 (下) A 5判 750頁 本体6,200円

西欧の国家論・歴史哲学理論の形成に寄与した記念碑的大著の全訳。上巻では異教徒に対するキリスト教弁証論を中心に「地の国」の歴史を論じる。下巻では聖書における人類の歩みを鳥瞰し、歴史を導く神の救済のわざを説く。（2014.1／2014.3）

アウグスティヌス 金子晴勇／小池三郎訳

アウグスティヌス神学著作集

1809-3 A 5判 746頁 本体6,800円

西洋思想に広く影響を与えたアウグスティヌス。彼の神学思想は、異端を論駁することで形成されていった。その論点ともなった恩恵論とサクラメント論をめぐる著作を中心に収録。アウグスティヌスの思想を理解する上で不可欠の書。（2014.7）

フランシスコ会日本管区訳・監修

アシジの聖フランシスコ伝記資料集

1810-9 A 5判 820頁 本体7,800円

中世最大の聖人に関する最初期の証言を集成した源泉資料集。チェラノのトマスによる『生涯』、聖ボナヴェントゥラによる『大伝記』『小伝記』、文学作品として名高い『小さな花』など、初の邦訳を含む聖人伝8作品と付録を収録。（2015.11）

エラスムス 金子晴勇訳

エラスムス神学著作集

1811-6 A 5判 712頁 本体6,800円

ルネサンス人文主義を代表する知識人エラスムスは、キリスト教信仰の復興を目指した神学者でもあった。『エンキリディオン』『フォルトゥ宛書簡』『新約聖書の序文』『真の神学方法論』『対話集』の重要な神学的文書を収録。（2016.2）

マルティン・ルター 徳善義和ほか訳

ルター著作選集

1805-5 A 5判 696頁 本体4,800円

宗教改革の口火を切った「95か条の提題」や、「キリスト者の自由」を含む宗教改革三大文書など、膨大な著作の中からルターの思想を理解するために不可欠な作品を収録。教育、死に対する考え方など、幅広い思想を網羅する。（2012.4）

パスカル 田辺 保訳

パンセ

1806-2 A 5判 788頁 本体5,200円

「人間は一本の葦でしかない……だが、考える葦である」。不世出の天才パスカルが人間の悲惨さと偉大さについて省察した思索の集録。人生の意味への問いかけに直面させる数多くの名言で彩られた畢生の名著、邦訳の決定版！（2013.7）

F. シュライアマハー 安酸敏眞訳

キリスト教信仰

1812-3 A 5判 1112頁 本体15,000円

『信仰論』の通称で知られる、「近代神学の父」シュライアマハーの主著。従来のキリスト教教説を問い直し、「敬虔な自己意識」の分析を出発点として教義学の根本的再建を試みる。不朽の名著が初の日本語全訳で蘇る。（2020.12）

キリシタン文学双書

(キリシタン研究)

海老沢有道編著 キリシタン研究第31輯
[在庫僅少]

スピリツアル修行

2442-9 A 5判 512頁 本体9,000円

キリスト教の伝来は、封建的重圧に喘ぐ庶民に全く新しい世界観・人間観をもたらし、精神的倫理的解放を与え、殉教と苦難の潜伏に堪える強靱な信仰心を磨き上げた。その淵源は広く読まれた信心書『スピリツアル修行』にある。(1994.11)

尾原 悟編著 キリシタン研究第32輯

ヒイデスの導師

2443-7 A 5判 464頁 本体8,300円

16世紀日本に布教を開始したキリスト教宣教師は日本にどのようにその教えを伝えたか。本書はグラナダ著「信仰要義序説」を宣教師ラモンが日本語(ローマ字)にしたものを、さらに現代日本語表記に改めたもの。(1995.11)

尾原 悟編著 キリシタン研究第33輯
[在庫僅少]

サントスのご作業

2444-5 A 5判 460頁 本体8,300円

人々の心の糧として中世のヨーロッパ全土に広まっていた〈黄金伝説〉などサントス(諸聖人)の生き方を綴った珠玉の聖人伝! 格調高い日本語に翻訳された1591年のパレト写本と、キリシタン版全文を初めて厳密な校訂によって再現。(1996.11)

尾原 悟編著 キリシタン研究第34輯

イエズス会日本コレジヨの講義要綱I

2445-3 A 5判 480頁 本体8,500円

400年ぶりに再発見されたキリシタン文書、初の校註本。日本人聖職者養成のために編まれた教科書で、第1部「二儀略説」は禁教時代に日本人の手になる自然科学を、第2部「アニマノ上ニ付テ」は人間性の尊厳を説く。(1997.11)

尾原 悟編著 キリシタン研究第35輯

イエズス会日本コレジヨの講義要綱II

2446-1 A 5判 494頁 本体8,500円

講義要綱の第3部「真実ノ教1」を収める。日本の文化・伝統を重んじながらキリスト教を日本に根づかせようと編まれ、トリエント公会議を踏まえて信仰のあり方を説いた最初の本格的教義神学書。キリスト教用語・聖句解説付。(1998.11)

尾原 悟編著 キリシタン研究第36輯

イエズス会日本コレジヨの講義要綱III

2447-X A 5判 370頁 本体5,500円

日本人聖職者を養成するために編まれた講義要綱第3部「真実ノ教2」の校註本。プティジャン版「胡无血利佐無の略」を資料として付す。キリシタン史、東西交渉史、日本思想史、教育史、国語学研究の必携書。(1999.11)

尾原 悟編著 キリシタン研究第38輯

ぎやどぺかどる

2449-6 A 5判 416頁 本体7,500円

長崎のコレジヨで訳出され、迫害時代にも読み継がれた16世紀カトリックを代表する信仰修養書。『節用集』に匹敵する詳細難語解字表を付し、豊富で流麗な漢字表現を織り交ぜたキリシタン文学の白眉とされる書を精密な校訂で再現。(2001.12)

尾原 悟編著 キリシタン研究第39輯

コンテムツスムンヂ

2450-X A 5判 328頁 本体5,900円

中世キリスト教文学の最高峰、『イミタテイオ・クリステイ(キリストにならいて)』の和訳ローマ字本天草版の校註。近代の訳書以上に原書のもつ宗教性・文学性を伝える名訳であり、細川ガラシアも愛読した書とされている。(2002.11)

H. チースリク著 キリシタン研究第41輯
高祖敏明監修 [在庫僅少]

キリシタン時代の日本人司祭

2452-6 A 5判 504頁 本体8,000円

尾原 悟編著 キリシタン研究第42輯

きりしたんのおらしよ

2453-4 A 5判 312頁 本体5,800円

尾原 悟編著 キリシタン研究第43輯

きりしたんの殉教と潜伏

2454-4 A 5判 310頁 本体5,800円

高祖敏明校註 キリシタン研究第44輯

キリシタン版 太平記抜書 一

2455-1 A 5判 344頁 本体6,400円

高祖敏明校註 キリシタン研究第45輯

キリシタン版 太平記抜書 二

2456-8 A 5判 382頁 本体7,300円

高祖敏明校註 キリシタン研究第46輯

キリシタン版 太平記抜書 三

2457-5 A 5判 276頁 本体5,000円

折井善果 キリシタン研究第47輯

キリシタン文学における 日欧文化比較

ルイス・デ・グラナダと日本
2458-2 A 5判 336頁 本体5,000円

折井善果編著 キリシタン研究第48輯

ひですの経

2459-9 A 5判 244頁 本体4,500円

安 廷苑 キリシタン研究第49輯

キリシタン時代の婚姻問題

2460-5 A 5判 288頁 本体4,600円

日本人最初の聖職者たちの足跡を、内外の史料を駆使してたどった貴重な研究。日本人司祭として養成され、後に殉教者となった者、棄教した者、不慮の事故死を遂げた者など、当時の司祭たちの姿がそのままに浮かび上がる。(2004.12)

キリシタン時代の「いのり」の言葉の集大成。16-7世紀に刊行された教理書・典礼書・修養書などから収集。「主の祈り」や「アヴェ・マリア」など、当時の日本語を通してキリシタンたちの信仰の息遣いが伝わってくる。(2005.11)

激しい弾圧のもと、キリシタン達は何ぞ殉教の道を選んだのか。殉教の意義、心得、模範を示した『マルチリヨノ栞』をはじめ、当時の極限状況の中、信仰を貫くため大いに力のあった貴重な文書資料を翻刻。(2006.12)

南北朝時代の動乱を華麗な和漢混交文で描き出した軍記物語「太平記」は、日本の言葉と歴史を習うための教科書としてイエズス会によって用いられた。40巻399章を抜粋した40巻148章が印刷に付され、流布本として広く読まれた。三分冊の第一。(2007.12)

「太平記」はイエズス会のセミナリヨやコレジヨで日本のことばと歴史を習うための教科書として用いられた。印刷手段を用いたため、流布本としても広く読まれ伝えられた。40巻399章を抜粋して40巻148章にしている。本書は40巻中の17巻を収録。(2008.11)

「太平記」は「最も優れた文章体(文語体)の書」として文語体の文章の規範とされ、イエズス会のセミナリヨやコレジヨで日本語学習のための書として、また『日葡辞書』の語彙採録の重要な資料として用いられた。三分冊の第三。(2009.11)

『ぎやどぺかどる』に代表されるルイスの著作は、当時の日本人にどのように読まれ、キリスト教の受容にいかに関与したのか。キリシタン文学が成立する過程に生じた異文化間の共鳴・断絶・受容・変容を実証的研究によって明らかにする。(2010.11)

400年の時を経て再出現した幻の国字本。ルイス・デ・グラナダ著『使徒信条入門第一巻』の翻訳で、原マルチノが校閲した、語彙・文化・宗教・翻訳などさまざまな分野の研究に進展をもたらす貴重な書。本邦初の校註本。(2011.11)

16、17世紀、離婚や支配階級の蓄妾制度が社会的に合法であった日本と中国で、婚姻の単一性と不解消性を説くカトリック教会の教えは、どんな摩擦を引き起こしたのか。宣教最大の障害とされた婚姻問題に光を当てた先駆的研究。(2012.11)

東馬場郁生

キリシタン研究第50輯

16世紀、神道・仏教・道教などの影響が混濁した日本宗教とキリスト教の交差点で、日本人は何を教わり、どのように信じ実践したのか。新しい宗教としてキリスト教を受容した側の視点から「受け手中心」のきりしたん史の再構築を試みる。(2018.11)

きりしたん受容史

教えと信仰と実践の諸相

2461-2

A 5判 320頁 本体5,900円

近代キリスト教思想双書

D. F. シュトラウス 岩波哲男訳

イエスの生涯

7154-0

(I) A 5判 732頁 本体8,500円

7160-5

(II) A 5判 788頁 本体9,200円

ヘーゲル哲学の影響の下に、福音書に一貫して徹底的な歴史的批判を適用、当時の教会と社会と神学に震撼的衝撃を与えたシュトラウスの主著。近代のイエス伝研究のみならず、近代神学史に新時代を画した古典的書物。(1996.2/1996.12)

E. トレルチ 安酸敏眞訳

信仰論

7162-1

A 5判 442頁 本体6,700円

歴史哲学・宗教哲学・文化哲学・宗教社会学など幅広い活動をした神学者トレルチが、自己の神学思想を唯一系統的に語った講義の記録。トレルチの思想と信仰の深奥を垣間見させる本書は、圧倒的な力強さをもって生き生きと語りかける。(1997.4)

神学

G. M. バーグ/D. ラウバー編 本多峰子訳

だれもが知りたい

[在庫僅少]

キリスト教神学Q&A

7405-1

A 5判 232頁 本体2,800円

神学が分かると、欧米文化がもっと分かる。イエスは神？ それとも人？ 神はどこからきたの？ 神がつくった世界に、終わりがあろうか？ なぜ悪が存在するの？……ほか。現代人が持つ問いに、神学・聖書学者の第一人者が真摯に答えます！(2016.3)

A. E. マクグラス 神代真砂実訳

キリスト教神学入門

7203-3

A 5判 852頁 本体7,500円

初めて神学を学ぶ人のための最良の手引き。キリスト教神学の歴史・方法・内容を一冊で網羅。最新の議論のみならず、古代から現代の神学まで系統的に学べる。用語解説・索引・インターネットサイトの紹介など付録も充実。(2002.1) [8]

R. A. クライン/C. ポルケ/M. ヴェンテ編

佐々木勝彦/佐々木 悠/濱崎雅孝訳

キリスト教神学の主要著作

オリゲネスからモルトマンまで

7375-7

A 5判 444頁 本体4,000円

2000年の神学史がこの1冊でわかる！ 古代から現代までの18人の著名な神学者の古典的名著を厳選し、著者の評伝や執筆事情、そして本の魅力と核心を伝える。神学的思索の面白さと読書の喜びを伝えるブックガイドの決定版。(2013.12)

F. W. グラフ編 片柳榮一/安酸敏眞監訳

キリスト教の主要神学者

(上) テルトゥリアヌスからカルヴァンまで

(下) リシャール・シモンからカール・ラーナーまで

7383-2

(上) A 5判 374頁 本体3,900円

7384-9

(下) A 5判 404頁 本体4,200円

多彩にして曲折に富む2000年の神学史の中で、特に異彩を放つ古典的代表者を精選し、彼らの生涯・著作・影響を通して神学の争点と全体像を描き出す野心的試み。キリスト教神学の魅力と核心を、第一級の研究者が描き出す。(2014.8/2014.9)

F. シュライアマハー 加藤常昭／深井智朗訳

神学通論

(1811年/1830年)

7297-2 A 5判 332頁 本体3,200円

シュライアマハーが構想した神学体系を知る唯一の手がかり。教会の実践に身を置きながら、神学の本質とその課題を時代の中で考え抜いた「近代神学の父」の名著。第1版(本邦初訳)と第2版(改訳)を併せて収録。(2009.7) [2]

W. パネンベルク

濱崎雅孝／清水 正／小柳敦史／佐藤貴史訳

学問論と神学

7378-8 A 5判 506頁 本体6,000円

キリスト教神学は、いかなる意味において学問と言えるのか? その主張には普遍妥当性があるのか? 学問論をめぐる今日の論争を整理しながら、キリスト教神学の学問的妥当性と根拠を明らかにし、新しい全体構想を打ち出した論争の書。(2014.3)

関川泰寛

[オンデマンド版]

ニカリア信条講解

キリスト教の精髓

0347-1 B 6判 224頁 本体3,800円

プロテスタント・カトリック・正教会で受け入れられているこの信条のエキュメニカルな意義は、ますます注目されてきている。新約聖書から始めて古代における信条の成立を歴史的・神学的にたどり、解説する。(2019.7)

F. ヤング 木寺廉太訳

ニカリア信条・使徒信条入門

6680-3 四六判 226頁 本体1,600円

「信仰告白」はなぜ、どのように生まれたのか。礼拝の中で唱えられるニカリア信条、使徒信条にはどのような意味があるのか。ニカリア信条の信仰箇条の背景となった古代のキリスト教教理の形成と発展の問題を、簡潔に説き明かす。(2009.6)

A. ファン・リューラー 近藤勝彦／相賀 昇訳

[オンデマンド版]

キリスト者は何を信じているか

昨日・今日・明日の使徒信条

0310-5 B 6判 324頁 本体3,800円

キリスト教信仰を簡潔に言い表わす古来の使徒信条は、現代においてどのように解釈され、伝えられるのか。聖霊の神学者ファン・リューラーがこの信条を現代の神学と信仰者の言葉によって蘇らせ、信仰が与える喜びを語る。(2007.12)

J. メイENDORF 小高 毅訳

東方キリスト教思想におけるキリスト

6320-3 B 6判 368頁 本体4,000円

キリストの神性と人性をめぐる論争は5世紀のカルケドン公会議で一応の決着を見るが、なおも論議は続く。東方キリスト教会の霊性と共に発展、独自の展開を遂げたビザンティン神学のキリスト論を初めて本格的に紹介する。(1995.8)

北森嘉蔵

神の痛みの神学

7287-3 A 5判 356頁 本体3,200円

なぜ神は自ら傷を負い、痛み給うのか? 福音に現れた「神の愛」を「神の痛み」に基礎づけられし神の愛」と理解し、従来のキリスト教の神理解に新局面を拓いた画期的な神学書。すでに5か国語に翻訳された現代の名著。(2009.1) [2]

倉松 功／近藤勝彦編

福音の神学と文化の神学

佐藤敏夫先生献呈論文集

6538-9 四六判 416頁 本体3,500円

古屋安雄／関川泰寛／倉松 功／野村 信／棚村重行／近藤勝彦／岩村太郎／西谷幸介／佐々木勝彦／上田光正／東方敬信／山口隆康／本間敏雄／朴 憲郁／芳賀 力諸氏が佐藤教授に献呈した福音と文化をめぐる論文集。(1997.12)

大木英夫

組織神学序説

プロレゴメナとしての聖書論

7216-4 A 5判 604頁 本体5,000円

神学なき近代日本の中で、なぜ神学という学問が必要になるのか。近代世界形成の原動力としての聖書の存在を明らかにしながら、近代日本の中で神学に至る道としての聖書論を確立し、〈歴史神学〉としての組織神学の基礎構造を展開。(2003.2)

神代真砂実 [在庫僅少]

ミステリの深層

名探偵の思考・神学の思考

6909-5 四六判 196頁 本体1,800円

ミステリとは何か？ そこには近代理性や認識論の問題が秘められている？！ 気鋭の神学者が名探偵のごとく、明晰な筆致でミステリと神学の不思議な関係を解き明かす。「ミステリこそ上からの贈り物だ！」(カール・バルト)。(2008.6)

E. ブルンナー 森本あんり／五郎丸仁美訳

出会いとしての真理

7263-6 A 5判 240頁 本体2,800円

新設されて間もない国際基督教大学 (ICU) の招聘に応え、チューリヒ大学教授職を辞して敗戦後の日本に赴任した世界的神学者の主著。聖書の真理理解を「出会い」として捉え、主観主義と客観主義を超克する。(2006.9)

C. E. ガントン 須田 拓訳

キリストと創造

6391-2 B 6判 180頁 本体2,000円

神の被造物である人間が「神の像」であるとは？ イエス・キリストの神性と人性はどのように理解されるべきか？ 聖霊論の新しい光のもとに、主イエスの在り方を三位一体論の視点から捉え直す意欲的な試み。(2003.6)

近藤勝彦

贖罪論とその周辺

組織神学の根本問題2

7380-1 A 5判 374頁 本体5,500円

古代より組織神学の根本問題であり、神学のあらゆる分野に関わり、今なお熱く議論される贖罪論。教会と信仰継承の危機にある現代のキリスト者にとって、贖罪論とは何か？ 神学者らの言説を検証しつつ、現代的な再定義を試みる論文集。(2014.3)

近藤勝彦

救済史と終末論

組織神学の根本問題3

7404-4 A 5判 472頁 本体6,200円

教会と伝道に仕える神学を志した著者が、教義学の営為の全体像を描き出した渾身のシリーズの最終巻。本書では、救済の一回的・決定的な転換点であるイエス・キリストにおける贖罪の出来事と、それに基づく希望の終末論を扱う。(2016.2)

H. R. ニーバー 佐柳文男訳 [在庫僅少]

啓示の意味

6603-2 四六判 202頁 本体2,000円

歴史における相対と絶対の問題、「科学的」ないし客観的歴史と宗教的歴史との関連の問題、自然宗教と歴史的信仰との問題などを中心的課題として、時間内では決して終結することのないメタノイアとしての啓示の真理を追求！ (1975.2)

W. パネンベルク 佐々木勝彦訳

人間学

神学的考察

7283-5 A 5判 728頁 本体7,900円

世俗化が進む現代において、宗教は人間の生活現実にとどのような意義をもたらすのか。「人間とは何か」という永遠のテーマを、諸学問との対話からの人間理解を基礎として、神学的視点から再解釈する壮大な試み。神学的人間学の古典的名著！ (2008.11)

G. アウレン 佐藤敏夫／内海 革訳
[オンデマンド版]

勝利者キリスト

贖罪思想の主要な三類型の歴史的研究

0301-4 B 6判 204頁 本体3,000円

神はいかにして私たちを救うのか？ 十字架のキリストに「神の勝利」を見る贖罪思想を初期の教会や古代教父に発見し、ルターの改革思想をとおして現代によみがえらせた古典的名著。(2004.12)

青山学院大学総合研究所キリスト教文化研究部編

贖罪信仰の社会的影響

旧約から現代の人権法制化へ

6142-6 四六判 242頁 本体2,000円

イエスの十字架上での死を起点に、キリスト教信仰の中核を占める「贖罪」。旧新約聖書での理解をふまえ、人権理念の形成と法制化を背後で支えた「罪の贖い」への信仰を多角的に捉え直す論文集。(2019.3)

濱和弘

人生のすべての物語を新しく

シェルターの神学から傘の神学へ

6145-7 四六判 232頁 本体2,300円

W. ニーゼル 渡辺信夫訳

福音と諸教会

信条学教本

7276-7 A 5判 432頁 本体3,500円

M. ヴェルカー 片柳榮一／大石祐一訳

聖霊の神学

6658-2 四六判 502頁 本体4,600円

G. ザウター 深井智朗／徳田 信訳

終末論入門

6653-9 四六判 384頁 本体3,500円

芳賀 力

歴史と伝承

続・物語る教会の神学

7277-4 A 5判 432頁 本体4,500円

小原克博

神のドラマトゥルギー

自然・宗教・歴史・身体を舞台として

6380-7 B 6判 210頁 本体2,500円

森田雄三郎

現代神学はどこへ行くか

7243-1 A 5判 352頁 本体4,500円

W. グロール 西谷幸介訳

トレルチとバルト

対立における連続

6608-3 四六判 274頁 本体3,000円

喜田川 信

バルト神学の真髄

6990-3 四六判 172頁 本体1,600円

贖罪論＝償罪論に偏した救済論を見直し、神が創造した人間本性の完成という東方教会の地平から、神化論としての救済論への展開を試みる意欲作。傘のように開かれた包括的な神学を提唱し、現代における伝道と教会のあり方を探る。(2020.1)

カール・バルトの影響を受けた改革派神学者である著者が、ローマ・カトリック教会、正教会、そして宗教改革によって生み出された諸教派の教理的な相違点・一致点を、信条・信仰告白をもとに明らかにしつつ、教会一致への歩みを探求する。(2008.5)

聖霊は個と共同体を生かす力である。聖書の「神の霊」の体験を原点に展開される「現実主義神学」の立場から、聖霊の働きの豊かな多面性を明らかにし、現代世界における新たな共同的・公共的な生のあり方を探る。(2007.4)

近代以降の主な神学者から現代のラッツィンガー（教皇ベネディクトゥス16世）までの終末論に関する議論を検討し、今日の問題状況を視野に入れながら、われわれの希望の根拠を問う。主要なキリスト教終末論を網羅した画期的な書。(2005.6)

なぜ、世界に教会が必要なのか。福音という〈大いなる物語〉を語る教会は、救済史の担い手として、歴史の無意味さに耐えかねている現代人に再び希望する力を抱かせる。教会の歴史的存在意義を徹底的に検証した意欲的論考！（2008.7）

神は自らをどう演ずるのか？ 人間はその神をどのように認識するのか？ 新進のプロテスタント神学者が、W. パネンベルクとの対論を軸に「神論」を展開し、生命倫理を始めとする現代の諸問題に神学的視座を示す。(2002.1)

実存主義、分析哲学など、現代思想が提起する問題に応答しつつ、バルト、ティリッヒらの巨人なきあとのキリスト教神学の動向とその方向性を探る。迫害の歴史を生き抜いてきたユダヤ人の宗教的精神に関する論考などをも収録。(2005.3)

従来、断絶関係にあるといわれている両者を歴史神学・組織神学的視野からその関連を探る。綿密な文献学的分析により、バルトがトレルチの神学思想に対立しつつも、それからの新しい前進をくわだてたことを主張する。(1991.2) [2]

近代神学史に不朽の名を残した神学者カール・バルト。彼の一見難解な思想を平易に説き明かし、現代を生きる教会・信徒への示唆に富んだ洞察を提示する珠玉の論考集。バルトの教会論・聖書理解・倫理観を学ぶ格好の入門書。(2015.2)

D. シェロング 尾形隆文訳

バルトと近代市民社会

6605-9 四六判 376頁 本体3,500円

近藤勝彦 [在庫僅少]

二十世紀の主要な神学者たち

私は彼らからどのように学び、何を批判しているか

6937-8 四六判 196頁 本体1,900円

近藤勝彦

トレルチ研究

7155-9 (上) A 5判 324頁 本体4,100円

7156-7 (下) A 5判 264頁 本体3,800円

近藤勝彦

歴史の神学の行方

ティリッヒ、バルト、パネンベルク、
ファン・リユラー

7141-9 A 5判 318頁 本体5,000円

近藤勝彦 [在庫僅少]

デモクラシーの神学思想

自由の伝統とプロテスタンティズム

7193-1 A 5判 564頁 本体7,500円

近藤勝彦

キリスト教倫理学

7304-7 A 5判 528頁 本体4,600円

近藤勝彦

キリスト教弁証学

7407-5 A 5判 664頁 本体5,800円

大木英夫 [(上) 在庫僅少]

新しい共同体の倫理学

基礎論

7143-5 (上) A 5判 300頁 本体4,800円

7144-3 (下) A 5判 330頁 品切

大木英夫

人格と人権

キリスト教弁証学としての人間学

7329-0 (上) A 5判 356頁 本体3,800円

7330-6 (下) A 5判 464頁 本体5,300円

カール・バルトと近代とのかかわりを綿密に分析し、近代神学の批判者として登場したバルトが、単なる近代の否定ではなく、近代が提起した諸問題を受けとめ、批判的に克服しようと試みていることを実証する。(1986.8)

現代神学の中心問題は何か？ 幅広い視点からバルト以降の現代神学に取り組んできた著者が、これまでの学びと研究を振り返り、8人の主要な神学者の思想を批判的に解説しながら「神学する喜び」へと読者を誘う自伝的神学入門。(2011.4)

近代文明はどこに行くのか？ その中でプロテスタンティズムはどのような歴史形成力を発揮しうなのか？ トレルチ研究を通して著者が問うてきた20年来の神学的思索を集大成。トレルチ思想の全体像と現代的意味を明らかにする。(1996.5)

著者の東大文学部の卒論だったティリッヒ、「神学的に考える」「喜び」と「自由」を学んだバルト、東神大の卒論だったパネンベルク、オランダのファン・リユラーらの十字架・復活・終末・歴史・文化・聖霊・聖餐論を考究。(1993.3)

近代デモクラシーの諸問題を、プロテスタント神学思想との関わりから再検討。16世紀から現代まで内外の17人の思想家を取り上げ、デモクラシーの宗教的基盤・教会と国家・自由・人権・宗教的寛容の問題を鋭く考察する。(2000.9)

旧来の価値が崩壊する今日、キリスト教は倫理的指針となりえるか？ プロテスタントの伝承資産を継承・深化・活性化しつつ、現代の倫理的諸問題に取り組む。終末論的救済史の中に教会とその伝道を見据えた体系的意欲作！(2009.10)

世俗化・脱宗教化した現代世界に、キリスト教信仰の真理性を鮮明に語るのと同時に、キリスト教の自己変革を追求する試み。諸宗教との軋轢が起こる現代社会に生きる私たちに、確固たる伝道的基盤を提示してくれる画期的な書。(2016.9)

処女作『ピューリタニズムの倫理思想』以来二十数年の思索の成果をまとめ、和辻哲郎の「古い共同体」の思想と対決し、基本的人権とデモクラシーを擁護する「新しい共同体」の倫理学を「歴史の神学」の立場から展開する。(1994.2[2]／1994.5)

戦後、日本国憲法の制定により初めて導入された人権理念と人格概念は、体制の普及以上に日本人の内面まで本当に浸透したのか。日本人の人間理解と自覚を巡り、人権理念の源泉を歴史的に辿りつつ、神学的人間論の再構築を試みる。(2011.7/2013.5)

大木英夫

信仰と倫理

十戒の現代的意味

6401-3 B 6判 174頁 本体1,900円

「自由」の意味を取り違え、無法地帯と化したかのような現代日本に「十戒」は何を語るか。神と人間の人格的關係を中核に据え、十戒を新しい共同体の10の礎石として説き明かす。人格と人権の神学的倫理学。(2004.9)

G. アウトカ 茂泉昭男／佐々木勝彦／佐藤司郎訳

アガペー

愛についての倫理学的研究

7184-2 A 5判 416頁 本体5,800円

「隣人を自分のように愛しなさい」。この言葉は、はかり知れない影響を西欧文化に与えて来た。キリスト教的愛とは何か。ニグレンの『アガペーとエロース』以降、40年間の議論を分析、総括し、アガペーの規範的内容を明らかにした名著。(1999.4)

遠藤 徹

〈尊びの愛〉としてのアガペー

7403-7 A 5判 360頁 本体3,300円

「アガペー」というギリシア語の意味を明らかにし、独自の視点に立って新約聖書を新しく読み直す試み。「アガペー」で一貫したイエス像に従う、新たなキリスト者の在り方を探る意欲作。(2015.12)

W. ブルッゲマン 小友 聡／宮寄 薫訳

平和とは何か

聖書と教会のヴィジョン

6736-7 四六判 378頁 本体2,900円

聖書が語る平和とは何か？ 教会が果たすべき使命とは何か？ 現代を代表する旧約聖書学者が、聖書が描くシャロームの多様なコンセプトを紹介。政治的・経済的利益が最優先される現代世界に対抗する、新しい物語を描き出す。(2018.9)

D. ファーガソン 関川泰寛訳

共同体のキリスト教的基礎

6632-6 四六判 330頁 本体2,500円

多様化・多元化した時代の「道徳」に対し、キリスト教倫理学はどのような貢献ができるのか。スコットランド教会の指導者である著者がバルト、ハワーワス、マッキンタイアを分析しつつ、倫理と共同体のあり方を模索する。(2002.7)

S. ハワーワス／C. ピンチス 東方敬信訳

美徳の中のキリスト者

美徳の倫理学との神学的対話

6536-2 四六判 334頁 本体2,800円

近代社会の文化的矛盾を見据えながら、新たなキリスト教神学を展開する、現代アメリカの代表的神学者の最新の著。美徳の倫理学と批判的に対話をしながらキリスト教美徳論の新しい可能性を示唆する。(1997.9)

W. パネンベルク 佐々木勝彦／濱崎雅孝訳

なぜ人間に倫理が必要か

倫理学の根拠をめぐる哲学的・神学的考察

6388-2 B 6判 254頁 本体2,500円

世俗化した現代、倫理はどこに拠り所を求めることができるのか？ 特殊な「キリスト教倫理」は存在するのか？ 思想史の中で倫理学がどのように出現し、どのような問題を扱ったかを検証し、今日におけるキリスト教倫理の普遍性を問う。(2003.1)

東方敬信

神の国と経済倫理

キリスト教の生活世界をめざして

6553-2 四六判 248頁 本体2,800円

グローバル化した世界経済は多くの問題を抱えている。「平和を可能にする神の国」が目指す労働・所有・消費はどうあるべきか。「戦争」「飢餓」「環境破壊」に極まる現代経済の問題点を探り、新しい経済生活のヴィジョンを追求。(2001.3) [3]

稲垣久和編

神の国と世界の回復

キリスト教の公共的使命

6138-9 四六判 252頁 本体1,800円

信仰の私事化から脱却するためにどうすればよいのか。新約聖書学から賀川豊彦の「神の国」運動、日本思想史まで取り上げ、イエスの説いた「神の国」を多角的に捉え直す試み。日本宣教の新たな突破口を探る5つの論考。(2018.9)

J. J. フラーフランド 関谷 登訳

市場倫理とキリスト教倫理

市場・幸福・連帯

7377-1 A 5判 274頁 本体2,600円

上田光正

キリスト教の死生観

6152-5 四六判 322頁 本体2,500円

スティーヴン・T. デイヴィス編 本多峰子訳

神は悪の問題に答えられるか

神義論をめぐる五つの答え

6631-5 四六判 440頁 本体3,500円

N. T. ライト 本多峰子訳

悪と神の正義

6733-6 四六判 216頁 本体2,000円

M. S. M. スコット 加納和寛訳

苦しみと悪を神学する

神義論入門

6744-2 四六判 364頁 本体3,600円

U. H. J. ケルトナー 相賀 昇訳

この苦しみはいつまで？

悪と苦しみと死についての神学的考察

6644-X 四六判 208頁 本体1,800円

野村 信／吉田 新編

苦難と救済

闇の後に光あり

6146-4 四六判 400頁 本体3,200円

小山晃佑 森泉弘次訳

水牛神学

アジアの文化のなかで福音の真理を問う

7332-0 A 5判 340頁 本体3,200円

小山晃佑 森泉弘次訳

富士山とシナイ山

偶像批判の試み

7385-6 A 5判 450頁 本体3,800円

市場競争は高い経済成長を実現する一方で、所得格差の拡大も引き起こす。市場は「幸福」にどう影響するのか？「正義」や「徳」を促進するのか？ 聖書本文と最新の経済学的研究から、信仰と経済の関連性を体系的に明らかにする。(2014.3)

キリスト教はなぜ、人間の命を特別なものと見なすのか。人間に固有な死の意味とは何か。多神教や唯物論的な思想ではなく、キリスト教の死生観に立ってこそ見出しうる幸いを提示する、すべての人のための真の幸福への招き。(2021.4)

「神はなぜこの世界に悪の存在を許しているのか？」この世界で経験される不条理な悪は、神の全能や善性と両立するのか。現代英米を代表する神学者・宗教哲学者が神義論をめぐる白熱した議論を闘わせる。(2002.7) [5]

悪と不条理がはびこるこの世界で、神は何をしておられるのか？ 十字架による神の最終的勝利と神の王国を見据え、今を生きるキリスト者を新しい使命へと導く画期的な書。現代を代表する新約聖書学者による新しい神義論の試み。(2018.3)

聖書は苦難の問題をどのように描くのか？ アウグスティヌスやトマス、カルヴァン、バルトは神義論の問題にどのように答えたのか？ 神義論を学ぶ最良の手引き。自然災害や病など、不条理な経験を重ねる今だからこそ読みたい一冊！ (2020.9)

キリスト教は人生の否定的問題をどう考えるのか。苦難の実象をどのように認識し、持ちこたえ、抵抗し、希望につなげようとするのか。ナザレのイエスの生と死にあらわれた愛の約束からこの問題に光を当てる神学的試み。(2004.1)

信仰者の不条理な苦しみにはいかなる意義があるのか？ 宗教を巡る争いの歴史が伝えるものは何か？ 聖書の重要な主題であり、キリスト教神学の中心的課題である《苦難と救済》を多角的に探求した、苦しみの意義に迫る11の洞察。(2020.2)

アジアの伝統とキリスト教信仰は両立できるか？ 東南アジアで宣教と神学教育に携わった著者が、その体験を踏まえながら、地域に根ざしたキリスト教のあり方を問うた挑戦的論考。最新版である「刊行25周年記念版」から翻訳。(2011.9)

神道・仏教・儒教などの影響を受けてきた日本文化の批判的考察を通して「神の名による戦争」の正当化を批判し、「世界の癒し」を目指すキリスト教の本質を説く。ユニークな宣教のアプローチで知られる世界的神学者の著。(2014.9)

小山晃佑 森泉弘次訳

十字架につけられた精神

アジアに根ざすグローバル宣教論

6724-4 四六判 218頁 本体3,100円

欧米と全く異なる文化と伝統をもつ地域において、福音はどのようにして伝えるべきか？ 東南アジアで宣教活動と神学教育に携わった著者による、アジアの諸宗教の特質と自身の体験を踏まえた斬新な提唱！（2016年）

小山晃佑 森泉弘次／加山久夫編訳 [在庫僅少]

神学と暴力

非暴力的愛の神学をめざして

6678-0 四六判 216頁 本体1,900円

なぜ人は神の名の下に暴力を振ってきたのか？ キリストの十字架の愛による徹底した「暴力放棄」の神学を提唱する表題作、賀川豊彦の辺境の神学について講じた「行って、同じようにしなさい！」など、7本の論文・講演を収録。（2009年）

ナウム・アティーク 岩城 聡訳

サビールの祈り

パレスチナ解放の神学

6738-1 四六判 266頁 本体2,200円

パレスチナ人もイスラエル人も含むすべての人を抑圧と差別から解放し、武力ではなく、愛と祈りによる紛争解決を可能にするのは何か。パレスチナに生まれ難民となったアラブ人司祭が発信する、正義に基づく平和を実現させる道。（2019年）[2]

A. リンゼイ 宇都宮秀和訳

神は何のために動物を造ったのか

動物の権利の神学

6629-6 四六判 320頁 本体3,300円

神の天地創造は人間のためだけだったのか？ 環境破壊による地球の危機、肉食主義者の急増、口蹄疫、遺伝工学の実験動物の問題性などは、人間中心・弱肉強食を鋭く告発する。従来のキリスト教倫理を根底から問い直す。（2001年）

トーマス・F. トランス 水垣 渉／芦名定道訳 [在庫僅少]

科学としての神学の基礎

6261-4 B 6判 250頁 本体2,136円

被造物としての自然と人間との新しい関係を求める实在論神学序説。自然科学と神学とは敵対者ではなく、共に神に仕えるパートナーである。人間は自然に言葉を与え、生ける神の栄光と尊厳を表わす全宇宙の口である。（1990年）

W. パネンベルク 標 宣男／深井智朗訳

自然と神

自然の神学に向けて

6620-2 四六判 290頁 本体3,200円

現代の科学は世界の現実をはたしてどこまで説明できるのか？ 卓越した組織神学者であるパネンベルクが、現代生物学から物理学、宇宙論に至るまで自然科学との神学的対話を試み、「自然の神学」の構築を目指す。（1999年）

A. E. マクグラス

稲垣久和／倉沢正則／小林高徳訳

科学と宗教 [新装版]

7295-8 A 5判 254頁 本体2,500円

宗教は科学の敵か、味方か？ ガリレオ裁判やダーウィンの進化論論争など、対立の時代を経て、今日、科学と宗教は新しい対話の時代を迎えている。最新の宇宙論・進化論が提起する問題など、さまざまなテーマを紹介し、相関関係を探る。（2009年）[3]

A. E. マクグラス

稲垣久和／岩田三枝子／小野寺一清訳 [在庫僅少]

神の科学

科学的神学入門

6652-0 四六判 330頁 本体2,600円

分子生物学者として研究者生活を始め、現在、世界で最も注目を集めているキリスト教神学者が、自然科学の方法を用いて「神」を探求する、ユニークで斬新な神学方法論を提示する。大著『科学的神学』（全3巻）の要点を解説。（2005年）

A. E. マクグラス 芦名定道／杉岡良彦／濱崎雅孝訳 [在庫僅少]

「自然」を神学する

キリスト教自然神学の新展開

7327-6 A 5判 504頁 本体4,800円

バルトとブルンナーの論争以降、不毛の領域とされてきた自然神学に新たなヴィジョンを与える画期的な試み。神存在の証明としての自然神学ではなく、科学的知や日常的な経験とキリスト教的神理解との共鳴を目指した斬新な論考。（2011年）

I. G. バーバー 藤井清久訳

科学が宗教と出会うとき

四つのモデル

6649-0 四六判 324頁 本体2,300円

J. ポーキングホーン 本多峰子訳

自然科学とキリスト教

6638-5 四六判 258頁 本体2,500円

フランシスコ・J. アヤラ 藤井清久訳

キリスト教は進化論と共存できるか?

ダーウィンと知的設計

6025-2 小B 6判 184頁 本体1,600円

金 承哲

神と遺伝子

遺伝子工学時代におけるキリスト教

7291-0 A 5判 282頁 本体2,500円

小高 毅

霊性神学入門

6998-9 四六判 260頁 本体2,200円

C. E. ブラーテン/R. W. ジェンソン編

芳賀 力訳

聖書を取り戻す

教会における聖書の権威と解釈の危機

6343-2 B 6判 240頁 本体2,500円

A. ファン・リュラー 矢澤励太訳

キリスト教会と旧約聖書

6664-3 四六判 188頁 本体1,800円

A. ファン・リュラー 長山 道訳

伝道と文化の神学

6015-8 小B 6判 172頁 本体1,800円

近藤勝彦

[オンデマンド版]

伝道の神学

0311-2 A 5判 324頁 本体4,500円

ビッグバン、進化論、遺伝子操作、人工知能(AI)など、現代科学が提起する知識を幅広く紹介しながら、宗教と科学の関わりを「対立」「独立」「対話」「統合」という四つのモデルに分類し、その相互関係について概観する。(2004.8)

現代の科学の時代に、宗教をまじめに考えることができるか? 現代の著名な理論物理学者でキリスト教神学者が、「科学と宗教」の出会いと相互関係を、量子論やカオス理論の基本概念を紹介しながら明らかにする。(2003.5)

進化論はどのようにして生まれ、科学的理論としてどのような説得力を持っているか。繰り返し現れるキリスト教内の反進化論的言説に対し、その無根拠と知的不整合性を鋭く突く。米国進化学会会長を務めたカトリック科学者による書。(2008.5)

クローン羊「ドリー」の誕生は、キリスト教世界にも大きな衝撃をもたらした。クローンは神への冒瀆か? 「ヒトクローン」は許されるのか? 科学と神学の対話からは、「神・人間・自然とは何か」というキリスト教の実在理解を問い直す。(2009.3)

キリスト者としての成長と完成を目指す伝統的な「修徳」はどのように実践されてきたのか? それらはどのようにして現代的な「霊性」へと変化したのか? キリスト教的霊性について多面的に考察し、その今日的な意味を説く。(2015.11)

歴史的・批評的方法と教会的・教義学的解釈との間のギャップはどのようにして埋められるのか? 聖書を教会の書物として読む解釈学を求めたなされたエキュメニカルな講演集。チャイルズやマクグラスなど、8名の著名な神学者による講演。(1998.5)

旧約聖書はキリスト教会にとってどのような意味をもつのか? 旧約聖書をキリスト論的視点から解釈するにとどまらず、創造論の文脈に位置づけることで、従来の枠を打ち破る、斬新かつ挑戦的な旧約聖書論を展開した名著。(2007.8)

主要論文『伝道の神学』『世界におけるキリストの形態獲得』の2編を収録。包括的な聖霊の働きを主張する「聖霊論の神学」の立場から、教会の本質と機能、キリスト者の存在意義、教会と文化の関係などについて語る。(2003.8)

日本におけるプロテスタント教会の伝道は150年を迎えるが、日本での伝道は難事業であり、「伝道の危機」が叫ばれている。すぐれた神学者であり説教者である著者が、神の伝道の業に用いられる神学の課題を追求する。(2007.12)

近藤勝彦

〔在庫僅少〕

伝道する教会の形成

なぜ、何を、いかに伝道するか

6576-1 四六判 266頁 本体2,000円

キリストの教会が生命と力を取り戻すために〈教会を建てる神学〉に基づく実践の道筋を提唱する。前著『伝道の神学』に対応して、教会生活や信仰生活の実際面を考慮。伝道する教会の形成、基礎、倫理、支援しあうものについて考察する。(2004.1)

近藤勝彦

日本の伝道

6591-5 四六判 260頁 本体2,000円

日本伝道の歴史を振り返りながら、教団紛争、聖餐、信仰告白の問題など、今もなお日本の教会が抱え続けている論点を丁寧に解説。十字架と神の国の福音を語り続ける大切さと、伝道へのバイエティを促す。(2006.3)

近藤勝彦

福音主義自由教会の道

〈日本伝道150年〉講演集

6916-3 四六判 208頁 本体1,900円

プロテスタント伝道150年を迎えた今、我々は、これまでの信仰的・教会的ルーツを継承しながら、今後どのように伝道を展開していけばよいのか。教会、キリスト教主義学校、医療の現場に向けて語った、〈新しい伝道の時代〉への提言。(2009.12)

上田光正

日本の伝道を考える1

日本人の宗教性とキリスト教

7393-1 A 5判 210頁 本体1,500円

私たちは誰に、何を、どのように伝えればよいのか？ 四国・北陸・東京で40年以上にわたり堅実な伝道・牧会をしてきた著者が贈る渾身の「日本伝道論」。第1巻では、福音伝道をめぐる現代日本の宗教的状况を考察する。(2015.4)

上田光正

日本の伝道を考える2

和解の福音

7394-8 A 5判 202頁 本体1,500円

伝道途上国・日本における新しい宣教学の構築を目指した革新的な論考。牧師と信徒が共に学ぶための最良の手引き。第2巻では、「喜ばしい知らせ」である十字架と復活の福音の内実を学ぶ。予定論に立脚した実践的教義学。(2015.5)

上田光正

日本の伝道を考える3

伝道する教会の形成

7395-5 A 5判 292頁 本体1,900円

日本の教会の百年後を見据えた神学的・実践的な「日本伝道論」。第3巻では、牧師の説教や信徒の務めを学ぶとともに、教会の一致や教団形成のあり方を考える。豊富な牧会経験に基づきながら日本伝道の要諦を穿つ画期的な書。(2015.7)

上田光正

日本の伝道を考える4

日本の教会の活性化のために

7414-3 A 5判 328頁 本体2,100円

シリーズ既刊(2015年)につづき、二巻にわたって教会論についてさらに具体的、実践的に詳述する。第4巻では、その基礎論として教会の役割を問ひかけ、聖礼典と説教の回復とさらなる充実を目指す。(2017.6)

上田光正

日本の伝道を考える5

キリストへの愛と忠誠に生きる教会

7415-0 A 5判 370頁 本体2,300円

第5巻では、日本において教会の魅力を回復するために、教会論と宣教師論を具体的に叙述する。「堅牢な教会」の土台となる、聖書に立つ信仰と教会の一致について考える。(2017.8)

袴田康裕

改革教会の伝道と教会形成

6126-6 四六判 218頁 本体1,800円

伝道、説教、礼拝、信条から、教会の社会的責任に至るまで、教会の今日的課題に取り組んだ講演8篇を収録。改革教会の伝統と神学に立脚しながらも、何よりも聖書から、混迷の時代を生きる教会への確かな指針を告げる。(2017.2)

袴田康裕

改革教会の伝統と将来

6151-8 四六判 216頁 本体1,800円

芳賀 力

使徒的共同体

美德なき時代に

6577-X 四六判 308頁 本体2,800円

R. ボーレン 加藤常昭訳

預言者・牧会者

エドゥアルト・トゥルンアイゼン

7201-6 (上) A 5判 264頁 本体3,000円

7202-4 (下) A 5判 376頁 本体4,200円

R. ボーレン 加藤常昭訳

日本の友へ

待ちつつ速めつつ

6386-6 B 6判 260頁 本体2,500円

R. ボーレン 川中子義勝訳

源氏物語と神学者

日本のこころとの対話

6650-4 四六判 296頁 本体2,600円

クリスティアン・メラー 加藤常昭訳

慰めのほとりの教会

6657-1 B 6判 330頁 本体2,800円

クリスティアン・メラー 小泉 健訳

魂への配慮としての説教

12の自伝的・神学的出会い

6715-2 四六判 336頁 本体2,600円

F. G. イミンク 加藤常昭訳

信仰論

実践神学再構築試論

7349-8 A 5判 480頁 本体5,000円

R. ボーレン 加藤常昭訳

神が美しくなれるために

神学的美学としての実践神学

7401-3 A 5判 406頁 本体4,400円

「日本における宗教改革伝統の受容と課題」をテーマに語られた講演を中心に、天皇制の問題、日本キリスト改革派教会が女性教師長老に道を拓いた経緯、コロナ禍の考察など、現代の教会形成に不可欠な講演・論文9編を収録。(2021.3)

失業、モラルの低下、心の病など、至る所で交わりの崩壊現象に直面している現代社会において教会はどのような使命をもっているのだろうか？ 美德を創出する使徒的共同体としての教会の形成とその課題について考察する。(2004.2)

カール・バルトの盟友、弁証法神学の指導者、名著『牧会学』の著者として知られるトゥルンアイゼン。バルトやトゥルンアイゼンと親交のあった著者が、その生い立ちから晩年まで、生涯と業績の今日的意味を鋭く問い直す評伝。(2001.10/2003.2)

ブルームハルトの信仰と神学を継承しながら、終末の望みについて語った「待ちつつ速めつつ」をはじめ、日本の教会と説教者のために語られた講演「説教の言葉」など、説教と牧会をめぐる洞察と慰めに満ちた、力強い言葉。(2002.10)

詩人にして神学者の著者は現実世界に天国の比喩を見る。「源氏物語」に聖書の「雅歌」や「詩篇」を並置して味わい、日本庭園にエデンの園を想い、陶芸の炎に聖霊の炎を予感する。日本の古今の芸術と現代社会に寄せる愛に満ちた随想。(2004.10)

前作『慰めの共同体・教会』で、魂の配慮に生きる説教を問うた著者が、本書で、魂の配慮に生きる教会の姿を問う。真の「慰め」は、抵抗力に深く結びついていることを明らかにし、教会再生の道を探る。(2006.11)

ルター、キェルケゴール、イーヴァント、ボンヘッファー、バルト、ボーレン、加藤常昭など、時代・地域を越えて活躍した12名の神学者との豊かな出会いと対話を通して、神の言葉を伝える喜びと説教の核心に迫る。(2014.11)

神の言葉の神学の系譜に立ち、罪人を義とする神の絶対的な優位性を語りながら、聖霊による神の内在に着目し、人間の信仰生活の主体性を展開させる意欲的な試み。現代オランダを代表する改革派神学者による徹底した思索の書。(2012.9)

戦後ドイツの霊的閉塞感が漂う教会に、神の言葉の神学を継承しながらも、聖霊論的なパースペクティブによる新しい実践神学の道筋を指し示した画期的な書。芸術家としても活躍した著者による実践神学の体系的基礎論。(2015.12)

平野克己編

聞き書き 加藤常昭

説教・伝道・戦後をめぐって

6133-4 四六判 310頁 3,000円

加藤常昭

愛の手紙・説教

今改めて説教を問う

6369-7 B 6判 328頁 本体3,000円

加藤常昭

竹森満佐一の説教

信仰をぶつける言葉

6122-8 四六判 298頁 本体2,900円

加藤常昭

出来事という言葉・説教

7333-7 A 5判 528頁 本体4,500円

加藤常昭

説教批判・説教分析

7285-9 A 5判 412頁 本体3,600円

フレッド・B. クラドック 平野克己訳

権威なき者のごとく

会衆と共に歩む説教

6382-3 B 6判 296頁 本体3,200円

Th. H. トロウガー 迫川由和訳

21世紀の説教を求めて

十人の説教者の物語

6345-9 B 6判 224頁 本体2,500円

R. リシャー 平野克己／宇野 元訳

説教の神学

キリストのいのちを伝える

6395-5 B 6判 256頁 本体2,800円

キャシー・ブラック

川越敏司／飯野由里子／森 壮也訳

癒しの説教学

障害者と相互依存の神学

6673-5 四六判 272頁 本体2,500円

教会の原体験、各地での伝道、実践神学理論の構築、教団や東神大の紛争、そして説教塾の設立など……。戦中・戦後の教会史を浮き彫りにした貴重な証言集であると同時に、加藤が今なお情熱を抱く日本伝道への提言集。(2018.7)

われわれの説教は聖書を説いているだろうか。日本人の心に届く言葉となっているか。〈愛の手紙〉を書き送るように語られているだろうか。教会が直面している危機を見据え、説教の現在を問い直す5つの考察。(2000.11) [3]

「東の竹森満佐一、西の田中剛二」と呼ばれ、日本の教会の講解説教の「型」を作った竹森。彼の説教はどのように形作られ、その魅力はどこにあるのか？ 第1部では竹森の生涯を辿り、第2部では実際の説教7篇を分析する。(2016.11)

われわれの説教はどうして〈解釈〉と〈適用〉に分かれてしまうのだろうか？ そこに潜む律法主義を克服できないのだろうか？ 現代日本における伝道と教会形成の課題を見据えながら、説教再生の道を問う6つの考察。(2011.10)

われわれの説教は語るべき福音の真理を、それにふさわしい言葉で語り得ているだろうか？ 聴き手に本当に届いているのだろうか？ 理論篇と実践篇を収録し、批評をする心得から、実際に分析・討論した原稿をも加えた最良の手引き。(2008.12)

既成の文化の「権威」が揺らぎ、キリスト教会においても説教の危機と教会の衰退に直面した苦悩の中から生まれた説教論。1971年の刊行以来読み継がれ、その後の説教・説教学の在り方を変えた名著。今日においても新鮮かつ刺激的な一冊。(2002.6)

21世紀に語られる説教はどんな変貌を遂げるのだろうか？ 説教学ゼミに集った、神学・伝統・説教の理解の異なる10人の説教者の姿を通して、新しい説教の姿を求める。現代アメリカを代表する説教学者による物語形式の説教論。(1998.5)

どのようにすれば神のいのちを聴衆に伝えられるのだろうか？ 神の民の言語はどのようなものでなければならぬか。イエス・キリストによって始まった神の新しい時代のしるしとしての説教のあり方〈神のことばとしての説教〉を追求する。(2004.4)

「癒し」についての福音書の記事は、教会の中でどのように解釈され、説教されてきたのか。具体的なテキストを取り上げ、個別の障害者の視点からテキストを読み直すことにより伝統的な説教の問題点を指摘し、今日における障害者の「癒し」を問う。(2008.7)

鈴木崇巨

[オンデマンド版]

牧師の仕事

0317-4

A 5判 420頁 本体3,000円

キリスト教の牧師とは何であり、どのような仕事をどのように行なうのか。36年間にわたる牧会経験と内外の資料に基づいて、具体的に分かりやすく、広範囲な牧師の仕事を紹介。日本で初めて書き下ろされた牧師のための手引き。(2010.9)

山崎龍一

教会実務を神学する

事務・管理・運営の手引き

6153-2

四六判 224頁 本体1,800円

教会的な思考の力を身につけよう！ 教会の会計・事業・財産管理、牧師の待遇、宗教法人法、文書管理、宣教団体のマネジメントなど、教会形成に欠かせない実務や法律の基本を一冊に凝縮。(2021.4) [2]

前田貞一

聖卓に集う

日本福音ルーテル教会礼拝式書解説

7235-0

A 5判 160頁 本体1,000円

礼拝における讃美歌歌唱、祈り、聖書朗読、信仰表明、聖餐といった一つひとつの行為の意味や歴史的背景を「礼拝式書」(式文)にそって解説。福音の原点に立つ礼拝のあり方を問う。聖卓に集う教会が立ち上がり、目覚め、祈るために！(2004.7)

G. W. レイスロップ 平岡仁子編訳

二十一世紀の礼拝

文化との出会い

6711-4

四六判 128頁 本体1,500円

二十一世紀の礼拝とは、いかなるものを目指すのか？そして、それは文化とどのように関わるのか？多様化する文化との出会いと対話を通して、これからの礼拝刷新を考察した、礼拝学の世界的権威による来日講演集。(2014.4)

ドイツ福音主義教会常議員会 芳賀 力訳

義認と自由

宗教改革500年 2017

6460-1

B 6判 162頁 本体1,400円

16世紀に教会と神学を一新し、社会・文化・政治をも新たに形成した宗教改革。その中心テーマであった義認論の歴史的・現代的意味を解説。宗教改革の世界史的意義を明確にし、将来へと開かれた学びを提示する画期的文書。(2017.4)

ドイツ福音主義教会常議員会編 楠原博行訳

聖餐

福音主義教会における

聖餐の理解と実践のための指針

6419-6

B 6判 136頁 本体1,200円

聖書と宗教改革以来の信仰告白に立ち返り、今日の聖餐の理解と実践を問い直す。「誰が聖餐にあずかれるか」「誰が司式できるのか」「どのような形で祝われなければならないのか」など、具体的な問題に踏み込む。(2006.12)

赤木善光

イエスと洗礼・聖餐の起源

7344-3

A 5判 460頁 本体3,500円

聖餐は史的イエスに遡源するのか、しないのか。洗礼や聖餐はサクラメントなのか、人間の主體的応答なのか。幼児洗礼にはどのような根拠があるのか。最新の研究と議論を紹介しながら、教会史家の立場から渦中の問題に一石を投じる。(2012.4)

赤木善光

なぜ未受洗者の陪餐は許されないのか

神の恵みの手段としての洗礼と聖餐

6026-9 小B 6判 144頁 本体1,600円

どうして洗礼を受けた者だけが聖餐にあずかれるのか？私たちはどのようにしてキリストと出会うのか？歴史的・神学的な視点から、いま日本の教会が問われている聖餐の論点を分かりやすく解説。聖餐を考える際のポイントを押さえた書。(2008.10) [2]

芳賀 力編

まことの聖餐を求めて

7278-1

A 5判 394頁 本体2,500円

なぜ教会は聖餐を祝うのか？ どうして洗礼を受けた者だけがそれにあずかれるのか？聖書・歴史・組織・実践の神学の諸分野から丁寧に解説。また、各教派での理解と実践、ドイツ、アメリカ、日本における取り組みなども紹介する。(2008.9)

ファergus・カー 前川 登／福田誠二監訳

二十世紀のカトリック神学

新スコラ主義から婚姻神秘主義へ

7331-3 A 5判 392頁 本体3,800円

原 敬子

キリスト者の証言

人の語りと啓示に関する実践基礎神学的考察

7418-1 A5判 272頁 本体3,800円

ローマ・カトリック教会／ルーテル世界連盟
ルーテル／ローマ・カトリック共同委員会訳

義認の教理に関する共同宣言

6402-1 B 6判 112頁 本体1,000円

聖公会・ルーテル共同委員会編

共同の宣教に召されて

聖公会・ルーテル教会の対話とヴィジョン

6432-8 B 6判 232頁 本体1,000円

一致に関するルーテル＝ローマ・カトリック委員会
ルーテル／ローマ・カトリック共同委員会訳

争いから交わりへ

2017年に宗教改革を共同で記念するルーテル教会とカトリック教会

6457-1 B 6判 220頁 本体1,200円

第二バチカン公会議開催を促し、現在も教会に影響を与え続ける知的革新の動きは、どのような思想的背景を持つのか？ 2人の教皇をはじめ、激変の世紀をリードした10人の神学者を取り上げ、現代カトリック神学の潮流を詳察する。(2011.9)

初代教会から現代まで繰り返されてきた証言（martyrium）の中に信仰の本質はどのように具現化するのか。戦後来日した外国人宣教師たちから聴取した証言の再解釈を試みることで、宣教や救いの問題を考究する先進的な研究。(2017.7)

ほぼ500年にわたる対立の克服！ 宗教改革以来の長い分裂の歴史を乗り越え、カトリックとプロテスタントの対立の核心であった「義認」の問題についての共通理解に到達し、和解と一致への第一歩を踏み出した歴史的な文書。(2004.10) [2]

20年にわたる日本聖公会と日本福音ルーテル教会のエキュメニズムの成果をまとめ、今後の展望を描いた合意文書集。すでに世界的動きになっている聖公会とルーテル教会の協力関係を示す文書を集め、相互の対話を付した。(2008.5)

共通の信仰はどこにあるのか？ 「義認」「聖餐」「正典」など教会分裂を引き起こした神学的テーマを、両教会の対話を通して克服し、新しい「教会の一致」を模索した画期的な試み。和解と一致へ前進するために不可欠の書。(2015.2) [2]

聖書学

左近義慈編著 本間敏雄改訂増補

ヒブル語入門

[改訂増補版]

7324-5 A 5判 476頁 本体5,000円

土岐健治

[オンデマンド版]

[改訂新版]

新約聖書ギリシア語初歩

0345-7 A 5判 240頁 本体3,800円

B. M. メッツガー 土岐健治監訳 [在庫僅少]

図説 ギリシア語聖書の写本

ギリシア語古文書学入門

1703-1 A 4判 172頁 本体8,000円

本邦初の日本語によるヒブル語入門書。半世紀近く親しまれてきた信頼おける内容はそのままに、基礎的な構文論や、マソラ本文に関する補説などを大幅に追加した改訂増補版。旧約聖書原典の学習者への本格的な最良のテキスト！ (2011.6)

長年ギリシア語を教室で教えてきた著者が、その語学教授の経験と、ギリシア語の言語学的性格を正確にさかのぼった、より記憶ししやすい各種変化の系統づけによって、全く新しく整理し直した意欲的な学習書！ (2019.3)

聖書にはなぜ異読が生じたのか？ 写本の筆写はどんな道具を使ってなされたのか？ どんな文字で書かれたのか？ 初心者から研究者までの幅広い読者の興味をかきたて、疑問に答えてくれる。古文書学と本文批評の優れた道案内。(1985.7)

ジョン・テイラー 土岐健治訳

西洋古典文学と聖書

歓待と承認

7376-4 A 5判 366頁 本体5,100円

W. H. シュミット 木幡藤子訳

旧約聖書入門

7145-1 (上) イスラエル史・五書・歴史書
本体3,500円

7146-X (下) 預言・詩・知恵 本体4,500円

W. H. シュミット/W. ティール/R. ハンハルト
大串 肇訳

コンパクト旧約聖書入門

6655-1 四六判 382頁 本体2,800円

左近 淑

[オンデマンド版]

旧約聖書緒論講義

0322-8 A 5判 506頁 本体5,000円

G. フォン・ラート 荒井章三編訳

ナチ時代に旧約聖書を読む

フォン・ラート講演集

6746-6 四六判 204頁 本体2,100円

K. シュミート 山我哲雄訳

旧約聖書文学史入門

7371-9 A 5判 432頁 本体4,500円

D. スチュワート 山吉智久訳

旧約聖書の釈義

本文の読み方から説教まで

7417-4 A 5判 270頁 本体3,500円

土岐健治

旧約聖書外典偽典概説

7310-8 A 5判 252頁 本体3,200円

B. ラング 加藤久美子訳

ヘブライの神

旧約聖書における一神格の肖像

7298-9 A 5判 384頁 本体4,000円

ほぼ同じ時代に生み出された旧新約聖書とギリシア・ラテン文学は多くの物語のパターンを共有している。本書では双方の並行箇所を綿密に比較・検討し、聖書と西洋古典文学のより豊かな読み方と解釈へと読者を誘う。(2014.12)

これまでの「緒論」とは異なって、「イスラエル史」と「緒論」と「神学」とを兼ね備えた最新の入門書。研究の成果だけを提示するのではなく、学説を支える根拠を明示し、それをめぐる論議を展開し、読者の参加をうながす。(1994.3 [2] / 2003.2)

旧約聖書の緒論(各書の著者・成立年代等)と神学・イスラエル史・パレスチナ考古学・セプトゥアギンタ(七十人訳聖書)の各テーマを、それぞれの第一級の専門家が解説。旧約聖書を本格的に学び始めたい人の必携の1冊。参考文献32頁、図版29点。(2009.1) [2]

東京神学大学の名講義として知られた「旧約聖書緒論」の講義を講義ノートや録音から再現。テキストの神学的内容への洞察の深さは、学生に「礼拝説教」を聞くにも似た感銘を与えた。好評「左近 淑著作集」第3巻の普及版。(2012.5)

反ユダヤ主義を公然と掲げ、旧約聖書を排斥しようとしたナチ時代に、キリスト教会における旧約聖書の重要性和新約聖書との内的関係の必然性を学的に一貫して主張した、旧約聖書学者フォン・ラートの珠玉の講演6篇を収録。(2021.3)

諸伝承はどのようにして「聖典」になったのか? 旧約聖書のテキスト群を時代区分・類型によって文学的に特徴付け、成立過程と相互連関を解明する意欲的な試み。現代旧約学を代表する基礎文献として必読の研究! (2013.10)

ヘブライ語で旧約聖書を読むにはどうしたらよいか? 正しい釈義に必要な作業とは? 資料や文献、コンピュータの活用方法は? 基礎から実践までを段階を踏んで解説。牧師のみならず聖書を学ぶすべての人の必携書、待望の旧約編! (2017.7)

旧約聖書の歴史書と新約聖書の間を結ぶ旧約聖書外典。新約聖書と初期キリスト教の理解に不可欠な旧約聖書偽典。これらの重要な文書群が書かれた時期の社会状況と、内容・著者・成立年代・意義など、各文書の特徴を的確に解説。(2010.2)

〈聖書の神〉とはいかなる神か? 古代中近東世界に登場し、欧米文明に決定的な影響を及ぼしたその神観の実像に迫る。古代オリエントの歴史資料を縦横に使いながら、宗教社会学や文化人類学的な視点から論じた包括的研究。(2009.8)

F. G. ヒュッテンマイスター／H. プレードホルン
山野貴彦訳

古代のシナゴグ

7346-7 A 5 判 146頁 本体2,900円

イエスの宣教活動の拠点となったシナゴグ。ユダヤ人の生活の中心ともいえるその施設は、どのようなものであったのか。聖書考古学とシナゴグ研究分野における2人の第一人者による、書下ろし世界未発表の本格的な入門書。(2012.6)

M. ティリー／W. ツヴィッケル 山我哲雄訳

古代イスラエル宗教史

先史時代からユダヤ教・キリスト教の成立まで
7439-6 A 5 判 338頁 本体4,200円

パレスチナで成立した二つの世界宗教はどのようにして形成されたのか？ 約1万年前から紀元1世紀までの聖地に生きた諸共同体により営まれた多種多様な宗教実践の実態を、考古学的遺物や文献資料から浮き彫りにする。(2020.1)

W. ブリュッケマン 大串 肇訳

古代イスラエルの礼拝

6672-8 四六判 188頁 本体1,900円

旧約聖書で繰り広げられた礼拝は、神と民とのダイナミックな対話的構造によって成り立っていた！ 断片的な資料を丁寧に解きほぐしながら、古代イスラエルの礼拝の姿を描く入門書。現代まで引き継がれる「礼拝」の原点を探る。(2008.5) [2]

大住雄一

神のみ前に立って

十戒の心
6989-7 四六判 232頁 本体2,500円

イスラエルに与えられた神の律法は、現代を生きる私たちに何を語りかけるのか？ 神と人間の人格的關係に基礎づけられた確かな慰めと指針として「十の言葉」を説き明かす。キリスト教放送FEBECで好評を博した聖書講解の書籍化。(2015.2)

W. H. シュミット 大住雄一訳

十戒

旧約倫理の枠組の中で
7242-3 A 5 判 254頁 本体2,800円

研究史を踏まえた、最新の解釈に基づく十戒の研究。シュタム／アンドリュウ『十戒』に続く基本文献。旧約の視点から全体像を把握するとともに、十の戒めを一つずつ解釈し、人間の責任と義務への促しを読み解く。(2005.2)

E. オットー 山我哲雄訳

モーセ

歴史と伝説
6667-4 四六判 224頁 本体2,500円

十戒と一神教の根源に立ち、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の三宗教において崇敬されているモーセ。彼は実在したのか。歴史、伝説、文学、芸術において、モーセはどのように捉えられ、描かれてきたのか。知られざるモーセ像が今、明らかに！(2007.9)

大澤耕史

金の子牛像事件の解釈史

古代末期のユダヤ教とシリア・キリスト教の聖書解釈
7422-8 A 5 判 220頁 本体5,400円

出エジプト記32章の金の子牛像事件は、ユダヤ教にとっては先祖の「大いなる罪」であり、キリスト教からの非難材料ともなった。各伝承でこの物語はどう解釈されたのか。ユダヤ学の立場から比較分析を試みる貴重な研究。(2018.3)

並木浩一

「ヨブ記」論集成

7223-7 A 5 判 376頁 本体3,000円

神の世界統治の中での〈悪の存在〉〈不合理的な苦難〉を断固として〈神に抗議〉するヨブ。聖書の中の〈問題の書〉に、旧約聖書学の第一人者が挑む。ユダヤ民族の「ヨブ記」の読み方や、稀有なユダヤ的思想家マルガレーテ・ブースマンも発掘紹介。(2003.11) [2]

O. ケール 山我哲雄訳

旧約聖書の象徴世界

古代オリエントの美術と「詩編」
7913-1 B 5 判 464頁 本体9,400円

古代オリエントの図像から詩編の世界を例証する「目で見える詩編入門」。旧約時代の人々の思考様式を主題別に解き明かし、視覚的なアプローチで詩編の祈り手たちが思い浮かべるイメージの世界に近づく。図版約550点、写真約30点所収。(2010.3)

C. ヴェスターマン 大串 肇訳

詩編選釈

7255-5 A 5判 428頁 本体4,000円

関根正雄著作集第10, 11巻 [オンデマンド版]

詩篇註解

0308-2 (上) A 5判 350頁 本体4,200円
0309-9 (中) A 5判 470頁 本体5,500円
(下) →p.170

J. ブレンキンソップ 樋口 進訳

旧約預言の歴史

カナン定着からヘレニズム時代まで

7163-X A 5判 392頁 本体5,700円

鈴木佳秀

旧約聖書の女性たち

[新装版]

6443-4 B 6判 388頁 本体2,500円

H. ヴィルトベルガー 大島 力/金井美彦訳

神の王的支配

イザヤ書1-39章

7171-0 A 5判 344頁 本体5,800円

大串 肇

頑な心と新しい心

エレミヤ書の審判と救済の通告における人間論的視座

7368-9 A 5判 328頁 本体4,800円

小河信一

哀歌

成り立ちに関する研究

7209-1 A 5判 166頁 本体2,500円

小河信一

短歌調哀歌

7303-0 A 5判 186頁 本体2,400円

木田献一

神の名と人間の主体

6569-9 四六判 240頁 本体2,500円

「讃美の詩編」「嘆きの詩編」など、ジャンルに分けながら、詩編詩人の信仰世界を鮮やかに浮かび上がらせる。著者の捕虜収容所体験が詩編詩人の遭遇する苦難と共鳴し、心に響く釈義を展開。ヴェスターマンの詩編研究の精華が結晶した作品。(2006.3)

言語学・ヘブライ語学・文献学等、当時の最新の研究成果を取り入れた著者の代表的註解。上巻では緒論に続き第1-41篇まで、中巻は第42-100篇までを扱う。ヘブライ詩文の「行を数える方法」を採用、訳文のみでも味読できるよう工夫した。(2007.1)

イスラエルにおける預言という現象の歴史を、旧約聖書の全時代にわたって通観する。哲学的・神学的仮説を極力排し、政治的・文化的背景や、預言者の伝承との関わりから、預言の歴史的発展をたどる。詳細文献付。(1997.7)

旧約聖書に登場する女性たちはどのような社会的境遇の中で生きていたのか？ その実像に迫りながら、聖書の中に流れる母性原理の展開を跡づけ、メシア思想の核心にまで触れる意欲的論考。付論としてイエスの母マリアにも言及。(2009.11)

イザヤ書はどのように成立したのか？ イザヤはどんな時代に何を語ったのか？ この書物は後代どのように解釈され現在の形になったのか？ イザヤ書研究の大家が第一イザヤの使信と問題を簡潔に解説、その全体像を明らかにする。(1998.3)

エレミヤ書では、審判の通告で人間の「頑な心」が暴かれ、救済の使信で「新しい心」を持った人間の創造が説かれる。「心」という人間論的概念に注目し、エレミヤにおける審判と救済の使信の神学的連関を明らかにする。(2013.4)

旧約聖書の中でも小さな文書「哀歌」。しかし、その中には神の民イスラエルが経験した大惨事とその苦悩の歴史が凝縮されている。私訳と本文の綿密な分析、比較考察をとおして、「哀歌」の成立史に新たな光を投げかける。(2002.5)

特有の韻律に彩られた旧約聖書の「哀歌」。そのヘブライ語原典の全文を、266首の短歌・旋頭歌に和訳した類い稀な試み。聖書翻訳に新たな地平を開く渾身の和訳。聖書本文に加え、序説、原文・音写・私訳・韻律の解説も所収。(2009.10)

聖書における神の名は何を意味するのか。旧約から新約にいたる聖書全体を貫く真理を探究し、現代に生きる我々の直面する課題に迫る。著者積年の聖書研究の到達点を示す論文・エッセイ14編を収録。(2002.4)

大野恵正／大島 力／大住雄一／小友 聡編

果てなき探究 旧約聖書の深みへ

左近 淑記念論文集

7210-5 A 5判 348頁 本体4,500円

我が国有数の旧約学者であり、神学教育者・伝道者としても一級であった左近 淑の没後10周年を機に、ゆかりの旧約学者13人が最新の研究成果を寄稿。左近の残した鋭い知見に応答し、その学問的遺産を継承発展させる。(2002.5)

小友 聡／平岡仁子／江本真理／厚谷欣一編

テレビンの木陰で

旧約聖書の研究と実践

大串元亮教授記念献呈論集

7214-8 A 5判 426頁 本体5,000円

預言者の神学や知恵文学といった旧約聖書のテーマを中心に、説教論や美術、音楽、イスラーム思想などを含む、多彩な研究者による18の論考と、牧会の現場に立つ牧者の説教を7編収録。テレビンの木陰で催される祝賀の饗宴。(2002.12)

左近 淑著作集第2巻

[在庫僅少]

聖書の理解

2602-2 A 5判 482頁 本体8,500円

聖書釈義のスペシャリストであった著者の神学教育者としての働きを凝縮。一般向けの論文・辞典項目・書評を収録した。「五書の成立」「七十人訳聖書」「旧約聖書の本文について」「釈義と説教」他。編集・解説＝大野恵正。(1994.8)

左近 淑著作集別巻

聖句研究

2608-1 A 5判 610頁 本体11,000円

15年にわたり雑誌『形成』に掲載され、その後3冊の単行本にまとめられた「聖句研究」120編余りを1冊に収める。最新の研究成果に基づきつつ、平易で力強い言葉によって現代人へのメッセージが語られる。編集・解説＝大島 力。(1998.6)

関根正雄

関根正雄著作集 別巻

補遺

7231-8 A 5判 632頁 本体8,500円

日本のキリスト教界に大きな足跡を残した関根正雄の魂の鼓動を聴く。主筆誌『預言と福音』(331-366号)『新・預言と福音』(1-64号)の巻頭言、師友に対する追憶や随想、旧約学論文集など、著作集未収録の文章を載録。付著作目録。(2004.4)

土岐健治

七十人訳聖書入門

6986-6 四六判 260頁 本体1,800円

新約聖書における旧約引用の主たる出典となった「七十人訳聖書」。なぜキリスト教はその最初期からこのギリシア語訳旧約聖書を重要視してきたのか？ その成立過程とテキストの特徴を史料と様々な翻訳聖書に基づいて解明する。(2015.6)

M. ヘンゲル 土岐健治／湯川郁子訳

キリスト教聖書としての七十人訳

その前史と正典としての問題

7241-5 A 5判 192頁 本体3,600円

ヘブライ語旧約聖書のギリシア語訳である「七十人訳」は、原始キリスト教会の「聖書」であり、最初期の神学言語の生みの親となった。七十人訳はどのように翻訳され、キリスト教会に受け入れられたのか。その歴史的・神学的真価を明らかにする。(2005.2)

原口尚彰

[オンデマンド版]

新約聖書概説

0346-4 A 5判 190頁 本体2,700円

新約聖書と新約聖書学への全体的展望を得るために、各文書の成立年代・場所、文学的特色、神学的特色、内容の概観、時代史的背景、福音書研究法など――専門分化して難解な新約聖書学を、すぐれた研究者が一貫した視点で分析し、解釈を提供。(2019.7)

原口尚彰

新約聖書釈義入門

7254-7 A 5判 198頁 本体3,000円

新約聖書の釈義に必要な事典・辞典・コンコーダンスの解説から、テキストの読み方、解釈の手順など、初心者向けに解説された手引き。福音書と書簡の実際例を豊富に掲載する。著者の得意とする修辭的解釈なども紹介。(2006.3)

原口尚彰

新約聖書神学概説

7289-7 A 5判 192頁 本体2,500円

G. タイセン 大貫 隆訳

新約聖書

歴史・文学・宗教

6636-9 四六判 294頁 本体2,000円

E. ローゼ 山内一郎ほか訳

新約聖書の倫理

7153-2 A 5判 264頁 本体4,000円

G. D. フィー 永田竹司訳

新約聖書の釈義

本文の読み方から説教まで

7174-5 A 5判 256頁 本体3,500円

W. レベル 筒井賢治訳

新約外典・使徒教父文書概説

7196-6 A 5判 386頁 本体4,500円

松永希久夫

新約聖書における教会形成

6902-6 四六判 314頁 本体2,500円

山田耕太

Q 文書

訳文とテキスト・注解・修辭学的研究

7421-1 A 5判 456頁 本体7,100円

A. -J. レヴァイン／D. C. アリソンJr. ／J. D. クロッサン編 土岐健治／木村和良訳

イエス研究史料集成

7305-4 A 5判 804頁 本体6,800円

J. H. チャールズワース 中野 実訳

これだけは知っておきたい

史的イエス

6698-8 四六判 368頁 本体2,900円

最新の研究成果を踏まえた、新約聖書神学についての基本的入門書。イエスの宣教から原始教会の諸思潮、パウロの神学、福音書記者・書簡著者の神学へと、新約神学の歴史的形成過程を辿ることで新約思想の全体像を明らかにする。(2009.2)

新約聖書はローマ帝国の内部に存在した一つの小さな宗教的サブ・カルチャーの文書を集めたものである。それらの文書の成立と収集に文学史的にアプローチし、新約聖書の成立をトータルに理解しようとする、斬新で画期的な試み。(2003.2) [2]

十字架につけられ、甦らされたキリストへの信仰告白から、今日生きる信仰者の生活と行動に対して、どのような帰結が導き出されるか。現代第一級の聖書学者が新約聖書の多様な証言から問題の核心を明らかにし、指針を示す。(1995.5)

ギリシア語で新約聖書を読むにはどうしたらよいか？ 辞典の使い方は？ 解釈の手続きは？ そこから説教までの手順は？ ステップごとに丁寧に説明した釈義の入門書。牧師・教師・学生のみならず聖書を学ぶすべての人の必携書。(1998.6) [5]

キリスト教のはじまりの時代に、人々は多種多様な宗教的メッセージを生きていた。ナグ・ハマディ文書や使徒教父文書を始め、正典に含まれなかったものの、キリスト教の形成過程の研究に不可欠な一次資料・宗教的基礎文書群の解説。(2001.2)

教会とは何か？ 私たちの教会は今どうなっているか？ 新約聖書に立ち帰って「教会の原点」を確認し、現代に生きる私たちの課題を説き明かす。著者のパッション溢れる講演録。(2007.2) [2]

イエスの言葉資料“Q”とは何か？ 幻のギリシア語本文を復元して日本語との対訳を提示し、注解と修辭学的分析を加えた本邦初の試み。「失われた福音書」を探究することで、イエスの真の言葉と思想の原点に迫る画期的な研究！ (2018.2)

聖書学、ユダヤ学、西洋古典学の分野における国際的に著名な学者たちが、碑文や神話、奇跡物語など、歴史的イエスと福音書を知る上で不可欠の同時代史料を精選し、これに解説を付した史料集。最新の研究成果を反映した必携書！ (2009.11)

イエスはいつ、どこで生まれたのか？ 彼は本当に奇跡を行ったのか？ 本当に死者の中から復活したのか？ 史的イエス研究の方法論から研究史までを、死海写本研究で知られる現代聖書学の第一人者が27の問いで答える最良の入門書。(2012.8) [3]

J. ロロフ 嶺重 淑/A. ルスターホルツ訳

イエス

時代・生涯・思想

6689-6 四六判 190頁 本体1,500円

古代世界の辺境の地に生き、一言も文字を書き残さなかったにもかかわらず、現代に至るまで人々の意識に強烈に刻み込まれているイエス。彼の生きた社会的・宗教的背景からその生涯と思想までを、歴史的・資料的研究から描いた力作！(2011.3) [4]

E. P. サンダース 土岐健治/木村和良訳

イエス

その歴史の実像に迫る

7326-9 A 5判 484頁 本体4,500円

関連資料を可能な限り広く渉猟し、それらを丹念に検証。その結果を基に歴史的イエスの実像をバランスよく再構成した名著。「ユダヤ教 vs. イエス」という従来の方を根底から覆し、革新的なイエス理解を平易な言葉で示す。(2011.6)

土岐健治/村岡崇光

イエスは何語を話したか？

新約時代の言語状況と聖書翻訳についての考察

6110-5 四六判 220頁 本体2,200円

イエスはどんな言葉で、弟子や民衆と語り合ったのか。この素朴な問いに答えを与えるべく、新約時代のパレスチナにおける言語状況を諸資料から掘り起こし考究した記念碑的著作！碩学二人による聖書の深層を探る試み。(2016.4)

川島貞雄

聖書における食物規定

イエスを中心として

7408-2 A 5判 338頁 本体3,500円

食物規定が存在するユダヤ教社会で、イエスはその禁忌とどう対峙したのか？ 文化的背景を踏まえつつ、既存の律法を超えて原始キリスト教世界に波及した、食に関する論争を概観する。宗教と文化を深く知るために貴重な一冊。(2016.12)

H. G. ペールマン 田村宏之訳

イエスとは誰か？

宗教・哲学・文学・神学からの50のイエス像

6642-3 四六判 346頁 本体2,500円

シャガール、ガンディー、ダライ・ラマ、ニーチェ、ユング、ゲーテ、カミュなど、キリスト教以外の諸宗教、哲学、文学、神学の領域から50名にも及ぶ思想家・芸術家のイエス像を紹介し、さまざまな角度からイエスの実像に迫る。(2003.9)

R. ハイリゲンタール 野村美紀子訳

誤解されたイエス

6346-7 B 6判 204頁 本体1,800円

教会の教えるイエス像にあき足らぬ人々は歴史のイエスをめぐって諸説を展開する。真剣な願望のみならず商業主義、教会攻撃によるものも含め、イエス像の歪みの原因・動機を明らかにし、よりよい理解への道を探る。(1998.6)

K. ベルガー 土岐健治監訳

死海写本とイエス

6365-3 B 6判 218頁 本体2,000円

イエス時代の現存する唯一の写本＝死海写本は、本当は何を告げるのか？ 写本をめぐるスキャンダルやイエスについての様々な新説・奇説は本当か？ 写本と新約聖書を対照し、イエス・初期キリスト教・ユダヤ教の真実に迫る。(2000.2) [2]

大貫 隆

イエスの「神の国」のイメージ

ユダヤ主義キリスト教への影響史

6159-4 四六判 366頁 本体4,500円

来るべき「神の国」を告知するイエスの言動を動機づけていた、黙示思想を背景とする“「神の国」のイメージ・ネットワーク”とは一体何なのか？ 史的イエス研究の新たな視座を提示する珠玉の論考集。(2021.10)

D. フルッサー 池田 裕/毛利稔勝訳

ユダヤ人イエス [決定版]

7197-4 A 5判 374頁 本体3,800円

民族の宗教的伝統に連なるイエスはいかなる人物だったか。迫害を逃れイスラエルに移住したユダヤ人である著者は、民族最大のタブー「イエス」と「新約聖書」の研究に取り組む。パレスティナの歴史と風土の中で追い求めたイエスの実像。(2001.5)

ダニエル・ボヤーリン 土岐健治訳

ユダヤ教の福音書

ユダヤ教の枠内のキリストの物語

6710-7 四六判 278頁 本体2,000円

ケネス・E. ペイリー 森泉弘次訳

中東文化の目で見たイエス

7316-0 A 5判 742頁 本体6,200円

ケネス・E. ペイリー 森泉弘次訳

ヤコブと放蕩息子

7264-4 A 5判 330頁 本体3,800円

J. D. クロッサン/M. J. ボーグ 浅野淳博訳

最初のクリスマス

福音書が語るイエス誕生物語

6682-7 四六判 320頁 本体2,400円

J. D. クロッサン/M. J. ボーグ 浅野淳博訳

イエス最後の一週間

マルコ福音書による受難物語

6671-1 四六判 336頁 本体2,500円

G. ヴェルメシュ 浅野淳博訳

イエスの受難

本当は何が起ったのか

6028-3 小B 6判 212頁 本体1,800円

J. M. ロビンソン 戸田 聡訳

ユダの秘密

「裏切り者」とその「福音書」をめぐる真実

6661-2 四六判 394頁 本体2,800円

J. ファン・デル・フリート 戸田 聡訳

解説 ユダの福音書

6666-7 四六判 304頁 本体2,400円

小河 陽

マタイ福音書神学の研究

その歴史批評的考察

7111-7 A 5判 738頁 本体9,500円

ユダヤ教とキリスト教はどこが違うのか？

イエスはユダヤ教の教えを否定していたのか？ 世界的に著名なユダヤ学者が、新約聖書ならびに古代のラビ文献を丹念に読み直し、ユダヤ教とキリスト教に対するこれまでの見方を覆す！ (2013.12)

中東の一角で一生を送ったイエスを西欧人の考え方や見方だけで理解してよいのだろうか？ 中東人の聖書解釈の伝統と生活体験に根ざした全く新しい「福音書」の読み方を展開。ヘンリ・ナウエンにも影響を与えた著者の意欲作！ (2010.7)

イエスは「放蕩息子」で何を語ったか？

これまで知られていなかった中近東の聖書解釈と生活体験に根ざした全く新しい「譬え話」の読み方！ ナウエンにも影響を与えた著者が発掘する「放蕩息子」の革新的な神のイメージ。(2006.9)

皇帝崇拝を強いたローマ帝国支配の中、「救い主」「神の子」「平和の君」として生まれたイエスが持つ意味とは何か？ 史的イエス研究の第一人者二人が、イエス誕生物語に秘められた〈政治的・宗教的〉メッセージを説き起こす。(2009.10)

十字架へと向かう最後の一週間、イエスは何を語り、求め、死んでいったのか？ 彼の死から約40年を経て書かれたマルコ福音書をモティーフに、史的イエス研究の第一人者二人が、受難から復活への物語に秘められたメッセージを説き起こす！ (2008.2)

四福音書間で時間の推移や登場人物、そして描かれる出来事まで異なるイエスの受難物語。歴史の中で本当に起こったことは何か？ ユダヤ人聖書学者であり、死海文書研究の第一人者として知られる著者が、〈歴史の真実〉に迫る！ (2010.3)

「ユダの福音書」とは何か？ センセーショナルな公表の裏には何があったのか？ 弟子ユダの真の姿とは？ 幻の福音書に封印された秘密の真相を、ナグ・ハマディ写本研究の泰斗が語る。今明かされる「裏切り者」の正体。(2007.2)

2006年春に公表された『ユダの福音書』は、紀元2世紀に遡る文書と推定されている。この福音書には何が書かれているのか？ 正典福音書とどのような関係があるのか？ 背景にあるグノーシスとは何か？ 綿密な翻訳と解説。(2007.6)

マタイ福音書の構成、各記事の配列順序は編集者マタイのいかなる神学的主張を反映するのか。救済史や終末論の時間的流れの中にイエスの出来事をどう位置づけるのか。福音書執筆の背景となったマタイの教会の状況は？ (1984.1)

嶺重 淑

ルカ神学の探究

7341-2 A 5判 248頁 本体3,500円

R. カイザー 前川 裕訳

ヨハネ福音書入門

その象徴と孤高の思想

6462-5 B 6判 344頁 本体3,900円

朴 憲郁

[増補改訂版]

パウロの生涯と神学

7451-8 A 5判 284頁 本体2,500円

G. タイセン 日本新約学会編訳

イエスとパウロ

キリスト教の土台と建築家

6694-0 四六判 288頁 本体2,200円

E. P. サンダース 土岐健治／太田修司訳

パウロ

6381-9 B 6判 298頁 本体2,000円

J. D. G. ダン 浅野淳博訳

使徒パウロの神学

7431-0 A 5判 976頁 本体6,300円

G. タイセン 渡辺康麿訳

パウロ神学の心理学的側面

7132-X A 5判 608頁 本体7,573円

M. ディベリウス

H. コンツェルマン改訂増補 山口雅弘訳

牧会書簡注解

第1・第2テモテ書、テトス書

7454-9 A 5判 392頁 本体5,000円

佐藤 研編

聖書の思想とその展開

荒井 献先生還暦・退職記念献呈論文集

7135-4 A 5判 464頁 本体7,282円

新約聖書の中で最も文学性・物語性豊かなルカ文書。その中心的使信を、編集史的研究によって浮かび上がらせる意欲的な試み。書き下ろしの誕生物語注解をはじめ、ルカの愛の理解など、ルカ神学の諸相を明らかにする論文の集成。(2012.3)

詩的な響きをもって「イエスとは誰か」が語られ、共観福音書とは異なる存在感を放つヨハネ福音書。基礎的知識から現代的解釈まで幅広くカバーし、その独自性を明らかにする。長年のヨハネ研究に加え、説教学も講じてきた著者の初邦訳書。(2018.8)

異邦人への使徒として召されたパウロは、ユダヤ教神学を変革し、キリスト教の最初の神学者となる。初期キリスト教の生みの苦しみ、激動の時代を生きたパウロの劇的な生涯と、パウロ神学の形成過程を丹念に描く。(2021.4)

キリスト教の土台であるイエスの上に建築家として建てていくパウロ。二人はどのような関係にあったのか？ 聖書学および現代のキリスト教神学における根本問題を心理学や社会学の側面からも検討し、新しい視点と見解を示す。(2012.6)

新約聖書書簡の半分以上を著わし、キリスト教神学の基礎を築いた使徒パウロはどのような人物だったのか。その生涯と神学を簡潔に描く。「信仰義認」の新しい解釈を提示するなど、初期ユダヤ研究の碩学による大胆かつ新鮮なパウロ論。(2002.4) [2]

「パウロに関する新たな視点」(NPP)の提唱者であり、英国が誇る新約学の世界的権威である著者が、パウロのローマ理解、キリスト(へ)のピステイス、終末的緊張と教会の在り方などの問題に独自のバランス感覚で挑む。(2019.3)

原始キリスト教会の宗教的体験と行動にとつて、パウロは現実のモデルであった。教会はパウロのモデル行動を通して、キリストという象徴モデルを理解した。著者は心理学の方法を用いてパウロの行動と体験を記述する。(1990.11)

異端との論争や教会の職制、礼拝における女性の振る舞い、寡婦に関する規律、キリスト者の家庭訓など、草創期の教会の姿を知る上で不可欠な牧会書簡。様式史・編集史研究の双壁によって生まれた古典的名著の待望の翻訳！(2021.9)

マルコと民衆、ルカとイエスのたとえ、福音書の奇跡物語、イエスとパウロ、ヤコブの手紙、オリゲネスの歴史観、マニ教におけるイエスなど、原始キリスト教史上問題となっている今日的課題が論じられる。業績目録つき。(1991.9)

【聖書の研究シリーズ】

5/10 R. ゴルディス 船水衛司訳

神と人間の書

ヨブ記の研究 [(上) 在庫僅少]
8005-1 (上) B 6判 364頁 本体1,800円
8010-8 (下) B 6判 340頁 本体1,800円

現代ユダヤ教の碩学である著者によれば、「ヨブの謎」こそ旧約聖書の中心テーマである。それは正しい神によって支配される世界における悪の謎である。この人類最高の文学的傑作の謎をヒブリスの伝統により見事に解明する。(1977.4 [7] / 1979.3 [4])

6 J. ボウカー 土岐正策 / 土岐健治訳

イエスとパリサイ派

8006-X B 6判 366頁 本体2,000円

新約聖書の中にしばしばあらわれて、常にイエスと対立した立場におかれていたパリサイ派と称せられる一群の人たちが、はたして実在したかという疑いから出発し、様々な資料文献を提供しながらすすめられる優れた研究！ (1977.7)

7 小河 陽 [在庫僅少]

イエスの言葉

その編集史的考察

8007-8 B 6判 284頁 本体1,800円

そもそも「歴史的事実」とは何か？ 信仰や神学は、それにどのように依拠すべきなのか？ — 歴史的・批判的な聖書の研究が到達した地点を明らかにしつつ、それらの有効性と問題点を体系的に概観する！ (1978.5)

18 D. N. フリードマンほか 塩野靖男訳

聖書考古学入門 2

8018-3 B 6判 222頁 本体2,200円

古代近東の奴隷制 (メンデルゾーン) / 古代オリエント法と聖書法 (メンデンホール) / バビロニア年代記 (フリードマン) / ケルビムとは何か (オールブライト) / シナイのマナ (ボーデンハイマー) / イスラエルの楽器 (セラーズ) 他。(1982.5)

21 R. E. クレメンツ 船水衛司訳 [在庫僅少]

神の選民

申命記の神学的解釈

8021-3 B 6判 154頁 本体1,300円

申命記は説教である。それは、イスラエルの王から子供に至る全国民に、彼らの宗教が何であり、なぜ一定の儀式を必要とするのかを示すことによってその信仰を知的・実践的に強化し、純化することを目的としていた。(1984.1)

22 J. A. サンダース 佐藤陽二訳 [在庫僅少]

正典としての旧約聖書

8022-1 B 6判 208頁 本体1,700円

旧約聖書はいくつかの古い伝承が資料として組み合わされている。これらの伝承がイスラエルの人々のどのような体験から生まれ、どうして伝えられ、どのように組み合わせられたかを、本文批評と聖書神学に基づいて解明する。(1984.7)

23 H. ボアズ 高橋敬基訳

新約聖書神学とは何か

批評学の興隆と新約聖書の神学の問題

8023-X B 6判 174頁 本体1,800円

聖書批評学が興隆して、歴史的 = 宗教的文獻としての聖書の性格は明白になったが、他方、今日の教会と教会生活との規範としての聖書の性格が新しい問題となった。この二重の問いに挟まれて苦闘する新約聖書学の使命は？ (1985.4)

24 N. ピーターセン 宇都宮秀和訳

新約学と文学批評

8024-8 B 6判 176頁 本体1,600円

長い間、聖書の学問的研究は歴史 = 批評的方法が支配的だったが、近年になってそれとは全く異なる発想に立つ文学批評的方法が注目を浴びてきた。聖書テキストの説話としての姿・詩的機能・文学的手法をさぐる。(1986.7)

25 D. ロバートソン 荒井章三訳
[在庫僅少]

文学としての聖書

8025-6 B 6判 206頁 本体1,800円

聖書を物語や詩と同じ想像的文学作品とみなし、批評の対象とする本書は、出エジプト記とギリシア悲劇、詩篇とシェリーの抒情詩、預言者と詩人の比較などを通して、聖書の文学的な性格とその意味に多面的な光を当てる。(1986.11)

27 R. レントルフ 山我哲雄訳

モーセ五書の伝承史的問題

8027-2 B 6判 350頁 本体2,500円

モーセ五書をJEDPに分割する文書資料説は、ヴェルハウゼン以来旧約聖書学の不動の前提とみなされてきた。しかし著者は、伝承形成の全く新しい可能性を提示して、文書資料説が成り立ちえないことを明らかにする。(1987.5)

28 W. E. ラスト 樋口 進訳

旧約聖書と伝承史

8028-0 B 6判 160頁 本体1,500円

旧約聖書の成立過程を研究するために様々な方法が試みられてきた。文献批判、様式批判に続いて今日主流を占めているのは伝承批判である。本書は旧約聖書伝承史の諸問題と研究史を平易に具体例をあげて紹介・解説する。(1987.11)

29 H. Y. ギャンブル 宇都宮秀和訳

新約聖書正典

その生成と意味

8029-9 B 6判 192頁 本体1,800円

新約聖書の諸文書が正典として確立するまでの歴史的過程、またさまざまな要因を簡潔に叙述し、正典としての新約聖書がもつ解釈学的意味を、今日の議論の状況の中で明らかにする。原始教会史の一断面と現代教会の課題！(1988.9)

30 G. M. タッカー 飯 謙訳

旧約聖書と様式史

8030-2 B 6判 182頁 本体1,800円

旧約テキストの構造や類型を検討し、その意味や意図、さらには古代イスラエルにおける生活の座を理解して、現在の旧約テキストと古代イスラエルの生きた民衆や制度を関係づける様式史研究を、実例をあげながら学ぶ。(1988.10)

33 K. コッホ 荒井章三／木幡藤子訳
[在庫僅少]

預言者 I

8033-7 B 6判 340頁 本体2,427円

預言者の徹底した社会批判と祭儀批判は、人類史上初めてのものであった。彼らの神は、歴史を超えながら歴史に意味を与え、よりよい倫理的未來を求め、生の根源力としての神であった。預言者の語った使信の核心に迫る。(1990.4)

35 W. D. デーヴィス 松永希久夫ほか訳
[在庫僅少]

イエスの山上の説教

8035-3 B 6判 272頁 本体2,913円

新約学者、古代ユダヤ教文献学者として著名な著書が、ユダヤ教の伝統とヘレニズムの流れが合流した新約時代史の中に「山上の説教」を位置づけ、マタイ福音書の中に置かれるまでの歴史を辿りつつ、イエスの教説に迫る。(1991.7)

36 W. D. デーヴィス 平野 保訳

ユダヤ教の国土観

8036-1 B 6判 260頁 本体2,427円

ユダヤ人はなぜパレスチナに固執するのか？ ユダヤ教信仰にとってパレスチナの国土とはなにか？ 信仰の中心に位置を占めるのか？ 周辺的か？ ユダヤ教に造詣の深い新約学者が、聖書時代から現代までの問題史を追跡する。(1992.1)

37 J. バー 宇都宮秀和訳

聖なる書物

8037-X B 6判 300頁 本体2,427円

聖書時代には、今日の「聖書」はなく、「聖書正典」の成立後、聖書の正典性、聖書の權威の問題が問われるようになった。聖書の解釈をめぐる、多元的な今日の状況に深い洞察と鋭い分析をもって迫る、欧米で話題の挑戦の書。(1992.1)

38 J. ニューズナー 長窪専三訳

[在庫僅少]

イエス時代のユダヤ教

8038-8 B 6判 208頁 本体2,000円

イエス時代のユダヤ人の生活はどのように営まれていたか。祭司・律法学者・パリサイ派・サドカイ派などはどんな人たちで、どんな思想の持ち主か。新約聖書を理解する上で不可欠の、同時代のユダヤ教の信仰と生活を紹介。(19926) [2]

42 J. ニューズナー 長窪専三訳

ミドラシュとは何か

8042-6 B 6判 250頁 本体2,200円

ユダヤ教の聖書解釈であるミドラシュについて、現代ユダヤ教を代表する著者が、その定義をこころみ、実際の文書に即しながら、ユダヤ教の聖書の解釈方法を明らかにする。聖書の解釈に関心を持つすべての人に必読！(1994.10)

43 L. W. カントリーマン 宇都宮秀和訳

ヨハネ福音書の神秘主義

8043-4 B 6判 262頁 本体3,000円

第2世紀すでにアレクサンドリアのクレメンスによって「霊的」福音書といわれていたヨハネ福音書。著者は「イエス・キリストの人格との神秘的合一」をめざして、これを文学的全体として、新しく読む方法を提供する。(1994.11)

44 R. R. ウイルソン 荒井章三訳

旧約聖書と社会学

8044-2 B 6判 152頁 本体1,700円

聖書記者の世界観や文学的約束事は、時代の刻印を押されている。本書は社会科学的の研究によって、旧約聖書の社会と現代社会との時間的・文化的・空間的なコミュニケーションギャップを越えようとする試みである。(1994.11)

45 橋本滋男

イエスとマタイ福音書

8045-0 B 6判 222頁 本体2,500円

マタイ福音書を中心に、共観福音書・写本類の記述によって、イエスの行為を厳密に検討。福音書記者たちのイエス理解を探り、イエスの実像を追う。イエスの到来・イエスの治癒活動・異邦人・知恵キリスト論・Q・復活。(1994.12)

46 U. ルツ 原口尚彰訳 [在庫僅少]

マタイの神学

イエス物語としてのマタイ福音書

8046-9 B 6判 264頁 本体3,100円

マタイはどのような意図をもって、彼のイエス物語＝マタイ福音書を編集したのか？マタイの教会の特色、ユダヤ教団や律法との緊張関係、異邦人伝道のあり方を背景に形づくられた「マタイの神学」を読み解く。(1996.8)

47 加山久夫

ルカの神学と表現

8047-7 B 6判 256頁 本体2,700円

共観福音書の中で最も物語性豊かなルカの文学表現の方法に着目しつつ、ルカ＝使徒言行録を一貫した作品として統合的に考究。ルカの文学的性格と神学的主張の特色をとらえつつ、時代背景を明快に呈示する論文集。(1997.2)

48 E. シュヴァイツァー

山内一郎監修 辻学訳

イエス・神の譬え

イエスの生涯について実際に何を知っているのか

8048-5 B 6判 232頁 本体2,700円

J. クロツサンやG. リューデマンら新しい「史的イエス」研究に対抗。啓示としてのイエス像を「神の譬え」として追究する。現代の学問的な方法から発見し検証できるイエスと、神の言葉と働きであるキリストの統合を試みる。(1997.6)

49 M. J. ボーグ 小河 陽監訳

イエス・ルネサンス

現代アメリカのイエス研究

8049-3 B 6判 400頁 本体4,200円

イエス・セミナーの多色刷り「五福音書」など北アメリカの新しい「史的イエス研究」の試みを概説。サンダース、バートン・マック、フィオレンツァ、ホースレイ、クロツサン、ボーグ自身のイエス像を呈示。新しい福音伝道を模索。(1997.8)

50 原口尚彰

パウロの宣教

8050-7 B 6判 262頁 本体2,700円

パウロが口頭で行なった伝道説教に着目。初期パウロの宣教の特色を追求する13論文を収録。パウロの時代の社会的・経済的諸条件をキリスト教外の諸史料にもあたってたんねんに探求。歴史の実像に迫る気鋭の論文集。(1998.3)

51 土戸 清

初期キリスト教とユダヤ教

ヨハネ福音書研究の諸問題

8051-5 B 6判 192頁 本体2,200円

初期のキリスト教徒はユダヤ人共同体の中でどのような存在であったか。ユダヤ教との分離・対立の過程をヨハネ文書の研究成果をもとに跡づける。ヨハネ福音書におけるキリスト論などヨハネの諸問題についての論文も収録。(1998.3)

52 R. N. ワイブレイ 山我哲雄訳

モーセ五書入門

8052-3 B 6判 282頁 本体3,000円

モーセ五書の中心的な内容と思想的特色を平易に概説し、批判的研究の歴史と現状を概観。混乱している現在の研究状況を批判し、従来の研究を覆す画期的な自説を展開する。日本にもなじみ深い旧約聖書学の大家の名著。(1998.5)

53 E. トロクメ 加藤 隆訳

受難物語の起源

8053-1 B 6判 204頁 本体2,500円

イエス最後の3日間について四福音書はその悲劇的事件を「受難物語」として伝える。著者はこの物語が、いつ、どこで、なぜ、どのような目的で作られたかを解明する。詳細な分析を行いつつ、最古の物語を構成してゆく。(1998.7)

54 O. クルマン 川村輝典訳

新約聖書における祈り

8054-X B 6判 348頁 本体3,000円

アウシュヴィッツ以後、人はなお祈ることができるのか？ 人が神に祈ることは不可能ではないのか？ 新約聖書にもすでにその難しさが語られている〈祈り〉にまつわる諸問題について、新約諸文書を網羅して考究する。(1999.2)

56 P. シュトゥールマツハー 原口尚彰訳

聖書神学をどう行うのか？

聖書神学の構想と実行

8056-6 B 6判 140頁 本体1,900円

「聖書神学」という問題提起をコンパクトにまとめた講義録。聖書を聖書によって読み、旧・新約聖書の統一性を主張し、聖書学の一体性を取り戻す〈聖書神学〉の提唱。聖書が教会に対して持つ規範的意義の強調。(1999.5)

57 D. ツェラー 今井誠二訳

Q資料注解

8057-4 B 6判 212頁 本体2,600円

イエスの語録資料Qとは何かをわかりやすく解説。さらに共観福音書の中のQ資料を相互に対照し検討することによって、イエス伝承がどのように編集されていったかを探る。地上のイエスの元来の意図を追求。(2000.4)

58 B. W. アンダーソン 高柳富夫訳

新しい創造の神学

創造信仰の再発見

8058-2 B 6判 408頁 本体3,500円

創造の神はどのような世界創造をめざしたのか。天地創造、洪水神話、ノア契約、バベルの塔など関連テキストを検討。生態系の危機に直面する現代に創造物語の新しい神学的解釈を提供する。(2001.10)

59 M. ヘンゲル 土岐健治訳

イエスとパウロの間

8059-0 B 6判 444頁 本体3,800円

イエスの復活後からパウロの世界規模の宣教までの間に原始教会の内部で生じていた重要な出来事を、歴史的・文献学的方法によって探求し、キリスト教が瞬間に世界的宗教へと発展することを可能にした要因を探る。(2005.8)

60 G. フォン・ラート 山吉智久訳

古代イスラエルにおける聖戦

8060-4 B 6判 194頁 本体1,800円

旧約聖書に描かれた戦争は、いかなる戦争であり、どのように遂行され、また理論的変化を蒙ったのか。1951年の発表以来、旧約聖書の「聖戦」に関する研究の中で、最も基礎的な文献に数えられてきた名著。訳者による、その後の研究史を付加。(2006.4)

61 M. ヘンゲル 川島貞雄／早川良躬訳

贖罪

新約聖書におけるその教えの起源

8061-2 B 6判 208頁 本体2,500円

イエスの十字架の死を代理的贖罪とする教会の宣教と、古代のギリシア・ローマおよびユダヤ教の贖罪概念はどう違うのか？ 新約聖書における贖罪の起源とその独自性を明らかにする歴史的・批判的研究。(2006.8)

62 P. ミュラー 大貫隆訳

「この男は何者なのか」

マルコ福音書のイエス

8062-5 B 6判 320頁 本体2,800円

「イエスとは何者なのか」。マルコ福音書のなかで重要な節目ごとに繰り返されるこの問いと、そのつど与えられる答えをめぐる、福音書記者は物語を先に進め、読者自身に解答を求める。マルコ福音書の文学的分析と神学的解釈。(2007.12)

63 K. コッホ 荒井章三訳

預言者 II

8063-2 B 6判 384頁 本体2,700円

旧約聖書にその言葉を文書として残している預言者について歴史的・総合的に考察し、その思想を明らかにする。現代の預言者研究において不可欠な基本文獻！ 第II巻ではエレミヤ、エゼキエル、第二・第三イザヤらを取り上げる。(2009.12)

64 M. ヘンゲル 川島貞雄訳

ペトロ

8064-9 B 6判 316頁 本体2,600円

思慮に乏しく、しばしば誘惑に負け、失敗を重ねる人物として描かれるペトロ。一方、彼は原始教団内では有能な神学者、説教者、指導者として活躍していた。新約聖書諸文書と2～3世紀の諸資料を駆使してペトロの重要性を解明。(2010.1)

65 R. アルベルツ 高橋優子訳

ヨシヤの改革

8065-6 B 6判 186頁 本体2,100円

ヨシヤ王による改革は歴史的事実だったのか？ 改革のきっかけとされる「発見された律法の書」は申命記と関連があるのか？ 未だに謎の多い「ヨシヤの改革」の実態について「ヨシヤ時代」研究の第一人者が説き明かした基本文獻！ (2010.11)

66 吉田 新

バプテスマのヨハネ

8066-3 B 6判 224頁 本体2,800円

イエスやクムラン宗団などとの共通点と相違点を明らかにし、イエスにバプテスマを授け、その宣教活動に決定的な影響を及ぼしたバプテスマのヨハネの実像に迫る。洗礼者ヨハネについて日本語で書かれた初めての論考！ (2012.11)

聖書入門・聖書講解

S. ヘルマン／W. クライバー

泉 治典／山本尚子訳

聖書ガイドブック

聖書全巻の成立と内容

6625-3 四六判 270頁 本体2,000円

旧約聖書、旧約外典、新約聖書の77巻について、内容と成立を概観する。多様な聖書諸文書の記事のなかで聖書の真理を読みとる方法など、ドイツ聖書学の碩学がていねいに解説。コンパクトで携帯にも便利。(2000.9) [2]

S. ヘルマン／W. クライバー 樋口 進訳

よくわかるイスラエル史

アブラハムからバル・コクバまで

6635-0 四六判 216頁 本体1,600円

池田 裕=文 横山 匡=写真

聖書の国の日常生活

1. 魚 アダムの青春と魚

4050-5 A 4変型判 72頁 本体2,000円

池田 裕=文 横山 匡=写真 [在庫僅少]

海はワイン色

聖書の国の日常生活 2. ワイン

4051-3 A 4変型判 72頁 本体2,000円

池田 裕=文 横山 匡=写真

遙かなるパン

聖書の国の日常生活 3. パン

4052-1 A 4変型判 72頁 本体2,000円

月本昭男

旧約聖書に見る ユーモアとアイロニー

6452-6 B 6判 152頁 本体1,600円

小友 聡

旧約聖書と教会

今、旧約聖書を読み解く

6158-7 四六判 208頁 本体2,000円

小河 信一

聖書の時を生きる

ヘブライ人の時間感覚

6344-0 B 6判 216頁 本体2,000円

喜田川 信 [在庫僅少]

説教による旧約思想入門

1305-2 B 6判 266頁 本体1,942円

黒木安信

創世記に聞く

初めと終わりを生かす神

6317-8 B 6判 190頁 本体1,800円

キリスト教の初期を含むイスラエルの歴史全体を、聖書の記述に沿って、簡潔かつ網羅的におさえた。聖書学の最新の成果による記述に加え、年表や地図を多用して基本的な知識を提供。ハンディかつ密度の濃い一冊。(2003.2) [2]

イスラエル生活12年、ヘブライ大学で博士号をとった著者が、その生活体験から語る、聖書に描かれる魚と人間の生き生きとした生活のなかでの触れ合い。「五つのパンと二つの魚」「ヨナの巨大な魚」「復活のイエスの食べた魚」。(1993.10)

「エーゲ海はワイン色……」という『チツプス先生さようなら』の一節から始まり、地中海世界とワインとのかかわりから聖書の世界へと誘う楽しいエッセイ。著者の体験と深い学殖が軽妙な文体と一つになって展開される好読物。(1994.9)

遙か古代から現代まで人びとの生命を養い、日常生活を支えてきたパン。聖書の国に生きる人びととの出会いと、パンにまつわるエピソードをおりまぜながら、〈食文化〉の意味と人間の生き方まで考えさせる楽しい読み物！ (1996.9)

旧約聖書学・古代オリエント学の碩学ならではの、多角的な聖書の学びを味わえる講演集。若者向けの「善き羊飼ひ」の講話、一般向けの詩篇講解、現代聖書学研究の手法を見事に示す原初史や贖罪についての講演など、5本を収録。(2014.1)

試練と摂理、神の時、反応報主義……イスラエルの危機的時代に生まれた思想に、現代世界を生きる知恵を探る。また、教会の礼拝や聖餐などの旧約的ルーツを辿り、教会が旧約の伝統を受け継いで歩む意義を解き明かす、11の論考。(2021.10)

「一日は夕方から始まり、夕方に終わる」。旧・新約聖書の時代から現代までを貫くこの特別な「時」を、聖書の世界と現代の生の中に探る。パレスティナの風、薄闇、太陽、アーモンドの花、雌鹿の鳴き声……の奏でる「時」を味わい深く描く。(1998.5)

紀元前2000年頃、カナンに定住したアブラハム一族が信じた創造主は、人間の一生と世界の歴史を導く神であった。出エジプト、バビロン捕囚を経て、イザヤ、エレミヤ、ヨブ、詩篇に触れ、新約に導かれる信仰を語る説教集。(1991.4) [2]

天地創造、エデンの園、カインとアベル、ノアの洪水、バベルの塔など世界と人類の原初史、そしてアブラハム、イサク、ヤコブらの歴史物語に一貫して流れる創造の神の導きと語りかけ。一切の根源に神の働きを信じる霊的講解。(1995.5) [4]

及川 信

天地創造物語

説教と黙想

6981-1 四六判 294頁 本体1,800円

「初めに、神は天地を創造された」で始まる天地創造物語の著者は、書いたことを文字通り信じていたのか。書かれた時代の歴史的背景をひも解きながら、「天地創造」に秘められた問いと願いを解き明かす説教集。(2014.5)

及川 信

アダムとエバ物語

説教と黙想

6947-7 四六判 304頁 本体1,800円

神に祝福され生かされていたアダムとエバが、神に逆らい、自らの欲望と罪の世界に歩み出した時、彼らの子孫はどのような道を歩んだのか。人間の欲望が招いた結末と神の呼びかけを、現代に生きる私たちに改めて問う説教集。(2012.2)

及川 信

ノアとバベル物語

説教と黙想

6948-4 四六判 306頁 本体1,800円

洪水やバベルの塔の物語は、現代を生きる私たちに何を語りかけているのか。原始から変わらない人間の傲慢と飽くなき欲望、そこに関わる神の裁きと救いの意味を問う説教集。(2012.2)

及川 信

アブラハム物語

説教と黙想

6933-0 (上) 四六判 272頁 本体1,800円
6934-7 (下) 四六判 300頁 本体1,800円

神を信じながらも、妻の不妊と流転の重荷から時に背き、疑いつつ生きるアブラハム。その彼が神と出会い、その命令に従い、約束を信じて「信仰の父」とされた！ その命令と約束に込められた揺るぎない神の愛を説く説教集。(2011.2)

内坂 晃

[オンデマンド版]

講解説教 ヨブ記

0314-3 A 5判 442頁 本体5,800円

「信仰」とは何か。ゆえなき苦しみの中で、あくまで「生ける神」に問いかけ、神と対決したヨブと、賞罰応報の教義にこだわり、ヨブを裁いた友人たちとの対話を通し「信仰」のあり方を問い直す。渾身のヨブ記全講解。(2009.2)

佐々木勝彦

理由もなく

ヨブ記を問う

6944-6 四六判 328頁 本体1,900円

突然襲いかかる自然災害、病魔、事故。ゆえなき苦しみを味わうとき、人は「人生に意味や正義はあるのか」と問う。不条理な苦難の意味を神に問い続けたヨブの伝統的解釈に加え、神学や心理学など多角的な面からその魅力に迫る。(2011.6)

北森嘉蔵

詩篇講話

6398-7 (上) B 6判 226頁 品切
6399-4 (下) B 6判 224頁 本体1,800円

「詩篇を読んで驚いたのは、わたしに先立って苦しんだ人間がいてくれたという実感です」。人生の同伴者としての詩篇を、具体的に詩句をひとつひとつ取り上げながら説き明かし、その美しさ、深さ、広さを語る。(2004.5) [3]／[3]

佐々木勝彦

[在庫僅少]

まだひと言も語らぬ先に

詩編の世界

6912-5 四六判 210頁 本体1,800円

キリスト教の歴史において長く愛され、親しまれ、歌われてきた詩編。しかし、この詩編をどう読んだら良いのか、戸惑う人は多い。詩編作者であるダビデの物語と古今の解釈を踏まえ、詩編の読み方、味わい方をわかりやすく手引きする入門書。(2009.1)

大串元亮

[オンデマンド版]

安らぎへの招き

詩篇講解説教

0307-3 B 6判 326頁 本体3,400円

旧約聖書の中でも最も親しまれている詩篇。そこからは信仰者の悩み、嘆き、喜び、賛美の声が数千年の時を越えて伝わってくる。詩篇と共に今日の激動する時代を歩んできた牧師と教会の対話の記録としての説教集。(2004.12)

黒木安信

詩編に聞くⅠ

新しい歌を主に

6449-6 B 6判 252頁 本体1,800円

詩編は「慰めと希望の書」である。私たちはそのどこかに自分の祈りを見だし、折々の悲しみや喜びに出会うことができる。本書は詩編1～50編を一編ずつひもとくことで、詩人たちの心に触れ、神への新しい賛美へと読者を導く。(2011.10)

黒木安信

詩編に聞くⅡ

嘆きの谷を通るときも

6450-2 B 6判 232頁 本体1,700円

詩編の賛美には「喜びの歌」よりも「悲しみの歌」が多く見られる。苦悩と呻きが歌われた詩編に出会うときにも、私たちは詩人の祈りの中に、慰めと希望を見いだす。本書では詩編51～100編を一編ずつ読み深めていく。(2012.12)

黒木安信

詩編に聞くⅢ

恵み深い主に感謝せよ

6451-9 B 6判 304頁 本体2,000円

詩人たちが繰り返し歌う、神の慈しみへの感謝は、時代を超えて今日もこだまし続け、私たちを賛美へと招いている。本書では詩編101～150編を味読し、神の救いの絶対的な確信と、「ハレルヤ」との高らかな賛美を共にする。(2014.4)

高橋三郎

[オンデマンド版]

ダビデの歌

詩篇第一篇～第四一篇講義

0304-9 A 5判 402頁 本体4,800円

青年時代からの詩篇との語らいをつ通じて、詩篇詩人の魂を内側から理解し、神への信仰のリアリティーに迫る。神への賛美、悔い改め、依り頼みの歌の数々が、新約の歌として受容され、奏でられる。(2004.12)

高橋三郎／月本昭男

エロヒム歌集

詩篇第四二篇～第七二篇講義

7267-5 A 5判 352頁 本体3,500円

詩篇に魂を注ぎつづける聖書研究者と、旧約学の第一人者による詩篇講義。神の慈しみと真実（まこと）、悔い改めと信頼、讚美と感謝、旧約詩人の生きた信仰が、いま、豊かによみがえる！ 第1篇から第41篇を収めた『ダビデの歌』の続編。(2008.11)

大串元亮

新しいものはあるか

コヘレトの言葉講解説教

6022-0 小B 6判 168頁 本体1,500円

「伝道の書」こと「コヘレトの言葉」を取り上げた、他に類書のない講解説教集。私訳テキストを用いて、コヘレトのメッセージを詩編やイエスの言葉と絡ませながら、現代を生きる希望と力をそこから発見する。(2004.12)

佐々木勝彦

愛は死のように強く

雅歌の宇宙

6930-9 四六判 256頁 本体1,800円

男女の愛を歌う『雅歌』がなぜ聖書に収められているのか？『雅歌』の伝統的解釈を味わいつつ、新約聖書に描かれるパウロの「愛」の思想を紹介。『雅歌』を主題に壮大なスケールで描くキリスト教の「愛」についての入門書。(2010.9)

A. アリ／C. シンガー

木崎さと子監修 原田葉子訳

イエスと出会う

福音書を読む

7904-9 B 5変型判 248頁 本体2,500円

福音書はイエスをどのように描いているのか？ 今日生きる私たちにとってイエスはどうのような方なのか？ 中学生から大人まで、聖書を通してイエスに出会う道を辿る格好の案内書。イラスト満載、全頁4色カラー。(1997.4) [5]

レオナルド・ボフ 山田経三訳 [在庫僅少]

主の祈り

6274-6 B 6判 288頁 本体3,107円

人権が極度に抑圧され、貧しく飢えた人々が溢れるブラジルの地で、イエス・キリストの「主の祈り」が真に力ある祈りとなることを求めて、神の国の視点から、抑圧された人間解放の可能性を追求する、画期的な注解書。(1991.8) [2]

及川 信

イエスの降誕物語

クリスマス説教集

6119-8 四六判 280頁 本体2,100円

福音書が「民全体の大きな喜び」と告げるイエスの誕生は、マリアやヨセフに、また当時のユダヤ社会で本当に喜びとして迎えられたのか。誕生にまつわるエピソードを深く掘り下げ、クリスマスを祝う意味を真摯に問う説教集。(2016.9)

北森嘉蔵 [(上) 在庫僅少]

マタイ福音書講話

6437-3 (上) B 6判 248頁 本体2,000円
6438-0 (下) B 6判 226頁 本体1,900円

旧約聖書との関係を辿り、長い系図によって始まるマタイ福音書。この福音書を貫くインマヌエル——神われらと共にいます——の約束を、日本人の感性と言葉で説き明かす。上巻は第1章から第11章、下巻は第12章から第28章。(2009.2)

高橋三郎 [(下) 在庫僅少]

マタイ福音書講義

1706-6 (上) A 5判 474頁 本体5,000円
1707-4 (中) A 5判 330頁 本体4,000円
1708-2 (下) A 5判 376頁 本体4,200円

神の子が人の子として地上に歩んだという重大な事実を証言することが、この福音書の意図である。しかもこれは神を絶対的超越者と信じ、人間世界から隔絶した存在として仰いできたユダヤ人にとっては受け入れがたかった……。 (1990.3 [2] / 93.6 / 93.9)

熊澤義宣

マタイによる福音書講解説教

6585-0 (I) 四六判 578頁 本体4,500円
6586-9 (II) 四六判 576頁 本体4,200円

東京神学大学教授・学長を務めながら、数度にわたり病臥に伏した著者が、晩年井草教会で語った講解。神学者としての学識が、障害者や心身を病む人々へのキリスト教のメッセージを追求する経験と相俟って心に深い感動を与える言葉に結晶。(2006.1 / 2)

北森嘉蔵

マルコ福音書講話

6445-8 B 6判 284頁 本体2,100円

イエスの人格とは神の痛みそのものであるにもかかわらず、彼の教説は神の痛みよりもむしろ神の愛に優位が置かれているのはなぜであろうか? 『神の痛みの神学』の著者が、十字架と復活に基礎づけられた神の痛みと愛を説き明かす。(2011.4)

大宮 博

神の国の福音

マルコ福音書講解説教 上

6962-0 四六判 258頁 本体2,000円

生けるキリストの証言を聞く喜び! 伝統や周囲に束縛されない自由さ、従わずにはおられない威厳を人々に感じさせるイエスの教えと行い。それらが指し示す新しい生き方への招きを、今に生きる私たちに語った29編のメッセージ。(2012.9)

大宮 博

十字架と復活への道

マルコ福音書講解説教 下

6963-7 四六判 244頁 本体1,900円

イエスが捕らえられた時に彼を見捨てた弟子たち。臆病な彼らは、なぜ福音を大胆に語る者へと変わっていったのか? 人々に新しい生き方へ踏み出す勇気を与える、イエスの死と復活の今日的な意義を語った29編のメッセージ。(2013.4)

榊原康夫 [オンデマンド版]

ルカ福音書講解1〜6

0339-6〜0344-0 四六判 平均450頁 本体4,100〜5,000円

聖書のひとつひとつの言葉に対する明快な説明、福音書の歴史的背景についての丁寧な解説、福音書が語るメッセージの正確で確信に満ちた伝達。聖書に対する深い信頼から生まれた卓越した講解説教。(2019.1)

大嶋重徳

クリスマスの約束

ルカ福音書による37の黙想

6144-0 四六変型判 128頁 本体1,000円

マリアとヨセフ、ザカリアとエリサベト、羊飼ひ……。人生のただ中で神の不思議な介入を受け、不安と期待の中で最初のクリスマスを迎えた人々は、天使を通して語られた神の言葉をどのように信じ、悩み、生きていったのか? (2019.11) [2]

大宮 博

愛と自由の福音

ヨハネ福音書講解説教

6949-1 四六判 232頁 本体1,900円

心身の癒しと霊性の回復が求められている今日、「霊によって新たに生まれる命」に触れ、キリストの「生きた水」に与ることを祈りつつ語られた24編の神学的講解説教。「霊的福音書」と呼ばれるヨハネ福音書の魅力に迫る。(2012.3)

大串元亮

光は闇のなかに

ヨハネによる福音書講解説教

6323-8 B 6判 272頁 本体2,500円

病める現代人に心の安らぎが与えられ、心身の病が癒され、命の甦りが体験できる場所はどこか? イエスのもとに「新しい命」を、ふたたび渴くことのない「生きた水」を求めた人々に与えられた「命の言葉」を伝える。(1995.11)

喜田川 信

地上を歩く神

ヨハネ福音書の思想と信仰

6362-9 B 6判 322頁 本体2,500円

神としてのイエスを強調する独特な神学と入り組んだ構成ゆえに難解とされるヨハネ福音書を、著者の多年にわたる神学研究と信仰によって平易に読み解き、ヨハネの教団の思想と信仰の世界に迫る。ヨハネ福音書の説教集。(1999.11)

土戸 清

ヨハネ福音書の ところと思想1～7

6560-5～6566-4
四六判 平均300頁 本体2,200～2,500円

ヨハネ福音書の研究者として数々の業績をあげてきた著者が、牧会する大森めぐみ教会で、最新の研究をふまえながら現代人に向けてひとつひとつの言葉に秘められた豊かな内容を明らかにする、渾身の説教集。(2001.11～2005.7)

北森嘉蔵

使徒行伝講話

6444-1 B 6判 212頁 本体1,800円

「使徒行伝のテーマは、聖霊がくだることによって使徒たち、弟子たちがイエス・キリストの復活の証人となっていく記事であると言えることができます」と――聖霊・復活・証人をテーマに、〈聖霊行伝〉の魅力を語る。(2010.2)

高橋三郎

[オンデマンド版]

使徒行伝講義

0303-0 A 5判 456頁 本体5,500円

三十数年にわたる聖書の学びにおいて、ルターを経由しパウロの世界へと深く分け入った著者が、初代キリスト教史における問題に開眼し、その探求のあゆみから生まれた講義録。(2004.12)

渡辺信夫

使徒行伝講解説教1～4

6938-5～6941-5
四六判 平均370頁 本体2,500～2,700円

キリストの教会はどのようにして形成されてきたのか? 『キリスト教綱要』の訳者として知られる著者が、カルヴァンの講解説教のスタイルを踏襲しつつ、現代に向かって新しく神の言葉を語る。150編の説教を全4巻に収録。(2011.4～10)

榊原康夫

使徒言行録講解1～6

6952-1～6957-6
四六判 平均270頁 本体2,000～2,500円

著者が現役時代の最後と、引退後に名誉牧師となって説き明かした全114篇の説教を収録。聖書への確かな信頼と、深い言語知識に基づいた徹底した釈義を積み重ねながら、時代を越えて語られる神の言葉を聞く円熟した説教集。(2012.7～2013.5)

内村鑑三

ロマ書の研究

6387-1 B 6判 526頁 本体3,500円

内村最盛期の60回にわたるロマ書講義をまとめたもの。「内村鑑三の生涯をかけた聖書研究の最高峰であり、近代日本人に残した最大の信仰のメッセージ」(富岡幸一郎)。長年読みつがれてきた古典的名著。(2002.11) [2]

大木英夫

ローマ人への手紙

現代へのメッセージ

7178-8 A 5判 546頁 本体3,500円

超越不可能な時間のへだたりをさかのぼり、現代の日本人は神に近づくことができるであろうか。〈神との出会いの場〉を「ローマ人への手紙」に求め、神学者としての理解を貫きつつ行った渾身の説教集！（1998.10）

大宮 溥

新生の福音

ローマ書講解説教 上

6973-6 四六判 232頁 本体1,800円

新約聖書の中で「最も純粋な福音」と呼ばれるローマ書。そこに記された救いの核心「神の義」を力強く解き明かし、悩みある人を励まし、助けを求める人に内側から立ち上がる力、前進する力を与えてくれる25編のメッセージ。（2013.11）

大宮 溥

救いの歴史と信仰の倫理

ローマ書講解説教 下

6974-3 四六判 170頁 本体1,600円

「神の民」であったユダヤ人に福音を拒絶され、異邦人伝道に乗り出した使徒パウロは、同胞の救いについてどう考えていたのか？ ローマ書に記された神の救いの歴史を説き明かし、神に应えて生きる指針となる説教集。（2013.12）

榊原康夫

ローマ人への手紙講解1～5

6922-4～6926-2

四六判 平均288頁 本体2,300～2,800円

ギリシア語本文を丁寧に紐解きながら、聖書の言葉をひとつひとつ解説する著者の説教は、パウロによって鮮明にされたキリスト教信仰の精髓を明確に浮かび上がらせ、人々を救いの喜びへと招き入れる。卓越した講解説教集。（2010.6～11）

喜田川 信

約束の言葉への信仰

ローマ書講解説教

6113-6 四六判 124頁 本体1,200円

使徒パウロが未踏の地の信徒たちへ伝えようとした「福音」の本質とは何だったのか？ 新約聖書の中で最も神学的と称されるローマ書の真髄を、60余年の牧会経験で培われた現代的視座から、明晰かつ平易に説き明かす説教集。（2016.5）

川島重成

〔在庫僅少〕

ロマ書講義

7318-4 A 5判 496頁 本体5,900円

西洋古典学の重鎮である著者が、無教会の集会で語った講義の再現。ギリシア語原文を精細に吟味し、新たな解釈を提示。ケーゼマンらの卓見に範をとりつつ、現代世界に直接訴えかけるパウロの終末論的なメッセージを平易に説く。（2010.8）

高橋三郎

ガラテヤ書講義

6318-1 B 6判 210頁 本体2,500円

ローマ書、詩篇、使徒行伝、マタイ福音書、ヨハネ福音書に続く渾身の聖書講義。聖書の世界、無教会の精神を探究し続けた著者が、歴史の厚みを通して福音の内容を跡づけてゆく独自の方法をもってパウロの福音の深奥に迫る。（1995.6）

鷺山林蔵

エペソ書講解説教

6309-2 B 6判 210頁 本体2,000円

著者が、半年の休養後、新たな思いと決意をもって講壇に立ち、1992年3月から1993年10月まで、1年9か月にわたって「死にゆくひとりの人間として、死にゆく人々に対して」語った、全身全霊を傾けた講解説教。（1994.9）

加藤常昭編

いつも喜びをもって

エフェソの信徒への手紙・

フィリピの信徒への手紙講解説教

6139-6 四六判 420頁 本体2,200円

伝道し、教会を造り上げる言葉を獲得するために、加藤常昭氏と共に説教塾で研鑽を重ねてきた牧師28名による講解説教集。使徒パウロが獄中で記した書簡から、キリストの愛の広さ、長さ、高さ、深さを一筋に説き明かす。（2018.10）

高橋三郎

第一テサロニケ書講義・ 病床雑感

6326-2 B 6判 174頁 本体2,000円

加藤常昭

講解説教 ヨハネの黙示録

6539-7 (上) 四六判 328頁 品切
6540-0 (下) 四六判 344頁 本体2,300円

新約聖書最初期の書簡を、当時の歴史的状況を探りつつ、ていねいに解き明かす第一テサロニケ書講義。併せて、交通事故に遭って死線を彷徨い、なおも病床にある著者の、キリストに従う者の苦しみと恵みの1年半の文章を収録。(1996.2)

最も苛酷と言われたドミティアヌス帝の迫害下、殉教の問いの前に立たされた小アジアの教会に宛てて書かれたヨハネ黙示録。いのちの勝利の光の下に現代に生きるキリスト者への慰めと励ましとして説く。(1998.1)

歴史

J. ゴンサレス 金丸英子訳

これだけは知っておきたい キリスト教史

6690-2 四六判 196頁 本体1,800円

2000年にわたる歴史の流れが分かる！ ローマ帝国、十字軍、宗教改革、ピューリタン革命など、世界史と密接な関係にあるキリスト教の歴史を鮮やかに描く。これまで見過ごされがちだった地域にもスポットを当てた画期的な書。(2011.3) [5]

菊地榮三／菊地伸二

[オンデマンド版]

キリスト教史

0334-1 A 5判 576頁 本体5,800円

イエス・キリストの生涯と宣教、教会の誕生から、現代までを概観する、書き下ろしのキリスト教の通史。東方の諸教会およびアジア、中南米、アフリカそして日本のキリスト教の動向を交え、エキゾチックな視点で叙述する。(2017.1)

金子晴勇

キリスト教霊性思想史

7358-0 A 5判 602頁 本体5,400円

キリスト教信仰の中核に位置し、宗教の根本をなす「霊性」とは何か。「霊・魂・身体」の人間学的三分法を基礎に、ギリシア思想から現代まで2000年間の霊性思想の展開を辿る。日本語で初めて書き下ろされた通史。(2012.11)

黒川知文

[在庫僅少]

西洋史とキリスト教

ローマ帝国からフランス革命まで

6928-6 四六判 342頁 本体2,800円

大事なポイントを一冊で把握！ ローマ帝国からフランス革命まで、宗教改革を中心とした西洋史とキリスト教の、切っても切れない関係をまとめたコンパクトでわかりやすい概説書。豊富な図版と資料入り！(2010.6) [6]

土岐健治／井阪民子

[在庫僅少]

楽しいラテン語

7215-6 A 5判 232頁 本体3,500円

ラテン語の知識なくしては、キリスト教も西洋文明も真に理解することはできない。初心者がラテン語初級文法を学び、さらにキリスト教ラテン語文献を読めるように工夫された入門書。豊富な聖句・キリスト教文献引用文、語彙・変化表付。(2002.12) [4]

S. ベンコ編著 新田一郎訳 [在庫僅少]

原始キリスト教の背景 としてのローマ帝国

7128-1 A 5判 464頁 本体4,500円

ローマ帝国の発展とともに成長した初期キリスト教徒集団の実像と、初期ローマ帝国史およびその社会階層、諸宗教、皇帝崇拜、ユダヤ教、迫害と寛容政策、法律、軍隊、財政などを多角的な共同研究によって探究する。(1989.3)

J. ベリカン 佐柳文男訳

聖書は誰のものか？

聖書とその解釈の歴史

6654-7 四六判 384頁 本体2,500円

現代アメリカを代表する知性の一人、教理史家ヤロスラフ・ベリカンの聖書論。聖書の成立と解釈の歴史を、その文化的背景への該博な知識と共に興味深く解説。教派的・宗教的立場によって様々な解釈を許す聖書の多面的な姿を描く。(2006.3)

佐藤司郎／吉田 新編

福音とは何か

聖書の福音から福音主義へ

6137-2 四六判 460頁 本体3,600円

福音は歴史上いかに理解され、福音主義は教育の場でいかに伝えられたのか？ 福音宣教の働きを継承する現代の教会が問うべき福音の意義を、聖書学・神学・歴史・芸術など広範な分野から考察する15の論考。(2018.9)

D. クリスティ＝マレイ 野村美紀子訳

異端の歴史

7168-0 A 5判 336頁 本体3,800円

だれが異端で、だれが正統か？ 古代から現代までキリスト教の歴史に登場してきた主要な異端思想と正統からの反論を系統的・通史的に描く。近代以降はさながら諸教派分裂の歴史を呈する。今日のキリスト教を理解するための必読書。(1997.10)

W. ナーゲル 松山與志雄訳

[オンデマンド版]

キリスト教礼拝史

0312-9 A 5判 352頁 本体5,800円

カトリック、正教、プロテスタントを含めたエキュメニカルな視野に立ち、新約聖書時代から現代までの礼拝の変遷を詳細に辿って今日の方角を示唆した古典的名著。巻末に訳者による「礼拝用語小事典」を付す。(2007.12)

K. H. ビーリッツ 松山與志雄訳

教会暦

祝祭日の歴史と現在

7221-0 A 5判 366頁 本体3,500円

復活祭と降誕祭を中心に発展した教会暦の歴史を、その起源から現在まで辿り、今日のプロテスタント・カトリック両教会の実際に及んで解説。教会暦の考え方の基本、各祝祭日の意味と典礼・礼拝の実践についても詳述。不可欠の入門書。(2003.9) [2]

H. マイアー 野村美紀子訳

西暦はどのようにして生まれたのか

6009-3 小B 6判 196頁 本体1,800円

キリスト生誕を元年とする西暦には、どのような根拠があるのか？ それは、どのようにして生まれ、どのように発達したのか。キリストの誕生と復活日に深く結びついている西暦の年代計算の考え方と歴史を概観する。(1999.10) [2]

E. J. グッドスピード R. M. グラント補訂
石田 学訳 [在庫僅少]

古代キリスト教文学入門

使徒後時代からニカイア公会議まで

6305-X B 6判 360頁 本体3,700円

新約聖書と共に、古代キリスト教徒が残した手紙、黙示書、福音書、行伝、賛歌などを解説。使徒教父、ユスティノス、エイレナイオス、オリゲネスなどからエウセビオスまでの教父文学を明快、大胆、正確に描く古典的名著。(1994.6)

K. バイシュラーク 掛川富康訳

キリスト教教義史概説

ヘレニズム的ユダヤ教からニカイア公会議まで

7158-3 (上) A 5判 302頁 本体5,000円

7159-1 (下) A 5判 258頁 本体4,500円

キリスト教教義の前提となるヘレニズム時代のユダヤ教信仰から始めて、ニカイア公会議までの教義の展開を厳密に辿った本格的な教義史。最新の研究成果を踏まえ、エキュメニカルな視野に立ち、厳格な学問的反省に基づいた叙述。(1996.9/1997.2)

R. ゼーベルク 住谷 眞訳 [オンデマンド版]

教理史要綱

0302-2 A 5判 276頁 本体4,200円

教理史を学ぶにあたって、欠かすことのできない素材を整理し、凝縮した格好の入門書。教会実証主義に立ち、教理の根本にある宗教的な衝動にも注意を払った叙述は、今もってその価値を失わない。(2004.12)

棚村重行 [在庫僅少]

現代人のための教理史ガイド

教理を擁護する

6552-4 四六判 402頁 本体2,500円

戸田 聡編訳

砂漠に引きこもった人々

キリスト教聖人伝選集

7406-8 A 5判 308頁 本体3,500円

久松英二

古代ギリシア教父の霊性

東方キリスト教修道制と神秘思想の成立

7427-3 A 5判 318頁 本体3,800円

R. L. ウィルケン 土井健司訳

古代キリスト教思想の精神

7382-5 A 5判 356頁 本体4,100円

C. スティッド 関川泰寛／田中従子訳

古代キリスト教と哲学

7390-0 A 5判 324頁 本体3,800円

A. ラウス 水落健治訳 [在庫僅少]

キリスト教神秘思想の源流

プラトンからディオニシオスまで

7125-7 A 5判 384頁 本体3,600円

小高 毅編

原典古代キリスト教思想史2

ギリシア教父

7190-7 A 5判 552頁 本体5,600円

小高 毅編

原典古代キリスト教思想史3

ラテン教父

7198-2 A 5判 530頁 本体5,400円

保坂高殿 [在庫僅少]

ローマ帝政初期のユダヤ・キリスト教迫害

7225-3 A 5判 610頁 本体10,000円

キリスト教教理とはそもそも何か。教会は2000年の歴史の中で、教理をどう生かし、福音を守ってきたのか。それは現代の信仰共同体とどう関わるのか。教理の歴史をテーマごとに解説し、21世紀の教会形成の方向性を明示する。(2001.2)

4世紀の「最初の修道者たち」の生涯を描いた、キリスト教的伝記の古典と称えられる作品群。ヒエロニムス『テラパイのパウルス伝』『ヒラリオン伝』、アタナシオス『アントニオス伝』ほか初の邦訳を含む5篇を収録。(2016.3)

ギリシア教父たちが模索した「神に向かう人間のあり方」はキリスト教霊性として結実し、修道制と神秘思想、神化思想を成立させた。すべての教会の共有財産であり、東方教会理解の鍵となる霊性思想の起源と発展を探究する好著。(2018.11)

なぜ教会の形成期にキリスト教的思考は人々を強く惹きつけたのか？ オリゲネス、アウグスティヌス、証聖者マクシモスら数々の思想家の考えを紹介し、古代キリスト教思想のエッセンスを説く。キリスト教信仰の源泉への道案内！(2014.6)

古代末期までのギリシア哲学がキリスト教思想・教理に及ぼした変革的な影響を第一人者が平易な言葉で体系的に解説。キリスト教が古代世界の一大勢力へと発展する過程において「哲学」が果たした役割を明らかにした名著！(2015.3)

キリスト教教義の基礎が作られた教父時代は、神秘思想の原型が生み出された時代でもあった。プラトン主義の影響を受けながら、「無からの創造」の教義によって独自の神秘思想を形成した教父たちの思索の跡をたどる。(1988.1) [3]

第1巻に続き、形成期キリスト教の鮮烈な息吹を伝える教父たちの詞華集。本巻では4世紀から5世紀にかけて黄金時代を迎えたギリシア教父の著作の中から、三位一体論・キリスト論・聖霊論をめぐる思索の跡を辿る。(2000.5)

本巻ではラクタンティウスからグレゴリウス1世まで、西方教会に浸透してきたアレイオス派との闘いや、ドナトゥス派、ペラギウス派などとの論争を経て、秘蹟論や教会論、恩恵論など、ラテン神学の形成と発展の軌跡を辿る。(2001.5)

ローマ帝国はなぜユダヤ人およびキリスト教徒を迫害したのか。帝国側と教会側の史料を徹底的に吟味し、2世紀中葉までの迫害の実態を、帝国の統治原理とその法運営のあり方に焦点をあてて明らかにする。第98回日本学士院賞受賞。(2003.12) [2]

保坂高殿

ローマ帝政中期の国家と教会

キリスト教迫害史研究193-311年

7272-9 A 5判 664頁 本体12,000円

ローマ帝政中期に起こったキリスト教大迫害の原因はどこにあったのか。帝国側と教会側の史料を徹底的に吟味し、「迫害」を帝国行政の視点から新たに叙述し直す。『ローマ帝政初期のユダヤ・キリスト教迫害』の続編。(2008.3)

保坂高殿

ローマ史のなかのクリスマス

異教世界とキリスト教1

6587-7 四六判 298頁 本体2,500円

なぜ12月25日がクリスマスになったのか？文献のみならず豊富な碑文資料をも駆使しながら、クリスマス成立にまつわる歴史的事情を帝政ローマの文脈の中で検証する。初期キリスト教における民衆の信仰生活に迫る画期的な書。(2005.9) [2]

保坂高殿

多文化空間のなかの古代教会

異教世界とキリスト教2

6588-5 四六判 320頁 本体2,500円

古代ローマのキリスト教徒は多神教信者であった?! 文献・碑文・遺跡などの史料によって、これまで顧みられなかった民衆の信仰の実態を明らかにし、無意識に抱かれてきた従来の「キリスト教徒」のイメージを覆す問題作! (2005.10)

E. シュタウファー 川島貞雄訳

キリストとローマ皇帝たち

その戦いの歴史

7442-6 A 5判 368頁 本体4,600円

文献資料、碑文、古銭に関する該博な知識を駆使し、ユリウス・カエサルからコンスタンティヌス帝に至るローマ史を素描。皇帝崇拜を強要する全体主義的権力に命を賭して抵抗し、殉教した多くのキリスト者の勝利の告白を書き記す。(2020.6)

A. H. M. ジョーンズ 戸田 聡訳

ヨーロッパの改宗

コンスタンティヌス《大帝》の生涯

7284-2 A 5判 272頁 本体2,800円

ローマ皇帝コンスタンティヌスのキリスト教への改宗によって、以後1600年にわたるヨーロッパ世界のキリスト教化が始まった。誕生以前から死後の評価まで、世界の歴史を決定づけた《大帝》の生涯と当時の教会史を生き生きと描いた名著。(2008.12)

C. マルクシース 土井健司訳

天を仰ぎ、地を歩む

ローマ帝国におけるキリスト教世界の構造

6639-3 四六判 330頁 本体3,000円

古代ローマ帝政下のキリスト教徒たちの生活実態を、古代教父たちの膨大な著作や碑文などの詳細で客観的な分析をとおしていきいきと描写し、その実像に迫る。新進の文献学者・教会史家による労作。(2003.7)

J. ヘルジラント/R. J. デイリー/J. P. バーンズ
小阪康治訳

古代のキリスト教徒と軍隊

6257-6 B 6判 248頁 本体2,000円

ローマ帝国の軍隊の中には多数のキリスト教徒がいた。しかし軍隊の中にあっても皇帝崇拜を拒否して処刑されたキリスト教徒の兵士もあった。戦争と宗教の問題、国家と宗教の問題を、するどい現代の問題意識によって究明する。(1988.12)

M. ヘンゲル 渡辺俊之訳

古代教会における財産と富

原始キリスト教社会史から見た

6259-2 B 6判 200頁 本体1,748円

初期のキリスト教会の富に関する社会倫理の基調は、神は一切のものをすべての人々に等しく分け与えられる、という信仰にあった。原典からの引用を豊富に折り込みながら、私有財産に関する問題を考える材料を提供する。(1989.4)

E. トレルチ 高野晃兆/帆刈 猛訳
[オンデマンド版]

古代キリスト教の社会教説

0313-6 A 5判 244頁 本体3,500円

キリスト教会は、国家および社会に対し、どのような姿勢をとってきたのか？ 原始キリスト教からローマ帝国の国教となるまでの古代教会の社会倫理想を分析する。古典的名著『社会教説』の古代教会の部分の翻訳である。(2007.12)

E. トレルチ 高野晃兆訳

中世キリスト教の社会教説

7389-4 A 5判 306頁 本体4,000円

関川泰寛

アタナシオス神学の研究

7252-0 A 5判 596頁 本体7,500円

土井健司

愛と意志と生成の神

オリゲネスにおける
「生成の論理」と「存在の論理」

7245-8 A 5判 182頁 本体3,300円

梶原直美

オリゲネスの祈禱論

『祈りについて』を中心に

7409-9 A 5判 324頁 本体4,500円

武藤慎一

聖書解釈としての詩歌と修辞

シリア教父エフライムと
ギリシア教父クリュソストモス

7226-1 A 5判 248頁 本体6,500円

加藤哲平

ヒエロニムスの聖書翻訳

7424-2 A 5判 364頁 本体5,200円

S. A. クーパー 上村直樹訳

はじめてのアウグスティヌス

6692-6 四六判 336頁 本体2,000円

H. チャドウィック 金子晴勇訳

アウグスティヌス

6394-7 B 6判 222頁 本体1,700円

P. ブラウン 出村和彦訳

アウグスティヌス伝

7228-8 (上) A 5判 336頁 本体3,000円
7229-6 (下) A 5判 326頁 本体3,000円

教会の理想とする社会のあり方が、初めて実現された中世。国家と教会が融合し、統一的な文化を形成した〈中世カトリシズム〉の理想とトマス・アクィナスの不朽の意義を説く。『古代キリスト教の社会教説』の刊行から15年、待望の続編。(2014.10)

アレイオス主義と闘い、5回にわたる迫害を生き延びて、ニカイア正統信仰の父となった教父の生涯と神学を描いた、日本語による初めてのモノグラフィー。多面的な角度からその神学にアプローチし、その全容を明らかにする。(2006.1)

キリスト教の本質である「神の愛」の諸相を、古代キリスト教最大の思想家・最初の聖書学者の著作を通して、従来とは異なった斬新な視点からとらえ直した意欲作。神が望む自然と人間のあるべき関係を明らかにした考察も収録。(2005.4)

父を殉教で喪い、自らも財産没収や迫害の危機の中を生きたオリゲネス。神の予定と予知が決定的なら祈りは不要だと説いた祈禱不要論者と対峙する中で、彼は祈りをどのように考えたのか？ キリスト教的霊性と実践の本質に迫る。(2017.2)

多くの著作を残したシリアのエフライムと、透徹した説教と聖書注解で知られたヨアンネス・クリュソストモスの解釈学を、現代の解釈学やレトリックをも視野に入れながら、比較考察。シリア教父の思想世界を初めて紹介した書。(2004.1)

ウルガータ聖書の翻訳者ヒエロニムス。彼の翻訳理論の底流にある「ヘブライの真理」の思想とは何か。「ウルガータ聖書序文」の全訳（共訳・石川立）とともに、新約における旧約引用から解き明かされる神学的聖書理解の核心！(2018.3)

『神の国』や『三位一体』など数々の著作を著し、西方教会の礎を築いたアウグスティヌス。彼の生い立ちから、若き日の罪との葛藤やマニ教やプラトン主義との接近、そして彼の回心とその後の歩みまでを、自伝『告白録』をもとに描く。(2012.1)

現代英国における古代キリスト教研究の最高権威H.チャドウィックが、一般の読者に向けて書いたアウグスティヌス入門書の決定版。深遠な学識にささえられた明快な語り口によって、大思想家の輪郭が明らかにされる。(2004.2)

古代ローマ研究の重鎮ブラウンの処女作であり、現代の古典とも言うべきアウグスティヌス伝。英米圏で『告白録』に次いで読まれているとまで評される。古代最大の思想家の生涯を、その歴史的・地理的環境との関連の中で生き生きと描く。(2004.2／9)

宮谷宣史

アウグスティヌスの神学

7246-6 A 5判 356頁 本体3,200円

金子晴勇

アウグスティヌス『神の国』を読む

その構想と神学

7440-2 A 5判 320頁 本体4,200円

G. クラーク

松崎一平／佐藤真基子／松村康平訳

アウグスティヌスの母モニカ

平凡に生きた聖人

7438-9 A 5判 314頁 本体3,400円

J. フェネル 宮野裕訳

ロシア中世教会史

7412-9 A 5判 388頁 本体5,000円

J. ハーバー 佐々木 勉／那須輝彦訳

中世キリスト教の典礼と音楽 [新装版]

7313-9 A 5判 402頁 本体3,800円

カンタベリーのアンセルムス 古田 暁訳

祈りと瞑想

6662-9 四六判 192頁 本体1,800円

A. E. マクグラス

矢内義顕／辻内宣博／平野和歌子訳

宗教改革の知的な諸起源

7443-3 A 5判 360頁 本体4,800円

F. W. グラーフ 野崎卓道訳

プロテスタンティズム

その歴史と現状

6674-2 四六判 206頁 本体1,800円

A. E. マクグラス 佐柳文男訳

プロテスタント思想文化史

16世紀から21世紀まで

7307-8 A 5判 592頁 本体4,600円

「西洋の教師」と呼ばれた大思想家の神学の方法とはどのようなものだったのか。初期の作品から『告白録』『三位一体論』『神の国』など代表的著作の分析をとおして、アウグスティヌスの精髓に迫る、著者積年の研究成果。(2005.5)

ヨーロッパ思想の歴史観・国家観に多大な影響を及ぼしたアウグスティヌスの『神の国』。アウグスティヌス研究の第一人者が、『神の国』が執筆された時代背景、全体構想、そして基本思想を分かりやすく解説した入門書。(2019.12)

『告白』で母としての思い出のみが語られるモニカ。ただの庶民階級の女性であった彼女が、なぜ聖人となったのか。歴史学・考古学・文化史等の視点から古代末期の女性像を再構築し、モニカの聖人化の過程を考察する画期的な研究。(2019.10)

キエフ・ルーシのキリスト教受容時代から、教会が1448年にコンスタンティノープル総主教座を離れロシア正教会として自立するまでを描く。大国ロシアの宗教文化と政治・社会構造の深層を理解するために最適な通史。(2017.3)

中世を中心に典礼の歴史的概要、教会暦、詩編唱、聖務日課、ミサなどを詳述した、音楽を学ぶ人のための典礼入門書。トリエント公会議以降の展開、英国国教会の典礼にも言及。主要聖歌歌詞対訳、教会用語集、訳語対照表付き。(2010.6) [2]

中世スコラ学の父・アンセルムスが残した「祈り」と「瞑想」。その祈りの言葉は、斬新な表現と感性豊かな内容をもち、詩情にあふれる。古代教会以来の典礼を中心とした祈りの伝統を打ち破るもので、キリスト教霊性史上「革命的」と評された。(2007.7)

宗教改革の知的な諸起源を後期中世のスコラ学と人文主義に求め、さらにその神学的源泉と方法を精査し、地域的に複雑で多様な後期中世と宗教改革期の〈連続〉と〈断絶〉を明らかにした画期的な書！(2020.11)

16世紀の宗教改革に起源を持ち、「聖書のみ」「信仰のみ」を掲げて、近代における宗教の多元化・政治の民主化・経済の資本主義化に大きな影響力を与え続けてきたプロテスタンティズムとは何か。世界中に伝播する宗派の歴史とその多様な姿を描く。(2008.8)

宗教改革の〈起源〉から、新しい教会と社会の〈理念と形成〉、そして現代のアメリカのキリスト教やペンテコステ運動等に現れる新たな〈変貌〉までの歴史を追い、そのアイデンティティと内的ダイナミクスを明らかにする。(2009.12)

G. S. サンシャイン 出村 彰／出村 伸訳

はじめての宗教改革

6721-3 四六判 348頁 本体2,400円

金子晴勇

宗教改革者たちの信仰

6129-7 四六判 286頁 本体2,000円

H. A. オーバーマン

日本ルター学会／日本カルヴァン研究会訳

二つの宗教改革

ルターとカルヴァン

7413-6 A 5判 320頁 本体3,500円

P. ブリックレ 田中真造／増本浩子訳

ドイツの宗教改革

6271-1 B 6判 406頁 本体2,913円

B. メラー 森田安一／棟居 洋／石引正志訳

[在庫僅少]

帝国都市と宗教改革

6607-5 四六判 252頁 本体2,913円

森田安一編

ヨーロッパ宗教改革の連携と断絶

7294-1 A 5判 328頁 本体2,800円

H. J. ゲルツ 田中真造／藤井 潤訳

トーマス・ミュンツァー

神秘主義者・黙示録的終末預言者・革命家

6609-1 四六判 332頁 本体3,000円

S. ポールソン 湯川郁子訳

はじめてのルター

6676-6 四六判 312頁 本体1,900円

徳善義和

マルチン・ルター

生涯と信仰

6903-3 四六判 336頁 本体2,500円

ヨーロッパの近代化の出発点となった「宗教改革」。キリスト教会内にとどまらず、欧州の政治・経済・社会の各分野に広く影響を与えた。その運動の全体像を描き出し、宗教改革500年に向けて現代的意義を問う。(2015.9)

プロテスタンティズムの礎を築いた改革者たちを貫く、ヨーロッパ思想史の「隠れた地下水脈」とは何か？ 神学的議論のみならず、近代の思想・教育・文化への影響にまで触れながら、宗教改革の現代的意義を捉え直す。(2017.5)

神学史と社会史の複合的な視点から中世後期と宗教改革の連続性を明らかにし、宗教改革研究に画期的な影響を及ぼした著者の円熟した論文10篇を収録。二大宗教改革者の起源と実像、そして歴史的展開を比較した画期的労作。(2017.10)

農民戦争を視野に入れ、政治史・社会史的研究資料をふまえた新しいドイツ宗教改革入門。農民は改革者たちと同じ要求をかかげて戦争を起こしたが、改革者たちは、領邦君主と結びついてかえって農民戦争を鎮圧した。(1991.4) [4]

宗教改革を熱狂的に受け入れ、いち早く改革に踏み切ったのは、帝国都市であった。都市と宗教改革の思想にはいかなる関連があったのか。中世末期都市の社会的・精神的構造と宗教改革者の思想との相互関連を描く。(1990.6)

ルター、ツヴィングリ、カルヴァンらを源流とする宗教改革運動の影響は、一地域・一時代にとどまらなかった。ヨーロッパ各地に波及し、宗派を超え、長期にわたった刷新運動の諸潮流を、新たな研究動向を示す16篇の論考から概観。(2009.5) [2]

始めはルターの協力者とみなされたが、やがて急進的な政治的変革を求めて農民戦争の指導者となるミュンツァー。革命家か夢想的な宗教家か、という対立する解釈の中で、著者は神秘主義的思想と社会改革の理想を一体のものと捉える。(1995.3)

宗教改革者として知られるルターの生涯と信仰を、ユニークなイラストと共に読む入門書。現在は組織神学者でありながら、病院でのカウンセラーなどの経験をもつ著者が、ルターの神学の筋道を辿りながら、福音的な信仰の魅力を語る。(2008.11)

宗教改革者であり、説教者、神学者、牧師、そして夫であり父であった人間ルター。その魅力を、ルター研究の第一人者が平易で明快な言葉で語る。FEBC キリスト教放送局で好評を博したシリーズ、待望の書籍化。(2007.8) [2]

W. カスパー 高柳俊一訳

マルティン・ルター

エキュメニズムの視点から

6459-5 B 6判 104頁 本体1,400円

ルターが目指したものは何か？ 第二バチカン公会議後のカトリック教会でエキュメニズムを牽引してきたカスパー枢機卿が、ルターを再解釈し、彼が投じた神学的問いの今日的意義、現代の多様性における一致への希望を語る。(2017.1)

T. カウフマン 宮谷尚実訳

ルター

異端から改革者へ

6685-5 四六判 190頁 本体1,600円

説教者、教授、作家として大いに語り、書き、同時代の誰よりも大きな影響を与えたルターは、同時に教会史上最大の「異端」でもあった。「信仰の父」や「宗教改革者」としてだけでなく、歴史上の一人物としての実像に迫る。(2010.7)

W. シュバルン編 湯川郁子訳

ルターの言葉

信仰と思索のために

6714-5 四六判 260頁 本体2,000円

宗教改革者として知られるルターは、神学的思索のみならず、悲しみや苦難、そしてそれを乗り越えて生きる優しくも力強い言葉を残している。5つのテーマに沿って選んだ、「福音を生きた」ルターの心に響く名句・名言集。(2014.10)

マルティン・ルター 金子晴勇訳

ルター神学討論集

7320-7 A 5判 344頁 本体3,800円

宗教改革の発端となった「95カ条の提題」をはじめ、生涯で60の討論提題を残したルター。その中から彼の思想形成とその発展を理解するために重要なものを選び、テーマ別に収録。一冊でルター神学の全体像がわかる画期的な書！(2010.12)

M. ルター 植田兼義訳

卓上語録

7222-9 A 5判 432頁 本体3,000円

ルターが食卓を囲んで客人や友人たちと楽しんだ語らいの「語録集」。幼少時代や福音主義の信仰にいたる経緯など、ルター自身による貴重な伝記的資料であり、彼の宗教思想の核心を伝える重要な記録。ワイマール版原典に基づく最新訳。(2003.10)

マルティン・ルター 徳善義和訳

キリスト者の自由

訳と注解

6691-9 四六判 320頁 本体2,800円

ルターの信仰の実存からほとばしり出た最も重要な古典的名著。ルター研究の第一人者による最新の翻訳に、緒論と注解を付した決定版。ルターの福音信仰の魅力と迫力を明らかにし、キリスト者として生きる自由と喜びを指し示す。(2011.5) [2]

徳善義和 [オンデマンド版]

自由と愛に生きる

『キリスト者の自由』全訳と吟味

0316-7 四六判 340頁 本体3,800円

『キリスト者の自由』を4度にわたり翻訳し、ルター研究に打ち込んできた著者が、ルターの信仰の実存からほとばしり出た、革新的で最も重要な書物を徹底的に読み、その福音信仰の魅力と迫力を明らかにした名著。(2010.1)

マルティン・ルター 植田兼義／金子晴勇訳

ルター教会暦説教集

7325-2 A 5判 264頁 本体3,300円

ルターは牧師や家長のために、説教の手本となる説教集をヴァルトブルク城で書き始める。それが『教会標準説教集』である。本書はゴーガルテンがその中から精選したものを元に、ワイマール版から直接翻訳した10編の説教から成る。(2011.4)

マルチン・ルター 徳善義和訳・解説

イエス・キリストについて(1533年)

復刻版と訳

7314-6 A 5変型判 78頁+100頁 本体4,200円

1533年にヴィッテンベルクで印刷されたルターの説教の復刻版と、それに翻訳と解説を加えた小冊子を併せたもの。トルガウの宮廷で使徒信条第2項について講解した、晩年のルターの円熟した説教を3編収録。(2010.7)

マルティン・ルター 金子晴勇訳

主はわたしの羊飼ひ

詩編1編、8編、23編の講解

6748-0 四六判 216頁 本体2,700円

生涯を通して詩編を愛したルターが、その慰めに満ちたメッセージを説き明かし、独自のキリスト論的・人間論的な考察を展開する。信仰の旅路を導く、ルター円熟期の詩編講解3編を収録。(2021.9)

マルティン・ルター 金子晴勇訳

心からわき出た美しい言葉

詩編45編の講解

6684-1 四六判 236頁 本体2,500円

健康を害し、暗い日々を送っていた時期のルターに慰めを与えた詩編45編。詩編を愛し、生涯を通して繰り返し詩編を説いたルターが、楽しく、喜ばしいメッセージを説き明かす。晩年のルターの「霊性」思想を知るのに不可欠な書。(2010.5)

マルティン・ルター 金子晴勇訳

主よ、あわれみたまえ

詩編51編の講解

6907-1 四六判 256頁 本体1,900円

ルターによる詩編51編の講解中、最大にして決定的なもの。悔い改めとは何か、義認とは何か、罪とは何か、罪の赦しと新生の喜びとは何か——。晩年のルターの円熟した思想が展開する重要な著作。訳者による詳しい解説付き。(2008.4)

A. E. マクグラス 鈴木 浩訳

ルターの十字架の神学

マルティン・ルターの神学的突破

7400-6 A 5 判 308頁 本体4,200円

宗教改革の最大の争点であった義認論をめぐって、ルターが「十字架の神学」へと至った道筋を、中世末期の神学的背景に照らして検証。宗教改革思想の知的・霊的潮流を最新の歴史的・神学的研究をもとに分析する画期的な試み。(2015.10)

澤田昭夫

ルターはマリアを崇敬していたか？

6013-1 小B 6 判 206頁 本体1,800円

マリア崇敬をめぐるカトリックとプロテスタントはどこで分かれたのか。当時のマリア崇敬、その悪弊、ルター自身のマリア崇拝とその変遷の考察をとおして、エキュメニカルに見直されるべきマリア像を探求する。(2001.11)

金子晴勇

教育改革者ルター

6900-7 四六判 308頁 本体2,500円

宗教改革者ルターは同時に教育改革者でもあった！ 大学教育の改革と義務教育の振興に積極的に関わり、自らも宗教教育の実践に取り組んだルターの教育思想の特徴を明らかにし、その今日的意味を再検討する。(2006.12)

金子晴勇

ルターの霊性思想

6913-2 四六判 320頁 本体2,800円

現代は、神と人間との関係が見失われ、良心が軽んじられ、霊性が瀕死の危機にある。生涯をかけてこの問題と格闘したルターの「霊性」思想を、ルター研究の第一人者であり、長くヨーロッパの人間学の探究を続けて来た著者が解明する。(2009.3)

信条集専門委員会訳

一致信条書

ルーテル教会信条集

7261-X A 5 判 1224頁 本体25,000円

ルター没後の宗教改革陣営内の論争から最終的に生み出された、ルーテル教会の信条集。ルター宗教改革の遺産の集大成。古代の基本信条にルターの大小教理問答、シュマルカルデン条項、アウクスブルク信仰告白とその弁証、和協信条から成る。(2006.6)

関川泰寛／袴田康裕／三好 明編

改革教会信仰告白集

基本信条から現代日本の信仰告白まで

7386-3 A 5 判 740頁 本体4,500円

古代の基本信条と、宗教改革期と近現代、そして日本で生み出された主要な信仰告白を網羅した画期的な文書集。既に出版され定評がある最良の翻訳を収録。日本の改革長老教会の信仰的なアイデンティティの源流がここに！(2014.10)

C. シュトローム 菊地純子訳

カルヴァン

亡命者と生きた改革者

6725-1 四六判 176頁 本体2,200円

森井 眞

ジャン・カルヴァン

ある運命

6581-8 四六判 400頁 本体3,300円

J. カルヴァン 久米あつみ訳

キリスト教綱要 (1536年版)

7192-0 A 5 判 416頁 本体4,500円

B. ゴードン 出村 彰訳

『キリスト教綱要』物語

どのように書かれ、読まれてきたか

6729-9 四六判 360頁 本体3,200円

D. K. マッキム 出村 彰訳

魂の養いと思索のために

『キリスト教綱要』を読む

6709-1 四六判 218頁 本体1,500円

J. カルヴァン 久米あつみ編訳

カルヴァン論争文書集

7290-3 A 5 判 400頁 本体3,800円

G. プラスガー 矢内義顕訳

カルヴァン神学入門

6728-2 四六判 224頁 本体2,400円

カルヴァン・改革派神学研究所編

叢書・改革教会の神学1

カルヴァンと旧約聖書

カルヴァンはユダヤ人か？

7372-6 A 5 判 220頁 本体3,000円

H. J. セルダーハウス 石原知弘訳

カルヴァンの詩編の神学

7453-2 A 5 判 416頁 本体4,600円

宗教亡命者としてジュネーヴに渡り、改革者となったカルヴァンの生涯と思想をコンパクトに解説。教会改革者・神学者・説教者・社会改革者など、多面にわたるカルヴァンの素顔を、最新の歴史学的研究から描き出す。(2016.7)

カルヴァンの遺した全書簡を読破し、その心情の機微に立ち入って、肉声に触れた出色の評伝。激動の歴史の中で、《神の栄光のために》友情・信仰・使命・闘争を生き抜く人間カルヴァンの実像に迫る。(2005.2)

1536年にバーゼルで刊行されるや、たちまちプロテスタント最初の体系的教理書・生活綱領として歓迎され広まっていった、宗教改革者カルヴァンの処女作。すでにカルヴァン神学の全貌を予告する本書は、若き改革者の信仰の清冽な息吹を伝える。(2000.8) [3]

包括的な教理体系と明晰な文体から〈プロテスタント神学の最高傑作〉と呼ばれる一方、悪名高き予定論が数々の論争を呼び起こした『キリスト教綱要』。教会と政治のはざまで読み継がれてきた名著の誕生秘話と光と影の歴史。(2017.8)

カルヴァンの主著『キリスト教綱要』から優れた神学的洞察と霊性の修練となる言葉を精選し、それに基づいて現代人が生きるための確かな希望と指針を明らかにする。日毎の糧として『キリスト教綱要』を読む！(2013.11)

16世紀の政治的・教会的動乱の時代を生き抜いた改革者ジャン・カルヴァン。一方で再洗礼派を、他方でローマ・カトリック教会を睨みながら文書合戦を繰り広げ、福音主義教会確立のために奔走したカルヴァンの文書6篇を収録。(2009.3)

カルヴァン神学の要点を、主著『キリスト教綱要』に添いながら、初学者向けに分かりやすく解説。16世紀の激動の時代に、人間の魂と教会と世界を建て上げるために生きた彼の思想を、混迷の中を生きる現代人への挑戦として読む。(2017.4)

2009年にカルヴァン生誕500年を記念して、全国で開かれた講演や説教を収録。カルヴァンの旧約聖書解釈の他にも、当時のジュネーヴの出版事情や、教会における音楽や建築、倫理の問題など、多岐にわたる主題を取り扱う。(2013.10)

詩編は魂のすべての感情の解剖図！ 詩編作者ダビデの中に自分自身を見出し、慰めと励ましを得ていたカルヴァン。彼の魂の遍歴と神学の全貌を『詩編注解』から読み解いた比類なき研究。(2021.6)

丸山忠孝

カルヴァンの宗教改革教会論

教理史研究

7399-3 A 5判 534頁 本体4,800円

16世紀の時代的・地域的状況と原典を丹念に繙きながら、カルヴァンの教会論の深化と展開を読み解いた画期的な書。初期の公同的教会論から改革派教会論への発展、そしてヨーロッパ世界を慮った宗教改革教会論へと至る軌跡を辿る。(2015.10)

吉田 隆

カルヴァンの終末論

7416-7 A 5判 272頁 本体2,900円

青年期の「上昇的終末論」から、円熟期の「キリストの王国」実現という広大な幻へと展開していった彼の神学的軌跡を、『キリスト教綱要』のみならず、信仰問答・聖書注解・神学論文等を渉猟しながら歴史的に明らかにした労作。(2017.6)

L. D. ビエルマ編 吉田 隆訳

『ハイデルベルク信仰問答』入門

資料・歴史・神学

7370-2 A 5判 320頁 本体3,200円

宗教改革の戦いの中から生まれ、教派的・時代的・地域的制約を越えて愛されてきた『ハイデルベルク信仰問答』。その歴史的・神学的背景、執筆者問題から研究論文資料までを、カテキズム研究の第一人者がまとめた労作。(2013.9)

L. D. ビエルマ 吉田 隆訳

『ハイデルベルク信仰問答』の神学

宗教改革神学の総合

7420-4 A 5判 384頁 本体3,700円

《最も美しい信仰の書》と評され、今日でも信仰の手引きとして愛されている『ハイデルベルク信仰問答』。その神学的主題と構造、そして宗教改革期におけるエキュメニカルな精神を、歴史的・批評的研究から明らかにする。(2017.10)

吉田 隆

ただ一つの慰め

『ハイデルベルク信仰問答』によるキリスト教入門

6143-3 四六判 324頁 本体2,300円

聖書が語る福音の真髄を、美しくしかも力強い言葉で語る『ハイデルベルク信仰問答』。その訳者による最も信頼できる講解。「涙の谷間」(問26)を生きる人間の魂の奥深くに訴える、信仰の確かな羅針盤がここに！(2019.6) [3]

G. プラスガー 芳賀 力訳

ハイデルベルク信仰問答との対話

信仰の宝を掘り起こす

6741-1 四六判 332頁 本体2,900円

宗教改革の告白的戦いの中で編まれ、その後、時代・地域を越えて愛されてきたハイデルベルク信仰問答との対話を通して、キリスト教信仰の基本となる14の主題を解説。懐疑と信仰のはざまを生きる現代人のための信仰の手引き。(2019.9)

J. H. スマイリー 山口俊夫訳

長老教会の歴史

6656-3 四六判 294頁 本体2,500円

ヨーロッパから新大陸アメリカに渡った改革派の信徒たちは新国家の建設に携わり、時代と社会の挑戦に立ち向かいつつ長老教会を設立して福音を広めた。日本プロテスタントのルーツ、アメリカ長老教会の歴史を概観する。(2006.9)

H. O. オールド 金田幸男／小峯 明訳

改革派教会の礼拝

その歴史と実践

7350-4 A 5判 324頁 本体2,900円

改革派礼拝学研究の第一人者が、礼拝の基本原則から、説教、 sacrament、賛美、祈りといった諸要素に至るまでを、歴史的・神学的に考察。改革派教会の伝統の豊かさと将来への展望を描く意欲的力作。(2012.10)

W. J. ファン・アッセルト編 青木義紀訳

改革派正統主義の神学

スコラ的方法論と歴史的展開

7392-4 A 5判 348頁 本体3,900円

17世紀の正統主義神学は、宗教改革からの「逸脱」か？ それとも「成熟」か？ 後・宗教改革期の改革派神学の方法論と歴史、そして主要な神学者を概観。現代にまで影響を及ぼす正統主義時代の神学的・霊的遺産を学ぶ入門書の決定版！(2016.6)

袴田康裕訳

ウェストミンスター小教理問答

0034-0

新書判 64頁 本体800円

底本への忠実さと日本語としての読みやすさを両立させた画期的な翻訳。厳密な教理と深い敬虔が一体化したピューリタンの霊性の結実として、時代・地域を超えて愛されてきたカテキズムの最新の翻訳を、携帯しやすい新書判で贈る。(2015.6) [2]

袴田康裕訳

ウェストミンスター大教理問答

0039-5

新書判 152頁 本体1,400円

17世紀以来、世界中の長老教会、福音主義教会において、教会の信仰規準、また教理教育の手段として用いられてきた『ウェストミンスター大教理問答』。今日のキリスト者の霊性を具体的・実践的に養う最良の手引きと言える。(2021.10)

梅津順一

ピューリタン牧師バクスター

教会改革と社会形成

6579-6

四六判 318頁 本体2,600円

禁欲的プロテスタントの職業倫理は近代資本主義を準備したといわれている。M. ヴェーバーによってその典型的指導者とされるバクスターがめざした教会改革とは？ 宗教的理想にみちたその生涯と、信徒・牧師を律する生活指針の数々。(2005.1)

塚田 理

[オンデマンド版]

イングランドの宗教

アングリカニズムの歴史とその特質

0335-8

A5判 640頁 本体6,500円

カトリックかプロテスタントか？ 〈ヴィア・メディア〉とは？ 16世紀ヘンリー8世の宗教改革以来、真理と多様性の一致を求めて、ダイナミックに変貌を続ける聖公会の歴史・神学・未来のビジョンに迫る。日本で初めて書かれた本格的な研究書。(2017.7)

J. P. バード 森本あんり訳

はじめてのジョナサン・エドワーズ

6687-2

四六判 258頁 本体1,800円

神学者、牧会者、そしてリヴァイヴァルの指導者として、アメリカ史において絶大な影響を及ぼしたジョナサン・エドワーズの生涯と思想を日本で初めて包括的に紹介。現代アメリカの源流がここにある！(2011.2)

大塚野百合

スザンナ・ウェスレーものがたり

ジョン、チャールズ・ウェスレーの母

6994-1

四六判 248頁 本体2,400円

18世紀英国でメソジスト運動を始めたジョン・ウェスレーと、賛美歌作家として名を馳せた弟チャールズ。その母スザンナとは、どのような女性だったのか。謙遜と静謐を実践した信仰の生涯を鮮やかに描き出す最新の評伝。(2015.8)

W. J. エイブラハム 藤本 満訳

はじめてのウェスレー

6700-8

四六判 244頁 本体1,900円

ウェスレーの生い立ちから、アメリカにまで渡った宣教への熱意と挫折、メソジスト・ソサエティの形成や、聖化論の神学的展開、そして彼の倫理観・美德観に至るまでを、ウェスレー研究の第一人者が書き下ろした入門書の決定版。(2013.6)

清水光雄

メソジストって何ですか

ウェスレーが私たちに訴えること

6901-9

四六判 258頁 本体1,800円

「神の国」の到来を、個人的次元から社会・歴史・自然に及ぶ幅広い次元で捉えたウェスレー。彼の生涯と思想から、私たちの生き方を問い直す。ウェスレーとメソジストについて信徒・学生向けに書き下ろされたハンディな入門書。(2007.3)

清水光雄

民衆と歩んだウェスレー

6966-8

四六判 240頁 本体1,900円

18世紀英国でメソジスト運動を指導し、医学書の出版や無料診療所の設立、病人の訪問活動、貧困者への無利子ローンの企画など画期的な社会支援活動を行ったウェスレーの生涯と思想から、今日の私たちの信仰と生き方を問い直す。(2013.8)

大宮 溥編

フォーサイス神学概論

十字架の神学

7328-3 A 5判 482頁 本体3,800円

R. マウ 稲垣久和／岩田三枝子訳

アブラハム・カイパー入門

キリスト教世界観・人生観への手引き

6696-4 四六判 192頁 本体1,800円

桜井健吾

労働者の司教ケテラーとその時代

十九世紀ドイツの社会問題と
カトリック社会思想

7436-5 A 5判 328頁 本体5,000円

加納和寛

アドルフ・フォン・ハルナックに
おける「信条」と「教義」

近代ドイツ・プロテスタンティズムの一断面

7429-7 A 5判 372頁 本体4,600円

深井智朗

十九世紀のドイツ・プロテスタンティズム

ヴィルヘルム帝政期における
神学の社会的機能についての研究

7300-9 A 5判 468頁 本体3,500円

キリスト教史学会編

マックス・ヴェーバー
「倫理」論文を読み解く

7426-6 A 5判 204頁 本体2,000円

S. R. ヘインズ／L. B. ヘイル 船本弘毅訳

はじめてのボンヘッファー

6713-8 四六判 224頁 本体1,800円

R. バロウ 山下慶親訳

はじめてのキング牧師

6688-9 四六判 250頁 本体1,900円

S. R. ペイス 佐柳文男訳

はじめてのニーバー兄弟

6718-3 四六判 272頁 本体2,100円

植村正久、高倉徳太郎らを通して紹介され、日本の教会に大きな影響を及ぼしたフォーサイス神学。芸術や政治にまで及ぶその関心の広がりや現代的意義を様々な角度から明らかにする。フォーサイスの娘による「父の回想」も収録。(2011.8)

19世紀のオランダで、神学者・教育者・政治家として活躍したアブラハム・カイパー。古典的名著『カルヴィニズム』を著し、信仰の社会的・公共的意味を問うた彼の思想から、21世紀を生きる私たちの信仰と生き方を考える。(2012.7)

産業革命の時代に、近代世界における宗教、政治、社会の諸問題と誠実に向き合い、教会の果たすべき役割を提起したケテラー。その後のカトリック教会の社会教説に大きな影響を及ぼした、彼の思想と行動を解き明かす。(2019.9)

19世紀から20世紀のドイツ・プロテスタント教会で繰り広げられた「使徒信条論争」の実態と論争の内実、および周辺環境を再考。論争に対するハルナックの言説から、彼の「信条」「教義」「信仰告白」理解を問い直す。(2019.2)

「ドイツ帝国」の国家イデオロギーにプロテスタント神学はいかなる役割を果たしたのか？ ヴィルヘルム帝政期(1871-1918年)ドイツにおけるプロテスタント教会と神学の社会史的機能と「絆」を解明した初めての本格的な研究。(2009.8)

『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』における〈ヴェーバー・テーゼ〉は、果たして歴史的事実に堪えるものなのか？ そのキリスト教理解は正鵠を射ているのか？ 各教派の研究者による徹底検証。(2018.9)

『服従』や『獄中書簡集』などを著すと同時に、反ナチス抵抗運動のメンバーとしてヒトラー暗殺計画に加わり、殉教の死を遂げた神学者ボンヘッファー。彼が存在を賭けて取り組んだ神学的冒険の全貌をイラストとともに辿る。(2015.1)

20世紀のアメリカにおいて人種差別撤廃、貧困層救済、反戦等の運動を指導したキング牧師。「私には夢がある」と語り、非暴力に徹しながら正義を希求した彼の生涯と思想を、ユニークなイラストとともに辿る。(2011.8)

第一次大戦から冷戦までの混迷した時代、世界に蔓延する悪に対峙しながらキリスト者の正義を求めて苦闘したニーバー兄弟。現代に至るまで影響を与え続けているアメリカの神学者二人の生涯と思想を学ぶために最適の入門書。(2015.6)

N. タナー 野谷啓二訳

新カトリック教会小史

7365-8 A 5判 320頁 本体3,200円

数多くの難問に直面しながらも世界宗教に発展し、2013年、突然の「教皇退位」報道で全世界から注目されたカトリック教会。その膨大な歴史を、エキュメニカルな視点でコンパクトにまとめた、歴史と伝統を理解するための必読の書。(2013.3)

G. アルベリーゴ 小高 毅監訳

第二ヴァティカン公会議

その今日的意味

6663-6 四六判 266頁 本体2,300円

世界中から3000人の司教・神学者・オブザーバーが参加したこの公会議は何をめざしていたのか。カトリック教会の大変革をもたらした公会議の歴史を、実際に公会議に参加した一般信徒である教会史研究者が振り返り、その今日的意味を伝える。(2007.6)

J. ヒルデブラント/G. トーマス編 渡部 満訳

非暴力革命への道

東ドイツ・キリスト者の証言

6277-0 B 6判 232頁 本体2,500円

1989年秋、ベルリンの壁は突如として崩れ、史上まれに見る〈非暴力革命〉が実現した。キリスト者はその時何をしたか？ 40年間弾圧の下にありながらも正義と平和を祈り求めた旧東ドイツ・キリスト者の証言、現場からの報告。(1992.3)

J. L. エイミー 金丸英子訳

囚われの民、教会

南部バプテストの社会的姿勢に見る、教会と文化の関係史

7233-4 A 5判 424頁 本体4,000円

南北戦争からベトナム戦争中までに生じた社会問題に対して、アメリカ合衆国最大のプロテスタント教派が示した姿勢を史料によって検証する。政治を大きく左右する宗教勢力の分析を通して「アメリカ南部」の社会深層を読み解く。(2004.6)

高橋保行

迫害下のロシア教会

無神論国家における正教の70年

6325-4 B 6判 188頁 本体2,000円

貧困と圧政からの解放をめざしたはずのロシア革命から70年、宗教を否定した国家のもとでなされたロシア教会への弾圧と抹殺の実態。忍耐のなかに信仰を持ち続けた民衆の苦難の歴史。政治と宗教の関わりを描く。(1996.1)

D. ウォーカー編 木下智雄訳

ウェールズ教会史

9940-5 A 5判 320頁 本体3,200円

ケルト文化に根ざすウェールズ教会の知られざる歴史を描く。聖人の時代から、イングランドとの長い抗争を経て国教会制度の廃止後、ウェールズ聖公会として独立を勝ち取るまでの1500年の歩み。日本では類書のない、ウェールズについての稀書。(2009.9)

E. ダーガン 中嶋正昭訳 関田寛雄監修

世界説教史Ⅰ 古代-14世紀

7147-8 A 5判 312頁 本体4,000円

古代から19世紀末までの各国の説教を、具体的に説教のさわりを引用しながらその時代背景とともに描き出した古典的名著。プロテスタント、カトリック、正教を網羅したエキュメニカルな視点から説教者の肉声をよみがえらせる。(1994.3)

E. ダーガン 中嶋正昭訳 関田寛雄監修

世界説教史Ⅱ 14-16世紀

7148-6 A 5判 302頁 本体4,000円

ルネサンスと宗教改革の時代、説教はスコラの残滓を脱ぎ捨て、新しい文体を獲得し黄金時代を迎える。フス、サヴォナローラなどの先駆者から、ルター、ツヴィングリ、ブリンガー、カルヴァンからジョン・ノックスに到るまで。(1995.3)

E. ダーガン 中嶋正昭訳 関田寛雄監修

世界説教史Ⅲ 17-18世紀

7149-4 A 5判 376頁 本体4,200円

この時代、フランス・カトリックの説教は、雄弁術の極みに達する。イギリスはシェークスピア時代の豊かで多様な言葉の花と果実を身につけた説教者を輩出。プロテスタントとカトリックがしのぎを削り競い合った時代の説教。(1996.4)

E. ダーガン 中嶋正昭訳 関田寛雄監修

世界説教史Ⅳ 19世紀

7150-8 A 5判 254頁 本体3,500円

柳 東植 澤 正彦／金 纓訳

韓国キリスト教神学思想史

7119-2 A 5判 420頁 本体3,800円

「教皇権至上主義」「信仰覚醒運動」「オックスフォード運動」「キリスト教社会主義」など真理追究の世紀に説教は文学的、思想的に大きな進展を見る。シュライエルマッハー、ニューマン、スパージョンら多くの強力な説教者が輩出。(1997.4)

日本の侵略、民族の南北分断、朝鮮戦争と、長い苦難の歴史を歩みながらも固有の文化を発展させてきた韓民族の力を支えた在来宗教との交渉から、韓国のキリスト教はいま、新しい「聖霊の神学」を生み出そうとしている。(1986.7)

【コンパクト・ヒストリー】

L. S. カニンガム 高柳俊一訳

聖人崇拝

1850-5 四六判 264頁 本体1,800円

人はなぜ聖人を崇拝するのか？ 聖人とはどのような存在なのか？ 東西両教会における聖人崇拝の歴史とその変遷を解き明かしつつ、マザー・テレサや他宗教の聖人を通して、現代そして未来の聖人像を考察する。(2007.3)

C. リンドバーク 木寺廉太訳

キリスト教史

1851-2 四六判 336頁 本体2,000円

神学・思想面の要点を押さえ、偏り無く書かれたキリスト教の通史。ボストン大学教授である著者が、学生のために、歴史上の人物たちの生き生きとしたエピソードを交えて描く、ユニークかつ充実の1冊。(2007.8)

D. J. デイヴィス 森泉弘次訳

死の文化史

1852-9 四六判 312頁 本体1,800円

「死」の心理学的考察、埋葬の歴史とその思想の変遷、文学や音楽に表現される「死」——。神学と歴史学、社会人類学の研究者である著者が、様々な時代・社会・思想における「死」に関する様相を描く。(2007.12)

G. R. エヴァンズ 木寺廉太訳

異端信仰

1853-6 四六判 262頁 本体1,600円

「異端」とは何か、なぜウィクリフやフスは断罪されたのか？ 現代の原理主義につながる問題として、「異端」とされた者の声に耳を傾け、キリスト教会における光と闇の歴史を検証する。(2008.8)

P. シェルドレイク 木寺廉太訳

キリスト教霊性の歴史

1854-3 四六判 336頁 本体1,800円

キリスト教における「霊性」とは何か。聖書と初期の教会における霊性の基礎から、他宗教との連繋により多様化する現代の霊性まで、2000年におよぶキリスト教の霊性のあり方を概観し、将来の課題を提示する！(2010.9)

C. リンドバーク 佐々木勝彦／濱崎雅孝訳

愛の思想史

1855-0 四六判 304頁 本体1,800円

人間は「愛」という言葉にどのような思いをこめ、どのような行動をもって「愛」を表現してきたか。西欧キリスト教の視点で描く、愛の思想と実践の歴史。歴史の裏に隠されてきた「愛」のエピソード満載、充実の1冊！(2011.5)

K. G. アッポルド 徳善義和訳

宗教改革小史

1856-7 四六判 340頁 本体1,800円

ルターに始まり農民戦争、再洗礼派に至る、歴史に決定的な刻印を残した宗教改革運動。そのダイナミズムを最新の研究に基づき、斬新に描く。神学的視座のみならず、政治経済・文化社会的な視座も統合した、新しい宗教改革史。(2012.10)

M. ヒンメルファープ 高柳俊一訳

黙示文学の世界

1857-4 四六判 288頁 本体2,300円

この世の終わりと死後の世界を人はどのように考えてきたか。古代ユダヤ教に生まれ、現代に至るまで、人々を突き動かしてきた黙示思想とは何か。黙示文学の生成と展開をテーマに即して紹介。歴史の終末のヴィジョンを描く。(2013.3)

【シリーズ・世界の説教】

小高 毅編

古代教会の説教

7335-1 A 5 判 350頁 本体3,400円

世界の代表的な説教を紹介する「シリーズ・世界の説教」。本巻ではキリスト教の土台を築き、後代に大きな影響を及ぼした教父たちの説教を収集。現存する最古の説教、葬儀説教、クリスマス説教など、多彩な内容を収録。(2012.1)

高柳俊一編

中世の説教

7336-8 A 5 判 476頁 本体4,500円

本巻ではアンセルムス、アッシジの聖フランチェスコ、トマス・アクィナスなど、6世紀後半から宗教改革の前夜までの中世の代表的な説教を収録。教皇、修道士、スコラ学者、神秘主義者、宗教改革の先駆者など、様々な立場の説教者を網羅！(2012.2)

出村 彰編

宗教改革時代の説教

7337-5 A 5 判 486頁 本体4,500円

教会制度や神学のみならず、政治・経済・文化の領域にまで影響を及ぼした宗教改革。さまざまな立場の説教者を取り上げ、全ヨーロッパ社会を巻き込んだ「信仰のみ」「聖書のみ」によって推進された宗教改革の核心に迫る！(2013.1)

高柳俊一編

近代カトリックの説教

7338-2 A 5 判 462頁 本体4,300円

宗教改革以後から現代までの間の代表的な説教を収録する。ラッツィンガー（教皇ベネディクトゥス16世）や教皇ヨハネス・パウルス2世など、現代社会と密接に関連する説教者も登場。収録説教のほとんどが本邦初訳。(2012.8)

加藤常昭編

ドイツ告白教会の説教

7373-3 A 5 判 508頁 本体4,600円

ナチズムの暴政に抵抗したドイツ告白教会。その運動に参加した牧師たちはヒトラーとの闘いを通じて聖書を説き、キリストを紹介する意味を再発見した。その説教と共に「説教のための黙想」を生み出した「説教論」も収録。(2013.11)

日本キリスト教史

鈴木範久

日本キリスト教史

年表で読む

7419-8 A 5判 504頁 本体4,600円

非キリスト教国・日本にキリスト教がもたらしたのは何であったのか。渡来から現代まで、国の宗教政策との関係と、文化的・社会史的な影響とを両軸に据えて描く通史。巻末に詳細な年表110頁を収録。(2017.8) [2]

日本キリスト教歴史大事典編集委員会編

[在庫僅少]

日本キリスト教史年表 [改訂版]

7909-6 B 5判 110頁 本体1,200円

元来『日本キリスト教歴史大事典』の巻末付録として編集された年表であるが、第一次資料にあたり、日本のキリスト教史の流れが一般史とも合わせて理解できるようにした。今回改訂にあたり、2004年まで時代を追加し、最新版とした。(2006.5)

黒川知文

[オンデマンド版]

日本史におけるキリスト教宣教

宣教活動と人物を中心に

0338-9 四六判 478頁 本体3,800円

キリスト教伝来から現代までを、宣教の観点から概観した日本キリスト教史。各時代の宣教活動を取り上げ、宣教に生涯を捧げた人物を紹介する。カトリック・正教会・プロテスタントの知られざる歩みにも着目。図表・写真多数。(2018.4)

Kumazawa Yoshinobu, David L. Swain (ed.)

[在庫僅少]

Christianity in Japan, 1971-90

7133-8 菊変型判 400頁 本体3,398円

70年代と80年代の20年間は、激動の時代で、キリスト教界内外にさまざまな出来事があった。天皇制、靖国、学園紛争、万博、環境問題、アジアの労働者、山谷・農村伝道、障害者、いのちの電話、ホスピスなどを論じる。(1991.5)

川村信三編 キリスト教史学会監修

キリシタン歴史探求の現在と未来

6150-1 四六判 268頁 本体2,400円

これまでに発掘された膨大な史料をもとに「分析」と「解釈」を深化させる新たなステージを迎えた、キリシタン研究の最前線！ 学界をリードする第一線の研究者たちによる先進的で示唆に富む諸論考を収録した論集。(2021.3)

海老沢有道

キリシタン南蛮文学入門

0911-X 四六判 288頁 本体3,398円

1549年のフランシスコ・シャヴィエルによる布教開始からわずかず数十年の間に、キリシタンの宣教師たちと日本人信徒たちが、厚い翻訳の壁を乗り越えて花開かせたキリシタン南蛮文学の全貌をはじめで紹介する。(1991.12) [2]

五野井隆史

ペトロ岐部カスイ

6431-1 B 6判 340頁 本体1,900円

2008年に187名の殉教者と共に列福されたペトロ岐部カスイ。ローマで司祭となるも帰国後拷問・惨殺されたイエズス会士のドラマティックな生涯を辿る。100点以上の図版や文献一覧、索引など、貴重な資料を豊富に収録。(2008.8) [2]

マリオ・トルチヴィア

[在庫僅少]

北代美和子／筒井 砂訳 高祖敏明監訳

ジョヴァンニ・バッティスタ・シドティ

使命に殉じた禁教下最後の宣教師

6740-4 四六判 310頁 本体2,400円

江戸時代中期の日本に潜入して捕らえられ、新井白石から尋問を受け、江戸の切支丹屋敷で獄死したシドティ(1667-1714)。故郷イタリアでの徹底的な調査研究と『西洋記聞』など日本語原資料から補完した初の学術的伝記。キリシタン文化研究第29冊。(2019.6)

同志社大学人文科学研究所編

排耶論の研究

7130-3 A 5判 368頁 本体5,631円

小田信士

幕末キリスト教経済思想史

9906-2 A 5判 584頁 本体7,000円

都田恒太郎

ロバート・モリソンとその周辺

中国語聖書翻訳史

6207-X B 6判 312頁 本体1,800円

岡部一興編 高谷道男／有地美子訳

ヘボン在日書簡全集

7301-6 A 5判 534頁 本体7,200円

キリスト教史学会編

宣教師と日本人

明治キリスト教史における受容と変容

6961-3 四六判 234頁 本体2,500円

同志社大学人文科学研究所編

日本プロテスタント
諸教派史の研究

7161-6 A 5判 526頁 本体6,500円

棚村重行

二つの福音は波濤を越えて

十九世紀英米文明世界と
「日本基督公会」運動および対抗運動

7296-5 A 5判 782頁 本体6,800円

「覆刻・日本基督一致教会信仰ノ簡条」出版
委員会編

覆刻・日本基督一致教会信仰ノ簡条

7374-0 A 5判 928頁 本体18,000円

高木一雄

日本カトリック教会復活史

7279-8 A 5判 460頁 本体5,500円

水戸学派の排耶論、進化論者の排耶論と神道著述家の十字教観、1880年代仏教系の反キリスト教運動、井上円了の排耶論、杉浦重剛の「理学」思想と排耶論、危機意識としての排耶蘇と反猶太（ユダヤ）など、11篇の研究を収録。（1989.7）

鎖国下のわが国の思想界とキリスト教の、中国等を媒介としての交渉の様相が描き出され、とくに幕末洋学開国思想におけるキリスト教の理解と受容の客観的条件が、本多利明・司馬江漢・渡辺華山・横井小楠に求められる。（1982.3）

日本語聖書翻訳史をたどりながら、ついにそこに大きな影響を及ぼしている中国語聖書の翻訳史にまでさかのぼった類書の少ない貴重な研究！ モリソンの生立ちから、マカオでの生活、そして翻訳の苦心をえがく。（1974.12）

1859年の来日以降、ヘボンが米国長老教会本部に送ったすべての書簡を収録。彼が携わった医療・教育・聖書翻訳・辞典編集等の活動から、日本の文化・風土・風習までを克明に書き記した、開国当時の日本を知る第一級の史料。（2009.9）

宣教師が日本にもたらしたキリスト教とはどのようなものか？ 日本人はそれをどう受容したのか？ 明治期キリスト教の特質と宣教活動の歩みを、正教会、カトリック、プロテスタント諸教派にわたり網羅した初めての研究。（2012.9）[2]

プロテスタント諸教派の歴史的概説と、ミッションとの関係や〈合同問題〉など主要なテーマを分析し、日本の教会の歴史と実態を明らかにする。各教会、教派史の専門家が、内外の資料を駆使して共同研究を重ねた貴重な成果！（1997.2）[4]

日本プロテスタント最初期の日本基督公会運動の成立と中断、そして諸教派教会形成へと至る淵源を、福音同盟会の第一次資料や、公会運動に携わった宣教師たちが影響を受けた19世紀英米の神学的潮流にまで遡って研究した斬新な試み。（2009.7）

日本における改革長老教会のルーツと言える日本基督一致教会。その教会で「信仰ノ簡条」として採択されたドルトレヒト信仰規準、ウェストミンスター信仰告白、同小教理問答、ハイデルベルク信仰問答の現存する最古の翻訳の覆刻。（2013.12）

日本のカトリック教会の歩みは、江戸前期のキリシタン弾圧によって制度上途絶した。しかし約200年後、開国とともに教会は復活の機を迎えた。当時の幕府外交の動向から、布教活動と外国人居留地設立について探る貴重な研究。（2008.10）

高木一雄

明治カトリック教会史1

7280-4 A 5判 480頁 本体5,200円

高木一雄

明治カトリック教会史2

7281-1 A 5判 458頁 本体5,200円

工藤英一

近代日本社会思想史研究

7131-1 A 5判 356頁 本体3,689円

塩野和夫

近代化する九州を生きた キリスト教

熊本・宮崎・松山・福岡

7339-9 A 5判 272頁 本体4,200円

岡田典夫

日本の伝統思想とキリスト教

その接点における人間形成論

6313-0 B 6判 296頁 本体3,000円

武田清子

植村正久

その思想史的考察

6372-6 B 6判 244頁 本体2,500円

岡部一興

山本秀煌とその時代

伝道者から教会史家へ

7360-3 A 5判 310頁 本体3,800円

同志社大学人文科学研究所編

アメリカン・ボード宣教師

神戸・大阪・京都ステーションを中心に、
1869～1890年

7236-9 A 5判 488頁 本体4,500円

關岡一成

人になれ人、人になせ人

クリスチャン・サムライ 海老名弾正

6141-9 四六判 170頁 本体1,000円

明治期の日本のカトリック教会の発展の歴史を、宗教政策関連文献や外交文書から詳説。第1巻では学校でのキリスト教教育問題に代表される、教会と新政府の国家神道体制との軋轢を中心に述べる。巻末に明治におけるカトリック教会一覧を付す。(2008.10)

前巻に引き続き明治期のカトリック教会の現状を描く。第2巻では諸外国との不平等条約の改正交渉に関連して、外国人居留地の問題や、宣教師の日本本土・植民地への布教問題などを扱う。巻末に年表、明治期における修道会・宣教会の概況を付す。(2008.10)

明治期に輸入された近代的イデオロギーと日本の封建的イデオロギーとの対決を、地租、労働問題、足尾鉍毒事件、社会主義、キリスト教主義学校、被差別部落の解放、明治天皇の死など、13篇の論考をとおして概観する。(1989.7)

アメリカンボードの史料や宣教の記憶集団となった現地教会やキリスト教学校への調査をもとに、明治から大正にかけて九州・四国で活躍した宣教師や日本人キリスト者たちの伝道・牧会・教育への熱意と苦闘の足跡を辿る。(2012.2)

明治期、圧倒的な勢いで入ってきた西欧の文化・思想と接した青年たちの人間形成。〈幸〉〈不幸〉の由来は？ 〈立身出世〉と倫理は？ 〈自助・自立〉と差別は？ 〈人格〉の確立は？ 福沢諭吉・留岡幸助・内村鑑三らの思想形成を考察。(1995.3)

福音の本質を捉え、日本プロテスタント教会の礎石的存在ともなった植村正久は、日本人の人間観、社会観、歴史観を革新するためにどのような問題提起をしたのか。女性観、罪意識など具体的事例を通して近代思想史上に果たした役割を考察する。(2001.1)

『日本基督教史』などの著書で知られる、日本キリスト教史研究の先駆者の初の評伝。植村正久、井深梶之助と親交を厚くし、我が国のプロテスタント教会の草創期を支えた伝道者でもあった山本の知られざる人物像に迫る。(2012.11)

明治初期にアメリカン・ボードから派遣された宣教師たちの活動を、宣教師とボード幹事との往復書簡を基本資料として精査し、在米ボード本部と個々の宣教師、当時の日本の教会や地域社会とのダイナミックな相互関係を明らかにする。(2004.10)

明治維新によって階級制度が解体し、「和魂」「東洋道德」も崩壊した時代に、武士道・儒教の伝統を踏まえてキリスト教を受容し、普遍的「人間の完成」を求めた海老名弾正。膨大な資料を読み解き、彼の実像を描き出す。(2019.4)

関岡一成

海老名弾正

その生涯と思想

7397-9 A 5判 574頁 本体6,000円

安中教会、本郷教会の牧師、同志社大学総長などを歴任し、雄弁と健筆によって、吉野作造をはじめ多くの同時代人を感化した海老名弾正。本書では膨大な史料と文献によって海老名の生涯をたどり、その思想の本質を明らかにする。(2015.9)

関岡一成編

海老名弾正関係資料

7432-7 A 5判 310頁 本体3,200円

日本における最初期のプロテスタント教会の代表的指導者である海老名弾正。本書は、彼の著書・論文目録のみならず、当時の著名人や新聞、家族等による海老名評なども含め、網羅的・多角的な視点から資料を収録した渾身の力作。(2019.5)

小見のぞみ

田村直臣のキリスト教教育論

7423-5 A 5判 490頁 本体6,000円

近代日本において、キリスト教に基づく教育理論の構築と実践を行い、他に先がけて「男女同権」と「子どもの権利」を提唱した田村直臣。その教育論の形成と変遷をたどり、今日的な意義を問う、初の包括的研究。(2018.3)

中村健之介／中村悦子 [在庫僅少]

ニコライ堂の女性たち

6573-7 四六判 600頁 本体3,200円

宣教師ニコライの日本伝道への情熱に直接触れながら、芸術に教育に社会事業に尽くした草創期の正教会女性信徒7人。発掘した資料によって、その実像を初めて明らかにする。女性史研究としても画期的な研究書。(2003.3)

キリスト教史学会編 [在庫僅少]

近代日本のキリスト教と女子教育

6118-1 四六判 192頁 本体2,400円

明治期以降、日本の女子教育をリードする存在であったキリスト教主義女学校。その発展までの軌跡をプロテスタント女性宣教師、日本人キリスト教徒、カトリック修道会という母体ごとに比較し、多様な実態と歴史的背景を提示する。(2016.8)

H. E. ハーマー編 岩波哲男／岡本不二夫訳

明治キリスト教の一断面

宣教師シュピンナーの『滞日日記』

6618-0 四六判 402頁 本体3,800円

〈キリスト教文化をアジアへ導入〉するために来日したドイツ普及福音新教伝道会宣教師の5年間の日記。憲法発布・国会開設・教育勅語発布・内村鑑三不敬事件と国家主義が高まる中で、知識人層へ伝道に励んだ貴重な記録。(1998.1)

石関敬三／紅野敏郎編

大西祝・幾子書簡集

付・大西 祝宛書簡

7142-7 A 5判 660頁 本体12,000円

明治20年代の思想界をリードしたキリスト者の哲学者の、婚約者・妻への手紙240通、妻から夫宛の手紙51通。ほかに大西 祝宛の、安部磯雄、島村抱月、オイケン、小崎弘道、内村鑑三、新島 襄、逍遙、梁川、樗牛、蘇峰、雲峰、介石の手紙。(1993.4)

鄭 玟汀

天皇制国家と女性

日本キリスト教史における木下尚江

7361-0 A 5判 412頁 本体4,200円

明治国家の天皇制による統制に真正面から対抗し、国体論や軍国主義を激烈に批判、また婦人参政権の実現を訴えた木下尚江。国家権力からの自由を主張し、理想と情熱に燃えて社会の進歩に身を投じた彼の思想的闘争の軌跡を辿る。(2013.2)

キリスト教史学会編

植民地化・デモクラシー・再臨運動

大正期キリスト教の諸相

6983-5 四六判 252頁 本体2,500円

近代日本の転換期となった、日露戦争から満州事変までの四半世紀において、キリスト教はどのような動きを見せたのか？ 大正期の日本キリスト教史の展開を3つの論点の中軸に分析し、100年後の現代に通ずる洞察を提示する。(2014.8)

斎藤宗次郎

恩師言

内村鑑三言行録・ひとりの弟子による

6515-X 四六判 598頁 本体4,800円

J. F. ハウズ 堤 稔子訳

近代日本の預言者

内村鑑三、1861 - 1930年

7402-0 A 5判 562頁 本体5,000円

鈴木範久監修 藤田 豊編

内村鑑三著作・研究目録

[CD-ROM 付]

7219-9 A 5判 300頁 本体20,000円

今井館教友会編

神こそわれらの砦

内村鑑三生誕150周年記念 [CD つき]

7342-9 A 5判 198頁 本体1,800円

岩野祐介

無教会としての教会

内村鑑三における「個人・信仰共同体・社会」

7364-1 A 5判 320頁 本体4,500円

岡部一興

長谷川誠三

津軽の先駆者の信仰と事績

7437-2 A 5判 324頁 本体3,800円

M. プラング 鳥海百合子訳

東京の白い天使

近代日本の社会改革に尽くした女性宣教師
キャロライン・マクドナルド

6619-9 四六判 474頁 本体3,500円

鈴木範久編

最初の良心的兵役拒否

矢部喜好平和文集

6331-9 B 6判 208頁 本体1,800円

キリスト教史学会編

戦時下のキリスト教

宗教団体法をめぐる

6992-7 四六判 200頁 本体2,200円

25歳で初めて内村と出会って以後、内村の死に至るまで30年間、著者はこの恩師の言葉を、その時々情景を語るスケッチと共に、誠実に克明に記録した。家族や弟子との関係の機微、塚本虎二事件の真相が明かされる。(1986.4)

旧約聖書の預言者の人物として現れた稀有の天才・内村鑑三。その生涯を、日本と西洋の価値観の狭間で葛藤しつつ、統合を求めた精神的苦闘の軌跡として描き出す。門下生の証言と膨大な文献を元に、内村の心情にまで深く迫る比類なき論考。(2015.12)

内村鑑三の全著作および研究・関係文献を網羅した目録。CD-ROM 版には内村の全著作データ9,900点、2002年までの研究文献データ8,400点を収録。著作者名、題名、出版年、掲載紙名等から検索可能。内村の多角的総合的研究に必須。(2003.3)

東日本大震災直後に開催された内村生誕150周年記念講演会とシンポジウム、若者によるエッセイ・コンテストの優秀作を収録。「内村と現代」を多面的に問う論考の数々。矢内原忠雄の肉声による内村生誕100周年記念講演CDつき。(2012.3)

内村の義認論、信仰共同体論、そして社会改革論に至るまでを、彼の聖書解釈テキストをもとに解き明かす。『聖書之研究』をはじめとする膨大な資料を渉猟しながら、内村の思想の全貌を明らかにする画期的な研究。(2013.3)

りんご園開設をはじめ多角的な成功を収めた大事業家でありながら、歴史に埋もれてしまったのはなぜか。キリスト教教育に注力し、窮民への慰問伝道を行うなど「敬天愛人」を実践した彼の信仰に学び、知られざる実像に迫る。(2019.10)

大正期の日本社会改革に身を献げたカナダ人宣教師の記録。ある日、自分の指導するバイブル・クラスの男性が妻子を殺害したことを機に、受刑者の救済活動、刑務所伝道、女性解放、労働運動など多方面に尽くす。日本YWCA 創設者。(1998.7)

日露戦争中、「人を殺すなかれ」という聖書の教えを守り、日本で初めて自らの信念によって〈兵役拒否〉をした青年の、非戦の思想をたどる。書き残されていた自伝と随想に、当時の裁判記録など歴史資料を付した貴重な記録。(1996.7)

1939年の宗教団体法公布に始まる国家の宗教統制、諸教派の合同・分裂や教会への弾圧。こうした混迷する戦時体制下の動向をめぐり、日本基督教団・カトリック・正教会・聖公会・ホーリネスが初めて一堂に会して論じる。(2015.8) [2]

K. -H. シェル 後藤哲夫訳

賀川豊彦

その社会的・政治的活動

7299-6 A 5判 212頁 本体2,600円

キリスト教の愛の実践者、労働運動、組合運動の先駆者として激動の時代を生き抜いた賀川豊彦。その生涯と多様な働きを、日本におけるキリスト教宣教史の文脈の中に位置づけた、貴重な「ドイツ人から見た賀川豊彦」像。(2009.8)

J. C. スミス 山口俊夫訳

日本から世界宣教へ

一宣教師の回想録

7165-6 A 5判 408頁 本体3,800円

戦前から12年間宣教師として日本に滞在して培われた経験から〈植民地主義から世界共同体〉を目指し、世界の教会を導いた元WCC議長・米国合同長老教会総会議長の回想録。日本キリスト教史の貴重な資料。(1997.8)

Eiichiro Uchikawa

NITOBE INAZO

The Twilight years

9910-0 A 5判 176頁 本体2,500円

新渡戸稲造が、帝国主義日本の代弁者として、日本の満州（中国東北部）侵略を擁護したかどうかを実証的に論証する。国際連盟を脱退し、国際的に孤立していく日本を信仰の良心に立って食いとめようとする新渡戸の努力！（1985.5）

山口周三

南原繁の生涯

信仰・思想・業績

7348-1 A 5判 522頁 本体3,000円

戦後日本のオピニオン・リーダーとして教育改革で中心的役割を果たした南原繁の初の本格的評伝。無教会の信徒として内村鑑三と新渡戸稲造の両者から直接の感化を受けた彼の信仰生活の側面にまで分け入って書かれた貴重な評伝。(2012.9) [2]

堀江優子編著

戦時下の女子学生たち

東京女子大学に学んだ60人の体験

7916-2 B 5判 904頁 本体8,000円

第二次大戦下、国家によって「敵性宗教」とされたキリスト教主義の大学で学んだ女子学生たちは、どんな経験をしたのか？ 1935～1948年までの在学生60人を対象に行なわれた聞き取り調査に基づき、まとめられた貴重な証言。(2012.12)

土肥昭夫

各個教会史をどう書くか

資料収集から叙述まで

7319-1 A 5判 300頁 本体4,200円

日本キリスト教史研究の第一人者が、資料収集からその整理、叙述・刊行までの方法を、自身の執筆体験を踏まえながら具体的に手引きした、教会史編纂のための最良の手引き。第2部は著者が執筆した京南・京北教会史を収録。(2010.10)

NCC 教育部歴史編纂委員会編

教会教育の歩み

日曜学校から始まるキリスト教教育史

7912-4 B 5判 264頁 本体2,000円

日本日曜学校協会設立から数えて100年を迎えるNCC教育部が編纂した、本格的な「日本キリスト教教育史年表」と、今日の課題をめぐる13の論考。戦前・戦時下・戦後を経た教会教育の展望を拓く。(2007.5)

大西晴樹

キリスト教学校教育史話

宣教師の種蒔きから成長した教育共同体

6991-0 四六判 222頁 本体2,600円

宣教師の働きから芽生えたキリスト教による教育は、近現代史にどのような足跡を残し、信教と教育の自由を脅かす諸問題とどう対峙してきたのか？ 明治学院、キリスト教学校教育同盟で重職を歴任した著者が各主題を繋いで通観する。(2015.2)

樽松かほる／大島 宏／高瀬幸恵／柴沼 真／影山礼子／辻 直人 [在庫僅少]

戦時下のキリスト教主義学校

7411-2 A 5判 222頁 本体3,700円

国家の教育統制に対して、キリスト教主義学校はどのように対峙したのか？ 各学校の実態を史料に基づいて比較検討し、一方的な抑圧や追従といった通念的な見方を再考する共同研究。日本の教育史に重要な観測結果を提供する。(2017.3)

キリスト教学校教育同盟百年史編纂委員会編

キリスト教学校教育同盟 百年史 年表

7914-8 B 5判 126頁 本体1,200円

1910（明治43）年の結成から100周年を迎えたキリスト教学校教育同盟の、今日までの歴史を辿る年表。各種資料から立項した事項項目から、キリスト教学校教育が近代日本教育史に刻んだ足跡を俯瞰する。（2010.11）

信仰書・キリスト教入門書

青山学院宗教センター編

地の塩、世の光

人物で語るキリスト教入門 [CD-ROM 付]

7253-8 A 5判 232頁 本体1,800円

聖書時代から、古代・中世を経て宗教改革や現代そして日本におよぶ、総勢26名のキリスト者人物像を取り上げ、その生き方と信仰から、現代の問題を考えるキリスト教入門。地図・年表のほか、興味を深め、学習を助けるCD-ROM 付き。（2006.2）[18]

朝岡 勝

教会に生きる喜び

牧師と信徒のための教会論入門

6140-2 四六判 244頁 本体1,800円

まことの羊飼いの声が聞こえていますか？神を愛する信仰者の共同体でありながら、時に苦悩と躓きをもたらす地上の教会——。その本質と使命を聖霊論的な思索から問い直す「教会再発見」への旅。（2018.12）[3]

芦名定道／土井健司／辻 学

[改訂新版]

現代を生きるキリスト教

もうひとつの道から

7227-9 A 5判 318頁 本体2,000円

直面する困難な社会状況の中で、いかにして自らの進むべき道を見いだしていくか。男女関係から環境破壊まで、私たちが共有する現代の諸問題に即して、聖書・歴史・思想の三つの観点から、キリスト教思想の現在を講じる。（2004.2）[5]

岩村信二

日本語化した キリスト教用語

6440-3 B 6判 276頁 本体1,600円

「タレント」「カリスマ」「豚に真珠」「洗礼」「目からうろこが落ちる」等々、もとの宗教的意味が「サビ抜き」されて日本語に定着した162語を、三代続く牧師の家系に生まれた著者が、豊富な知識と独自の目線でわかりやすく解説！（2009.9）

岩村信二

日本人にもわかる キリスト教の人生訓

6441-0 B 6判 224頁 本体1,400円

「汝の敵を愛せ」「狭き門から入れ」「求めよ、さらば与えられん」等々、お馴染みのフレーズからキリスト教の本質に触れる名句・名言まで。大ベテラン牧師による一味ちがった解説！ 付録エッセイ「聖書のユーモア」も収録。（2009.11）

ローワン・ウィリアムズ

ネルソン橋本ジョシュア 訳 西原廉太 監訳

キリスト者として生きる

洗礼、聖書、聖餐、祈り

6745-9 四六判 136頁 本体1,600円

この世界で本当に人間らしくあるために、私たちはどのように生きればよいのか？ キリスト者の生活に欠かせない要素とその意義を、第104代カンタベリー大主教が分かりやすく解き明かす。知的・霊的洞察に満ちた最良の信仰入門。（2021.2）

内坂 晃

[在庫僅少]

荒野を見る目

旧約聖書から何を聞か

1303-6 B 6判 256頁 本体1,600円

モーセの十戒を中心とした講解説教集。創世記、出エジプト記をテキストに、原語の意味にさかのぼって深く掘り下げると同時に、時代背景・歴史からも考察し、さらに現代における日本と第三世界との関連でメッセージを聞く。（1990.8）[2]

内坂 晃

虚無の霊に抗して

6324-6 B 6判 208頁 本体1,500円

梅津順一

その神の名は？

キリスト教への招待

6111-2 四六判 228頁 本体1,800円

J. エルドリッジ 宮原守男／木下教子訳

目を醒ませ、死者の中から

神の栄光、完全に生きるあなたの心

6697-1 四六判 434頁 本体1,800円

大川従道

ですから、聖書に戻るのです

1000人礼拝のベストテン・メッセージ

6411-0 B 6判 200頁 本体1,200円

大串元亮

[在庫僅少]

花と子どもと神の国

園児のお母さんへ

6287-8 B 6判 170頁 本体1,900円

大嶋裕香

神に愛された女性たち

西洋名画と読む聖書

6135-8 四六判 160頁 本体1,000円

大塚野百合

あなたは愛されています

ヘンリ・ナウエンを生かした言葉

6917-0 四六判 210頁 本体1,800円

大塚野百合

感動ものがたり

魂をゆさぶった人たち

6942-2 四六判 168頁 本体1,600円

大野恵正

永遠の支え

6316-5 B 6判 242頁 本体2,500円

牧師として、キリスト教学校の教師として、聖書のみ言葉に聞きながら、現実の問題と正面から対峙した説教と講演。「義の冠」「宗教批判としての福音」「クリスマスの恐れと不安」「聖霊の働き」「河合栄治郎と矢内原忠雄」他。(1995.12)

青山学院第14代院長の著者が、大学や教会で語った奨励や説教の19篇を収録。進学、就職、結婚など、将来への不安や課題を抱える若者たちに、聖書の言葉を紹介し、「どのように生きるべきか」を希望をもって問いかける。(2016.3) [2]

神が私たちに望んでおられることは、罪を恐れて萎縮したり、罪責感に悩まされながら生きることではない。贖われた心をもって、「望みに向かって」人生を生きることである！悩める現代アメリカでベストセラーになった福音の書。(2012.7)

毎日曜日1000人を超える会衆を前に語られた1年間の説教の中から10編を厳選。伝道一筋に生きてきた牧師が、分かりやすい言葉で、ユーモアとジョークを交えながらも、聖書にもとづく「救い」のメッセージの急所を語る。(2006.4)

旧約学者であり、牧師である著者は教会幼稚園の園長として25年間子どもと母親たちに接してきた。その体験と「幼な子の心」をもった救い主イエス・キリストの教えを重ねながら、今日の日本の子どもの問題を謙虚に考える。(1992.11)

人類最初の女性エバ、ダビデ王と関係をもったバテ・シェバ、イエスの母マリヤ、「罪深い女」というレッテルを貼られた女性……。彼女たちは神に出会ってどのように変えられたのか？ 聖書に描かれた16人の女性たちの物語。(2018.6) [2]

世界中のキリスト者に愛読され、ベストセラーを続けるヘンリ・ナウエンの著作。自己の弱さをさらけ出し、神の愛を心から求めた彼がたどりついた答えとは。溢れんばかりの励ましと慰めに満ちたメッセージを読み解く。(2009.12) [2]

人間が苦しみや悲しみに出会った時、絶望から救い上げてくれる存在。そんな眩い存在を求め、憧れた作家や文学者、宗教家たちがいた。彼らとの出会いを通して新しい真実に目を開かれ、魂をゆさぶられた思いを軽やかな筆致で綴る珠玉のエッセイ集。(2011.5)

活水女子大学や日本キリスト教団長崎古町教会の礼拝で語られた25編。人間形成と人格の涵養がめざされる大学では、現代社会に生きる学生の心のひだに届く言葉を願い求め、長崎の歴史の悲劇を信仰者の言葉で語り伝える。(1995.5) [2]

大宮 溥・チエ子説教集

希望の旅

6532-X 四六判 352頁 本体2,500円

小島誠志

愛に根ざして生きる

聖句断想2

6018-2 小B 6判 224頁 本体1,500円

小島誠志

神の庭にやすらう

聖句断想3

6019-0 小B 6判 228頁 本体1,500円

小島誠志

疲れたものに力を

聖句断想4

6020-4 小B 6判 212頁 本体1,800円

小島誠志

わたしを求めて生きよ

聖句断想5

6030-6 小B 6判 230頁 本体1,800円

小島誠志

見出された命

聖句断想6

6034-4 小B 6判 200頁 本体1,800円

小田垣雅也

四季のパンセ

信仰とユーモア

6296-7 B 6判 198頁 本体2,000円

小田島嘉久

御言葉の泉

6364-5 B 6判 170頁 本体1,700円

片柳弘史

ぬくもりの記憶

6463-2 B 6変型判 142頁 本体1,000円

教団・阿佐ヶ谷教会牧会20年を記念して刊行された夫妻初めての説教集。教会暦に従いつつ、聖書のテキストに人生の経験との呼応の中で説かれる説教は、「神われらと共に」の現実を、聞く者の心に強く訴えかけてくる。(1997.2)

「いちばん大切なものは愛——イエスはそ
の人たちの信仰を見て病める人をいやされ
ました。ひとりの人が救われるためにさ
まざまな祈りと奉仕がある」。1頁の中に、
聖句とその解説を取め、簡潔・的確に聖書
の教えのエッセンスを伝える。(2004.11)

「乳飲み子が母乳を飲む。その一途な姿に
は心うつものがあります。どんなに深い思
索も、経験の積み重ねも、そんなことで命
を得ることはできません。乳飲み子のように
神の言を飲まなければ」。渡辺総一氏の
カットがさらなる黙想を誘う。(2005.10)

「日ごとに新しく、み言葉に出会う。自分
のことは自分で守らなければならないから、
疲れ果てるのです。人は自分の手で自分を
にぎりしめることはできません。わたしを
にぎりしめることのできる方は、神だけで
す」。(2006.10)

「信仰とは内に蓄える力ではありません。
自らの無力を知るゆえにひたすら神により
頼むことであります。力んでも何もできま
せん。祈って何事かを神にさせていただく
のです」。渡辺総一氏の絵と共に味わう202の
断想。(2010.12)

「神は失われた一匹の羊を捜し出します。
失われた一枚の銀貨を見つけるまで捜しま
す。悔い改めとは、人が神を見出すこと
ではありません。神に見つけていただいた自
分を知ることです」。聖句とその教えのエ
ッセンスを伝える断想。(2020.3)

人間は矛盾のなかで、半ば「困惑」し、半
ば「本懐」に生きているのではないか。中
途半端に、滑稽にしか生きられないからこ
そ「神」を求め、「真理」を求め、「美」を
求めるのではないか。深く考え抜かれた、
わかりやすい入門書。(1993.11)

サマリアの女は「渇くことのない水」を求
めた。聖書の言葉は人生の様々な局面で尽
きない泉のように、私たちに命の糧を与え
る。伝道者、大学の教師としての生涯を歩
み通した著者が21世紀を生きる糧として贈
る珠玉のメッセージ。(2000.1)

人生の分岐点で私を導いてくれたのは、い
つも愛だった——故郷の風景、キリスト教
との出会い、神父になるまでの道のり、暮
らしの中でのささやかな喜び。懐かしい
日々の思い出を呼び起こし、神父としての
思いを語る珠玉のエッセイ集。(2019.6) [2]

片柳弘史

あなたはわたしの愛する子

心にひびく聖書の言葉

6466-3 B 6 変型判 180頁 本体1,000円

「聖書と向かい合い、神さまと対話するうちに、わたしたちの人生は聖書の中に溶け込んでゆきます」——福音のエッセンスが詰まった人気ブログから40篇を厳選したエッセイ集。生活に密着した分かりやすい聖書の説き明かし。(2020.3)

加藤常昭

改訂新版 雪ノ下カテキズム

鎌倉雪ノ下教会教理・信仰問答

6919-4 四六判 256頁 本体1,500円
7312-2 聖句付き A 5 判 384頁 本体3,300円

教派・教会の違いを越え、自分の信仰を問い直そうとする人々に贈る喜びのカテキズム。改訂にあたり、新たに聖餐に関する問答を加えた。また、聖句を全文掲載した聖句付きと、聖句箇所だけを記したハンディな版を作った。(2010.4/2010.6)

加藤常昭

[オンデマンド版]

鎌倉雪ノ下教会

教会生活の手引き

0326-6 四六判 430頁 本体3,400円

「教会とはどんなところか」という素朴な質問から始まって、制度・仕組みや、礼拝の意味、説教、聖餐、洗礼式、結婚式や葬儀、祈禱会や諸集会、教会の諸委員会の働き、団体のあり方など287の質問に答え、解説する。(2015.7)

加藤常昭

ハイデルベルク信仰問答講話

6283-6 (上) B 6 判 322頁 本体2,200円
6284-3 (下) B 6 判 236頁 品切

宗教改革の戦いのなかから生まれ、改革教会の枠を越え、歴史的制約を越え世界でもっとも広く読みつがれ、現代人の魂に深く訴える信仰問答。その問答を日本人の魂の奥深く訴える美しい言葉で説いた (FEBCで放送)。(1992.8) [上7/下6]

加藤常昭

信仰への道

使徒信条・十戒・主の祈り

6971-2 四六判 584頁 本体3,200円

教派を越え、歴史を貫いて学ばれてきた「三要文」を通して、キリスト教信仰の基本を体得する。聖書の真理に学びながら、キリスト教信仰の精髓を学ぶ最良の手引き。加藤常昭信仰講話の6・7巻の合本。(2013.10)

加藤常昭

祈りへの道 [新装版]

6972-9 四六判 288頁 本体2,000円

生ける神を信じて生きるとは祈ることに他ならない。しかし祈りにおいてこそ人は罪を犯し、自己に執着しつづける。復活の主イエスの恵みに支えられてはじめて、祈りは自由で信頼に満ちた幼な子の心へと解き放たれる。(2013.10)

加藤常昭

祈禱集

教会に生きる祈り

6238-6 四六変型判 192頁 本体1,800円

第1部には、鎌倉雪ノ下教会の主日礼拝で実際になされた祈り22篇を、第2部には、本書のために書きおろされた日々の祈り21篇を収める。真実な信仰から溢れ出て、誠実な言葉で綴られた豊かな祈りの生活への道案内の書。(1986.5) [新装2]

加藤常昭

黙想

十字架上の七つの言葉

6592-3 四六判 212頁 本体1,800円

主イエスが語られた「十字架上の七つの言葉」のひとつひとつをめぐる黙想集。霊的な貧困と飢餓が語られる現代の日本人にとって必要不可欠な「十字架の福音」を語りかける。黙想を助ける白黒・カラー計15枚の挿絵入り。(2006.3) [2]

加藤常昭

加藤常昭信仰講話1・2

主イエスの生涯

6355-6 (上) B 6 判 284頁 本体2,000円
6356-4 (下) B 6 判 280頁 品切

FEBCで放送され好評を博した信仰講話。主イエスをめぐりシリーズと、信仰入門および教会をめぐり講話によって全7巻に構成。1・2巻は、聖書のことばを丁寧にときはぐしながら、主イエスの生涯の歩みを辿る。(1999.10 [2] / 1999.12)

C. E. ガントン 柳田洋夫訳

説教によるキリスト教教理

6670-4 四六判 320頁 本体2,800円

黒木安信

起きよ、光を放て

クリスマス・イースター説教

6350-5 B 6判 198頁 本体1,800円

トマス・ケリー 小泉一郎／小泉水子訳

内なる光

信仰の遺言

6008-5 小B 6判 172頁 本体1,800円

小原克博／野本真也

よくわかるキリスト教 @インターネット

7220-2 A 5判 128頁 本体1,500円

近藤勝彦

窮地に生きた信仰

ヨセフ物語、ダビデ物語、
ダニエル書による説教

6385-8 B 6判 306頁 本体2,500円

近藤勝彦

しかし、勇気を出しなさい

福音の倫理的力

6397-1 B 6判 316頁 本体2,500円

近藤勝彦

いま、共にいますキリスト

6412-9 B 6判 222頁 本体1,900円

近藤勝彦

喜び祝い、喜び躍ろう

主イエス・キリストとの交わり

6435-9 B 6判 182頁 本体1,900円

近藤勝彦

万物の救済

6436-6 B 6判 200頁 本体1,900円

教理とは何か？ 教理は私たちの信仰生活にどのような意味を持つのか？ 現代イギリスの神学者の中でも、正統的な神学を踏襲しながらその個性ゆえに最も輝きを放った著者が、自らの仕える教会で語った教理説教集。(2007.11)

著者が毎年キャンドル・サービスで語ってきたメッセージから16編を厳選、さらにイースター説教からの6編を加えた説教集。短いメッセージの中に、キリストの十字架の贖罪愛と、それに生きた信仰者の姿が生き生きと描かれる。(1998.12) [2]

〈深い体験、真摯な思索、簡潔な表現〉クエーカーの内外で広く永く、しかも深い感動をもって愛読されてきた珠玉のエッセイ集。「内なる光」「聖なる服従（帰依）」「祝福された共同体」「生活の簡素化」など信仰の真髄を語る5篇。(1999.7)

今やインターネットを通して国内はもちろん、海外のさまざまなキリスト教情報を日本に居ながらに知ることができます。聖書学や教会史の重要な文書、情報を集めることもできます。インターネットを使って世界のキリスト教とつながろう！(2003.8)

イスラエルの民の信仰が、苦難の歴史をとおしてはぐくんだ壮大なドラマ。人間の栄光と悲慘に関与し続ける神。今日の危機的状況を生きる現代人に「平和の神」への信仰を強め、慰めと希望と励ましを与える。(2002.10)

倫理的な危機の時代にあって、人間の倫理を遥かに越えたキリスト教の神の恵みが、力を発揮する。新しい人生、新しい世界へと人を慰め、励ます福音独自の力、〈圧倒的な神の恵み〉を指し示す説教の数々。(2004.5)

説教とは、聖書の言葉の説き明かしを通して「いま、共にいますキリスト」を指し示すこと。神学者として教鞭をとる傍ら、説教者として35年を歩んできた著者が、キリストによる現代人の救いと慰めを熱く語る31編の説教。(2006.4)

「愛をもって救いを喜ぶ礼拝、喜び躍る礼拝が真の礼拝なのです」。主イエス・キリストの生涯に学び、聖餐にあずかる意味を知る18編の説教。すべての求道者、とくにこれから洗礼を受けようとしておられる方へ贈るメッセージ。(2008.12)

「神の救済の御業には『宇宙論的な意味』があり、そのスケールは創られたもののすべてに及ぶ」。神の壮大な救済史を背景にして語られた27編の説教。信仰を求めるすべての人へのメッセージ。亡き愛犬の埋葬のための説教も収録。(2009.1)

近藤勝彦

確かな救い

廃墟に立つ十字架の主

6448-9 B 6判 208頁 本体1,900円

「主イエスの十字架は、神の救いの決定的な出来事であって、私たちのための身代わりの苦難と死であり、世にある罪と悪に対する勝利なのです」——危機的状況の中を生きる私たちに、罪の赦しと永遠の命を指し示す説教24編を収録。(2011.9)

近藤勝彦

人を生かす神の息

聖書から聞く現代へのメッセージ

6453-3 B 6判 234頁 本体1,900円

どのような状況にあっても神の導きにしたがう、キリスト教の信仰。聖書の御言葉に聞き、人を新たに生き返らせる福音を伝える。日本基督教団銀座教会、鳥居坂教会で「聖霊」の業を大胆に語った29編の説教。(2014.5)

近藤勝彦

十字架のキリスト以外に福音はない

ガラテヤの信徒への手紙による説教

6461-8 B 6判 184頁 本体1,700円

信仰の核心とは何か？ ルターが「神の義」を発見したとされる、重要な文書・ガラテヤの信徒への手紙。私たちの信仰を支えるイエス・キリストの恵みを、パウロの伝道の言葉とともに力強く語りかける珠玉の説教22編。(2017.11)

近藤勝彦

死のただ中にある命

預言者エリヤとエレミヤ

6465-6 B 6判 224頁 本体1,900円

使徒と預言者を土台として築かれた教会が、繰り返し思い起こしてきた二人の預言者。彼らの内的葛藤と、命の言葉を語り続けた喜びの体験が、今を生きる信仰者に新しい慰めと使命を告げる。列王記とエレミヤ書の説教25編。(2019.8)

佐々木勝彦

愛の類比

キング牧師、ガンディー、マザー・テレサ、神谷美恵子の信仰と生涯

6960-6 四六判 320頁 本体1,900円

神を愛し、隣人のために命を捧げた4人の人物。かれらは若き日に何に悩み苦しみ、自らの使命へと導かれたのか。かれらに影響を与えた人物と思想、時代の紹介を交えながら、活動の原点にある神秘体験（召命）を探る！（2012.9）

佐々木勝彦

わたしはどこへ行くのか

自己超越の行方

6965-1 四六判 312頁 本体1,800円

常に前進しようとする人間の内的欲求〈自己超越〉。世界大戦とナチズムに人生を翻弄されながら、その可能性を生き切ったE.フロム、V. E. フランクル、P. ティリッヒの生涯と言葉から自己超越の行方を問う。(2013.7)

佐々木勝彦

共感する神

非暴力と平和を求めて

6979-8 四六判 312頁 本体1,900円

第2次世界大戦の中で神体験を深化させ「共感の神学」を展開した、ヘッシエル、小山晃佑、モルトマン。3人の生涯と言葉から、「歴史」を考え、今を生きる私たちの「生き方」を問う。(2014.4)

佐々木哲夫／D. N. マーチャー

はじめて学ぶキリスト教

7207-1 A 5判 346頁 本体2,500円

キリスト者は何を信じているのか、技術や科学の発達した21世紀にもキリスト者の信仰は意味を持ちうるのか。キリスト教の主要な概念や内容を、キリスト教にはじめて触れる人にもわかりやすく聖書に即して解説した入門書。(2002.3) [11]

佐々木哲夫

命のファイル

ロボット・テロ・不条理・来世と旧約聖書

7430-3 A 5判 206頁 本体3,000円

ロボット開発は生命創造の模倣で渾身の力なのか？ 災厄で生命が奪われる不条理に神学はどう解答するのか？ 人間の生命は死後どうなるのか？ 牧師・旧約学者・教育者である著者が、旧約を基軸として「命」を多角的に考察する。(2019.3)

佐藤全弘 [在庫僅少]

クリスマス講話

マリア・ヨセフ・おさなご・老人

6379-3 B 6判 176頁 本体1,800円

日ごとのさまざまな出来事や厳しい現実の社会生活の中であって、私たちはどのように信仰に生きることができるのか。不安や悲しみ、苦悩を乗り越えて生きたマリアやヨセフらの物語を辿りながら、日本人の魂に響くクリスマスの福音を語る。(2001.11)

清水恵三 [在庫僅少]

手さぐり人生入門

ヨブ記による黙想

1302-8 B 6判 262頁 本体1,500円

人生には何故苦しみがあるのか。人間は何故神を信じるのか。信じれば幸福になれるのか。キリスト教はこれらの問いにどう答えているのか。人生の苦難と神への信仰のかかわりを丹念に追究し、神信仰の核心に迫る。(1984.11) [2]

鈴木崇巨 [在庫僅少]

礼拝の祈り

手引きと例文

6985-9 四六判 166頁 本体1,400円

私たちは礼拝で何を、どのように祈ったらよいのでしょうか。長年の牧会経験をもとにした丁寧な祈りの手引きと、牧会祈禱と献金祈禱、招詞の例文を豊富に収録。礼拝をより豊かにすることを願う、牧師・信徒必携の書！(2014.9) [5]

鈴木有郷 [在庫僅少]

マンハッタンの教会から

日本語と英語で簡潔に語る
キリスト教信仰のメッセージ

6959-0 四六判 228頁 本体1,600円

人間らしく、生き生きと、正々堂々と生きよう！日米の狭間にあって等しく悩み、苦しみ、愛を求め、恐れ、問いを抱く人々の心に寄り添いながら語られる、神の愛と自由への招きのメッセージ。(2012.8)

関川泰寛

ここが知りたいキリスト教

現代人のための道案内

7315-3 A 5判 240頁 本体1,800円

聖書や信仰の基本的なことから、キリスト教が社会や文化に及ぼした影響力、そして実際に信仰をもって生きる喜びまでを丁寧に解説した充実の一冊。死海写本や宗教戦争の問題など、誰もが知りたいことがこれ一冊でよく分かる！(2010.7) [3]

関野和寛

天国なんてどこにもないよ

それでもキリストと生きる

6157-0 四六変型判 216頁 本体1,500円

目の前に広がる絶望に満ちた現実世界。理不尽に苦しむ人々に自分は何ができるのか？ 孤独と闘い、イエスにぶつかり続けた牧師が、矛盾だらけの聖書に食らいつき、絞り出した魂の叫びそのままに語る。異色の牧師、初の説教集！(2021.8) [2]

全国連合長老会日曜学校委員会編 関川泰寛解説

子どもと共に学ぶ 新・明解カテキズム

6132-7 四六判 230頁 本体1,900円

「わたしたちが生きていくために最も大切なことは何ですか？」現代人に「生きる目的」を問ひかけ、神との出会いへ導く信仰問答。好評であった『明解カテキズム』と『続・明解カテキズム』を全面改訂し、合本にした新版。(2017.12) [2]

高橋三郎

無教会とは何か

6308-4 B 6判 186頁 本体2,000円

無教会が多様化し、さらに「独立伝道者」が新たに輩出されなくなったと言われる。若い人への伝道、家庭内伝道への危機感を背景に、無教会の現状を理解し、無教会の本質を新たに問い直し確認し、無教会の未来を展望する。(1994.10)

高橋三郎

真理の受肉

週ごとの言葉

6400-5 B 6判 168頁 本体1,800円

激動する今日の日本内外の動きに対して、聖書の真理は何を告げているか。それが告げる具体的現実とは何か。病床にある無教会の伝道者が、折に触れて語った鋭い洞察と批判、そして問題提起。週報に掲載された文章は、大きな反響を呼んだ。(2004.7)

高橋三郎

真理探究の旅

週ごとの言葉

6408-0 B 6判 200頁 本体1,900円

病床に伏せながら、なおかつ絶えず聖書の真理に耳を傾け、現代の時代と社会の動向を見据え、週報を通して、日本人に訴えかけ続ける著者の「週ごとの言葉」第2弾。真理の受肉を願う思いから生まれた、社会への批判と提言。(2005.12)

竹中正夫監修

花の祈り

キリスト教信仰といけばな

0908-X A 5変型判 64頁 本体1,165円

華道を学びながらキリスト者として生きてきた太田雅香・神谷香鳳・山内京子のいけばな写真集。聖句と祈りのことばを添えて、カラー写真28点収録。アジア・キリスト教美術協会から、英語版・スウェーデン語版同時発売。(1989.12)

田辺保

ゲツセマネの夜

パスカル「イエスのミステール」を読む

6428-1 B 6変型判 272頁 本体2,600円

十字架前夜の「ゲツセマネの祈り」について、パスカルは「イエスのミステール（奥義）」という珠玉の小文を書き残した。繰り返される戦争や虐殺、生と死、深まる「夜」の中で消えない光とは。パスカル研究の第一人者がいざなう深い思索の書。(2008.2)

登家勝也

ハイデルベルク教理問答講解

7166-4 (I) A 5判 336頁 本体2,800円
7167-2 (II) A 5判 344頁 本体2,900円

宗教改革の時代から遙かな時を貫いて世界の各地で信仰を育んできた、教理問答の精髓を聖書の言葉を軸に逐一講解。現代の日本の教会・社会が直面する問題、信仰者のかかえる問題を、問答のみ言葉から懇切に説き明かす。(1997.9)

徳善義和／百瀬文見編

カトリックとプロテスタント

どこが同じで、どこが違うか

6348-3 B 6判 224頁 本体1,200円

7年の歳月をかけ、カトリックとプロテスタントの神学者が共同執筆。草案から出版に至るまで、文章に一字一句検討を加え、お互いの共通点を確認し、相違点の克服をめざした画期的な書物。白柳枢機卿推薦。(1998.11) [11]

永田竹司

見えない希望のもとで

永田竹司説教集

6121-1 四六判 316頁 本体3,100円

国際基督教大学(ICU)で長年教鞭を執り、ICU教会の主任牧師を務めた著者の説教を精選。聖書学者としての学的研鑽に由来する鋭い洞察と、学生たちの素朴な疑問に真摯に向き合う教師としての優しさに溢れた珠玉の言葉。(2016.11)

西原廉太

聖公会が大切にしてきたもの

6125-9 四六判 100頁 本体1,200円

「聖公会とはどのような教会なのか?」という素朴な疑問に、碩学の司祭が答える。英国教会の成立から、現代社会に生きる教会の姿まで、多くの図版と共に分かりやすく叙述。明快で簡潔なアングリカニズム入門書の決定版! (2016.12)

日本キリスト改革派教会大会教育委員会

子どもと親のカテキズム

神さまと共に歩む道

6454-0 B 6判 64頁 本体500円

はじめて教理を学ぶ人のために作られたカテキズム(信仰問答・教理問答)。教会学校・日曜学校や教会員の家庭のみならず、洗礼志願者への信仰の手引きとしても使える。前神戸改革派神学校校長の牧田吉和氏を中心に編纂。(2014.10) [2]

日野原重明

[在庫僅少]

愛とゆるし

6920-0 四六判 160頁 本体1,000円

「いのち」を見つめる医師として、七十年におよぶ活動を支え続けた信仰をやさしい言葉で語る説教集。平和な世界の実現を願い、命のバトンを次世代に引継ぐために。すべての人が「ありがとう」と言える最期を迎えるために――。(2010.10) [5]

芳賀 力

大いなる物語の始まり

6554-0 四六判 236頁 本体2,000円

船本弘毅

水平から垂直へ

今を生きるわたしたちと聖書

6975-0 四六判 240頁 本体1,900円

船本弘毅

聖書に聴く「生と死」

6120-4 四六判 238頁 本体1,900円

船本弘毅

聖書に聴く 「人生の苦難と希望」

6154-9 四六判 220頁 本体1,800円

R. ボーレン 小澤良雄訳

喜びへの道

6434-2 B 6判 400頁 本体2,800円

R. ボーレン 川中子義勝訳

祈る

パウロとカルヴァンとともに

6731-2 四六判 216頁 本体2,500円

増島俊之

あなたに話したい聖書の世界

[和英対訳]

9925-9 四六判 250頁 本体1,500円

宮嶋裕子

神さまに用いられた人 三浦綾子

6424-3 B 6判 160頁 本体1,200円

峯野龍弘

聖なる生涯を慕い求めて

ケズィックとその精神

6373-4 四六判 260頁 本体1,800円

私たちの日ごとの生という小さな物語は、実に、神が綴る壮大な物語のなかに包み込まれている——。聖書の語りに導かれつつ繰り広げられる鋭い考察が、読者を思索の旅へと誘い、さらに力強い信仰へと招く。(2001.5)

問題が山積する現代に生きるわたしたちに、聖書は何を語りかけているのか。垂直を目指す地上での水平の旅路を支える、聖書の「生命と希望」のメッセージを語る。日本キリスト教文化協会主催、連続聖書講座の講演集。(2013.12)

「いのち」が軽視されたり、比べられたりする風潮が広がる中、自分の「いのち」をどう生きるか。人生の苦難に寄り添い、身近な話題や古今東西の名著を取り上げながら、聖書の言葉を分かりやすく紹介する。日野原重明氏推薦。(2016.10)

混迷した現代社会を、苦難の襲う人生を、共に真実の希望を抱いて生きていこう。晩年、病と闘いつつ最後まで聖書のみ言葉を語り続けた著者による、信仰と希望の講話集。日本キリスト教文化協会連続講演会で好評を得た聖書講話を収録。(2021.6)

神があなたがたを喜びとされたからこそ、いつも喜ぶことができます！ 教会を愛し、喜びと慰めの言葉を告げる説教と、神に向かう迫力あるとなりの祈り——詩人でもある著者が、福音に生きる喜びを感性豊かな研ぎ澄まされた言葉でおくる。(2008.9)

パウロの第二テモテ書を導きとし、この書簡を重んじたカルヴァンの言葉に照らしつつ、祈りの修練を教える指南書。とりなしの祈りを学ぶ最良の手引き。狭隘な私の祈りに死に、キリストの体なる我らのうちに甦る至福がここに！(2017.11)

「わたしたちが住むこの世は、聖書の世界と交錯しています。わたしたちはだれでも、日常生活の中で、その聖書の世界をかいま見、発見し、感動するのです」。総務事務次官、行革の実務家のキャリアを持つ著者が、やさしく聖書の世界を説き明かす。(2002.7) [3]

幼いころから親しんできた三浦家の人たち、「手伝ってくれる？」の一言で秘書として歩んだ日々。三浦綾子の初代秘書が、純粹で一途な信仰に生きた作家と共に生きた日々に出会った神の不思議な導きの数々を語る。(2007.10) [3]

1961年に始まった日本ケズィックコンベンションに創設以来かかわってきた著者が、箱根のコンベンションでなされた説教と、日本と世界のケズィックの歴史を回顧し展望したエッセイを取める。ケズィックを理解するための必読書。(2001.2)

森野善右衛門 [在庫僅少]

時代を生きる

キリスト教に未来はあるか

6279-7 B 6判 230頁 本体2,000円

信仰の生きる場、証しする場を求めて。戦争責任を回避し、差別を温存し、天皇制の問題をないがしろにしてきた私たち。環境危機＝人類絶滅の危機を目の前に、その究極の事柄と関わりつつ、今どのように責任をもって生きるか？ (1992.4)

森本二太郎＝写真

憩いのほitori

詩編の慰め

6422-9 B 6変型判 64頁 本体1,200円

天に満ちる神の栄光・地に注がれる神の慈しみ。写真家森本二太郎が、日ごろ親しんでいる詩編の言葉に沈潜し、そこから選んだ言葉と、写真を通して表現された神の被造物としての自然へのまなざしが交錯する「詩編の世界」。(2007.7) [2]

山北宣久 [在庫僅少]

おもしろキリスト教 Q&A 77

6377-7 B 6判 166頁 本体1,200円

イースターって何？ 三位一体って何？ カンタンそうでもずかしいキリスト教の言葉77を、軽妙なタッチでユーモアたっぷりに説きあかす。聖書の言葉を手がかりにキリスト教の真理を読み深めるための絶好の書。(2001.9) [4]

山北宣久

おもしろキリスト教質問箱 [Q&A 77]

6410-2 B 6判 166頁 本体1,200円

ユーモアたっぷり、駄洒落もたっぷり、おもしろおかしく、ただししっかりとキリスト教の基本を語る「おもしろキリスト教」第2弾。「生命ってナニ？」から始まり、病氣・家庭・人間関係・文化や科学など、生活に密着した問いに答える。(2006.2)

山北宣久

それゆけ伝道

元気の出るエッセイ100

6384-X B 6判 210頁 本体1,500円

教会に元気がないと言われているそんな今こそ、それゆけ伝道！ 読み切り見開き2ページ、100のテーマを楽しく読んでいうちにジッとしていられなくなる。キリストの言葉を広く豊かに拡げてゆくために絶好の書。(2002.9) [2]

山北宣久編

愛の祭典

クリスマスアンソロジー

6016-6 小B 6判 230頁 本体1,800円

イエス生誕のこの日、人はなにを祈り、どのような思いを寄せてきたのか。内外の哲学者、神学者、文学者、詩人の祈りやメッセージ、古くから語りつがれ、また新たに生まれた詩や物語の数々をまとめた心にしみるクリスマス詞華集。(2003.10)

山北宣久

きょうは何の日？

キリスト教365日

6393-9 B 6判 372頁 本体2,500円

一年365日、一頁に一日ずつ、その日に生まれた人と亡くなった人、キリスト教の主な出来事を掲げ、それぞれの略歴や残した言葉を収める。日ごとに新たな出会いと味わいの世界へといざなう、キリスト教備忘録。(2003.12)

山北宣久

福音と笑い これぞ福笑い

6021-2 小B 6判 186頁 本体1,400円

楽しいときにも、辛いときにも、キリスト教は「笑い」を忘れない。オチのある笑い、ユーモアの笑い、「にもかかわらず」浮かべる微笑。キリスト教小咄、キリスト教談話室、対談―福音と笑い。大庭明子氏の装画・カットが笑いを増幅する。(2004.12)

由木 康訳 [オンデマンド版]

キリストにならいて

イミタチオ・クリスチ [新装版]

6633-9 四六判 282頁 本体2,000円

きびしい自己批判、純粋性の追求、世俗への挑戦、キリストとの霊的な交わりを基調とする中世紀最高の信仰修養書の決定訳。原テキストを中世オランダ語とみる最新の研究と、深い信仰的感性から推敲をかさねた現代語訳！ (2021.4)

A. ラウハウス 菊地純子訳

信じるということ

ハイデルベルク信仰問答を手がかりに

7293-4 (上) A 5判 288頁 本体2,400円
7322-1 (下) A 5判 254頁 本体2,400円

キリスト者は何を信じているのか？ ハイデルベルク信仰問答に沿いながら、今日私たちがキリスト教信仰をどのように理解すべきなのかを分かりやすく解説。信仰問答本文は今日広く使われている1997年の改訂版を使用。(2009.5／2011.1)

R. ランダウ編 加藤常昭訳

光の降誕祭

20世紀クリスマス名説教集

6611-3 四六判 310頁 本体2,800円

20世紀ドイツ語圏の説教の中から選り抜かれた、20篇の光り輝くクリスマス説教。喜びと慰めに満ちたメッセージを、フラ・アンジェリコ、ジョット、プリューゲルらのカラー絵画が彩る。(1995.11) [2]

R. ランダウ編 野崎卓道訳

キリストは甦られた

20世紀レント・イースター名説教集

6727-5 四六判 356頁＋口絵16頁 本体3,200円

20世紀ドイツ語圏を代表する牧師・神学者（バルト、トゥルンアイゼン、イーヴァント、アイヒホルツ、シュニーヴィント、ヴェスターマンら）による説教28篇を収録。喜びと慰めに満ちたメッセージをカラー絵画が彩る。(2017.3)

T. G. ロング 平野克己／笠原信一訳

何かが起ころうとしている

アドヴェント・クリスマス説教集

6029-0 小B 6判 160頁 本体1,500円

ほんとうのクリスマスを知ったとき、あなたは変わる、何かが起きる！ 現代アメリカを代表する説教者が、聖書テキストに基づいて説いた、7つのアドヴェントとクリスマスの説教を収録。(2010.11)

【一日一章】

A. ルシー編 坂本 誠訳

心を新たに

ウェスレーによる一日一章

7359-7 A 5判 400頁 本体2,800円

ウェスレーの聖書注解、著作、説教から抜粋し、御言葉と彼の解説を創造、堕落、義認、新生、聖化、終末といった神学的主題ごとに配列して一日一章として編み直した労作。一日を生きる喜びと平安を与えてくれる珠玉の言葉。(2012.12)

内村鑑三

一日一生 [新版]

6537-0 四六判 380頁 本体2,500円

一日は貴い一生である。これを空費してはならない。そして有効的にこれを使用する道は、神の言を聴いてこれを始めることにある——と語る内村が、聖句に付した味わいを、一年366日分に配列した、独特の聖書日課集である。(1997.12) [11]

内村鑑三

[オンデマンド版]

一日一生

0258-1 B 6判 436頁 本体3,200円

1926（大正15）年の初版刊行以来読み継がれてきた、聖書日課の名著。小社では1997年に若い読者に向けて仮名遣い、文体等を改めた「新版」を刊行しているが、内村の雄大な原文を望む読者のために、「生誕百年記念版」を復刻。(2005.12)

内村鑑三

[オンデマンド版]

続 一日一生

0259-X B 6判 424頁 本体3,200円

1964（昭和39）年、教文館版内村鑑三全集の編者たちが、内村の遺志によって新しく編集した「一日一生」の続編。内村の精神を継承しながら、正編に続く聖書日課として内村の言葉を厳選。すでに12版を数えたものをオンデマンド版で復刊。(2005.12)

小島誠志

朝の道しるべ [新装版]

聖句断想366日

0035-7 A 6判 400頁 本体1,500円

好評の「聖句断想」シリーズから優れた断想366篇を精選、一日一章として再編集。日ごとに新しく言葉に出会い、生きるための力を与えられる珠玉の言葉。ハンディで読みやすいA 6判（文庫）。プレゼントにも最適！（2015.12）[3]

片柳弘史

こころの深呼吸

気づきと癒しの言葉366

0036-4 A 6判 390頁 本体900円

インターネットで発信され、9万超の共感を集めた神父の言葉を厳選！ 仕事や家庭、人間関係に悩み、まいにち頑張るあなたへ優しく寄り添う366の言葉の贈り物。手に取りやすいサイズで、大切な方へのプレゼントとしても最適。（2017.11）[11]

片柳弘史

始まりのことば

聖書と共に歩む日々366

0037-1 A 6判 390頁 本体900円

聖書を読んでみたいけど、全部はちょっと難しい。そんなあなたに神父が送る、毎日少しずつ聖書に親しみながら、新しい歩みを始めるための366の短い聖句と断想の言葉。『こころの深呼吸』に続く、優しく心に寄り添う言葉の贈り物。（2018.11）[5]

片柳弘史

やさしさの贈り物

日々に寄り添う言葉366

0038-8 A 6判 390頁 本体900円

『こころの深呼吸』『始まりのことば』に続くシリーズ第3弾！ ツイッターのフォロワー数が10万人を超す片柳弘史神父がインターネットで配信した言葉を厳選。揺れ動くこころに寄り添うやさしい言葉。プレゼントにも最適。（2020.11）[2]

ユダヤ教・ユダヤ思想

G. シュテンベルガー A. ルスターホルツ／野口崇子訳

ユダヤ教

歴史・信仰・文化

6716-9 四六判 226頁 本体2,100円

ユダヤ人は何を信じ、いかに生きているのか？ 豊かな伝統を誇るユダヤ教の信仰的特質を、彼らの生涯と生活様式から解説した入門書。数々の民族的苦難を体験しながらも、神の救済の歴史を語り継ぐ、ユダヤ人の〈いま〉に迫る。（2015.3）

勝又悦子／勝又直也

生きるユダヤ教

カタチにならないものの強さ

6114-3 四六判 352頁 本体2,500円

歴史の中で幾度も存亡の機を乗り越えてきたユダヤ人。彼らを支えたユダヤの教えや発想法から、この世を力強く生き抜く知恵を体得する！ 賢者たちの生涯に触れ、聖典や典礼詩を味わうことで、奥深いユダヤ教の諸相を学ぶ入門書。（2016.6）[2]

J. ニューズナー 山森みか訳

ユダヤ教

イスラエルと永遠の物語

6651-2 四六判 418頁 本体2,800円

現代ユダヤ学の碩学ニューズナーが、ユダヤ教の辿ってきた変遷と、現代における諸矛盾を明らかにする。ラビ文献を多く引用し、「日常生活における信仰の実践」の視点から、物語るようにユダヤ教の世界を紹介するユニークな入門書。（2005.4）

M. ハルバータル 志田雅宏訳

書物の民

ユダヤ教における正典・意味・権威

6719-0 四六判 342頁 本体3,500円

ユダヤ教の教典である聖書、ミシュナ、タルムードは、テキストを中心とする共同体の形成にいかなる役割を果たしたのか。中世・近現代の思想家による論究を参照しつつ、「書物の宗教」における正典テキストの意味を明らかにする。（2015.7）

H. G. キッペンベルク 奥泉康弘／紺野 馨訳

古代ユダヤ社会史

7118-4 A 5判 304頁 本体3,800円

J. ニューズナー 長窪専三訳 [在庫僅少]

パリサイ派とは何か

政治から敬虔へ

7126-5 A 5判 352頁 本体3,500円

グッドイナフ 野町 啓／兼利琢也／田子多津子訳

アレクサンドリアの フィロン入門

6302-5 B 6判 286頁 本体3,000円

ケネス・シェンク 土岐健治／木村和良訳

アレクサンドリアのフィロン

著作・思想・生涯

7271-2 A 5判 306頁 本体4,500円

E. M. クック

土岐健治監訳 太田修司／湯川郁子訳

死海写本の謎を解く

6610-5 四六判 348頁 本体3,500円

J. J. コリンズ 山吉智久訳

『死海文書』物語

どのように発見され、読まれてきたか

6742-8 四六判 264頁 本体2,400円

A. コーヘン 村岡崇光ほか訳

タルムード入門

6614-8 I 四六判 296頁 本体2,500円

6615-5 II 四六判 272頁 本体2,500円

6616-2 III 四六判 288頁 本体2,600円

手島佑郎

ユダヤ教の霊性

ハシディズムのこころ

6918-7 四六判 234頁 本体1,800円

田中利光

ユダヤ慈善研究

7388-7 A 5判 356頁 本体4,600円

最新の聖書学研究と社会学の諸理論を駆使しながら、捕囚後からバル・コクバの乱までの社会状況と宗教的伝統の関係を綿密に分析し、古代ユダヤの反ヘレニズム・反ローマ抵抗運動の真の動機づけを意欲的に解明する。(1986.7)

「偽善者」という誹謗に彩られたパリサイ派の姿は、はたしてどれだけ歴史的真実を伝えているのか。現代ユダヤ学の碩学が、ラビ伝承にはじめて歴史的批判の方法を適用して、パリサイ的ユダヤ教の歴史的事実を描き出す。(1988.4)

イエスやパウロと同時代を生きたユダヤ人思想家フィロンの日本初入門書。新約聖書研究において、ヨセフとともに最も多く引用されるのは、初期キリスト教の状況がわかり、キリスト教の世界伝播の道備えをしたからである。(1994.6)

イエスの同時代人であるユダヤ人哲学者フィロンは、アレクサンドリアを中心とする古代キリスト教神学と聖書解釈に決定的な影響を与えた。新約聖書の背景と古代キリスト教への理解を望む人への最新の案内。全著作への主題別索引、用語解説付。(2008.3)

20世紀最大の考古学上の発見と言われる「死海写本」。しかし、その発見と研究のストーリーには常に謎と疑惑がつきまとい、様々な憶説や誹謗中傷が後を絶たない。数々のミステリーが生まれる背景を明らかにする入門書。(1995.9) [4]

「20世紀最大の考古学的発見」と言われながらも、その発見・研究・公開を巡り様々な疑惑やスキャンダルが飛び交ってきた死海文書。その価値はどこにあるのか？ 熾烈を極めた議論の争点をコンパクトにまとめた最良の入門書。(2020.5)

700年に及ぶラビたちの研究と議論から生まれ、今日のユダヤ人にとっても聖書に次ぐ位置を占めるタルムード。豊饒な海に譬えられるその世界をテーマごとに解説。半世紀以上も読み継がれてきた名著の翻訳。第Ⅲ巻に詳細索引。(1997.10 [7]／11 [5]／12 [5])

18世紀東欧で興ったハシディズム運動は、ブーバー、ヘシエルらの思想家をはじめ、現代のユダヤ文化に多大な影響を与えた。その独特な求道の実践法をわかりやすく紹介。ユダヤ人の宗教生活の内面にまで踏み込んだ貴重な解説書！(2010.2)

欧米の福祉思想の源流は、古代ユダヤ社会の慈善にあった。聖書やミシュナなど原典を渉猟し、貧困者や病者の扶助、女性の社会活動の実態を探り、ユダヤ教と原始キリスト教における慈善の制度・実践を各論的に考察する先駆的研究！(2014.11)

M. プレンナー 上田和夫訳

ワイマール時代のユダヤ文化
ルネサンス

7347-4 A 5判 400頁 本体3,900円

多層的な世界を生きていたワイマール期(1918-33年)のユダヤ人が苦闘の中で開花させた「ユダヤ・ルネサンス」とは何か? カフカ、ショレム、ブーバー、ローゼンツヴァイクらを輩出した文化復興運動の全容を詳述する。(2014.8)

A. J. ヘッ歇尔 並木浩一監修 森泉弘次訳

イスラエル預言者

7137-0 (上) A 5判 476頁 品切
7138-9 (下) A 5判 484頁 本体5,000円

ブーバーと並ぶ20世紀最大のユダヤ教思想家の記念碑的業績。神のバトスとそれに照応する預言者の実存を明らかにし、周辺世界の預言現象と比較し、歴史を貫いて人間と関わり、現代も人間に働きかける神への信仰を説く。(1992.9 [2]／92.12 [2])

A. J. ヘッ歇尔 森泉弘次訳

人は独りではない

ユダヤ教宗教哲学の試み

7177-X A 5判 334頁 本体4,300円

マルチン・ブーバーの後継者として20世紀ユダヤ教を代表する神学者の最も重要な著作。存在の神秘に覚醒し、言葉で言い表しえぬものへの驚きのうちに神の充満を直感する神の現臨の信仰。〈神の過剰なる愛〉の展開。(1998.10)

A. J. ヘッ歇尔 森泉弘次訳

人間を探し求める神

ユダヤ教の哲学

7180-X A 5判 598頁 本体5,800円

「人は独りではない」の続編の完訳。より精緻にユダヤ教哲学の精髓を展開。幾多の苦難とホロコーストにさらされた民が経験する〈神の人間への愛〉とは? 混迷の世紀末にユダヤ教の粋をこえて人類同胞に贈る人間再生の書。(1998.11)

A. J. ヘッ歇尔 森泉弘次訳

イスラエル

永遠性のこだま

6621-0 四六判 270頁 本体2,800円

〈アラブの隣人〉との共生を希求するバトスの書! パレスチナ分割以来、くり返されてきた中東戦争の平和的解決を求めて、ユダヤ教の神学者が展開したシオニズムの倫理的・神学的理念を詩的な言葉で展開する。(1999.3)

A. J. ヘッ歇尔 森泉弘次／末松こずえ訳

神と人間のあいだ

ユダヤ教神学者ヘッ歇尔の思想入門

7239-3 A 5判 432頁 本体3,000円

ナチによる迫害を乗り越え、アメリカ公民権運動、ベトナム反戦運動を通して希望の根拠を示し続けた、ユダヤ教神学者ヘッ歇尔の思想のエッセンスを凝縮した詞華集(アンソロジー)。時代を超えて語られる、ゆるぎない希望のメッセージ。(2004.11)

森泉弘次

幸せが獵犬のように
追いかけてくる

A. J. ヘッ歇尔の生涯と思想

6558-3 四六判 256頁 本体2,500円

ブーバー、レヴィナスと並ぶ現代ユダヤ教思想家ヘッ歇尔を描いた、日本で初めての評伝。ラビの家系、ブーバーとの関わり、ナチスによる迫害、渡米後の著作活動、キング牧師やラインホルド・ニーバーとの公民権運動やベトナム反戦運動等。(2001.10)

【ユダヤ古典叢書】

石川耕一郎／三好 迪訳

〔在庫僅少〕

ミシュナI ゼライーム

1921-2 A 5判 420頁 本体5,500円

ラビたちが口伝で受け継いできた教えの集大成であり、「タルムード」の中核をなすユダヤ教聖典の基本書。イエス時代のユダヤ教を知るためにも不可欠のものである。第I巻では祈禱・農耕・農作物・献納物などについて取り扱う。(2003.10)

長窪専三／石川耕一郎訳

ミシュナⅡ モエード

1922-0 A 5判 484頁 本体5,700円

長窪専三訳

ミシュナⅣ別巻 アヴォート

1929-8 A 5判 144頁 本体2,500円

アレクサンドリアのフィロン [在庫僅少]
土岐健治訳

観想的な生活・自由論

1927-1 A 5判 170頁 本体4,800円

偽フィロン 井阪民子／土岐健治訳

聖書古代誌

1930-4 A 5判 292頁 本体4,900円

聖書で禁じられている安息日における「仕事」とは具体的にはどんな行為なのか。主要な祭日（モエード）である過越祭や仮庵祭をどのように祝うのか。安息日・祭日の諸規定を取り扱う、ユダヤ教口伝律法の第Ⅱ巻。（2005.8）

ユダヤ教の賢者たちの人生訓を収録した格言集。全ミシュナの要約として最高の地位を与えられ、「ビルケ・アヴォート」の名でミシュナ中の一編という枠を越えて親しまれてきた、ユダヤの知恵の精髓。詳細な注・解説つき。（2010.5）

イエスと同時代にエジプトの地中海都市アレクサンドリアで活躍したユダヤ人思想家フィロンの貴重な作。禁欲的なユダヤ教の一派であるエッセネ派とテラペウタイの信仰生活を紹介する。新約聖書成立の思想的背景を知るための格好の資料。（2004.5）

紀元50～150年の筆とされる旧約聖書偽典の一書。アダムからサウル王までの歴史を、旧約の内容を要約・敷衍しながら記述する。新約との並行も多い、当時のユダヤ教思想を知るための重要文獻。ラテン語本文からの本邦初訳！（2012.9）

思想・宗教

N. スマート 阿部美哉訳

世界の諸宗教 Ⅰ

秩序と伝統

7905-3 B 5変型判 330頁 本体4,000円

世界中の宗教をその草創期から現代までを地域ごとに俯瞰し、「儀礼」「神話」「教義」「芸術」など7つの次元から総合的・体系的に活写する。グローバル化時代を迎えた地球上の多様な世界観を知るための格好の書。図版多数。（1999.11）

N. スマート 石井研士訳

世界の諸宗教 Ⅱ

変容と共生

7906-1 B 5変型判 288頁 本体4,000円

近代ヨーロッパは、植民地政策を通じて世界の伝統宗教の様相を一変させた。本巻では宗教改革から20世紀末までを、主要宗教はもとより、各地の新宗教や「宗教現象」としてのマルクス主義にも光を当てながら生き生きと描写する。（2002.3）

H. キュンク 福田誠二訳

キリスト教

本質と歴史

7444-0 A 5判 1232頁 本体8,800円

多様な諸教会・諸教派を一つにするものは何かという根本問題を探求し、2000年に及ぶキリスト教の歴史を省みるとともに、教会に対して「根源に向かう」改革を提唱。世界で最も影響力のあるカトリック神学者による渾身の大作！（2020.11）

C. マルクシース 土井健司訳

グノーシス

6677-3 四六判 176頁 本体1,800円

「グノーシス」とは、古代の宗教市場において、キリスト教を適応させようとする知的実験の一つであった。グノーシスをめぐる近年の議論を総括し、類型論的モデルによって古代グノーシスの神話と教説を分かりやすく提示し、今日にまで至る系譜を辿る。（2009.4）

アズィズ・S. アティーヤ 村山盛忠訳

東方キリスト教の歴史

7379-5 A 5判 682頁 本体8,000円

R. C. フォルツ 常塚 聡訳

シルクロードの宗教

古代から15世紀までの通商と文化交流

6643-1 四六判 282頁 本体1,800円

芝山 豊／滝澤克彦／都馬バイカル／荒井幸康編

聖書とモンゴル

翻訳文化論の新たな地平へ

7448-8 A 5判 342頁 本体3,200円

高橋保行

知られていなかったキリスト教

正教の歴史と信仰

6342-4 B 6判 232頁 本体2,200円

高橋保行

聖なるものの息吹

正教の修道・巡礼・聖性

6403-X B 6判 216頁 本体1,800円

C. カヴァルノス 高橋保行訳

正教のアイコン

6354-8 B 6判 152頁 本体1,800円

小高 毅

よくわかるカトリック

その信仰と魅力

6570-7 四六判 288頁 本体1,800円

L. S. カニンガム 青木孝子監訳

カトリック入門

7367-2 A 5判 432頁 本体4,200円

小山英之

教会の社会教説

貧しい人々のための優先的選択

6033-7 小B 6判 190頁 本体1,200円

コプト教会、アルメニア教会、ネストリオス派教会など、5世紀以降に主流派から分離した東方諸教会。その起源から近代までの歩みをたどり、彼らの独特な伝統と文化を詳説する。東方諸教会の歴史を網羅した初の日本語文献！(2014.5) [2]

今や「文明の衝突」の現場と化したかのようなシルクロード。それはどのような歴史の中から立ち現われてきたのか？ 15世紀のイスラーム支配までのシルクロードにおける、通商・文化・宗教の交流の実態を見事に描いた画期的な書。(2003.11)

元朝以前に遡るモンゴルのキリスト教史の中で、シャマニズムや仏教の影響下にあって、聖書はどのように翻訳され、改訂されてきたか。翻訳理論と実践を踏まえ、多言語社会における聖書翻訳の営みを多角的に紹介する！(2021.03)

カトリックとプロテスタントだけでは、キリスト教の半分しかわからない！ 古代教会以来の独自の伝統に根ざすビザンティン・キリスト教への招待。歴史・典礼・神学・アイコンの意味などを分かりやすく解説。(1998.2) [2]

神の聖なる吐息をうけたときからひとは生きる者となった——原初よりのキリスト教の伝統を守る正教会の「聖なるもの」について、また修道生活や、人生という巡礼の旅について、ニコライ堂の神父がやさしい言葉で語る。(2005.12)

正教会にとって信仰そのものであるアイコンは、いつから、どのような意味をもって書かれてきたのか。長い間偏見や誤解にさらされていたアイコンの理解を払拭し、正教の立場からその精神と魅力を説き明かす。(1999.7)

カトリックの特徴とは何か。その魅力はどこにあるのか。2000年の伝統の重みと近年の刷新の波の中にある現代カトリック信仰のありのままの姿を教父研究に通じたカトリック司祭が明快に描く。(2002.5) [7]

カトリック教会が信じるものは何か？ その信仰はどのように実践されてきたのか？ 10億を超える信徒を有するまでに発展した教会の歴史と現代における課題を、さまざまなキーワードから多面的に紹介する最新の概説書！(2013.4)

キリスト教は貧困問題にどう向き合うのか？ カトリック教会が現代世界に宛てて発表してきた社会教説の諸文書を精読し、経済的・政治的構造がもたらす貧困と不正義に対する教会の理解がどう発展したのかをたどる。(2013.11)

坂井信生

[オンデマンド版]

アーミシュ研究

0306-5

A 5判 480頁 本体8,300円

S. アリエティ

森泉弘次訳

[在庫僅少]

アブラハムと現代精神

6253-3

B 6判 260頁 本体2,000円

ブロッホ／フロム／ケーゼマンほか
田口義弘ほか訳

私にとって聖書とは

6521-4

B 6判 412頁 本体3,700円

J. グニルカ

矢内義顕訳

聖書とコーラン

どこが同じで、どこが違うか

6693-3

四六判 272頁 本体2,600円

J. グニルカ

矢内義顕訳

コーランの中のキリスト教

その足跡を追って

6699-5

四六判 218頁 本体2,200円

大貫 隆

奨励・講演集2

神の国とエゴイズム

イエスの笑いと自然観

6294-0

B 6判 240頁 本体2,300円

大貫 隆

真理は「ガラタ」の中に

自立する君へ

6458-8

B 6判 188頁 本体1,900円

千葉 眞

二十一世紀と福音信仰

6371-8

B 6判 204頁 本体2,000円

山田 晶

アウグスティヌス講話

6525-7

B 6判 214頁 本体1,500円

この世的なものをいっさい「忌避」とするという独自の宗教理念に基づき、スイス再洗礼派から分裂、過酷な迫害を逃れて北アメリカへと移住した宗教集団の文化と社会の特質を、宗教学的視点から描き出す。(2004.12)

ユダヤ教の伝承を軸として、アブラハム物語の示す現代的意味を呈示し、さらに現代精神やキリスト教の歴史に対する、哲学的・精神医学的・包括的な批判を通して、未来への希望を喚起する。(1988.10)

原題は、愛読書は何かと問われた時、劇作家ブレヒトの答えた「お笑いでしょうが、聖書です」。聖書の魅力について、ユダヤ人、無神論者、不可知論者、科学者、未来学者、歴史学者、神学者が、ラジオで率直かつ自由に語った発言を収録。(1992.3) [2]

ユダヤ教・キリスト教・イスラームが聖典とする旧新約聖書とコーランに共通するエピソードや神学的テーマの類似点と相違点を、歴史的・批評的研究を用いて明らかにする。宗教間対話の可能性を探る画期的な試み。(2012.2) [2]

ムハマンドと接点を持ち、コーランの中に出てくるキリスト教徒とは誰か？ コーランにはどのような聖書的な諸伝承が見出されるのか？ 新約聖書学における碩学がユダヤ教・キリスト教・イスラームの歴史的接点を探る画期的な試み。(2013.5)

アンテオケにおけるペテロとパウロ、「神の国」における罪と赦し、イエスの笑い、死のつげと「神の国」、新約聖書における死の意味、イエスの自然観、新約聖書の自然観、初期キリスト教における信仰と自然などの講演・奨励。(1993.6) [2]

不思議だらけの聖書をどう読むか。豊かな感受性と想像力を使って、その「隙間」を埋めていくことで、自分と世界が新しく見えてくる！ 新約聖書学者が若者たちに真摯に語りかけた、「いのち」をよりよく生きるためのメッセージ。(2015.3)

人間喪失、暴力、自然破壊が極まった現代社会に生きる人々に、キリスト教はなお希望を与えることができるのか。ポストモダンの危機的状況を分析しつつ、真実の宗教を追求する。気鋭の政治学者がキリスト者の目で考察した現代社会評論。(2001.1)

1987年朝日新聞大佛次郎賞受賞。長年のアウグスティヌス研究のなかから人間について、宗教について、尽きぬ問題をめぐって語った講話集。「アウグスティヌスと女性」「煉獄と地獄」「創造と悪」「神の憐れ」など6講。(1994.6) [2]

茂泉昭男

アウグスティヌス研究

徳・人間・教育

7123-0 A 5判 628頁 本体9,500円

初期キリスト教倫理成立の過程から説き起こし、アウグスティヌスの国家論・人間論を問題にしつつ、その教育理論の構造を解明するとともに、神の言としての聖書による教育が、学として占める位置を明らかにする。(1987.6)

茂泉昭男

輝ける悪徳

アウグスティヌスの深層心理

6347-5 B 6判 254頁 本体2,500円

『神の国』『告白録』などアウグスティヌスの著作に潜む深層心理に迫り、その哲学・倫理思想の思想史的立場を特徴づける様々な修辞学的な表現の真意を読み取り、人間アウグスティヌスを探究する4つの断想。(1998.9)

R. A. マーカス 宮谷宣史／土井健司訳

アウグスティヌス神学における歴史と社会

7175-3 A 5判 330頁 本体5,000円

激動する古代末期、キリスト教が国教化される一方、民族の大移動が引き起こす大混乱の中で、アウグスティヌスは教会と社会、国家や歴史についてどのように思索していたか。『神の国』を中心にその思想の形成過程を明らかにした名著。(1998.7)

山田 望

キリストの模範

ペラギウス神学における神の義とバイデシア

7164-8 A 5判 350頁 本体5,300円

西方教会最大の異端者として非難されてきたペラギウスは本当に異端か？ パウロ書簡註解をはじめ原典を繙きながらペラギウスの思想とその行動を歴史的・神学的コンテキストの中に復権させた画期的研究。(1997.8)

J. B. ラッセル 野村美紀子訳

悪魔

古代から原始キリスト教まで

7115-X A 5判 302頁 本体3,786円

なぜ、この世界に悪や苦しみがあるのか？ 悪魔は本当にいるのか？ どんな姿をしているのか？ 神と悪魔の関係は？ 人間にとって避けることのできない悪の問題、悪魔の概念の歴史的発展をたどり、今日の問題に答える！ (1984.5) [6]

J. B. ラッセル 野村美紀子訳

サタン

初期キリスト教の伝統

7122-2 A 5判 296頁 本体3,689円

神の被造物であった天使が墮落して悪魔となったのはなぜか？ キリストの救済が成就した後も悪の力が存在しているのはなぜか？ 初代キリスト教教父の悪魔観を膨大な資料を渉猟して追跡。悪魔の概念史シリーズ第2弾！ (1987.4) [4]

J. B. ラッセル 野村美紀子訳

メフィストフェレス

近代世界の悪魔

7134-6 A 5判 434頁 本体4,660円

宗教改革から現代まで、すなわち、魔女や魔術の時代から、現代の最大の悪、核兵器まで、啓蒙主義やロマン主義の時代に間にはさんで、多彩な変容を見せたさまざまな悪魔像をたどる。好評の「悪魔シリーズ」4部作完結。(1991.4)

J. B. ラッセル 野村美紀子訳

天国の歴史

歌う沈黙

7181-8 A 5判 286頁 本体3,000円

古代ユダヤ、ギリシア、ローマから、中世キリスト教思想を経て、ダンテの「神曲」まで。人類が憧憬してきた天国とはなにか？ 場所か、魂の状態か、神との合一か、死後の世界か、現在の時か？ 「天国」の概念史。(1998.12)

小塩 節

「神」の発見

銀文字聖書ものがたり

6131-0 四六判 174頁 本体1,500円

「銀文字聖書」を起点に、ゲルマン民族大移動の中、文字を創り、聖書を母語に翻訳したウルフィラの偉業を辿る。多神教の世界で、一神教の「神」をどう表現したのか？ 1500年の時を超えて現存する唯一の写本をめぐるエッセイ。(2017.7)

田辺 保

フランスにやって来た キリストの弟子たち

「レゲンダ」をはぐくんだ中世民衆の心性
6567-2 四六判 296頁 本体2,400円

R. D. ソレル 金田俊郎訳

アッシジのフランチェスコと自然

自然環境に対する西洋キリスト教的態度の伝統と革新
6717-6 四六判 334頁 本体2,800円

M. シュレーマン 棟居 洋訳

ルターのりんごの木

格言の起源と戦後ドイツ人のメンタリティ
6720-6 四六判 332頁 本体2,700円

森田安一

『ハイジ』の生まれた世界

ヨハンナ・シュペーリと近代スイス
6130-3 四六判 240頁 本体2,300円

R. クローナー 福井一光訳 [在庫僅少]

自由と恩寵

実存的思索から信仰へ
6272-X B 6判 150頁 本体1,456円

笠原芳光

宗教再考

6241-X B 6判 246頁 本体2,000円

笠原芳光

日本人のイエス観

6425-0 B 6判 232頁 本体1,800円

北森嘉蔵

聖書と西洋精神史

6593-1 四六判 248頁 本体1,800円

ピーター・L. バーガー編 [在庫僅少]
金井新二／月本昭男ほか訳

神の知られざる顔

宗教体験の根本構造
7117-6 A 5判 430頁 本体5,000円

イエスと別れてから弟子たちの長い旅が始まった。アルルに流れ着いたマリヤたち、怪物退治のマルタ、聖杯伝説のアリマタヤのヨセフたちはフランスにやってきた。フランス文化の基底に息づく民衆の心性＝レゲンダを描く。(2002.3)

“自然を愛した聖人”の自然観に関する初の包括的論究。「鳥への説教」の挿話や『兄弟なる太陽の讃歌』の詩は何を意味するのか？ 綿密な資料研究を通してその思想を正しく分析し、現代の生態学的な問題探究への基礎を提供する。(2015.3)

宗教改革者ルターの言葉と言われながらも出典が不明であったこの言葉は、いったいいつ、どこで生まれたのか？ ひとつの格言をめぐる膨大な歴史史料・時代証言・アンケートから、戦後のドイツ人の心性史を解き明かす！ (2015.8)

不朽の児童文学『アルプスの少女ハイジ』。作品の深層と作者の人物像に迫るべく、激動の19世紀スイス史を俯瞰し、牧師の祖父、宗教詩人の母の生涯にも光をあて、家庭環境や交友関係を史料から仔細に探究した画期的試み。(2017.6)

名著『カントからヘーゲルまで』を著わした著者は、ナチスに故国を追われ亡命生活の苦難の中で、ティリッヒなどとの親交を通して哲学的思索を深め、次第に信仰に目覚め、神学的著作を生む。その最後の秀作！ (1991.4)

近年の宗教ブームは、近代の合理主義的な思潮に対する反省や批判のあらわれといわれる。「宗教の止揚」を唱える著者は、諸宗教から思想、芸術、風習にいたるさまざまな現代の宗教現象を歴訪し、宗教の根源を求める。(1986.12)

異教の「イエス」を日本人はどのように受容し、対決してきたか。キリストならぬ「〈人間〉イエス」を探求しつづける著者による、明治から現代にいたる文学者・思想家21名の「イエス観」。遠藤周作・石川 淳・芥川龍之介・吉本隆明・赤岩 栄・山路愛山他。(2007.12)

田辺元の下で哲学を学んだ神学者であり、日本を代表する独自の「神の痛みの神学」を展開した著者が、西洋哲学史とキリスト教の信仰との関連と相互影響を歴史的に辿る。一般の聴衆に向けて語られた内容で分かりやすく主題を学べる。(2006.5)

宗教の東西交流の盛んな今日、西欧の一神教的伝統は東洋の内面的宗教性からの挑戦を受け、その宗教体験の根本構造が問い直されている。この問いをめぐる、新進気鋭の宗教学者が白熱した議論を闘わせる。(1985.10)

ジョン・ヒック 間瀬啓允監訳

宗教と理性をめぐる対話

信仰と懐疑のはざまにて

6747-3 四六判 246頁 本体2,500円

土戸 清

人間性の崩壊を救うもの

現代の教育と宗教の役割

6406-4 B 6判 152頁 本体1,500円

土戸 清

人の「優しさ」と「強さ」

現代教育の荒廃を救うもの

6420-5 B 6判 142頁 本体1,500円

金井新二

現代宗教への問い

宗教ブームからオウム真理教へ

6007-7 小B 6判 170頁 本体1,800円

金井新二

[オンデマンド版]

「神の国」思想の現代的展開

社会主義的・実践的キリスト教の根本構造

0305-7 A 5判 420頁 本体7,500円

小原克博／勝又悦子編

宗教と対話

多文化共生社会の中で

6128-0 四六判 304頁 本体3,000円

近藤勝彦

キリスト教の世界政策

現代文明におけるキリスト教の責任と役割

7266-8 A 5判 308頁 本体4,200円

近藤勝彦

いま、震災・原発・憲法を考える

続・キリスト教の世界政策

6993-4 四六判 204頁 本体2,000円

春名純人

キリスト教哲学序論

超越論的理性批判

7428-0 A 5判 504頁 本体6,500円

だれもが抱く素朴な疑問を皮切りに、様々な宗教の立場から、宗教哲学の中心的課題についてくり広げられる、信仰者と懐疑論者の対話。白熱する議論の行方を見守る読者にも、人生哲学の問い直しを促す〈真実探求の書〉。(2021.6)

わが国の家庭・学校・社会を覆っている教育の崩壊現象。それは「人間性」の崩壊まで招来しているのではないか。「ヒト」が「人間」へと成長する規範はどこにあるのか。混沌とした現実からの再生と回復の道を問う。(2005.8)

わが子を「成熟した人間」に育てるために！長く大学・大学院における高等教育に、そして現在は幼児教育に携わる著者が、幼稚園の父母や教会員に向けて「教育」「家庭」「カウンセリング」「宗教」「信仰」等をめぐり書き綴ったエッセイ。(2007.4)

日本の宗教はこのままでよいのか？ 日本経済のバブル化と軌を一にして肥大してきた宗教ブーム。バブル崩壊と共に起きたオウム真理教事件。宗教と社会の相関を問い続けてきた宗教学者が、深刻な問いの前に立つ日本の宗教の病巣を抉る。(1997.4) [2]

19世紀末から20世紀初頭、主にスイスで展開された「神の国」運動。ブルームハルトを基点に、宗教社会主義運動と弁証法神学という2つの思想的潮流を歴史的・実証的に辿り、神の国思想の根本構造を描き出す。(2004.12)

宗教・文化・民族間の摩擦が絶えない現代において、目指すべき共存の形とはどのようなものか？ ユダヤ教、イスラーム、コプト正教など諸宗教の歴史や現状を考察し、複雑な今日の課題に多角的視点から取り組んだ鋭い論考集！ (2017.3)

キリスト教は現代世界とどう関わるのか？ 国家・政治に関する諸問題から、キリスト教学校の教育、そして教会における聖餐や伝道、エキュメニカル運動に至るまで、いま改めて問われているキリスト教のアイデンティティを再考する16の論文と講演。(2007.9)

東日本大震災、そして終戦70年の節目を経て、日本の教会とキリスト者は現代の難問と苦難をどのように考え、行動していけばよいのか？ 山積する社会問題に向き合い、神学者が希望を持って語りかけた10篇。(2015.8)

キリストの福音は、魂を救うのみならず、キリスト者に召命を与え、創造の目的である神の国の建設に派遣する。本書はそのために必要な、聖書に基づく人間と被造世界についての有神論的思惟を追求する哲学を提示する。(2018.12)

稲垣久和

公共の哲学の構築をめざして

キリスト教世界観・多元主義・複雑系

6557-5 四六判 274頁 本体2,800円

21世紀の日本に「異質なものの」同士が理解しあい、共存できる市民社会を形成してゆくために「公共の哲学」を提唱。自由・人格と教育・現代科学の問題等をめぐって、人間の生の根源を問う著者渾身のキリスト教哲学論集。(2001.8)

稲垣久和

改憲問題とキリスト教

6977-4 四六判 202頁 本体1,300円

日本国憲法に具現している「人類普遍の原理」を、公共哲学とキリスト教精神から積極的に活かす「活憲」を提案。今後さらに国民的議論が予想される課題に対して、戦後の民主主義を捉え直し、憲法の本来の役割を説く。(2014.2)

稲垣久和

公共福祉とキリスト教

6950-7 四六判 240頁 本体1,900円

少子高齢化や経済の低成長、自殺や心の病の急増、そして東日本大震災……。閉塞感が漂う現代の日本で、教会は隣人愛の精神をどのように生かすことができるのか？新しい福祉社会の構築をめざした、キリスト者のための実践哲学書。(2012.4)

深井智朗

文化は宗教を必要とするか

現代の宗教的状况

6568-0 四六判 226頁 本体2,500円

今日、社会はますますプロテスタント化している?! キリスト教文化の形成を目指す新鋭の神学者が、社会・経済システム、教育、スポーツや芸術まで、現代社会の様々な問題を、独自の視点から考察した講演集。(2002.3)

東方敬信

文明の衝突とキリスト教

文化社会倫理学的考察

6935-4 四六判 236頁 本体1,900円

グローバル化した現代では、「衝突」よりも、対話と協調こそが求められているのではないか。キリスト教人間観に基づいて、経済・倫理・芸術を含めた現代文化の諸相を考察し、新しい時代の文明論的キリスト教倫理学を提示する。(2011.3) [2]

東方敬信

地球共生社会の神学

「シャローム・モデル」の実現をめざして

7391-7 A 5判 268頁 本体2,500円

テロと核戦争、地球温暖化と自然破壊、貧困と飢餓……。人類共通の緊急課題が山積するいま、真の共生社会を実現するためにキリスト教がはたすべき役割とは何か？赦しと和解による〈愛と平和の実践〉を紹介する。(2015.5)

P. ティリッヒ 相澤 一訳

宗教と心理学の対話

人間精神および健康の神学的意味

6681-0 四六判 350頁 本体2,600円

時代や状況が提出する問いに対して応答を試み続けた神学者・哲学者ティリッヒ。ユング、フロム、ロジャースといった心理学者らと対話し、精神分析、精神療法、社会福祉、医学、健康などを考察。人間精神の諸相を明らかにする。(2009.7)

宮下聡子

[在庫僅少]

ユングにおける悪と宗教的倫理

7306-1 A 5判 264頁 本体4,500円

人間に潜む「悪」について、ユングは単に心理学の領域にとどまらず、神と人間の本質的な関係に根ざす宗教的な問題として捉えた。善と悪の対立を抱え込む神との対峙から人間の倫理的可能性を見出したユングの思想的核心に迫る。(2009.11)

標 宣男

[在庫僅少]

科学史の中のキリスト教

自然の法からカオス理論まで

6645-8 四六判 214頁 本体1,800円

科学とキリスト教との関係を、古代ギリシアから、ガリレイ、ニュートンの時代を経て、現代の最先端へといたる科学の歴史と結びつけながら再検討。中世の神学者たちの合理的・科学的精神にも光をあてる。(2004.3)

藤井清久

歴史における近代科学とキリスト教

7286-6 A 5判 256頁 本体2,500円

科学は宗教とどのように関わるのか。歴史上の多くの科学者は、いつも宗教の脈絡のなかで科学を考えてきた。これまでの科学史の中で無視されてきた科学者の宗教観に焦点を当て、宗教と科学の対話と統合への道を探る。(2008.12)

田辺 保

パスカルの信仰

パスカルとわたし

6600-8 四六判 268頁 本体2,600円

近代人・科学者・理性人であったパスカルは、どのようにして、理性を超えた信仰の真理を発見するにいったか。生涯をパスカル研究に捧げてきた第一人者が、パスカルの内面の発展を辿り、その内奥の姿を描き出す。(2006.10)

佐々木陽太郎

[在庫僅少]

パスカルとサド

悲劇的世界観とその超克

7120-6 A 5判 194頁 本体2,800円

パスカルとサドという一見相矛盾する2人の思想を「悲劇的世界観」というアナロジーで結び、前者が〈賭〉を媒介としてそれを超克したのに対して、後者は〈不信〉から出発し、ついに世界崩壊に至ったことを描き出す。(1986.9)

川中子義勝

ハーマンの思想と生涯

十字架の愛言者 [Philologus crucis]

6530-3 四六判 232頁 本体2,400円

ドイツ啓蒙主義の時代、カントやメンデルスゾーンの批判者として「北方の博士」と称えられたJ. G. ハーマン。イロニーとフメルに満ちた文体で理性の自己充足に根本的反省を迫ったその思想はキルケゴールに決定的影響を与えた。(1996.4)

O. バイアー 宮谷尚実訳

ヨーハン・ゲオルク・ハーマン

根元的な啓蒙を目指して

6637-7 四六判 378頁 本体3,000円

カントらドイツ啓蒙主義と対峙し、徹底した批判的対話を通じて「ケーニヒスベルクのソクラテス」と呼ばれ、ゲーテらロマン主義や後のキルケゴールにも決定的影響を与えたハーマン。現代人に問い掛ける特異なポートレート。(2003.4)

キルケゴール 飯島宗享訳

死にいたる病

1802-X 四六判 268頁 本体2,500円

〈死にいたる病とは、絶望のことである〉という有名な文章ではじまるキルケゴールの名著の決定訳。この書は「絶望の時代」とも言うべき20世紀に、多くの実存的思想を触発し、生き抜くべき勇気の源ともなった。(1982.9)

A. E. マクグラス 佐柳文男訳

憧れと歓びの人

C. S. ルイスの生涯

7396-2 A 5判 556頁 本体4,900円

『ナルニア国物語』を生み出したC. S. ルイス。その壮大な物語の奥には、どのような思想が潜んでいるのか？ 神の再発見、トールキンとの友情、妻を得た喜びと死との対峙。著名な神学者が深い思索と信仰に貫かれた生涯を描き出す。(2015.5)

A.E. マクグラス 佐柳文男訳

C. S. ルイスの読み方

物語で真実を伝える

6737-4 四六判 248頁 本体2,300円

人間の内面を変革する物語とは？ 『ナルニア国物語』で多くのファンを得たルイス。無神論者だった彼が信仰へと接近する心の軌跡と、豊かな作品世界。友情、愛、希望などのテーマから生きること、信じることの本質について語る。(2018.10)

佐藤全弘

希望のありか

内村鑑三と現代

6273-8 B 6判 314頁 本体3,786円

核の恐怖、環境破壊、人口問題など人類は最終的な危機の時代を迎えている。この危機の時代にキリスト者が追い求めるべき希望とは何か。この希望をのぞみつつ、内村鑑三に学びそのキリスト教精神を伝える講演7篇を収める。(1991.8)

武田清子

峻烈なる洞察と寛容

内村鑑三をめぐって

6321-1 B 6判 164頁 本体1,500円

A. コズィラ

日本と西洋における内村鑑三

その宗教思想の普遍性

6376-9 B 6判 184頁 本体1,800円

鈴木範久

近代日本のバイブル

内村鑑三の『後世への最大遺物』は
どのように読まれてきたか

6931-6 四六判 206頁 本体1,600円

小林孝吉

内村鑑三の聖書講解

神の言のコスモスと再臨信仰

7445-7 A 5判 470頁 本体5,300円

新渡戸稲造 佐藤全弘訳

武士道

6624-7 四六判 260頁 本体2,000円

佐藤全弘

日本のところと『武士道』

6559-1 四六判 176頁 本体1,900円

佐藤全弘編

現代に生きる新渡戸稲造

6256-8 B 6判 446頁 本体3,500円

佐藤全弘

新渡戸稲造の精神

いま世界と日本を憂う

6908-8 四六判 256頁 本体2,700円

佐藤全弘

新渡戸稲造に学ぶ

With Charity for All

6958-3 四六判 330頁 本体1,800円

新渡戸稲造や柏木義円らキリスト者との対比、文学や文学者との関わりをとおして浮き彫りにする内村鑑三。第二部の「ピューリタン革命と近代日本」では明治期日本の精神的激動の中のキリスト教思想を掘り起こす。(1995.9)

カール・ラーナーら歴史的背景も思想的背景も異なる西欧の神学者・思想家の中に内村鑑三と共通の宗教思想を見出し、国家観・宗教観・無教会論を考察。ポーランドから国費留学生として来日した著者による、新しい視点から説いた内村鑑三論。(2001.7)

無名の青年時代に『後世への最大遺物』と出会い、座右の書とした人たちがいる。失意にある人を奮い立たせる言葉とは何か。自分の生きる価値とは何か。混迷する現代の日本に贈る、失敗学の祖・内村鑑三のメッセージ。(2011.1)

多種多彩な神の言を包摂した旧新約聖書全巻を、内村鑑三が『聖書之研究』誌上に展開した夥しい聖書講解とともに読み解き、そこに底流するキリスト再臨の信仰を見出す。楽園喪失から楽園回復へと福音の水脈を辿る信仰的批評。(2020.12)

日本人の精神形成の由来を〈武士道〉に見出し、日本人の自己認識と東西融和の基礎を示した国際的名著の新訳。伝統文化を尊重し、平和共存を願った新渡戸稲造の、多文化時代を迎えた21世紀に向けたメッセージ。詳細な脚注付。(2000.1) [14]

混迷と汚濁のきわみにある現代日本に求められるものは何か。百年前に新渡戸稲造が『武士道』で著わした日本のところを拠り所として、時代を超え、民族を抜け、社会を貫き通す人間の無限の魂のあり方を求めて語った講演集。(2001.10)

『新渡戸稲造全集』第一期全16巻の完結は1970年、第二期全23巻別巻1巻の完結は1987年、その各巻に付した「月報」に寄稿された文章を一冊にまとめた。大きく、広く、深く、温かくかつ厳しい魂の持ち主を後代に伝える。(1988.10)

「太平洋の架け橋」を目指し、平和を求め、国際人として愛国者として歩んだ新渡戸稲造。いま、彼が生きていたら、世界に対し、日本に対し、何を言うであろうか。その精神を、新渡戸研究の第一人者が語る。著者最新の講演集。(2008.6)

教育者・国際人・社会改良家として大きな足跡を残した新渡戸稲造。「小さいもの」を愛し、人の道義と社会連帯を重んじ、自然に親しんだ彼の精神は、震災後の日本にどのように活かされるべきか。生誕150年目に贈る熱いメッセージ。(2012.7)

佐藤全弘

新渡戸稲造と歩んだ道

6999-6 四六判 364頁 本体2,000円

世界平和の実現のために生涯尽力した“愛の人”と称されるべき国際人・新渡戸稲造。その精神を現代人に分かりやすく語りかける著者渾身のメッセージ集。新渡戸の人間の魅力に迫るユーモア溢れるエピソードも満載。(2016.1)

佐藤全弘

聖書は性についてどう教えるか

「雅歌」に学ぶ

6418-8 B 6判 176頁 本体1,900円

「神の定められた最初の制度は、教会でもなく、十戒ともちがい、結婚でした」。旧約聖書「雅歌」における男女の性愛——ここには神の愛の中に包み込まれた祝福されたエロースが高らかに歌い上げられている。(2006.11)

金子晴勇

ヨーロッパの思想文化

6546-X B 6判 280頁 本体2,500円

ヨーロッパの思想文化はどのように形成され、展開してきたか。日本文化との比較も含め、文化の根底に横たわる人間観を中心に流れを辿り、その魅力と特質を明らかにする。ヨーロッパ思想史研究の大家が書き下ろした通史の決定版。(1999.9)

金子晴勇

キリスト教倫理入門

6516-8 四六判 252頁 本体2,200円

ルター、アウグスティヌスを中心とした積年の研究と思索の結実として生まれ、簡潔にして要点を押さえつつ展開された、キリスト教倫理のエッセンスをたくみに抽出して際立たせた、手がたい入門書。教科書に最適！(1987.11) [4]

金子晴勇

心で感じる神

6555-9 四六判 232頁 本体2,000円

グローバル化の時代を迎え、政治的・経済的また文化的試練に直面する今こそ、人間の深みである「心」や「良心」に立ち返るべきではなかろうか？「霊性」と「信仰」をめぐって学生や教会に語った講話・講演集。(2001.6)

金子晴勇

キリスト教人間学入門

歴史・課題・将来

6112-9 四六判 274頁 本体2,000円

人間がもつ偉大さと卑小さの矛盾を、聖書はどのように説いているのか。アウグスティヌス、ルター、キルケゴール、内村鑑三など、時代を画した思想家や聖書物語を紹介しながら、キリスト教人間学の基礎をコンパクトに叙述。(2016.4)

金子晴勇

人間学から見た霊性

6574-5 四六判 240頁 本体2,000円

文字は殺し、霊は生かす！アウグスティヌス、ルター、親鸞などの思想における霊性の特徴を人間学の視点から明らかにし、霊性のもつ現代的な意義にさまざまな観点から光を当てる。日常生活を題材にとった霊性に関するエッセイ等も収録。(2003.6)

高橋由典

社会学者、聖書を読む

9938-2 四六判 198頁 本体1,800円

聖書のテキストが、読者に「生きて働く力」として作用するとき、どのようなことが起こるのか？人間の生死の実感に基づく行動に焦点を当てて独自の社会学的考察を重ねてきた著者が、ユニークな視点から聖書を読み解く。(2011.1) [2]

P. リクール/A. ラコック 久米 博/日高貴士耶訳

聖書を考える

7452-5 A 5判 514頁 本体5,400円

古典思想から現代哲学まで広く見渡しつつ、聖書学者と哲学者が6つの旧約テキストの解釈をめぐる論じ合う。聖書の背景を探る歴史批判的方法論と、前景へと向かう哲学的思考の対話が聖書の深層を解き明かす画期的な書。(2021.5)

久米あつみ

ことばと思索

森有正再読

6951-4 四六判 268頁 本体2,500円

果たして森有正の仕事は歴史に一齣を刻んだだけのものだったのか？ その西洋との出会い、葛藤は時代のもたらした蹟きに過ぎなかったのか？ 幼い頃から森と身近に接してきた著者による渾身の森有正論。(2012.5)

社会・教育

荒井英子 荒井 献編

弱さを絆に

ハンセン病に学び、がんを生きて

6945-3 四六判 396頁 本体1,800円

キリスト教を土台とし、人間の尊厳に関わる先鋭な諸問題について取組んだ著者。過去を断罪するのではなく、その苦しみを将来に生かすため、病人、障害者、女性の完全な人間性の復権を目指して語った渾身のメッセージ。(2011.10) [2]

ピホワリス(高永清) 加藤 実編訳

霧社緋桜の狂い咲き

虐殺事件生き残りの証言

6517-6 四六判 302頁 本体2,500円

帝国主義国家日本にとって植民地政策とは何であったのか。植民地台湾で起こった虐殺事件は、日本官憲が、被支配民族の抵抗を鎮圧するために、同じ被支配民族を利用したという恐るべき事件であった。その事件の全貌を語る。(1988.1)

川崎経子

[在庫僅少]

統一協会の素顔 [新装改訂版]

その洗脳の実態と対策

6433-5 B 6判 270頁 本体1,500円

統一協会からの救出活動にたずさわっている著者が、若者たちから直接聞き出した、おそろべき「原理」の実態。どのようにして勧誘され、どう説得されたのか。統一協会の脅迫・中傷・いやがらせへの対応と対策・救出の方法。(2008.4)

全国統一協会被害者家族の会編

自立への苦闘

統一協会を脱会して

6407-2 B 6判 296頁 本体1,500円

脱会後も続く統一協会による「マインド・コントロール」の影響。そこから完全に自由になり、本当の意味での社会復帰をめざすために必要なものとは？ 長く統一協会の問題にかかわってきた牧師と弁護士たちが経験と知恵を出し合った成果。(2005.9)

大木英夫／富岡幸一郎

日本は変わるか？

戦後日本の終末論的考察

6529-X 四六判 240頁 本体1,800円

終末論的考察で知られる神学者と、新進気鋭の文芸評論家による評論と対談。戦後の日本は戦前から変化したか、という戦後五十年をめぐる問いにはじまり、三島・小林・福田・梅原・大江らの思想から、日本人と日本の行方を問う。(1996.1)

大木英夫

時の徴

第三ミレニアムとグローバリゼーション

6551-6 四六判 222頁 本体2,200円

今、世界はどこに向かっているのか？ 世界と世界史がひとつになる時代に、人類の混迷は深まる。ライフワークである「キリスト教終末論」の視点から、自由の問題性という倫理的課題をめぐって現代の危機を語り救済の道を探る渾身の講演。(2000.11)

エリザベス・G. ヴァイニング 山田由香里訳

友愛の絆に生きて

ルーファス・ジョーンズの生涯

7334-4 A 5判 420頁 本体2,500円

アメリカ・フレンズ奉仕団(後にノーベル平和賞受賞)の創設者であり、敗戦国への食糧支援や戦後パレスチナに「神の休戦」をもたらすべく奔走するなど、その一生を隣人愛と平和主義、そして教育に捧げたクエーカーの知られざる生涯。(2011.11)

A. カミンスキー 加藤常昭訳

ベルリンの壁に打ち勝って

東独に生きたキリスト者女性の証言

6628-8 B 6判 214頁 本体1,800円

40年続いた社会主義政権の崩壊と、ドイツ統一という激動の中で、キリスト者は何を考え、何をしてきたか。直面する諸問題と闘いながら、何を目指しているのか。弾圧と分断を乗り越え、新しい教会のヴィジョンを語る女性指導者の言葉。(2001.3)

A. カミンスキー 加藤常昭訳

開かれた扉

分断されたベルリンから統一ドイツへ
アンネリーゼ・カミンスキー自伝

6686-5 四六判 400頁 本体3,200円

ベルリンの東西を隔てる壁の突然の構築。閉ざされた東ドイツで分断と抑圧に屈せず、常に世界へと開かれた道を歩み続け、統一ドイツで女性として初めてベルリン・ブランデンブルク領邦教会総会議長を務めたキリスト者の人生。(2010.12)

J. ラウ 加藤常昭訳

大統領が語る キリスト者人間像

6648-2 四六判 262頁 本体1,900円

元ドイツ大統領(1999-2004年)の講演集。誠実なキリスト者として戦後政治を歩んだ著者がドイツの歴史を振り返り、宗教改革者、詩人、思想家、政治家、神学者など、信仰と文化の歴史を刻んだ人々の生き方を取り上げ、今日的意義を語る。(2004.8)

松谷曄介編訳

香港の民主化運動と 信教の自由

7446-4 A 5判 192頁 本体1,800円

2020年6月に「香港国家安全維持法」が施行されてから、言論・報道・出版・集会等の「表現の自由」が脅かされている香港で、今後「信教の自由」はどうなるのか? 信仰の力によって戦う香港の宗教者たちの生の声を聴く。(2021.1) [2]

森島 豊

人権思想とキリスト教

日本の教会の使命と課題

6115-0 四六判 162頁 本体1,500円

日本において人権はどのように形成され、その法制史にキリスト教はどう影響したのか。キリスト教会の立場から「人権」の根幹を問い直す。中外日報社主催の「第11回涙骨賞」最優秀賞受賞論文を加筆・増補。キリスト教書では初選出。(2016.6) [4]

森島 豊

抵抗権と人権の思想史

欧米型と天皇型の攻防

7441-9 A 5判 480頁 本体3,000円

欧米と日本の人権理解の相違点はどこにあるのか? 日本国憲法第97条に謳われる「基本的人権」のルーツと受容の歴史を辿り、日本人が「人権思想」を理解できない問題点を浮き彫りにする。(2020.3)

青山学院大学キリスト教文化研究センター編

聖書と共同体の倫理

6374-2 B 6判 218頁 本体2,000円

日本の近代化は「精神のない資本主義」ではなかったか。バベルの塔に象徴されるような共同体崩壊の危機に直面している現代社会に、聖書はいかなるメッセージを語りかけているのか。「キリスト教と社会科学」をめぐる共同研究。(2001.3)

青山学院大学総合研究所キリスト教文化研究部編

モラル教育の再構築を目指して

モラルの危機とキリスト教

7270-5 A 5判 272頁 本体1,600円

日韓のキリスト教主義学校に通う中高生5000人への道徳意識調査を踏まえ、青年期のモラル教育とその形成について、歴史・思想・神学の視点から、また教育現場における課題と展望など、多角的に考察する。(2008.3)

青山学院大学総合研究所キリスト教文化研究部編

キリスト教大学の使命と課題

青山学院の原点と21世紀における新たな挑戦

7323-8 A 5判 280頁 本体1,600円

キリスト教大学にしかできないこととは何か? 明治初期の建学の原点に立ち帰って現在の課題を問い、キリスト教大学としての未来への展望を切り拓く、意欲的な論考と新しい実践プログラムを紹介する。(2011.3)

古屋安雄

日本のキリスト教

6390-1 B 6判 280頁 本体1,800円

キリスト教はなぜ日本に広まらないのか。〈和魂洋才〉を追い、キリスト教抜き近代化を進めてきた日本。その中で伝道し事業を展開してきた教会各派と無教会、教育や社会事業などを例に日本のキリスト教の特質を検証し将来を問う。(2003.5) [3]

古屋安雄

キリスト教と日本人

「異質なもの」との出会い

6405-6 B 6判 270頁 本体2,200円

〈武士道から平民道へ〉明治から戦中戦後にかけて、キリスト教という「異質なもの」に出会った日本人たちの知られざるエピソードと、愛する日本のために彼らが懷いたビジョンの数々——グローバルな時代を生きるための提言。(2005.6)

古屋安雄

神の国とキリスト教

6423-6 B 6判 258頁 本体2,200円

なぜ今、「神の国」なのか? 「教会派」と「社会派」の分裂が続き、伝道の不振が叫ばれる今こそ、教会は「神の国」を見つめ直し、語るべきではないか? イエス以降から現代までの「神の国」論を概観し、日本の教会のコンテクストをふまえて提言する。(2007.8)

佐々木勝彦

日本人の宗教意識とキリスト教

6984-2 四六判 280頁 本体1,900円

日本人の深奥にある原初的宗教意識とは何か? 比較宗教学や宗教社会学を援用しながら日本人の宗教意識を浮き上がらせると同時に、真の「啓示」に基づいた「日本の神学」の構築を目指した意欲的論考。(2014.8)

古屋安雄

宣教師

招かれざる客か?

6447-2 B 6判 130頁 本体1,500円

なぜ宣教師たちが「招かれざる客」と言われるのか? 宣教師とは「何者」か? 従来の研究では十分に焦点が当てられなかった日本人と宣教師の関係をさまざまな視点から掘り起こし、近代日本キリスト教受容史の問題点を探る。(2011.8)

佐伯晴郎

日本のキリスト教に未来はあるか

6389-0 B 6判 184頁 本体1,200円

長く「家の教会」を提唱してきた著者が、恩師・新約学者・反骨の医師・インド人活動家・服役囚などさまざまな人々との出会いを振り返りながら、現代世界の状況を見据え、日本のキリスト教の将来にむけて忌憚なき直言を語る。(2003.4)

新井登美子

現代牧師烈伝

治癒と希望の物語

6414-4 B 6判 264頁 本体1,500円

元一流企業のエンジニア、バイクの放浪者、人気ミュージシャン……様々な経歴をもつ10人が牧師へと導かれるまでの、苦悩と葛藤、そして喜びの姿を、鮮やかな筆致で描き出す、渾身のノンフィクション。(2006.7)

M. T. ウィンター/A. ルミス/A. ストークス編
一色義子/春原鈴子/原田多恵子監訳

わたしの居場所はどこ?

主体的信仰を求める女性たちの声

7302-3 A 5判 288頁 本体2,400円

神を「父」と呼び、女性をエバの似姿に位置づける教会から、女性は離れるべきか、とどまるべきか。アメリカのフェミニスト神学者によるアンケート調査を元に、女性と教会をめぐる諸問題を教派を超えて正面から扱う。(2009.10)

大嶋重徳

若者と生きる教会

伝道・教会教育・信仰継承

7398-6 A 5判 114頁 本体1,200円

どうすれば若者が教会に集まるのか? どのような説教を語れば若者に届くのか? 信仰継承に秘訣はあるのか? 大学生伝道の最前線で奉仕する著者が、教会を活性化させるための提言を具体的に、実践的に語った講演録。(2015.9) [4]

大嶋重徳

若者に届く説教

礼拝・CS・ユースキャンプ

7434-1 A 5判 124頁 本体1,200円

「説教とは何か?」「説教原稿をどのように作るのか?」という基本から、説教の構成や語り方、若者との信頼関係の築き方まで——。復活の主イエスが現れたエマオ途上の物語を通して学ぶ説教の入門書。牧師・CS教師必携の書! (2019.4) [2]

大嶋重徳

[在庫僅少]

自由への指針

「今」を生きるキリスト者の倫理と十戒

6117-4 四六判 212頁 本体1,600円

信仰、愛、性、結婚、仕事、経済、政治、戦争、正義、善悪、欲望……、私たちが抱えるリアルな倫理的問題を信仰者としてどのように考えればよいのか? 旧約聖書の十戒を手引きに、現代の若者に向き合いながら語った希望の倫理学。(2016.8) [4]

H. ブッシュネル 森田美千代訳

キリスト教養育

7292-7 A 5判 452頁 本体4,200円

リヴァイヴァルによる回心が強調されていた19世紀アメリカにおいて、家庭で「子どもをクリスチャンとして育てる」ことの重要性を説いた牧師・神学者ブッシュネル。「信仰の継承」を問うキリスト教教育学の古典的名著、本邦初の全訳! (2009.5)

羽仁 翹

よく生きる人を育てる

偏差値ではなく人間性

6580-X 四六判 270頁 本体1,500円

「人間性」という言葉の新鮮さ。ジャーナリストとして活躍した著者が、教育の場に身を置いて経験した、人間への深い愛と洞察を忌憚なく記した書である。偏差値一辺倒の教育界への警鐘といえよう。—— 渡辺和子(推薦の言葉)(2005.2) [2]

東方敬信

生きるための教育

教育人間学とキリスト教

7288-0 A 5判 212頁 本体1,800円

生きる価値をどこに見いだすかという価値意識の育っていないこと、「心の空洞化」が問題とされる昨今、キリスト教学校が果たすべき役割とは何か。人間がより人間らしくあるための「魂の教育」を、キリスト教教育人間学の視点から論じる! (2009.2)

宗教教育研究会編

宗教を考える教育

7317-7 A 5判 256頁 本体2,500円

グローバル社会において異文化理解向上のため、ますます必要とされる「宗教」理解。公教育においてタブー視されてきた宗教教育は、どのようにすれば実現するか?! 10人の研究者が提唱する、公教育における宗教教育の新しいかたち。(2010.8)

長島 正/長島世津子

結婚と家族の絆

キリスト教人間学の視点から

7410-5 A 5判 340頁 本体2,700円

家族という集団は人間にとっていかなる存在なのか。多様化する社会において、伝統的な結婚制度は人生の一選択肢にすぎないのか。教会や教育の場で若い世代を長年指導してきた著者夫妻による現代的・実践的な考察! (2017.1)

高木幹太

[在庫僅少]

現代キリスト教双書

恋愛論

0009-0 新書判 150頁 本体700円

愛しあっている男女が、人間を、非人間化し疎外する社会的条件に気づき、その条件の変革のために闘ってゆく……男女間の一現象としてではなく、人間存在の本質問題として恋愛を考察し、読者をして深い思索に誘う異色の論集。(1962.11) [13]

F. シュヴァイツァー 吉澤柳子訳

子どもとの宗教対話

子どもの権利の視点から

6675-9 四六判 272頁 本体1,900円

「神様は空に住んでいるの?」「どうして人は死ななくてはいけないの?」このような子どもの問いに、大人はどう向き合うべきか。宗教を学ぶ子どもの権利を中心に据えて、親と教師を励ます新しい宗教教育の道しるべ。(2008.9)

小澤優子

明日へのかけ橋

シスター山路のお話から考えたこと

6927-9 四六判 172頁 本体1,200円

大嶋裕香

絵本へのとびら

6149-5 四六変型判 128頁 本体1,000円

松居 直

松居直のすすめる50の絵本

大人のための絵本入門

6910-1 四六判 136頁 本体1,300円

藤本朝巳

松居直と絵本づくり

6124-2 四六判 238頁 本体1,800円

松居 友

わたしの絵本体験

6967-5 四六判 242頁 本体1,400円

松居 友

昔話とこころの自立

6969-9 四六判 244頁 本体1,400円

松居 友

昔話の死と誕生

6968-2 四六判 248頁 本体1,400円

斎藤惇夫

わたしはなぜファンタジーに向かうのか

6976-7 四六判 128頁 本体1,100円

斎藤惇夫

子ども、本、祈り

6155-6 四六判 276頁 本体1,500円

神様が子どもの心に与えたいものは何なのか——。60年以上にわたり教育現場で子どもたちと関わってきたシスター山路が、生徒たちと紡いだ心に残る思い出話から、人と人のかかわりが紡いでゆく「教育」の大切さを語りかける。(2010.5)

数ある絵本の中から、いったいどれを選べばよいのでしょうか？ 絵本と言葉との出会いの喜びを、絵本作りと読み聞かせ活動の実体験を通して、優しい言葉で紡ぎ出したエッセイ集。ブックガイド付き。(2020.11)

子どもに絵本を与えるお父さん、お母さん、先生方こそ、「絵本」をよく理解して下さい！ 新旧・国内外のパラエティに富んだ絵本を50冊選び、絵本の不思議な力とその読み取り方・楽しみ方を、絵本編集の第一人者が解説！(2008.11) [4]

月刊絵本「こどものとも」を創刊し、親子3代に愛される多くの名作絵本を世に送り出してきた福音館書店の名編集者・松居直。日本の絵本づくりに革命をもたらした、彼の編集哲学とその奥義を児童文学研究者が紹介する。(2017.1) [3]

生きる力、困難を乗り越える力、簡単に自殺しない力、問題に立ち向かう根本的な力となる愛。子どもに豊かな愛を注ぐ昔話と絵本の読み語りとの大切さを、自身の体験をふまえて、元絵本編集者が具体例を示してやさしく語る。(2013.9)

主人公が体験する出来事や冒険が、いかに子どもの心の成長を支えるか。親が真の大人になるために必要な心構えとは何か。著者自身の体験と、深層心理学による分析を交えつつ、昔話が語り伝える〈生きる知恵と勇気〉を紹介。(2013.9)

なぜ臨死体験談と昔話の構造が似ているのか。昔話を通して子どもに死を語る意味とは何か。神と人間、獣と人間の結婚の物語に秘められた真意とは。哲学や深層心理学を交えて昔話を分析し、日本文化が基層に抱く宇宙像を探る。(2013.9)

おとなたち、そして自分は、今子どもに何を手渡すべきか。「ガンバの冒険シリーズ」の著者が自身の魂の軌跡と作品の執筆経緯を辿りつつ、子どもの本への思いを語った講演。巻末に子どもとおとなにすすめるブックリストを収録。(2014.2) [2]

「すべての人に豊かな物語体験を！」児童書編集者から作家を経てキリスト教幼稚園の園長となった著者が綴る、園児たちの日常生活と祈りの詩、子どもと絵本・物語について語った文章をまとめるエッセイ集。カバー画と挿画は久根根育。(2021.09)

高桑弥須子

学校ブックトーク入門

元気な学校図書館のつくりかた

7321-4 A 5判 184頁 本体1,600円

経験豊富な現役学校司書が、ブックトークの作り方を中心に、学校図書館の働きのすべてをわかりやすく解説！ 情報収集の仕方や配布資料の作り方など、すぐに役立つ情報も公開。学校図書館司書必携のおたすけガイドブック！（2011.1）[3]

田澤雄作

メディアにむしばまれる子どもたち

小児科医からのメッセージ

6996-5 四六判 202頁 本体1,300円

メディア漬けと早期教育、塾やお稽古・スポーツ活動で、心も体も慢性疲労になっている子どもたち。ベテラン小児科医が、臨床現場で出会った子どもたちの〈叫びと物語〉をまとめ、心身の健康の回復の方法を手引きする。（2015.9）[11]

富坂キリスト教センター編

奪われる子どもたち

貧困から考える子どもの権利の話

6147-1 四六判 236頁 本体1,800円

「現代日本の惨状を知っていますか？」子どものシェルター活動、若者の自立援助、ホームレス支援など、さまざまな現場からの声に社会学的な知見を加え、貧困にさらされる子どもたちの「人として生きる権利」を守る道を探る。（2020.2）[2]

古荘純一

発達障害サポート入門

幼児から社会人まで

6134-1 四六判 210頁 本体1,300円

発達障害の正しい理解と、適切な支援とは？ 家庭・保育園・幼稚園・学校・職場での〈24時間切れ目のない支援〉をめざして、発達障害の起こる原因と症状、具体的なケアの仕方について、事例を交えて現役医師がやさしく紹介。（2018.5）

ティム・ステッド 柳田敏洋／伊藤由里訳

マインドフルネスとキリスト教の霊性

神のためにスペースをつくる

6739-8 四六判 248頁 本体2,000円

悩みや迷い、モヤモヤ……割り切れない気持ちを抱えていますか？ 司祭がマインドフルネスと信仰、そして実践までやさしく解説する一冊！ 日々の生活で心を開き、瞑想するための具体的なエクササイズも収録。（2019.4）[2]

平山正実

死と向き合って生きる

キリスト教と死生学

6988-0 四六判 212頁 本体1,500円

豊富な臨床の知と学術的研究をもとに精神科医として活躍してきた著者が、自らの信仰的実存を賭けて「生」と「死」の諸相に迫った実践的論考を収録。「福音を聞かず死んだ者の救い」にまで考察の射程を広げた希望の死生学。（2014.12）[3]

森 幹郎

老いと死を考える

6904-0 四六判 256頁 本体1,500円

旧厚生省で老人福祉行政にたずさわってきた著者が、老人ホームでの20年にわたる生活を経て、なお問い続ける「老い」と「死」。老人の人生の意味とは何か、高齢化社会における「老い観」と老人福祉政策の問題に迫る。（2007.9）

森 清

自分らしい最期を生きる

セルフ・スピリチュアルケア入門

6456-4 B 6判 180頁 本体1,300円

在宅医療の医師が提案する、本人も介護する人も、みんなが笑顔と感謝で終末期を過ごせるようになる〈新しい心の整理術〉。多くの事例を交えながら、自宅でその人らしく人生を生きる方法と準備をやさしく手引きする。（2015.2）[3]

森 清

ひとりでも最後まで自宅で

6464-9 B 6判 186頁 本体1,300円

ご本人、ご家族、すべての支援者の方々に知っておいていただきたい、ひとり暮らしの心構えと地域包括ケアシステムを利用した暮らしのコツを、在宅医療のプロフェッショナルが指南する。（2019.7）[2]

小原 信

自分史心得帖

6442-7 B 6判 232頁 本体1,500円

自分が生きてきた歴史の「決算書」を書こうとすると、ひとはくわし」という謎の前に立たされ、秘められた深い闇の扉を開くことになる。人生の軌跡を振り返ろうとするひとたちに贈る、思索への誘い。(2009.9)

文学・芸術

笹淵友一編

[在庫僅少]

聖書集

近代日本キリスト教文学全集 第14巻

2534-4 四六判 308頁 本体3,000円

幕末から昭和初期にかけて和訳された代表的聖書32編を抄録。ギュツラフ「約翰福音之伝」をはじめ、プロテスタント、カトリック、正教会、個人訳など、神のこばを伝えようとした宣教師と受肉しようとした日本人の翻訳の苦悶と信仰の歩みの集大成。(1982.10)

佐古純一郎

[在庫僅少]

親鸞

その宗教的実存

6101-4 B 6判 248頁 本体1,500円

浄土真宗の末寺に育ち、親鸞を敬慕してやまないクリスチャン文芸評論家の著者が、深い愛情をもって探った親鸞思想の真髄。『大法論』連載で絶賛をあびた論作に、みずから親鸞の徒と称した亀井勝一郎論を付した。(1967.7) [9]

川中子義勝

詩人イエス

ドイツ文学から見た聖書詩学・序説

7308-5 A 5判 242頁 本体4,500円

現代に信仰詩は可能か？ 神の啓示への応答としての信仰詩はどのようにして生まれるのか？ 「神の詩」としてのイエスが、砕かれ、十字架にかけられるという出来事に直面するとき、新しい賛美の可能性を求める聖書詩学の試み。(2010.1)

ヨッヘン・クレッパ― 森本二太郎=写真
富田恵美子・ドロテア／富田 裕訳

キリエ

祈りの詩

6722-0 四六変型 64頁 本体1,200円

ナチの迫害の下、愛する妻と娘と共に自死へと追い込まれた詩人が放つ静謐な祈りの世界。神の創造の神秘を写す森本二太郎氏の写真と、十字架を見つめ、神にすべてを委ねたクレッパ―の祈りとが響き合う。(2016.1)

島崎光正選詩集

[在庫僅少]

悲しみ多き日にこそ

6706-3 四六変型判 100頁 本体1,800円

「星とせせらぎの詩人」と呼ばれ、「第二の八木重吉」とも呼ばれ、日本のキリスト教界を代表する詩人が、生涯書いた多数の詩から厳選。解説「愛と死と復活のキリスト教詩——島崎光正の世界」(森田 進・詩人＝執筆)つき。(1992.3) [2]

加藤常昭編

帰郷

島崎光正遺稿詩集

6556-7 四六変型判 192頁 本体1,500円

第五詩集『風のしおり』以来書きためられた詩稿と、合唱曲のために作詞された詩、晩年親交のあった神学者加藤常昭による「島崎光正論」や葬儀説教を併せて収録。詩人の生涯をまとめた年譜や作品一覧を付す。(2001.7)

佐藤泰正／大岡昇平

[在庫僅少]

中原中也の詩の世界

6703-9 四六変型判 250頁 本体2,000円

Iは詩作品抄。IIは佐藤泰正による解説。中原中也の作風と人をキリスト信仰の側面を照らし出しつつ多角的にとらえる。IIIは大岡昇平と佐藤泰正の対談「中原中也の宗教性」。中原を語り、かつ大岡の宗教観に迫る。(1985.11) [2]

太田愛人

野村胡堂・あらえびすとその時代

6575-3 四六判 588頁 本体2,800円

「銭形平次」と「名曲決定盤」の著者で、江戸庶民の世界と西洋音楽への愛を一身にうんだ型破りな人物。石川啄木、金田一京助、神谷美恵子、松田瓊子らとの交わり、レコードコンサートや莫大な印税の使い道など、隠されたエピソードを紹介。(2003.9)

今高義也

八木重吉とキリスト教

詩心と「神学」のあいだ

6571-0 四六判 236頁 本体2,500円

ひとすじな、心をうつ詩の数々は、詩心のいかなる憧憬から生まれたのか。重吉のキリスト教信仰に新しい光を当て、「神の子」の理想に近づこうとした求道の軌跡を綿密に辿る。重吉の詩の新たな魅力を引き出す画期的な新説。(2003.1) [2]

林あまり

[在庫僅少]

光を感じるとき

6004-2 小B 6判 144頁 本体1,300円

さみしいとき、つらいとき、迷いに心揺れるとき、ほのかに感じられる光の存在。何気ない日常の出来事の中から、自分を見つめ直す。『こころの友』に連載され、好評を博した注目の若手歌人の心あたたまるエッセイ集。(1996.5)

森 禮子

キリシタン史の謎を歩く

6589-3 四六判 268頁 本体1,800円

迫害の下、破壊され、隠蔽されてきた数々のキリシタン遺跡。今なお九州各地に散在する遺跡は現代人に何を語りかけるのか。キリスト者である芥川賞作家が、現地を巡り歩き、秘められた歴史を発掘する、謎解きの旅行記。各紙絶賛。(2005.11)

森 禮子

キリシタン海の道紀行

6906-4 四六判 260頁 本体1,800円

九州各地のキリシタン史跡を訪ね歩いて6年。「書かれた歴史」の彼方に、禁教後も命がけで信仰を守った底辺の人びとの生きた姿が浮かび上がる。九州西岸から壱岐、国東半島へ、キリシタンたちが舟で行き来した海の道を辿る。(2008.1)

森 禮子

南蛮伴天連の道

6929-3 四六判 224頁 本体1,900円

16世紀、篤き宣教の志を胸に、遙かヨーロッパより海を渡り、九州各地を奔走した南蛮伴天連たち。時の権力により日本側資料が隠滅され、隠されてしまった彼らの足跡を尋ねて、わずかに語り伝えられた信仰の痕跡を山の奥、野の涯に探し求める旅。(2010.6)

佐々木 弘

神は愛なり

心の母 三浦綾子

9922-4 四六判 248頁 本体1,500円

「綾子さんに会った人は、みな神の家族となるのです」。難病の中で、神さまに愛され、生かされ、書きつづけた童女のような作家との出会い。その最後の10年を綴る不思議な交流記。(2000.10)

椎名麟三／遠藤周作編

[在庫僅少]

キリスト教と文学

現代キリスト教文学全集 第18巻

2518-2 四六判 328頁 本体3,398円

キリスト教と文学の関係をめぐる、現代の作家・評論家の論集。椎名麟三・遠藤周作・佐古純一郎・笹淵友一・森 有正・森内俊雄・越知保夫・饗庭孝男・三浦朱門・小川国夫・島尾敏雄・石原吉郎・佐藤泰正・柳田知常・兵藤正之助・久山 康・斎藤末弘・武田友寿など。(1974.7) [2]

金 承哲

遠藤周作と探偵小説

痕跡と追跡の文学

7433-4 A 5判 366頁 本体3,200円

遠藤文学の根源に探偵小説あり！ 心の奥底にある暗闇を見つめ「神の神秘」を希求し、神を追う人間と神に追われる人間を語る遠藤文学を、新しい視点で俯瞰する。第73回日本推理作家協会賞（評論・研究部門）受賞作！（2019.3）

小原 信

十四歳からの読書ナビ

6156-3 四六判 400頁 本体2,000円

E. ヘンゼラー／安足磨由美 [在庫僅少]

明治期カトリック聖歌集

7269-9 A 5判 192頁 本体2,000円

尾崎 安編 [在庫僅少]

讃美歌集

近代日本キリスト教文学全集 第15巻

2535-2 四六判 478頁 本体3,000円

佐々木しのぶ／佐々木 悠

キリスト教音楽への招待

聖なる空間に響く音楽

7345-0 A 5判 130頁 本体1,800円

佐々木 悠

言葉を歌う

グレゴリオ聖歌セミオロジーとリズム解釈

7450-1 A 5判 196頁 本体3,000円

P. カヴァノー 吉田幸弘訳

大作曲家の信仰と音楽

6627-8 四六判 350頁 本体2,500円

ロビン・A. リーヴァー 荒井章三訳

説教者としてのJ. S. バッハ

7340-5 A 5判 104頁 本体1,500円

國友淑弘

黒人霊歌の即興性

Slave Songs of the United States (1867) を基に

7447-1 A 5判 318頁 本体3,800円

森重ツル子

哀愁のプリマドンナ

ジェニー・リンド物語

6915-6 四六判 264頁 本体1,400円

著者がこれまでどのような本と出会い、その出会いが自らをどのように形成していったのかを語る実存的な読書案内。圧倒的な衝撃で人生が一変されるような、全身的な知にかかわる読書のすすめ。(2021.7)

典礼に不可欠な音楽。長い断絶期を経て復活した明治期のカトリック教会で、聖歌はどのように歌われていたのか。研究が著しく立ち遅れている明治期以降のカトリック聖歌の実態に、実証的研究で迫った画期的な書物。(2008.2)

「讃美歌」(1872年) から「新撰讃美歌」(1890年) まで明治初期に刊行された12編の讃美歌集全歌詞を収録。制約の多い日本語の語彙と文体の中に、キリスト教の信仰告白と神への讃美がどのように息づいたかを探る貴重な資料集。(1982.4)

ヨーロッパ音楽の源流となった教会音楽の歴史をコンパクトに解説。讃美歌、礼拝、暦、教会建築、楽器など、教会音楽をはじめて学ぶ人に必要不可欠な入門書。写真・図版を多数収録し、見ても楽しい充実の1冊。(2012.5) [4]

教会音楽はどのように、神の言葉を語りうるか。現代音楽とは全く異なる構想で創作された「聖歌」。ネウマ譜の読解と神学的なテキスト解釈の両面から、そのサウンドの限りなく繊細な抑揚を捉え、聖歌本来の豊かな表現に迫る。(2021.3)

生身の人間としてさまざまな困難に直面しながら、彼らに壮大な音楽をつくらせたものは何か。バッハ、モーツァルトから、エルガー、メシアンまで、著名な大作曲家20名の音楽に秘められた深い信仰を初めて明らかにする。(2000.11) [11]

「リーヴァー氏は、私たちがバッハに向かうべき、正統的な道筋を端的に示し、作曲者の『説教者』としての意図を明らかにしてくれた。J. S. バッハの音楽を愛するすべての人の必携の書である」(鈴木雅明氏評)。(2012.3) [2]

最初の楽譜資料をもとに、リズム、ハーモニー、メロディを切り口に〈即興性〉を考察する、本邦初の音楽学的「黒人霊歌」研究。ゴスペル・ディレクター、ラニー・ラッカー氏推薦「ゴスペル音楽の根幹を知るための最良の一書」！(2021.1)

【物語】「スウェーデンのナイチンゲール(うぐいす)」と呼ばれる国民的スター歌手となり、19世紀ヨーロッパ全土を熱狂させながらも、28歳の人気絶頂期に引退し、残る生涯を人々への奉仕に捧げた女性オペラ歌手、ジェニー・リンドの生涯。(2009.11)

大塚野百合

「きよしの夜」ものがたり

クリスマスの名曲にやどる光

6995-8 四六判 232頁 本体2,300円

1818年オーストリアの小村で、若いカトリック司祭と無名の音楽教師が作った賛美歌は、やがて世界で最も有名なクリスマスソングになった――。聖夜を彩る名曲の成り立ちや秘話など、エピソード満載の賛美歌エッセイ集。(2015.9) [2]

大塚野百合

**受難と復活の
賛美歌ものがたり**

6127-3 四六判 236頁 本体2,400円

人々の罪のために十字架につけられて死に、復活されたキリスト。その復活の喜びに溢れ、時代や地域を越えて人々に愛されて歌い継がれる、レント・イースターの賛美歌の作詞者・作曲者たちをめぐる逸話満載のエッセイ集。(2017.2)

大塚野百合

子どもの賛美歌ものがたり

イエスさまいるってほんとかな

6136-5 四六判 168頁 本体2,000円

短くやさしい歌詞に込められた願い、祈り、信仰。「きょうだいぜんかを」(作詞・阪田寛夫)をはじめ、時代や地域を超えて愛される「子どもの賛美歌」の魅力溢れる豊かな世界をめぐる、思わず人に話したくなる賛美歌エッセイ集。(2018.8)

新垣壬敏

賛美、それは沈黙のあふれ

7195-1 A 5判 208頁 本体1,800円

私たちが心から歌うことのできる日本独自の賛美歌はあるのだろうか。多くの典礼聖歌の作曲を手がけ、音楽教育に携わってきた著者が、日本語の言葉と旋律を大切に音楽の創作を提唱。『礼拝と音楽』『カトリック生活』に書いた文章を収録。(2011.2) [2]

新垣壬敏

賛美のいけにえ

音楽のかたちと信仰

7311-5 A 5判 260頁 本体1,900円

心にあふれる賛美と感謝、主への祈りを、美しい日本語で、日本人の心に響く言葉とメロディーによって歌うこと。「マラナタ」をはじめ多くの典礼聖歌を創作してきた著者が、音楽と信仰についての理論と実践をまとめた論文集。(2010.3)

新垣壬敏

言葉と音楽

朗読は音楽のはじまり

7244-6 A 5判 206頁 本体1,900円

日本語を正しく、美しく読むために、日本語の発声の特徴を理論的に学ぶと共に、多種多様な課題文の朗読練習をとおして表現力を高める。言葉のもつ豊かな力を引き出す〈音楽家〉によるユニークな朗読用のテキスト。(2005.4) [2]

Masao Takenaka

Christian Art in Asia

0901-2 A 4変型判 172頁 本体6,000円

困難な歴史的状況のなかで悩むアジアの諸民族の希望として受肉した「言」を、技術化社会の画一性を越えて大胆に証しする。108人の芸術家による作品120点を、原色版58点と白黒版62点で紹介！ 日本語解説付き。(1975.10)

原田陽子画

モーセ

出エジプトと荒野での神の恵み

0913-8 A 4判 48頁 本体2,500円

カトリックの銅版画家・原田陽子が描く、モーセをめぐる連作画集。旧・新約聖書を貫いて響き渡る「出エジプト」の出来事を、表情豊かに描く。物語の場面とともに聖書の言葉を味わう、黙想のための絵本。(2010.2)

秋吉輝雄訳 池澤夏樹編

雅歌

古代イスラエルの恋愛詩

7915-5 B 5判 80頁 本体2,500円

旧約聖書に収められた愛の詩「雅歌」を、純粋な〈文学作品〉として味わう詩画集。原典からの個人訳に、激動の時代を生きたイスラエル人画家の力強い絵を添え、原詩の世界観を伝える。訳者や編者による解説とエッセイも収録。(2012.3)

牧内 勝

注解付き 英文聖書を読む

「ルカ福音書」でたどるイエスの生涯

7907-X B 5判 104頁 本体2,800円

牧内 勝

注解付き 英文聖書を読むⅡ

「ロマ書」でたどるパウロの信仰思想

7911-7 B 5判 176頁 本体2,200円

松浦忠孝写真集

ユーオーディア

[εὐωδία：香り]

0912-8 菊変型判 84頁 本体2,500円

嶺重 淑／波部雄一郎編

よくわかるクリスマス

7387-0 A 5判 226頁 本体1,500円

R. クリクトン著 M. ニスベット画

尾崎 安訳 [在庫僅少]

サンタクロースって、だあれ？

その伝説と歴史をたずねて

0906-3 A 4変型判 104頁 本体1,800円

高橋洋代

『星の王子さま』からの クリスマス・メッセージ

9958-0 四六判 176頁 本体1,000円

キース・ゴシュ編 田辺 保／崔 達用訳

残された言葉

フランソワ・モーリヤック インタビュー集

0907-1 四六判 388頁 本体3,495円

G. K. チェスタトン 尾崎 安／山形和美訳

[在庫僅少]

色とりどりの国

0905-5 B 5変型判 152頁 本体4,500円

P. ティリッヒ 前川道郎訳

芸術と建築について

7169-9 A 5判 360頁 本体6,200円

改訂英語聖書（REB）と新改訂標準訳聖書（NRSV）の本文を対照しながらたどる「イエスの生涯」。英国と米国の代表的英文聖書の違いやギリシア語原語も参照し、聖書を深く学ぶ手引き。（2001.10）

現代の英文聖書を代表する改訂英文聖書（REB）と新改訂標準聖書（NRSV）から、パウロの信仰思想の核心が展開されている「ロマ書」を選び、比較対照しながら注解。翻訳の違い、原語ギリシア語の意味なども解説。（2007.4）

北海道の野に咲く花々を追いかけ、そこに創造主の摂理によって、調和と秩序が与えられ、養い、育て、咲かせてくださる神を生命のかざり賛美する姿を写す写真集。八木重吉と水野源三の詩を29篇挿入。（1999.6）

クリスマスの起源と成立事情、サンタクロースの誕生と変遷、さまざまな国での祝い方、物語・美術・音楽・映画のモチーフとしてのクリスマス……。多数の図版を交え、28の章とコラムで紹介する、楽しいクリスマス・ブック！（2014.9）[4]

サンタクロースって、だあれ？——誰もが懐いている素朴な疑問を娘に尋ねられた著者が、今や商業ベースにのせられてしまっているサンタクロースの起源を追う。世界中に伝えられた聖ニコラスにまつわる伝説と歴史を描く。（1988.11）

星の名前は『パンセ』から?! 献辞に挙げられた親友の名と、王子さまがすむ星の数字〈B 612〉を手がかりに、著者サン＝テグジュペリが物語に隠したメッセージを探る。物語の味わいが増す、新しい読みときの書。（2013.11）[2]

小説や戯曲の創造過程、作品を書く際に込めた意図、題材の選択、インスピレーションの源泉、現実または想像上の登場人物のモデル、物語から展開する背景、仕事の作法、政治との関わりなどを語る。にこやかでうちとけた大作家に迫る！（1989.7）

詩人、小説家、エッセイスト、批評家、劇作家、歴史家そしてキリスト教弁証家であったチェスタトンの多彩な世界の源泉として、その青年期の精神の遍歴、時代相を鮮かに再現する。自筆の挿絵カラー24頁、白黒31枚。（1987.7）

啓示的な出会いとなったボッティチェリから、セザンヌ、ピカソ、ポロックまで、〈文化の神学者〉ティリッヒが「究極的リアリティー」と芸術・建築との関わりを追求した論文・講演の集大成。未刊の資料5点を含む。（1997.11）

B. レモン 黒岩俊介訳

プロテスタントの宗教建築

歴史・特徴・今日的課題

7908-8 B 5判 360頁 本体8,500円

近藤存志

ゴシック芸術に学ぶ現代の生きかた

N. ベヴスナーとA.W.N. ビュージンの共通視点に立つて

7449-5 A 5判 150頁 本体1,200円

近藤存志

現代教会建築の魅力

人はどう教会を建てるか

7268-2 A 5判 192頁 本体2,800円

R. テイラー 竹内一也訳

「教会」の読み方

画像や象徴は何を意味しているのか

7369-6 A 5判 260頁 本体2,100円

名取四郎

〔在庫僅少〕

キリスト教美術の源流を訪ねて 1

イタリア編

6416-1 四六判 212頁 本体1,800円

名取四郎

キリスト教美術の源流を訪ねて 2

地中海都市編

6417-X 四六判 194頁 本体1,600円

近藤存志

キリストの肖像

ラファエル前派と19世紀イギリスの画家たち

7362-7 A 5判 204頁 本体2,500円

北野佐久子

ハーブ祝祭暦

暮らしを彩る四季のハーバル

6921-7 四六判 242頁 本体1,800円

堀内 昭

〔在庫僅少〕

聖書の植物よもやま話

7435-8 A 5判 276頁 本体1,800円

教会堂とはいかにあるべきかを考察した「礼拝空間の神学」。16世紀から現代までのプロテスタント教会建築独自の様式・空間配置等を分析し、象徴・採光・音響効果といった具体的問題まで取り上げる。写真・図版200点。(2003.6)

20世紀を代表する美術史家ベヴスナーと、ゴシック・リヴァイヴァルを主導した19世紀の建築家ビュージン。中世の職人たちの謙遜を称揚する2人の言葉から、神律的社会から乖離した現代における理想的な生を考える。(2021.6)

古い歴史と伝統を誇る教会建築は、今なお進化し続けている。驚くほど多彩で豊かな現代教会建築の魅力、その見方、楽しみ方、考え方などを本格的に紹介。6か国20以上の教会建築と、豊富なカラー図版約100点を収録！(2008.1)

ステンドグラスに描かれている人物、教会内部の配置など、身近な教会堂に秘められた「謎」に迫る。「おとめマリア」「聖人」「旧約聖書」など項目別に、装飾や色、聖書に見られるシンボルをイラストつきで解説。(2013.8)

さあ、「キリスト教美術」への旅に出よう！西洋中世美術史とキリスト教考古学の専門家が案内する、旅のエッセイ。観光ルートを外れて古代・中世に建てられた教会を訪ね、モザイク装飾の読み解き方を指南する。(2006.10)

映画や書物、風土や食べ物に触れながら、トルコとギリシアにビザンティン美術を、小アジアやチュニジアに、古代の教会堂遺構を訪ねる。パウロの足跡を辿る旅人に、地中海の風は何を問いかけるのか——。(2006.10)

ミレイ、ハント、バーン＝ジョーンズをはじめ、英国ヴィクトリア朝中期に活躍した画家たちはどのようにキリストを描き、自らの信仰を表現したのか。美しい図版を交えて解説する、英国キリスト教絵画・建築の鑑賞の手引き。(2013.2)

クリスマスやイースター、結婚式など、祝祭の日に欠かせない食べ物や飾り。それらに用いられるハーブから、欧州の人々がめぐり来る四季をいかに楽しみ味わってきたかを、ハーブとお菓子の研究家が、写真と図版を交えて紹介する。(2010.5)

聖書に出てくる45種類の植物を科学者の視点で紹介する楽しいエッセイ。植生、薬効、暮らしの中での使い方のほか、キリスト教・仏教・神道での文化的な意味まで、はばひろく語る。この1冊で聖書の植物雑学博士になれる!? (2019.5)

G. タイセン 大貫 隆訳

パウロの弁護人

6734-3 四六判 486頁 本体3,800円

青年法律家は獄中の使徒を救えるのか？キリスト教最大の伝道者の実像を原史料に基づいて再構築し、その卓越した神学と生涯を描き出した著者渾身の思想小説。新約聖書学の碩学が「遺言」として贈るパウロ研究の結実！（2018.4）

E. ネズビット 中村妙子訳

鉄道きょうだい

6946-0 四六判 376頁 本体1,600円

【物語】 ロンドンで両親と幸せに暮らす3人きょうだいは、ある日突然父親が不在となり、つましい田舎暮らしを余儀なくされることに。そんな子どもたちに「鉄道」は、様々な事件を通して多くの友人と素敵な贈り物をもたらしてくれた。（2011.12）[4]

ノエル・ストレットフィールド 中村妙子訳

バレエ・シューズ

6732-9 四六判 206頁 本体1,300円

【物語】 1930年代の英国。姉妹として育てられた3人の孤児、ポーリン、ペトロヴァ、ポージーが、舞台芸術学院で学びながら収入を得て、自分の進む道を選ぶ物語。児童小説の古典的名作が新訳で登場！（2018.1）

ノエル・ストレットフィールド 中村妙子訳

ふたりのエアリエル

6712-1 四六判 230頁 本体1,400円

【物語】 第二次世界大戦下のロンドン。大女優の祖母に引き取られ、演劇学校に入れられた少女ソレルが、従姉との競演の果てにつかんだ夢とは……！ 演劇の家系に生まれた子どもたちがそれぞれの進む道を模索する姿をさわやかに描く物語。（2014.10）

ノエル・ストレットフィールド 中村妙子訳

ふたりのスケーター

6730-5 四六判 210頁 本体1,200円

【物語】 第二次世界大戦前の英国。健康回復のため10歳でフィギュアスケートを始めたハリエット。スター選手の忘れ形見として3歳から英才教育を受けてきたララ。ふたりの少女が切磋琢磨しながら成長する姿をさわやかに描く。（2017.11）

ノンフィクション

福井達朗

アホかて生きているんや

6204-5 B 6 判 294頁 本体951円

アホと言われても、バカと言われても、人として認められなくても、ただ、黙って笑っている子供たち。だれにもまさって美しく懸命に生きる子供たち。知能に重い障害をもつ子供たちとともに十数年を歩んだ著者の不屈のユーモア。（1972.1）[25]

関 啓子

まさか、この私が

脳卒中からの生還

6978-1 四六判 180頁 本体1,400円

脳卒中リハビリの専門家として治療する立場にあった著者が、自ら体験した発症から職場復帰までを克明に記した貴重な記録。当事者の立場から、発症の可能性にいかに対応するか、また、リハビリのあり方や回復の道筋を具体的に示す。（2014.2）[3]

ミハエル・デ・リッター
島田宗洋／ヴォルフガング・R. アーデ訳

わたしたちはどんな死に方をしたいのか？

高度先進医療時代における新たな死の文化の提言

6726-8 四六判 464頁 本体2,800円

「避けられない死に新しい光を当て、洞察を深めた好著」（柏木哲夫氏推薦）。ドイツ人医師が、具体的な患者の実例を通して、現代の救命延命型の医療体制の負の面と矛盾点とを説得的に語りながら、「望ましい死への援助」を提案する。（2016.10）

ミヒヤエル・デ・リッダー
島田宗洋／ヴォルフガング・R. アーデ訳
わたしたちはどんな医療が欲しいのか？
人間中心医療を取り戻すための提言とその理由
6743-5 四六判 346頁 本体2,600円

「すべての医療関係者に届けたい提言」（高久史麿氏推薦）。様々な背景をもつ人が運びこまれるベルリンの救急医療センター。問題山積する現場で35年のキャリアを重ねたドイツ人医師が発信する、現代医療の問題点と解決の道。（2020.9）

高見沢潤子

真実の愛を求めて

6267-3 B 6判 292頁 本体2,427円

教育・禁酒・禁煙運動（津田仙）／女子教育（桜井ちか）／仏僧から牧師へ（道旗泰誠）／死刑囚の回心（石井藤吉）／最初の良心的兵役拒否者（矢部喜好）／迫害の中の伝道者（升崎外彦）／ハンセン氏病療養所の建設（青木恵哉）（1990.8）

高見沢潤子

シャロンの花

7人が歩いた苦難の道

6252-5 B 6判 296頁 本体2,000円

伝道の志に燃えて来日、いまだ宣教が困難な時に、教会設立のみならず、福祉、教育、文化など多岐にわたる分野において、キリスト教的人間尊重の精神に貫かれた先駆的な活動に着手、信仰を証した宣教師たちの生涯！（1988.5）

岡山慶子編著

やさしさの暴走

社会を変え、人を幸せにする力

6970-5 四六判 192頁 本体1,300円

健康・医療、福祉、育児などをテーマに「社会貢献と企業の融合モデル」となる会社を立ち上げた著者による、NPO活動などを通して知り合った「愛と正義の実践者」へのインタビュー集。やさしさが暴走して、「本物が生まれる」ことを語る。（2013.10）

F. アワズラー 鳥羽徳子／鳥羽和雄訳
〔在庫僅少〕

現代のたとえ話

6002-6 B 6判 170頁 本体2,000円

「リーダーズ・ダイジェスト」の記者をしていた著者が、日刊新聞に、日々の出来事のなかにある美しい話、生活のなかのころがっている真理を証しする話を連載した。そのたくさんの「たとえ話」から34篇を選び、自由に翻案。（1974.7）〔4〕

佐々木征夫

草平君の選んだ学校

愛真高校 日誌

6936-1 四六判 288頁 本体1,500円

義務教育9年間を不登校で通した少年に「ほくも行ってみたい！」と言わせたのは、丘の上にある「日本一小さな高校」だった。大自然に囲まれたキリスト教愛真高校を舞台に繰り広げられる、若者たちの青春ドキュメント！（2011.6）

K. C. ヘンドリックス 笹森建美ほか訳

神のみ手の陰に

愛隣の奉仕者、高橋玲二の半生

6275-4 B 6判 300頁 本体1,942円

第二次世界大戦の傷跡が残る1950年、御茶ノ水橋のたもとの掘立小屋、そのまわりで無心に遊ぶ子どもたち。19歳の玲二は、小さな細い声が呼びかけるのを聴いた。「自分を愛するように隣人を愛しなさい」。奉仕の第一歩である。（1991.10）

M. カーター／M. クリステンセン
小中陽太郎監訳

チェルノブイリの子どもたち

6612-1 四六判 340頁 本体2,500円

チェルノブイリ原発事故により、放射能障害に苦しむ子どもたちを救おうと、ソ連崩壊前後のベラルーシに出掛けたアメリカ人ボランティアグループが経験した出会い・友情・和解の物語。ヒューマン・ドキュメント。（1996.6）

田島恵三

天国への凱旋門

死刑囚からの手紙

6333-5 B 6判 234頁 本体1,800円

敗戦後の混乱期に殺人罪を犯してしまった友人のために、説教を書き留め送り続けた青年たちの献身と死刑囚の回心。残されていた死刑囚からの手紙をもとに綴られた、高い塀の内と外との、魂に深くしみ込む交わりの記録！（1997.1）〔3〕

定期刊行物

日本の神学（年刊） 日本基督教学会編

日本神学界の動向と業績を総観する、定評ある神学年報。研究論文、講演、シンポジウム、書評等を収録。最新刊60号（2021.9）

神学（年刊） 東京神学大学神学会編

神学各分野にわたる最新の研究論文と、書評を収録した、東京神学大学神学会機関誌。会員外には実費頒布。最新刊82号（2021.1）

内村鑑三研究（年刊）『内村鑑三研究』編集委員会編

内村鑑三の研究を内容とする学術雑誌。主催する研究会・セミナーでの研究報告、講演、書評のほか、公募による論文も掲載。最新刊54号（2021.5）

電子書籍

坂本 誠

[Kindle 版]

メソジスト教会の源流となった英国の伝道者ジョン・ウェスレー。伝統に基礎を置きながらもより実践的・経験的な伝道と教会形成を展開していく中で、彼は聖餐をどのように考え、実行したのか。これまでの研究史をも含めた包括的研究。

ウェスレーの聖餐論

宣教のわざとしての聖餐

0656-4

Kindle 購入価格1,200円

関根正雄＝個人全訳

新訳旧約聖書 (4分冊)

A5判・上製・函入

50余年にわたる旧約聖書原典との取り組みから生まれた不朽の翻訳。
原文のトーンが名訳を通してよみがえる。

第Ⅰ巻 律法 創世記 出エジプト記 レビ記
民数記 申命記
2701-0 414頁〈品切〉(1993.10)

第Ⅱ巻 歴史書 ヨシュア記 士師記 サムエル記 (上・下) 列王記 (上・下)
2702-9 382頁・本体5,000円 (1994.4) [在庫僅少]

第Ⅲ巻 預言書 イザヤ書 エレミヤ書 エゼキエル書 ホセア書 ヨエル書 アモス書 オバデヤ書 ヨナ書 ミカ書 ナホム書 ハバクク書 ゼパニヤ書 ハガイ書 ゼカリヤ書 マラキ書
2703-7 528頁〈品切〉(1994.7)

第Ⅳ巻 諸書 詩篇 ヨブ記 箴言 ルツ記 雅歌 コーヘレト 哀歌 エステル記 ダニエル書 エズラ記 ネヘミヤ記 歴代誌 (上・下)
2704-5 634頁・本体5,800円 (1995.1)



監修＝左近義慈／平野 保／加山久夫／永田竹司

編訳＝川端由喜男

ギリシア語新約聖書

日本語対訳・動詞変化付き

初等文法を学んでも、語彙や構文の違いを超えて理解することが難しいギリシア語。本書は、ギリシア語本文の下に日本語の直訳を付し、語順を示す番号をつけた。また、動詞の原形と変化形の説明を欄外に明示。
初学者・独学者から研究者に至るまで、新約聖書をギリシア語本文から理解するための必携の書。

- | | | | | |
|---|-----------------------|--------|--------------------|-----------|
| 1 | マタイによる福音書 | 1911-5 | B 5判・178頁・本体2,913円 | (1991.5) |
| 2 | マルコによる福音書 | 1912-3 | B 5判・102頁・本体2,913円 | (1991.12) |
| 3 | ルカによる福音書 | 1913-1 | B 5判・172頁・本体4,000円 | (1993.7) |
| 4 | ヨハネによる福音書 | 1914-X | B 5判・140頁・本体4,000円 | (1995.8) |
| 5 | 使徒行伝 | 1915-8 | B 5判・172頁・本体4,700円 | (1996.8) |
| 6 | ローマ人への手紙
コリント人への手紙 | 1916-6 | B 5判・190頁・本体4,800円 | (2001.8) |

岩隈 直 [オンデマンド版]



増補改訂 新約ギリシヤ語辞典

0331-0 B 6 変型判・並製・650頁・本体7,500円

著者が27年の歳月を注ぎ込み完成させた日本語初の新約聖書ギリシヤ語辞典。

《特色》

- ①語彙数5791。異本（異読）を含めた新約全巻のギリシヤ語全語彙を収録。
- ②文法的説明を多数加えた。
- ③語源、古典ギリシヤ語の意味を必要に応じて記した。
- ④付録で、ギリシヤ語全般、新約聖書のギリシヤ語の特質を詳述。
- ⑤語形変化表を付した。

(2016.5)

岩隈 直監修 [オンデマンド版]



増補改訂 新約ギリシヤ語逆引辞典

0348-8 B 6 変型判・並製・366頁・本体6,500円

新約聖書に登場する語形（変化形）から原形をたどるための辞典。ギリシヤ語辞典を十分に活用するために必携の1冊！

《特色》

- ①新約聖書本文中に現れるすべての語形をアルファベット順に収録。
- ②語形変化の詳しい説明を掲載。
- ③『増補改訂 新約ギリシヤ語辞典』と完全対応、すぐにページ数を参照できる。

(2019.9)

日本基督教協議会文書事業部コンコórdانس委員会編

旧約 新約 聖書語句大辞典

4001-7 B 5 判・上製・1646頁・本体35,000円



『口語訳聖書』（1954/55年）に基づくコンコórdانس

- 監修 遠藤敏雄／高橋 虔／高柳伊三郎／都留仙次／手塚儀一郎／松本卓夫／山谷省吾
- 編集 都田恒太郎／馬場嘉市
- 特色 聖書のことば、聖書の名句が、どの箇所にあるかわかり、だれでも聖書の思想を知ることができる。原語索引は、ヘブル語、ギリシア語の辞典として、専門的な活用も可能。

(1959.6) [15]

監修＝Z. イエール 編集＝近藤司朗

新共同訳 新約聖書語句事典

4008-4 B 5判・上製・598頁・本体11,650円（1991.10）[2]

新共同訳 旧約聖書語句事典

4009-2 B 5判・上製・1768頁・本体29,126円（1992.4）[在庫僅少]

新共同訳 旧約聖書続編語句事典

4010-6 B 5判・上製・592頁・本体14,563円（1996.1）

コンピューターによって初めて可能となった
『聖書 新共同訳』（1987年、日本聖書協会）の
完璧なコンコーダンス



《特色》

- ①知りたいことばが、聖書のどこにあるか、
どのように使われているか、すぐに分かる。
- ②どのことばが聖書の中で何回使われている
か正確に分かる。
- ③聖書の考え方が分かる。
- ④聖書を知るのに不可欠の書。

ドイツ語版編集＝H. バルトツ／G. シュナイダー 監修＝荒井 献／H. J. マルクス
編集委員＝堀田雄康／川島貞雄／大貫 隆 実務委員＝保坂高殿／筒井賢治

ギリシア語 新約聖書釈義事典

（全3巻）

- 第Ⅰ巻 Ἀαρών - Ἐνώχ
4013-0 B 5判・544頁〈品切〉（1993.5）[2]
第Ⅱ巻 ἐξ - ὁψώνιον [在庫僅少]
4014-9 B 5判・644頁・本体42,000円（1994.5）[2]
第Ⅲ巻 παγιδεύω - ὠφέλιμος
4015-7 B 5判・600頁・本体42,000円（1995.5）



キッテルの『新約聖書神学辞典』（全10巻）の業績を基にしながら、新約聖書学の最新の研究成果を取り込み、聖書の個々のテキストに現われるギリシア語語彙の文脈的・歴史的・神学的意味を明らかにする。

長窪専三

古典ユダヤ教事典

4033-9 A 5判・上製・640頁・本体18,000円



日本初の本格的なユダヤ教事典。ユダヤ思想の永遠の源泉であり、キリスト教・イスラムの母胎ともなったギリシア・ローマ時代のユダヤ教の多様な姿を、最新の研究と膨大な資料を駆使して探求。広大無辺の古典ユダヤ教世界の全領域を網羅する事典。

《特色》

- ①単著・書き下ろしによる一貫性のある記述と体系的な構成。
- ②欧米の類書をしのぐ数の多彩な約2100項目を収録。
- ③本文の理解を助ける100点以上の地図・写真・図表を掲載。
- ④「ユダヤ史年表」など充実の巻末付録つき。

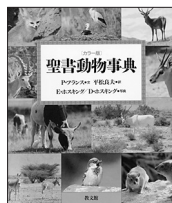
(2008.7)

P. フランス＝文 平松良夫＝訳 E. & D. ホスキング＝写真

カラー版 聖書動物事典

4012-2 A 4変型判・上製・142頁・本体5,500円

英国の著名なジャーナリストの手になる『聖書動物事典』。現地取材による写真が豊富に掲載。聖書の動物がユダヤ教や西欧の文学でどのように描かれてきたかまで辿る。聖書の世界が身近になる事典。



(1992.10)

廣部千恵子 横山 匡＝写真

新聖書植物図鑑

4024-6 B 5判・上製・168頁・本体4,500円

10年に及ぶ著者の現地イスラエルでのフィールド調査と、最新の研究結果を踏まえて書かれた聖書植物図鑑の決定版！



《特色》

- ①聖書に出てくる植物を網羅。
- ②野の花・茨とあざみ・樹木・水辺の植物・畑の産物・香料と野草・砂漠の植物に分類して、わかりやすく解説。
- ③関連する植物約230種に言及。
- ④ヘブライ語聖書・ギリシア語聖書の原語を明記。
- ⑤カラー写真180点。

(1999.8)

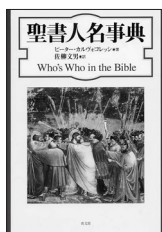
P. カルヴォコレッシ
佐柳文男訳 [田中文雄 編集協力]

聖書人名事典

4031-9 B 5 判・上製・208頁・本体4,000円

《特色》

- ① アダム、モーセ、イエス、マリア、パウロなど、旧約聖書・新約聖書・旧約聖書外典（続編）から450名以上の人物が登場。
- ② どんな人物が、どんな名前で、何をしたか、聖書のストーリーが分かる。
- ③ 聖書の人物とその物語が、その後、小説・詩・演劇・絵画・彫刻・オペラ・音楽の主題としてどのように描かれたか、聖書と文化のつながりが分かる。
- ④ 項目中に言及された絵を中心に、カラー78枚、モノクロ50枚の挿し絵でキリスト教名画が楽しめる！
- ⑤ 地図・系図・用語解説・索引を完備。幅広い活用が可能！
(新装版2005.7)



E. A. リヴィングストン編 木寺廉太訳

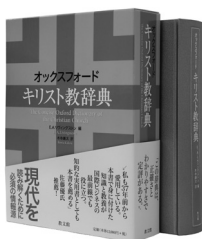
オックスフォード キリスト教辞典

4041-4 A 5 判・上製・函入・1018頁・本体12,000円

佐藤優氏、橋爪大三郎氏、池澤夏樹氏、西原廉太氏推薦

キリスト教がわかると、世界がもっと近くなる！

現代を読み解くために必須の情報源！



時代の変化やキリスト教界の動向に合わせて、最新の情報が充実。巻末には、キリスト教小英和辞典としても使える「欧文・和文項目対照表」、「歴代教皇・対立教皇一覧」、「歴代カンタベリー大主教（大司教）一覧」を付した。

【本辞典の特徴】

- ◆世界的に定評がある *Oxford Concise Dictionary of the Christian Church* の最新版(2013年)を底本としたキリスト教総合辞典。
- ◆聖書・歴史・神学・典礼から美術・建築・文学・音楽に至るまで、キリスト教に関わる約6,000項目を収録。
- ◆教派の偏向がないエキュメニカルな視点に基づき、欧米ほか、アジアやアフリカについても丁寧な記述。
- ◆戦争や性、宗教間対話など、現代のキリスト教界の多様なテーマを網羅。

(2017.1)

J. ゴンサレス 鈴木 浩訳

キリスト教神学基本用語集

4035-3 A 5判・上製・函入・322頁・本体2,800円

知のエッセンスが凝縮！
グローバル時代の神学小辞典

分かりやすさに定評のある最新の用語集、待望の邦訳！ 豊富な見出し語で2000年に及ぶ神学のあらゆる重要事項を紹介。古典的な言葉を現代的関心から読み解き、難解な専門用語も要点をおさえて鮮やかに解説！

《特色》

- ①今日的な主題・視点をまじえた最新の内容。
- ②初学者にも分かりやすい解説。
- ③著書『キリスト教思想史』などで日本でも高名な教理史家による、示唆に富んだ記述。
- ④幅広い教派・年代・分野の全457項目収録。
- ⑤便利な日本語・原語項目索引、人名索引を掲載。

(2010.10)



A. リチャードソン+ J. ボウデン編
古屋安雄監修 佐柳文男訳

キリスト教神学事典

4029-7 A 5判・上製・632頁・本体5,000円

キリスト教神学を学ぶための道標

世界でもっとも広く読まれているエキュメニカルな、
最新の標準的神学事典。



《特色》

- ①「罪」「贖い」「義認」など伝統的教理が歴史的展開に沿って解説され、今日の議論にまで及ぶ。
- ②カトリック・プロテスタント・正教のいずれについても基本的な神学用語について解説。
- ③「解放の神学」「フェミニスト神学」「他宗教との関係」など現代的なテーマについてもその歴史的発展を踏まえた解説がなされている。
- ④「実存主義」「批判理論」「構造主義」など現代思想についても、キリスト教神学の立場からの受容と批判がなされている。
- ⑤言及される参考文献のうち邦訳のあるものは明記。日本語の参考文献も補充。
- ⑥全700項目、175名（英国・アメリカ・ドイツなどあらゆる教派的立場から）の寄稿者。
- ⑦便利な人名索引・用語索引が付いている。

(新装版2005.1)

東京神学大学神学会編

新キリスト教組織神学事典

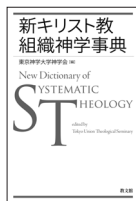
4104-6 四六判・上製・412頁・本体4,200円

激動の世界のただ中で、
われわれは永遠なる神をいかに語るのか？

【本辞典の特徴】

- ◆日本を代表する神学者が書き下ろした、スタンダードかつ最高水準の事典。
- ◆キリスト教の神学・思想に関連した事項・人名から100項目を厳選。
- ◆長く愛用されてきた旧版（初版1972年、増補版1983年）の項目・執筆者を刷新。

(2018.3)



H. クラフト 水垣 渉／泉 治典監修

キリスト教教父事典

4030-0 A5判・上製・550頁・本体8,500円

キリスト教の形成に決定的な影響を与えた思想家たちの生涯と著作。異端や論争、教会会議の決定等、キリスト教の基礎を知るための不可欠の事典。

《特色》

- ①通説により頼まず、即断を排する一貫した叙述。
- ②他の辞典類に見られない興味深いエピソードや関連項目を掲載。
- ③人名・事項あわせて677項目。
- ④1187タイトルの古代教父関連文献に言及。
- ⑤欧文・和文書名索引・年表・研究文献表・地図など付録も充実。

(2002.5)

P. ディンツェルバッハー編 植田兼義訳

神秘主義事典

4025-4 A5判・上製・520頁・本体7,000円

キリスト教の霊性と神秘思想を中心にした初の事典

キリスト教の霊性・神秘思想を中心に約1200項目。古代から現代までの神秘思想家の生涯と思想、神秘主義の潮流と諸概念を詳説。理論神秘主義のみならず、体験神秘主義、女性神秘主義にも配慮。他宗教の神秘思想にも言及。



「専門性と一般性を巧みに兼ね備えた本事典は、キリスト教の知られざる神秘思想を包括的に解明し、原文による各思想家・思潮との出会いへと導く基本書である」(K. リーゼンフーバー)。

(2000.1)

関西学院大学キリスト教と文化研究センター編

キリスト教平和学事典

4034-6 A 5判・上製・函入・450頁・本体8,000円



現代世界が直面する平和の諸問題をキリスト教の視点から分析し、キリスト者やキリスト教会が取り組むべき課題にどう対処していくかの理論と実践を解明。平和構築に向けた総合理解を試みる画期的な事典！

《特色》

- ①日本初のキリスト教の視点による平和学事典。
- ②寄稿者全86名。平和学研究・平和運動の第一人者を迎えた多彩な執筆陣。
- ③全144項目。大項目が中心で読み応えある記述。
- ④表・図版・写真など、ビジュアル資料約50点収録。
- ⑤関連年表および人名索引・事項索引を付録に掲載。

(2009.9)

日本ルーテル神学大学ルター研究所編

ルターと宗教改革事典

4018-1 A 5判・上製・函入・336頁・本体4,500円

図版・写真63点収録

《特色》

- ①ルターを中心に宗教改革運動の全体をカバー。
- ②日本で初めて書き下ろされた「ルターと宗教改革」についての事典。
- ③日本におけるルター研究・宗教改革研究の第一人者が執筆。

(1995.10)



遠藤 祐／高柳俊一／山形和美他編 [オンデマンド版]

世界・日本 キリスト教文学事典

0315-0 A 5判・並製・790頁・本体9,500円



欧米中心主義から脱し、日本の視点から広く日本と世界のキリスト教文学を捉えて編集されたユニークな事典！

30カ国、1300人の文学者を網羅。

主要な作家の重要な作品には、短かい梗概を付し、作品内容も知ることができる。

(2009.2)

日本キリスト教歴史大事典編集委員会編

日本キリスト教歴史大事典

〈教文館創立100年記念出版〉

4005-X B5判・1736頁・本体45,000円

図版700点・年表100頁・上製・函入

- 編集委員長 海老沢有道
- 編集顧問 石原 謙／久山 康／隅谷三喜男／
武田清子／松村菅和

執筆者1,200名、10,000項目に及ぶ大事典！

日本のキリスト教史研究の里程標とも言うべき基礎文獻。



《特色》

- ①キリシタン・カトリック・正教・プロテスタント全教派の歴史と現状がわかる。
- ②キリスト教の、日本の科学・教育・社会福祉・文学などへの貢献のあとを実証する。
- ③名もなき殉教者、隠れた功労者、忘れられた事件を発掘し新しい光をあてる。
- ④日本の政治、宗教、文化とキリスト教の接触・衝突・相互影響のあとを辿る。
- ⑤各都道府県別のキリスト教史を網羅する。
- ⑥新しい学問的成果をとり入れ、最新の情報を盛る。

(1988.2)

鈴木範久監修 日本キリスト教歴史大事典編集委員会編

日本キリスト教歴史人名事典

4042-1 B5判・984頁・本体45,000円〔在庫僅少〕

図版550点・上製・函入



- 編集委員長 鈴木範久
- 編集委員 太田淑子／岡部一興／小川早百合／
山口陽一／山崎渾子／渡辺久美子

伝来から現代にいたる約5,150名を収録。

日本キリスト教史全体の関連人物に特化した本邦初の人名事典！

《特色》

- ①全教派の歴史を網羅する。
宣教師の渡来から現代まで、キリスト教のすべての教派について、教会、修道会、学校、団体などに関わった人物をとりあげる。
- ②日本文化・社会へのキリスト教の貢献を総覧する。
宗教、政治、社会福祉、実業、教育、学問、芸術、スポーツに至るまで、現代日本の文化、地域社会の形成に多大な影響を与えたキリスト教の足跡を実証的に跡づける。
- ③様々な業績に光を当てる。
著名な指導者、聖職者、研究者だけでなく、迫害の時代の名もなき殉教者、人知れず世のために尽くした功労者、隠れた信仰者、教会に敵対する人物をもとりあげる。
- ④新しい学問的成果を紹介する。
最新の研究も踏まえた、各界の専門家による、ほかでは得ることのできない詳細で確かな記述を提供する。

(2020.8)

A. ギルモア 本多峰子訳

英語聖書の歴史を知る事典

4027-0 A 5判・上製・230頁・本体3,000円

近年次々と出版される新しい英語聖書。それぞれの翻訳の違いはどこにあるのか。翻訳陣の背景や翻訳理論の相違は、どこに現われているのか。

聖書そのものの成り立ちと伝達の過程からはじまり、古代や中世の写本の話、また400年におよぶ英語聖書の歴史を事典項目で辿ることができる。
印刷のミスから生まれた奇妙な聖書の例など、エピソードも満載。

(2002.3)



小塩 節／濱崎史朗／山形和美編訳

キリスト教名句名言事典

4023-8 B 6判・並製・408頁・本体2,500円

《特色》

- ①有名な聖職者のみならず、文学者、哲学者、政治家など950人の言葉を収録。
- ②十字架、教会などキリスト教に関する句のみならず、愛と憎しみ、善と悪、絶望と希望、信仰と不信仰など、人生の様々な局面で出会う550のキーワードを厳選。
- ③事項索引、出典索引、聖句索引などから自分の好きな句が探せる。

(1999.1) [2]



外村民彦

キリスト教を知る事典

4020-3 B 6判・並製・376頁・本体2,000円 [在庫僅少]



あなたはキリスト教の言葉をどれだけ知っていますか？
日頃新聞やテレビなどで見聞きする、格言や成句になったキリスト教用語を中心に、わかりやすく丁寧に解説する。
初心者・求道者向けの新しい事典。写真・図版多数収録。

(1996.2) [7]

佐藤全弘／藤井 茂

新渡戸稲造事典

4038-4 A 5判・上製・774頁・本体 5,600円

明治から昭和初期にかけて、国内外にわたり多面に活躍した新渡戸稲造。その生涯に多角的観点から光をあてた画期的な『事典』。約850項目、写真等約280点。今後の研究の基礎資料として、「新渡戸稲造」を知りたいすべての人に送るハンドブック！
没後80年記念出版。



《特色》

- ①巻頭に、新渡戸の全生涯を網羅した伝記（書き下ろし）を収録。
- ②関係のあった学校、土地、新聞・雑誌、著作について、他には見られない興味深いエピソードや関連事項・写真を掲載。
- ③新渡戸の行動・著作・関連の出来事など、約270ページにわたる詳細な年譜付き。家系図や、揮毫など貴重な資料も収録。
- ④先行研究資料として、『新渡戸稲造全集』『新渡戸稲造研究』『新渡戸稲造の世界』の総目録、関係主要文献を記載。
- ⑤検索に便利な人名索引・事項索引付き。

(2013.10)

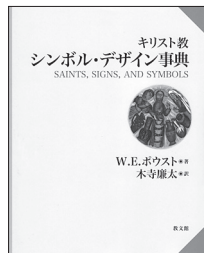
W. E. ボウスト 木寺廉太記

キリスト教シンボル・デザイン事典

SAINTS, SIGNS, AND SYMBOLS

7910-0 B 5変型判・並製・96頁・本体1,200円

キリスト教にまつわる聖人・記号・シンボルを図解する「見て楽しむ」事典。
原書刊行以来、約半世紀にわたって英米両国で版を重ね、
日本でも愛され続けてきた名著の翻訳。



《特色》

- ①十二使徒、聖人、父なる神、聖霊なる神、聖なるモノグラム、聖母マリア、十字架や植物装飾文様など、著者自身の手によるシンボルのデッサンを約400点収録。
- ②各シンボルの意味や色彩、人物の伝承についての簡明な解説がついている。
- ③キリスト教美術の読み解きに、洗礼名の選択の参考に、デザインのアイデアソースに、幅広い実用性を兼ね備えた1冊。

(2007.4) [2]

A.E. マクグラス 本多峰子訳

旧約新約聖書ガイド

創世記からヨハネの黙示録まで

7425-9 A5判・上製・734頁・本体7,200円

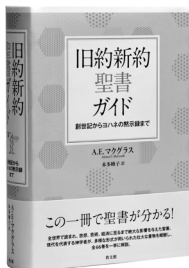
この一冊で聖書が分かる！

世界中で読まれ、思想・芸術・経済に至るまで絶大な影響を与えている聖書。現代を代表する神学者が、多様な形式が用いられたこの壮大な書物を概観し、旧約・新約全66巻を一挙に解説。

《特色》

- ◆聖書のあらすじを読み、全体の流れを理解することができる。
- ◆キリスト教の教えや生活についての素朴な疑問をコラムで解説。
- ◆時代背景や古代世界の地理への理解を助ける、年表・地図・図版を豊富に収録。
- ◆巻末には便利な「聖書人名小事典」「聖書地名小事典」付き。

(2018.7) [2]



J.L. メイズ＝編 聖書文学学会＝執筆

日本語版編集＝荒井章三／並木浩一／橋本滋男／松永希久夫／山内一郎／和田幹男

ハーバー聖書注解

Harper's Bible Commentary

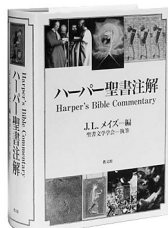
4021-1 B5判・上製・1400頁・本体30,000円

旧約・新約・旧約外典全84巻を1冊で注解した、
今日最も包括的で、多様性に富んだエキュメニカルな聖書注解。

《特色》

- ①新共同訳聖書に準拠。
- ②聖書の理解を手引きする概論（8編）を収録。
- ③聖書の主要テーマを扱う小論（32編）を収録。
- ④分かりやすく、読みやすい叙述。

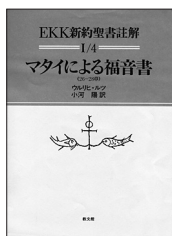
(1996.10)



荒井 献／佐竹 明（プロテスタント）、伊吹 雄／三好 迪（カトリック）編

EKK新約聖書注解

A5判・上製・函入



ドイツ語圏ではじめてプロテスタントとカトリックが共同企画し刊行した今日最高水準の注解シリーズ！

今日の歴史批評学の研究に基づいた厳密な釈義に留まらず、古代から現代にまで到る教会の歴史の中でどのように聖書が解釈されてきたかを追跡する「影響史」を取り込み、聖書の今日的解釈を追求する画期的な注解。

I/1 マタイによる福音書(1—7章) X エペソ人への手紙

U. ルツ 小河 陽訳
1404-0 890頁〈品切〉(1990.7)

R. シュナッケンブルク 大友陽子訳
1409-1 560頁・本体7,800円 (1998.9)

I/2 マタイによる福音書(8—17章) XII コロサイ人への手紙

U. ルツ 小河 陽訳
1407-5 1,024頁・本体12,400円 (1997.3)

E. シュヴァイツァー 斎藤忠資訳
1402-4 398頁〈品切〉(1983.1)

I/3 マタイによる福音書(18—25章) XIII テサロニケ人への第一の手紙

U. ルツ 小河 陽訳
1411-3 1,012頁・本体12,000円 (2004.7)

T. ホルツ 大友陽子訳
1406-7 494頁・本体5,800円 (1995.6)

I/4 マタイによる福音書(26—28章) XVIII ピレモンへの手紙 [在庫僅少]

U. ルツ 小河 陽訳
1413-2 816頁・本体12,000円 (2009.10)

P. シュトゥールマツハー 青野太潮訳
1401-6 148頁・本体2,000円 (1982.11)

VI/1 ローマ人への手紙(1—5章) XXI ペテロの第一の手紙

U. ヴィルケンス 岩本修一訳
1403-2 647頁〈品切〉(1984.4)

N. ブロックス 角田信三郎訳
1405-9 492頁・本体5,800円 (1995.4)

VI/2 ローマ人への手紙(6—11章) XXIII/1 ヨハネの第一の手紙

U. ヴィルケンス 岩本修一／朴 憲郁訳
1408-3 560頁・本体7,800円 (1998.3)

H. J. クラウク 住谷 眞訳
1412-5 668頁・本体8,000円 (2008.7)

VI/3 ローマ人への手紙(12—16章) XXIII/2 ヨハネの第二、第三の手紙

U. ヴィルケンス 岩本修一訳
1410-5 16頁・本体5,500円 (2001.4)

H. J. クラウク 住谷 眞訳
1414-9 284頁・本体6,000円 (2019.4)

【日本語版監修】浅野淳博・遠藤勝信・中野 実

N. T. ライト新約聖書講解

全 18 卷

四六判・並製



原著名は The New Testament for Everyone。現代の第一級の新約聖書学者にして、英国のバランスのとれた穏健な聖書解釈の伝統を受け継ぎ、教派を超えて親しまれている N. T. ライトによる新約聖書全巻の講解。毎年3冊程度を刊行する予定。

1 マタイ福音書 1 1—15 章

大宮 謙訳

2 マタイ福音書 2 16—28 章

井出 新訳

3 マルコ福音書

飯田 仰訳

4 ルカ福音書

津村春英訳

5 ヨハネ福音書 1 1—10 章

武田なほみ訳

6 ヨハネ福音書 2 11—21 章

小林高德ほか訳

7 使徒行伝 1 1—12 章

大宮有博訳

8 使徒行伝 2 13—28 章

松永美穂訳

9 ローマ書 1 1—8 章

浅野淳博訳

2089-8 216 頁・本体2,300 円 (2021.7)

10 ローマ書 2 9—16 章

岩上敬人訳

11 第 1 コリント書

村山盛葦訳

12 第 2 コリント書

薦田崇志訳

13 ガラテヤ書、第 1・第 2 テサロニケ書

伊藤明生訳

14 エフェソ書、フィリピ書、コロサイ書、フィレモン書

平野克己・中村保夫訳

15 第 1・第 2 テモテ書、テトス書

山口希生訳

16 ヘブライ書

中野 実訳

17 ヤコブ書、第 1・第 2 ペトロ書、第 1・第 2・第 3 ヨハネ書、ユダ書

三浦 望訳

18 ヨハネ黙示録

遠藤勝信訳

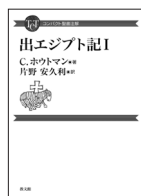
*各巻の冒頭に「すべての人のための」が付きます。

登家勝也監修

コンパクト聖書注解

四六判・並製

オランダ語で刊行されたオランダの改革派の伝統に立つ
各分野の第一人者による「コンパクト」な聖書注解シリーズ。
明快で穩健、堅実で信徒にも使いやすい、信頼できる注解書。



C. ヴェスターマン 山我哲雄訳

創世記 I

1831-3 416頁・本体3,000円
(1993.12) [2]

M. デイクストラ 池永倫明訳

エゼキエル書 I

1842-9 436頁・本体3,500円
(2004.2)

C. ヴェスターマン 山我哲雄訳

創世記 II

1832-1 388頁〈品切〉
(1994.2)

M. デイクストラ 池永倫明訳

エゼキエル書 II

1844-5 438頁・本体3,500円
(2006.7)

C. ホウトマン 片野安久利訳

出エジプト記 I

1711-9 232頁・本体3,500円
(2019.5)

C. ファン・レーウェン 池永倫明訳

ホセア書

1849-9 222頁・本体2,700円
(2014.11)

B. マールシンク 登家勝也訳

民数記

1834-8 358頁・本体2,700円
(1995.1)

C. J. デン・ヘイヤール 伊藤勝啓訳

マルコによる福音書 I

1835-6 318頁・本体2,600円
(1996.10)

A. ファン・セルムス 登家勝也訳

ヨブ記

1841-0 446頁・本体3,500円
(2002.8)

C. J. デン・ヘイヤール 伊藤勝啓訳

マルコによる福音書 II

1843-7 316頁・本体3,000円
(2004.8)

L. A. スネイデルス 片野安久利訳

箴言

1839-9 406頁・本体3,800円
(2000.7)

H. ミュルデル 登家勝也訳

ルカによる福音書 I

1845-1 278頁・本体2,800円
(2007.4)

J. A. ローデル 片野安久利訳

伝道の書 コヘレトの言葉 [在庫僅少]

1833-X 272頁・本体2,500円
(1994.7)

H. ミュルデル 登家勝也訳

ルカによる福音書 II

1846-8 332頁・本体3,200円
(2008.7)

M. J. ミュルデル 西田隆義訳

雅歌

1847-5 160頁・本体1,600円
(2010.4)

H. パールリンク 登家勝也訳

ローマ人への手紙 I

1838-0 262頁・本体2,700円
(1999.8)

H. バールリンク 登家勝也訳
ローマ人への手紙Ⅱ
1840-2 258頁・本体2,700円
(2000.8)

H. W. ホーランドル 池永倫明訳
コリント人への第一の手紙Ⅰ
1710-2 276頁・本体3,500円
(2017.5)

H. W. ホーランドル 池永倫明訳
コリント人への第一の手紙Ⅱ
1712-6 192頁・本体2,800円
(2020.1)

C. J. デン・ヘイヤール 登家勝也訳
ガラテヤ人への手紙
1830-5 268頁・本体2,000円
(1993.10)

L. Th. ヴィトカンブ 登家勝也訳
コロサイ人への手紙
1837-2 232頁・本体2,100円
(1998.1)

J. レイリング 登家勝也訳
ヘブライ人への手紙
1848-2 296頁・本体3,500円
(2012.3)

E. デ・フリース 登家勝也／西田隆義訳
ヤコブの手紙
1709-6 182頁・本体2,400円
(2015.4)

L. ファン・ハルティンクスフェルト 池永倫明訳
ヨハネの黙示録
1836-4 252頁・本体2,300円
(1997.5)

日本聖書学研究所編

聖書外典偽典 全7巻 別巻2冊

A5判・上製・函入

第1巻 旧約外典Ⅰ

第1 エズラ書（村岡崇光訳） 第1 マカベア書 第2 マカベア書 トビト書 ユデ
イト書（土岐健治訳）

1901-8 422頁 本体6,000円（1975.4）[9]

第2巻 旧約外典Ⅱ

ソロモンの知恵（関根正雄訳） ペン・シラの知恵（村岡崇光訳） バルク書（森田
光博訳） エレミヤの手紙（小田島太郎訳） マナセの祈り（藤村和義／土岐健治訳）
ダニエル書への付加——アザリヤの祈りと三人の若者の歌、スザンナ、ベルと龍（新
見 宏訳） エステル記への付加（土岐健治訳）

1902-6 558頁 本体7,500円（1977.12）[6]

第3巻 旧約偽典Ⅰ

アリストエアスの手紙（左近 淑訳） 第4 マカベア書（土岐健治訳） シビュラの託
宣（柴田 有訳） スラヴ語エノク書（森安達也訳） ビルケ・アボス（石川耕一郎訳）

0323-5 392頁 本体5,400円（2012.6）

[オンデマンド版]

第4巻 旧約偽典Ⅱ

ヨベル書 エチオピア語エノク書（村岡崇光訳）

0349-5 392頁 本体5,400円（2020.6）
[オンデマンド版]**第5巻 旧約偽典Ⅲ**十二族長の遺訓（笈川博一／土岐健治訳） ソロモンの詩篇（後藤光一郎訳） 第4
エズラ書（八木誠一／八木綾子訳） シリア語バルク黙示録（村岡崇光訳）

1905-0 508頁 本体7,000円（1976.11）[6]

第6巻 新約外典Ⅰオクシリンコス・パピルス840、654、1、655、10735 ファイユーム断片（川村輝典訳）
エジプトン・パピルス2 エビオン人福音書（松永希久夫訳） ヘブル人福音書
エジプト人福音書（川村輝典訳） ヤコブ原福音書 トマスによるイエスの幼時物
語（八木誠一／伊吹 雄訳） ペテロ福音書（小林 稔訳） ニコデモ福音書（田川建
三訳） ラオデキア人への手紙 パウロとコリント人との往復書簡 セネカとパウ
ロの往復書簡（青野太潮訳） パウロの黙示録 シビュラの託宣（佐竹 明訳）

1906-9 474頁 〈品切〉（1976.2）[10]

第7巻 新約外典Ⅱヨハネ行伝（大貫 隆訳） ペテロ行伝（小河 陽訳） パウロ行伝（青野太潮訳）
アンデレ行伝（藤村和義／土岐健治訳） トマス行伝（荒井 献／柴田 有訳）0324-2 500頁 本体6,800円（2013.10）
[オンデマンド版]**別巻 補遺Ⅰ 旧約聖書編**第3マカベア書 預言者の生涯 ギリシア語バルク黙示録（土岐健治訳） アブラ
ハムの遺訓（関根清三訳） ヨセフとアセナテ（小河 陽訳） ヨブの遺訓 エレミ
ヤ余録（土岐健治訳） モーセの黙示録 アダムとエバの生涯 モーセの昇天 モ
ーセの遺訓（小林 稔／土岐健治訳）

1908-5 658頁 本体8,800円（1979.11）[5]

別巻 補遺Ⅱ 新約聖書編フリヤ・ロギオン（蛭沼寿雄訳） ストラスブール・パピルス ソロモンの頌歌（大
貫 隆訳） ペテロの宣教（佐藤吉昭訳） ペテロの宣教集（青野太潮訳） ナハシュ
派の詩篇（柴田 有訳） 第5、第6エズラ書（八木誠一／八木綾子訳） 預言者イ
ザヤの殉教と昇天 使徒たちの手紙 ペテロの黙示録（村岡崇光訳） ナザレ人福
音書（荒井 献訳）0319-8 570頁 本体7,400円（2011.10）
[オンデマンド版]

責任編集＝荒井 献／水垣 渉

キリスト教教父著作集

全22巻

A5判・上製・函入



第1巻 ユスティノス

第一、第二弁明 柴田 有訳

ユダヤ人トリュフォンとの対話 三小田敏雄訳

0318-1 (第5回配本 276頁 本体4,700円) (2011.10)
[オンデマンド版]

第2巻Ⅰ エイレナイオス1

異端反駁Ⅰ 大貫 隆訳

2902-0 (第11回配本 200頁 本体3,400円) (2017.1)

第2巻Ⅱ エイレナイオス2

異端反駁Ⅱ 大貫 隆訳

2923-5 (第12回配本 226頁 本体4,000円) (2017.5)

第3巻Ⅰ エイレナイオス3

異端反駁Ⅲ 小林 稔訳

2903-X (第7回配本 260頁 本体3,800円) (1999.5)

第3巻Ⅱ エイレナイオス4

異端反駁Ⅳ 小林 稔訳

2924-2 (第8回配本 328頁 本体4,800円) (2000.3)

第3巻Ⅲ エイレナイオス5

異端反駁Ⅴ 大貫 隆訳

2925-9 (第13回配本 182頁 本体4,600円) (2017.9)

第4巻Ⅰ アレクサンドリアのクレメンス1

ストロマテイス(綴織)Ⅰ 秋山 学訳

2904-4 (第14回配本 494頁 本体8,300円) (2018.1)

第4巻Ⅱ アレクサンドリアのクレメンス2

ストロマテイス(綴織)Ⅱ 秋山 学訳

2926-6 (第15回配本 512頁 本体8,300円) (2018.5)

第5巻 アレクサンドリアのクレメンス3

パイダゴゴス(訓導者) プロトレプティコス(ギリシア人への勧告) テオ
ドトスからの抜粋 預言書撰文集 救われる富者とは誰であるか 断片集
秋山 学訳

第6巻 オリゲネス1

原理論Ⅰ 水垣 渉／久山道彦訳

第7巻 オリゲネス2

原理論Ⅱ 水垣 渉／久山道彦訳

第8巻 オリゲネス3

ケルソス駁論Ⅰ 出村みや子訳

0327-3 (第1回配本 230頁 本体3,500円) (2016.1)
[オンデマンド版]

第9巻 オリゲネス 4

ケルソス駁論Ⅱ 出村みや子訳

2909-9 (第6回配本 316頁 本体4,700円) (1997.2)

第10巻 オリゲネス 5

ケルソス駁論Ⅲ 出村みや子訳

第11巻 ミヌキウス・フェリックス

オクタウィウス 筒井賢治訳

第12巻 初期護教論集

メリトン 過越について 断片 加納政弘訳

アリストティデス 弁証論 井谷嘉男訳

アテナゴラス キリスト教徒のための請願書 井谷嘉男訳

2912-9 (第10回配本 532頁 本体5,600円) (2010.3)

第13巻 テルトゥリアヌス 1

プラクセアス反論 パッリウムについて 土岐正策訳

2913-7 (第2回配本 204頁 本体2,500円) (1987.10)

第14巻 テルトゥリアヌス 2

護教論 (アポロゲティクス) 鈴木一郎訳

2914-5 (第3回配本 222頁 本体2,700円) (1987.11)

[在庫僅少]

第15巻 テルトゥリアヌス 3

キリストの肉体について 死者の復活について 井谷嘉男訳

異端者への抗弁 土井健司訳

第16巻 テルトゥリアヌス 4

倫理論文集 悔い改めについて 妻へ 貞節の勧めについて 結婚の一回性について 貞節について 兵士の冠について 木寺廉太訳

2916-1 (第9回配本 354頁 本体5,000円) (2002.12)

第17巻 キプリアヌス

ドナートゥスに送る おとめの身だしなみについて デメトリアーヌスに送る 嫉妬と妬みについて フォルトゥナトゥスに送る 書簡63.80.81

第18巻 ラクタンティウス

信教提要

迫害者たちの死 松本宣郎訳

第19巻 ヒッポリュトス

全異端反駁 大貫隆訳

2919-8 (第16回配本 582頁 本体9,200円) (2018.12)

第20巻 エウセビオス 1

教会史Ⅰ 戸田聡訳

第21巻 エウセビオス 2

教会史Ⅱ 戸田聡訳

第22巻 殉教者行伝

土岐正策／土岐健治訳

0328-0 (第4回配本 448頁 本体6,600円) (2016.1)

[オンデマンド版]

責任編集＝赤木善光／泉 治典／金子晴勇／茂泉昭男

アウグスティヌス著作集

全30巻 別巻2

A5判・上製・函入



〔第Ⅰ期〕

第1巻 初期哲学論集 (1)

「アカデミア派駁論」「至福の生」「秩序」「ソリロキア (独白)」 清水正照訳

0332-7 (第Ⅰ期第5回配本 本体6,200円) (2017.1)
[オンデマンド版]

第2巻 初期哲学論集 (2)

「魂の不滅」「魂の偉大」「教師」「真の宗教」
茂泉昭男訳

3002-X (第Ⅰ期第3回配本 本体6,000円) (1979.6) [4]

第3巻 初期哲学論集 (3)

「自由意志」「音楽論」 泉 治典／原 正幸訳

0325-9 (第Ⅰ期第14回配本 本体7,000円) (2015.1)
[オンデマンド版]

第4巻 神学論集

「信の効用」「信仰と信条」「シンプリキアヌスへ」
「信仰・希望・愛 (エンキリディオン)」 赤木
善光訳

3004-6 (第Ⅰ期第1回配本 本体3,800円) (1979.1) [6]

第5巻Ⅰ 告白録 (上)

宮谷宣史訳

3005-4 (第Ⅰ期第15回〔通算第18回〕配本 品切)
(1993.9)

第5巻Ⅱ 告白録 (下)

宮谷宣史訳

3031-6 (第Ⅰ期第16回〔通算第29回〕配本
本体4,600円) (2007.7)

第6巻 キリスト教の教え

「キリスト教の教え」 加藤 武訳

0321-1 (第Ⅰ期第13回配本 本体5,000円) (2011.10)
[オンデマンド版]

第7巻 マニ教駁論集

「二つの魂」「フォルトゥナトゥス駁論」「基本
書と呼ばれるマニの書簡への駁論」「善の本性」
「結婚の善」 岡野昌雄訳

3007-0 (第Ⅰ期第2回配本 本体5,000円) (1979.3) [4]

第8巻 ドナティスト駁論集

[在庫僅少]

「洗礼論」「ドナティスト批判」 坂口昂吉／金
子晴勇訳

3008-9 (第Ⅰ期第11回配本 本体3,800円) (1984.11)

第9巻 ペラギウス派駁論集 (1)

[在庫僅少]

「霊と文字」「自然と恩恵」「人間の義の完成」
金子晴勇訳

3009-7 (第Ⅰ期第4回配本 本体4,500円) (1979.7) [3]

第10巻 ペラギウス派駁論集 (2)

「恩恵と自由意志」「証言と恩恵」「聖徒の予定」
「堅忍の賜物」 小池三郎／金子晴勇／片柳榮一
訳

3010-0 (第Ⅰ期第12回配本 本体5,500円)
(1985.12) [2]

第11巻 神の国 (1)

第1—5巻 赤木善光／泉 治典／金子晴勇訳

3011-9 (第Ⅰ期第6回配本 本体6,200円) (1980.10) [4]

第12巻 神の国 (2)

第6—10巻 茂泉昭男／野町 啓訳

3012-7 (第Ⅰ期第9回配本 本体5,800円)
(1982.2) [3]

第13巻 神の国 (3)

第11—14巻 泉 治典訳

3013-5 (第Ⅰ期第8回配本 本体3,800円) (1981.6) [3]

第14巻 神の国 (4)

第15—18巻 大島春子／岡野昌雄訳

3014-3 (第Ⅰ期第7回配本 本体4,500円) (1980.12) [3]

第15巻 神の国 (5)

第19—22巻 松田禎二／岡野昌雄／泉 治典訳

3015-1 (第Ⅰ期第10回配本 本体4,500円) (1983.11) [2]

〔第Ⅱ期〕

第16巻 創世記注解 (1)

「創世記逐語注解 (1)」第1—9巻 片柳榮一訳

3016-X (第Ⅱ期第4回〔通算第19回〕配本
本体3,800円) (1994.5)

第17巻 創世記注解 (2)

「創世記逐語注解 (2)」第10—12巻

「未完の創世記逐語注解」片柳榮一訳

3017-8 (第Ⅱ期第7回〔通算第22回〕配本
本体3,200円) (1999.1)**第18巻Ⅰ 詩編注解 (1)**第1—32編 今 義博／大島春子／堺 正憲／菊地
伸二訳3018-6 (第Ⅱ期第6回〔通算第21回〕配本
本体4,700円) (1997.3)**第18巻Ⅱ 詩編注解 (2)**第33—53編 谷 隆一郎／堺 正憲／花井一典／澁
村美貴子／中澤 務／野沢建彦訳3032-1 (第Ⅱ期第13回〔通算第28回〕配本
本体6,400円) (2006.3)**第19巻Ⅰ 詩編注解 (3)**第54—75編 佐藤真基子／片柳榮一／水落健治
訳3019-4 (第Ⅱ期第18回〔通算第34回〕配本
本体7,500円) (2020.2)**第19巻Ⅱ 詩編注解 (4)**第76—100編 荒井洋一／出村和彦／金子晴勇／
田子多津子訳3033-0 (第Ⅱ期第19回〔通算第35回〕配本
本体9,500円) (2020.12)**第20巻Ⅰ 詩編注解 (5)**第101—122編 中川純男／鎌田伊知郎／泉 治
典／林 明弘訳3020-0 (第Ⅱ期第15回〔通算第31回〕配本
本体7,400円) (2011.3)**第20巻Ⅱ 詩編注解 (6)**

第123—150編 河野一典／松崎一平訳

第21巻 共観福音書説教 (1)

「マタイによる福音書 (1)」茂泉昭男訳

3021-6 (第Ⅱ期第5回〔通算第20回〕配本
本体3,500円) (1996.3)**第22巻 共観福音書説教 (2)**「マタイによる福音書 (2)」「マルコによる福音
書」「ルカによる福音書」茂泉昭男訳3022-4 (第Ⅱ期第9回〔通算第24回〕配本
本体5,500円) (2001.5)**第23巻 ヨハネによる福音書
講解説教 (1)**

[在庫僅少]

第1—23説教 泉 治典／水落健治訳

3023-2 (第Ⅱ期第1回〔通算第15回〕配本
本体3,500円) (1993.4)**第24巻 ヨハネによる福音書
講解説教 (2)**

第24—54説教 金子晴勇／木谷文計／大島春子訳

3024-0 (第Ⅱ期第2回〔通算第16回〕配本
本体3,500円) (1993.6)**第25巻 ヨハネによる福音書
講解説教 (3)**

第55—124説教 茂泉昭男／岡野昌雄訳

3025-9 (第Ⅱ期第3回〔通算第17回〕配本
本体4,500円) (1993.8)**第26巻 パウロの手紙・
ヨハネの手紙説教**「ローマの信徒への手紙選釈」「パウロの手紙説
教」「ヨハネの手紙—講解説教」岡野昌雄／茂
泉昭男／田内千里／上村直樹訳3026-2 (第Ⅱ期第14回〔通算第30回〕配本
本体6,300円) (2009.12)**第27巻 倫理論集**「禁欲」「キリスト者の戦い」「修道士の労働」「見
えないものへの信仰」「信仰と行為」「神を見る
こと」今 義博／森 泰男／宮谷宣史／茂泉昭
男／出村和彦／菊地伸二訳3027-5 (第Ⅱ期第11回〔通算第26回〕配本
本体4,800円) (2003.1)**第28巻 三位一体**

「三位一体」泉 治典訳

3028-3 (第Ⅱ期第12回〔通算第27回〕配本
本体6,000円) (2004.3)**第29巻 ペラギウス派駁論集 (3)**「罪の報いと赦し」「キリストの恩恵と原罪」「ペ
ラギウス派の二書簡駁論」金子晴勇／畑 宏枝
訳3029-1 (第Ⅱ期第8回〔通算第23回〕配本
本体5,500円) (1999.7)**第30巻 ペラギウス派駁論集 (4)**

「ユリアヌス駁論」金子晴勇訳

3030-5 (第Ⅱ期第10回〔通算第25回〕配本
本体5,800円) (2002.9)**別巻Ⅰ 書簡集 (1)**

386—410年 金子晴勇訳

3035-4 (第Ⅱ期第16回〔通算第32回〕配本
本体5,200円) (2013.2)**別巻Ⅱ 書簡集 (2)**411—430年「新しく発見された書簡」金子晴
勇訳3036-1 (第Ⅱ期第17回〔通算第33回〕配本
本体6,000円) (2013.4)

編集委員＝植田兼義／金子晴勇／熊田陽一郎／千石 喬／南原 実

キリスト教神秘主義著作集 全17巻

A5判・上製・函入



キリスト教はそれが出会う多様な状況との相互関係のなかで多様な表現形態をとってきた。キリスト教信仰の内奥にあるとともに、キリスト教生活の「広さ・長さ・高さ・深さ」の極点に達する神秘主義もその例外ではない。本著作集の特色の一つは、キリスト教神秘主義の多様性をほとんど危険なまでに包括的に提示しようという点にある。

第1巻 ギリシア教父の神秘主義

[在庫僅少]

ニュッサのグレゴリオス モーセの生涯 谷 隆一郎訳

ディオニシオス・アレオパギテース 神名論 神秘神学 熊田陽一郎訳

3201-4 (第4回配本 410頁 本体5,800円) (1992.11) [2]

第2巻 ベルナール

神を愛することについて 雅歌の説教(抄) 金子晴勇訳

3202-2 (第13回配本 420頁 本体6,000円) (2005.12)

第3巻 サン・ヴィクトル派とその周辺

サン・ヴィクトルのフーゴー ノアの神秘的箱舟について 田子多津子訳

サン・ヴィクトルのリカルドゥス 観想への魂の準備(小ベニヤミン) 石井雅之訳

ロバート・グロステスト 光について 色について 虹について 須藤和夫訳

シュトラスブルクのウルリッヒ 美・光・愛について 熊田陽一郎訳

3203-0 (第10回配本 322頁 本体5,600円) (2000.4)

第4巻Ⅰ 中世の女性神秘家(1)

マクデブルクのメヒティルト 神性の流れる光 植田兼義訳

3204-9 (第9回配本 362頁 本体4,600円) (1996.12)

第4巻Ⅱ 中世の女性神秘家(2)

ヒルデガルト・フォン・ビンゲン 神の業について(抄) 阿部善彦訳

第5巻 ボナヴェントゥラ

六日の業について 須藤和夫訳

第6巻 エックハルト Ⅰ

[在庫僅少]

ドイツ語説教集(抄) 神学論集(抄) 他 植田兼義訳

3206-5 (第1回配本 452頁 本体3,883円) (1989.9)

第7巻 エックハルト Ⅱ

[在庫僅少]

創世記注解 ヨハネ福音書注解 中山善樹訳

3207-3 (第6回配本 774頁 本体7,000円) (1993.5)

第8巻 タウラーと『ドイツ神学』

説教選 「ドイツ神学」 松浦 純訳

第9巻 ゾイゼとリュースブルク

ゾイゼ ドイツ語著作集 植田兼義訳

リュースブルク 霊的な婚姻 植田兼義訳

3209-X (第8回配本 450頁 本体5,700円) (1995.1)

第10巻 クザーヌス

神の子であることについて 神を見ることについて 観想の極致について 坂本
堯訳／知恵の狩猟について 酒井紀幸／岩田圭一訳

3210-3 (第11回配本 342頁 本体5,600円) (2000.8)

第11巻 シュタウピッツとルター

シュタウピッツ 永遠の予定の実現についての小冊子 キリストが喜んで迎えた
死のまねびについての小冊子 神の愛についての小著 金子晴勇訳

ルター ルターの神秘思想を表わすテキスト 金子晴勇訳／第2回詩編講義 (抜粋)
竹原創一訳

3211-1 (第12回配本 520頁 本体7,400円) (2001.1)

第12巻 十六世紀の神秘思想

シュヴェンクフェルト 人間の三種の生について 木塚隆志訳／フランク パラ
ドクサ ヴァイゲル 世界の場所についての有益な小論 中井章子訳／アルント
真のキリスト教 (抄) 南原和子訳

3212-9 (第15回配本 628頁 本体7,900円) (2014.5)

第13巻 ヤコブ・ベーメ

[在庫僅少]

シグナトゥーラ・レールム 神智学書簡 ベーメの生涯と作品 (A. v. フランケン
ベルク) プリンキピアの表他 南原 実訳

3213-8 (第2回配本 488頁 本体4,854円) (1989.11) [2]

第14巻 十七・十八世紀のベーミストたち

ポーディジ テオロギア・ミスティカ (抄) 門脇由紀子訳／まことの知恵の石に
関する哲学的書簡 岡部雄三訳／リード 数多の庭を潤す泉 (抜粋) 創造の御業
の驚異 ヴィジョンの山へ昇る (抄) ブロムリー 安らぎの安息日への道 (抄)
フィラデルフィア協会設立と振興の理由から抜粋した信条集 門脇由紀子訳／フ
ランケンベルク 知恵の根拠に関する断案 書簡 ラファエルあるいは癒しの天
使 ギヒテル 書簡 ユーバーフェルト 書簡 シレシウス 詩 クールマン
神の啓示すなわち幻視 アーノルト 異端者の歴史をめぐる概括的所見 神の知
恵ソフィアの神秘 詩 岡部雄三訳／ロー 愛の霊 門脇由紀子訳／『最上の敬
虔と知恵』序文 岡部雄三訳

3214-3 (第14回配本 804頁 本体8,500円) (2010.7)

第15巻 キエティスム

モリノス 霊の導き 鶴岡賀雄訳／ギュイヨン夫人 奔流 聖書の神秘的解釈
岡部雄三訳／スュラン 愛の諸相をめぐる15の詩篇 フェヌロン 純粋な愛につ
いての考察 村田真弓訳

3215-4 (第3回配本 556頁 本体5,340円) (1990.6)

第16巻 近代の自然神秘思想

パラケルスス 聖ヨハネ草について他 岡部雄三訳／ヘルモン ト 医術の日の出
(抄) アンドレーエ 化学の婚礼 エーティンガー 聖書とエンブレムの辞書
エッカルツハウゼン 自然の魔法の力 パーダー 光の父としての稲妻 シェリ
ング クララとの対話 中井章子訳／メスマー 動物磁気発見のいきさつ他 本
間邦雄訳

3216-2 (第7回配本 660頁 本体7,500円) (1993.9)

第17巻 サン＝マルタン

タブロー・ナチュレル (抄) 村井文夫訳／渴望する人 (抄) 自然の解説 (抄)
今野喜和人訳

3217-0 (第5回配本 526頁 本体6,500円) (1992.12)



責任編集＝出村 彰／徳善義和／成瀬 治／八代 崇

宗教改革著作集 全15巻

A5判・上製・函入・各巻平均400～500頁 全15巻揃本体74,000円

宗教改革は、精神史の潮流のなかで、比類のない潮流であり、かつ広くそして深い歴史的現実であった。宗教改革はまた、一人一人の個体の精神を奥深く把握し、これを新しく作り変える質的な滲透力であった。

第1巻 宗教改革の先駆者たち

出村 彰／池谷文夫／中村賢二郎訳

オッカム「教皇ベネディクトゥス〔12世〕への反論」「対話篇第三部」「教皇権力に関する八提題」「教皇の専制支配に関する小論」ウィクリフ「祭壇の秘跡について」「教会論」フス「教会論」 3101-8（第14回配本 本体3,500円）（2001.7）

第2巻 エラスムス

金子晴勇／木ノ脇悦郎／片山英男訳

エラスムス「エンキリディオン」「ヴォルツ宛の手紙」「新約聖書序文」「キリスト者の君主の教育」 0320-4（第8回配本 本体5,000円）（2011.10）[オンデマンド版]

第3巻 ルターとその周辺Ⅰ

徳善義和／俊野文雄／三浦 謙訳

ルター「キリスト者の自由」「七つの悔改めの詩篇」「『山上の教え』による説教」 3103-4（第1回配本 本体6,800円）（1983.10）〔2〕

第4巻 ルターとその周辺Ⅱ

徳善義和／伊藤勝啓訳

ルター「聖書序文集」メランヒトン「神学要綱」 3104-2（第15回配本 本体5,000円）（2003.3）

第5巻 ツヴィングリとその周辺Ⅰ

内山 稔／出村 彰／森田安一訳

ツヴィングリ「六十七箇条提題」「神の義と人間の義についての説教」「牧者論」「洗礼論」「聖餐論」「聖書と剣（1）」3105-0（第2回配本 本体3,500円）（1984.2）

第6巻 ツヴィングリとその周辺Ⅱ

出村 彰／石引正志／南 純／森田安一訳

ツヴィングリ「キリスト教信仰入門」エコランパディウス「破門の回復に関する説話」（抄）フツァー「牧会論」「信仰の提要」プリンガー「再洗礼派反論」（抄）プリンガー／ユート「聖書と剣（2）」

3106-9（第6回配本 本体3,800円）（1986.5）

第7巻 ミュンツァー・カールシュタット・農民戦争

田中真造／松山與志雄／倉松 功／宮庄哲夫／前間良爾訳

ミュンツァー「ブラーハ・マニフェスト」「アルシュテットのドイツ語礼拝・秩序と解説」「ドイツ語福音ミサへの序文」「でっちあげの信仰について」「信仰の表明または提言」「ダニエル書第二章の講解」「まやかしの信仰のあからさまな暴露」「きわめてやむをえざる弁護論」「書簡」（選）「ミュンツァーの自供」カールシュタット「対話、もしくは対話の小冊子」「キリスト教教理の主要条項についての主張」農民戦争「シュヴァーベン農民の十二箇条」「キリスト教同盟の同盟条例草案」「シュヴァルツヴァルト農民団の箇条書」「シュヴァルツヴァルト農民の国制草案」「農民大衆の集会に与える」「ミヒャエル・ガイスマイヤーのティロル領邦条令」 3107-7（第4回配本 本体4,500円）（1985.3）

第8巻 再洗礼派

森田安一／出村 彰／倉塚 平／矢口以文訳

フーブマイア「信仰者のキリスト教的洗礼について」「剣について」グレーベル「トーマス・ミュンツァーへの手紙」ザトラー「神の子らの兄弟の一致」フート「キリスト教提要」デנק「信仰告白文」「真の愛について」マーベック「信仰告白」シャルンシュラーガー「寛容の求め」フツァー「モラヴィアにある神の教会に宛てた第四の手紙」シュタトラ「信仰の手引き」ロートマン「復讐についての慰めに満ちた知らせ」ヴァルポット「剣について」シモンズ「新生」「プロシアにある教会への訓戒」「行政長官への嘆願」「神学者たちの短い抗弁」「病

める聖徒を慰める手紙」

3108-5 (第9回配本 本体5,400円) (1992.10)

第9巻 カルヴァンとその周辺Ⅰ

[在庫僅少]

久米あつみ訳

カルヴァン「キリスト教綱要」(初版)

3109-3 (第5回配本 本体5,800円) (1986.2) [2]

第10巻 カルヴァンとその周辺Ⅱ

出村 彰／丸山忠孝／飯島啓二訳

セルヴェトゥス「三位一体論の誤謬について」(抄) カステリヨ「異端は迫害さるべきか」(部分) ペーズ「為政者の臣下に対する権利」ノックス「女たちの奇怪な統治に反対するラッパの最初の高鳴り」「規律の書」

3110-7 (第10回配本 本体5,000円) (1993.3)

第11巻 イングランド宗教改革Ⅰ

戸村 潔／井田 泉／八代 崇／金子啓一／中村 茂訳

コレット「聖職者議会開会説教」バーンズ「ケンブリッジでの説教の弁明」ティンダル「ローマ人への手紙・序文」フィッシュ「乞食のための請願」克蘭マー「聖書序文」「救いについての説教」「信仰についての説教」「信仰にともなう善きわざについての説教」「祈禱書序文」「儀式について」ラティマー「鋤の説教」リドリ「実体変化説の誤謬を駁する論説」フォックス「一般に教皇主義者と呼ばれる神の真理の迫害者への序文」「キリストの普遍的教会の真実で信仰篤い衆への序文」

3111-5 (第3回配本 本体3,600円) (1984.7)

第12巻 イングランド宗教改革Ⅱ

中村 茂／八代 崇／金子啓一／佐藤哲典／村井みどり訳

ジュエル「イングランド教会の弁護」エリザベス1世「宗教政策に関する宣言」グリンダル「エリザベス女王への返書」フィールド／ウィルコックス「議会への勧告」フィールド「教皇主義的悪弊について」カートライト「ハリソンへの返書」ブラウン「何者にも期待しないで行われるべき宗教改革」パロウ「イングランド教会からの分離の四つの理由」ユーダル「イングランド教会の嘆かわしい現状」フッカー「教会政治理論・序文」

3112-3 (第7回配本 本体3,800円) (1986.10)

第13巻 カトリック改革

E. ルカ／橋本裕明／徳田直宏／安東伸介／高宮利行／坂本 堯／澤田和夫／塚田富治／加賀美久夫／H. J. マルクス／河井田研朗／深堀 純／鈴木宣明訳

ルードルフ「キリスト伝」エックハルト「霊的識別の講話」「離脱について」ケンピス「謙遜のすすめ」「霊的修練についての短い訓戒」ジェルソン「学者の好奇心を戒む」ヒルトン「完徳への階梯」クザーヌス「カトリック協和論」「神愛兄弟会会則」カタリーナ「教皇グレゴリウス11世への手紙」サヴォナローラ「説教」モア「ピコ伝」パウルス3世「教会改革建議書」トレント公会議「義化についての教令」「啓示の源泉に関する教令」ロヨラ「イエズス会会憲」プール「教会一致擁護論」ベラルミーノ「異端反駁信仰論争」ザビエル「宣教书簡」

3113-1 (第11回配本 本体5,800円) (1994.4)

第14巻 信仰告白・信仰問答

徳善義和／出村 彰／石引正志／森井 眞／渡辺信夫／登家勝也／飯島啓二／木下量照訳

ルター「小教理問答」「シュマルカルデン条項」メランヒトン「アウクスブルク信仰告白」ツヴィングリ「キリスト教信仰の解明」ブツァー「四都市信仰告白」カルヴァン「信仰の手引きと告白」「信仰告白」「チューリヒ和協書」プリンガー「第二スイス信仰告白」ウルシヌス「ハイデルベルク教理問答」「規律第二の書」英国教会「十箇条」「六箇条」「イングランドの教会の三十九箇条」

3114-X (第12回配本 本体6,000円) (1994.11)

第15巻 教会規定・年表・地図・参考文献目録

徳善義和／出村 彰／出村 伸／倉塚 平／佐藤哲典訳

ドイツ「ヴィッテンベルク共同財産規定」「ヴィッテンベルク教会規定」「ザクセン領内教会巡察指導書」(抄) スイス「チューリヒ施与規定」「チューリヒ婚姻裁判規定」「バーゼル教会破門規定」「ジュネーヴ教会規定」イギリス「上告禁止法」「国王至上法」「第一次礼拝統一法」「ピューリタン弾圧法」「ローマ・カトリック教徒弾圧法」

3115-8 (第13回配本 本体6,500円) (1998.8)

田辺 保 全訳

パスカル著作集 全7巻 別巻2冊

A5判・上製・函入 全9冊揃本体33,100円 [在庫僅少]



パスカルは、近代の始めに生きて、はやくも現代の諸課題を先どりした思想家と言われる。自然科学の黎明期に数学者・物理学者として基礎的な業績を挙げつつも、近代科学の勃興と共に準備されつつあった人間の危機を鋭敏な感受性と深い目ざしでもって見すえ、恐怖の思いをこめて問いを發した。生涯をパスカル研究に捧げる訳者が、しなやかで奥行のある文体でパスカルの世界を我々に伝える。

第1巻 パスカルの生涯 要約イエス伝 小品集

「パスカルの生涯」「パスカルとその家族の思い出」「要約イエス伝」「真空論序文」「恋愛の情念について」「罪びとの回心について」「メモリアル」「初期と現代のクリスチャンをくらべて」「ド・サシ氏との対話」「幾何学の精神について」「病の善用を神にねがう祈り」「大貴族の身分について」

2121-7 (本体3,500円)
(1980.9)

第2巻 書簡集 遺言書

2122-5 (本体3,500円)
(1981.1)

第3巻 プロヴァンシアル1

2123-3 (本体2,500円)
(1980.3)

第4巻 プロヴァンシアル2

2124-1 (本体2,500円)
(1980.6)

第5巻 プロヴァンシアル関係文書 恩寵文書

「高等法院の一弁護士から友人にあてた手紙」「パリの司祭たちのための弁駁書」「パリの司祭たちの第二文書」「パリの司祭たちの第五文書」「パリの司祭たちの第六文書」「『良心例学者弁護』に対する司教教書の草案」「信仰宣誓文への署名について」「恩寵文書」

2125-X (本体3,500円)
(1983.5)

第6巻 パンセ1

2126-8 (本体4,800円)
(1981.10)

第7巻 パンセ2

2127-6 (本体5,500円)
(1982.9)

別巻1 パスカル論集

序論—田辺 保 パスカルと日本—支倉崇晴 パスカルと植村正久—田辺 保 パスカルと綱島梁川—由木 康 パスカルと西田幾多郎—森川 甫 小林秀雄の「パスカル論」をめぐって—佐藤泰正 パスカルと森有正—荒木 亨 パスカルとフランス文学—田辺 保 ヴォルテールとパスカル—加太宏邦 モーリヤックとパスカル—濱崎史朗 パスカルとシモーヌ・ヴェイユ—川口光治 パスカルとベケット—田辺 保 パスカルとキェルケゴール—橋本 淳 パスカルとドストエフスキー—小沼文彦 パスカルとニーチェ—吉沢伝三郎 T. E. ヒュームとパスカル—信岡 巽

2128-4 (本体3,500円)
(1983.9)

別巻2 パスカル伝

(田辺 保著)

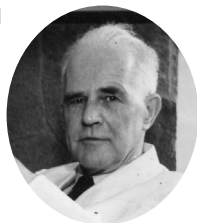
2129-2 (本体3,800円)
(1984.9)

編集＝熊澤義宣／川田 殖

ブルンナー著作集 全8巻

A5判・上製・函入 全8冊揃本体41,300円

スイス改革派教会、とりわけツヴィングリの伝統に立ち、「神の言葉」を現代世界の人間に伝えようと生涯「宣教の神学」に情熱を傾けたE.ブルンナーの名著『教義学』と説教を中心とした著作集。ほとんどが初めての邦訳であり、ブルンナー神学の包括的紹介としては初めての試みである。



第1巻 神学論集

清水 正訳

「カール・バルト『ローマ書』書評」「人間性の限界」「神学の根拠と対象としての啓示」「宗教改革とロマン主義」「神学のもうひとつの課題」「キルケゴールの使信」「神学と存在論、あるいは岐路に立つ神学」「神学の問題としての《結合点》への問い」「自然と恩恵」「宣教する教会にとっての旧約聖書の不可欠性」「新しいバルト」

3301-0 (本体4,800円) (1997.1)

第2巻 教義学Ⅰ

熊澤義宣／芳賀 力訳

神についての教説

3302-9 (本体6,200円) (1997.5)

第3巻 教義学Ⅱ

佐藤敏夫訳

創造と救贖についての教説

3303-7 (本体6,200円) (1997.10)

第4巻 教義学Ⅲ (上)

近藤勝彦／大村修文訳

教会・信仰・完成についての教説

3304-5 (本体4,800円) (1998.1)

第5巻 教義学Ⅲ (下)

大村修文訳

教会・信仰・完成についての教説

3305-3 (本体5,000円) (1998.4)

第6巻 倫理・社会論集

川田 殖ほか訳

「社会における正義と自由」「キリスト教と文化」「キリスト教信仰と教育」「信仰と倫理」「無制約的なものと現実」「キリスト教実存主義」「キリスト者の政治的責任」「キリスト教の経済秩序」「国際的倫理の探求」「賀川豊彦」「決断の中にある日本」

3306-1 (本体6,300円) (1996.7)

第7巻 フラウミュンスター説教集Ⅰ

下村喜八訳

3307-X (本体4,000円) (1996.4)

第8巻 フラウミュンスター説教集Ⅱ

下村喜八訳

3308-8 (本体4,000円) (1996.10)

E. シューラー

イエス・キリスト時代の ユダヤ民族史

全7巻 A5判・上製



シューラーによる有名なドイツ語原本を、ヴェルメシュ、ミラーが改訂増補した英語版からの邦訳。政治的、社会的、宗教的また文学的な観点からイエス時代のユダヤ史を詳述し、歴史資料をバランスよく収録。イエスやパウロが生きたユダヤ教の実態を知り、新約聖書の記述内容を深く捉えるために不可欠の書。

第Ⅰ巻 第1節 本書の視野と目的／第2節 補助科目／第3節 諸資料／第4節 宗教的危機と革命／第5節 ユダ・マカバイオス／第6節 ヨナタン／第7節 シモン／第8節 ヨハネ・ヒルカノスⅠ世／第9節 アリストブロスⅠ世／第10節 アレクサンドロス・ヤンナイオス／第11節 アレクサンドラ／第12節 アリストブロスⅡ世／第13節 ヒルカノスⅡ世、アンティパテルとその息子たちファサエルとヘロデの台頭／第14節 アンティゴノス

小河 陽訳

7351-1 402頁 本体8,900円 (2012.12)

第Ⅱ巻 第15節 ヘロデ大王／第16節 ヘロデの死後の騒動／第17節 ヘロデ大王の死からアグリッパⅠ世まで ヘロデの息子たち／第18節 アグリッパⅠ世／第19節 ローマ人プロクラトルたち／第20節 ローマとの大戦争／第21節 エルサレムの破壊からバル・コクバの没落まで／補遺

小河 陽訳

7352-8 438頁 本体9,200円 (2012.12)

第Ⅲ巻 第22節 文化的背景／第23節 政治制度／第24節 祭司職と神殿祭儀／補遺
小河 陽／安達かおり／馬場幸栄訳

7353-5 418頁 本体9,000円 (2014.1)

第Ⅳ巻 第25節 トーラーの学習／第26節 ファリサイ派とサドカイ派／第27節 学校とシナゴーグ／補遺／第28節 生活と律法／第29節 メシア信仰／補遺／第30節 エッセネ派／補遺

上村 静／大庭昭博／小河 陽訳

7354-2 374頁 本体8,500円 (2015.2)

第Ⅴ巻 第31節 ディアスポラのユダヤ教：異邦人とユダヤ教／第32節 ヘブライ語、アラム語で書かれたユダヤ教文学（Ⅰ～Ⅴ）

木村和良訳

7355-9 432頁 本体9,500円 (2017.2)

第Ⅵ巻 第32節 ヘブライ語、アラム語で書かれたユダヤ教文学（Ⅵ～Ⅷ）／第33節 A ギリシア語で書かれたユダヤ教文学

高井啓介／飯郷友康訳

7356-6 474頁 本体10,000円 (2021.4)

第Ⅶ巻 第33節 B 原語が不明なユダヤ教文学／第34節 ユダヤ人哲学者フィロン／索引

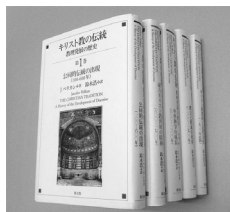
J. ペリカン著 鈴木 浩訳

キリスト教の伝統

教理発展の歴史

全5巻

A5判・上製 全5冊揃本体31,000円



《特徴》

- ①ハルナック、ゼーベルク以来、それに比肩し凌駕する、個人による初めての著作。
- ②新約聖書以降、第二ヴァティカン公会議までのキリスト教教理の発展を網羅。
- ③東方キリスト教の思想史的俯瞰をはじめて実現。
- ④神学者の著作のみならず、各時代の信仰共同体が保持した教えと礼拝を重視。
- ⑤世界的権威による厳密な原典の引用、的確な解釈に基づく首尾一貫した記述。
- ⑥各巻を単行本としても読むことのできる構成。

第1巻 公同的伝統の出現 (100—600年)

第1章 福音の準備／第2章 主流の外側で／第3章 公同的教会の信仰／第4章 三位一体の秘義／第5章 神・人の位格／第6章 自然と恵み／第7章 正統的合意
7256-3 536頁 本体6,500円 (2006.7)

第2巻 東方キリスト教世界の精神 (600—1700年)

第1章 教父たちの権威／第2章 キリストにおける統一と分離／第3章 見えざるものの像／第4章 ラテン教会の挑戦／第5章 三一的唯一神論の擁護／第6章 ビザンティン正統主義の最後の開花
7257-X 458頁 本体5,500円 (2006.11)

第3巻 中世神学の成長 (600—1300年)

第1章 公同的伝統の一体的完全性／第2章 アウグスティヌスの総合を越えて／第3章 救いの計画／第4章 恵みの伝達／第5章 一つの真の信仰／第6章 神学大全
7258-3 468頁 本体5,600円 (2007.3)

第4巻 教会と教義の改革 (1300—1700年)

第1章 中世後期の教理的多元性／第2章 一つの・聖なる・公同的・使徒的教会とは／第3章 教会の財宝としての福音／第4章 神の言葉と意志／第5章 ローマ・カトリックの独自性の定義／第6章 使徒的継続性への挑戦／第7章 分離したキリスト教世界の信仰告白的教義
7259-0 604頁 本体7,200円 (2007.8)

第5巻 キリスト教教理と近代文化 (1700年以降)

第1章 東西の正統主義の危機／第2章 超越的啓示の客観性／第3章 心の神学／第4章 キリスト教的世界観の基礎／第5章 教理の定義／第6章 キリストの体のソボルノスチ
7260-6 504頁 本体6,200円 (2008.1)



コンパクト評伝シリーズ

小B6判・並製・カバー装

オックスフォード大学出版部刊行の「過去の巨匠たち」(Past Masters) シリーズから精選された、最新の評伝。キリスト教文化の形成者たちの思想と生涯を新しい研究成果に基づき、簡潔に描いた。巻末には年譜および参考文献を付す。

- | | | |
|----|----------|--|
| 1 | パスカル | A. クレイルスハイマー 田辺 保／足立杉子訳
1050-9 162頁・本体1,500円 (1993.7) |
| 2 | トルストイ | H. ギフォード 小沼文彦／広瀬良一訳
1051-7 216頁・本体1,700円 (1993.11) |
| 3 | アウグスティヌス | H. チャドウィック 金子晴勇訳
1052-5 218頁〈品切〉(1993.12) → P.46参照 |
| 4 | バッハ | D. アーノルド 石田友雄／石田一子訳
1053-3 186頁・本体1,700円 (1994.2) |
| 5 | ゲーテ | T. J. リード 筑和正格訳
1054-1 172頁・本体1,700円 (1994.4) |
| 6 | パウロ | E. P. サンダース 土岐健治／太田修司訳
1055-X 296頁〈品切〉(1994.7) → P.30参照 |
| 7 | エラスムス | J. マッコニカ 高柳俊一／河口英治訳
1056-8 250頁・本体1,700円 (1994.11) |
| 8 | ニューマン | O. チャドウィック 川中なほ子訳
1057-6 180頁・本体1,700円 (1995.1) |
| 9 | ダンテ | G. ホームズ 高柳俊一／光用行江訳
1058-4 214頁・本体2,000円 (1995.4) |
| 10 | カーライル | A. L. ルケーン 樋口欣三訳
1059-2 192頁・本体1,700円 (1995.6) |
| 11 | イエス | H. カーペンター 滝沢陽一訳
1060-6 216頁・本体2,100円 (1995.7) |
| 12 | トマス・モア | A. ケニー 渡辺淑子訳
1061-4 196頁・本体2,000円 (1995.7) |
| 13 | セルバンテス | P. E. ラッセル 田島伸悟訳
1062-2 220頁・本体2,100円 (1996.1) |
| 14 | ケルケゴール | P. ガーディナー 橋本 淳／平林孝裕訳
1063-0 176頁・本体1,900円 (1996.3) |
| 15 | ウィクリフ | A. ケニー 木ノ脇悦郎訳
1064-9 206頁・本体2,100円 (1996.9) |
| 16 | トマス・アキナス | A. ケニー 高柳俊一／藤野正克訳
1065-7 212頁・本体2,100円 (1996.10) |

エーバハルト・ユンゲル説教集 全4巻

四六判・上製 全4巻揃本体10,000円



聖書の言葉に対する鋭く深い洞察。現代人の心にくい込むアクチュアルな言葉。神の言葉の神学に立ち、現代ドイツを代表する神学者ユンゲルの珠玉の説教集。

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 第一説教集 | 加藤常昭訳
3401-7 294頁・本体2,500円 (2001.12) |
| 2 | 霊の現臨 | 近藤勝彦／山口隆康監訳
3402-5 292頁・本体2,500円 (2002.2) |
| 3 | 味わい、見よ | 佐藤司郎訳
3403-3 254頁・本体2,500円 (2002.1) |
| 4 | 中断 | 佐藤司郎訳
3404-1 328頁・本体2,500円 (2002.7) |

内村鑑三全集 全57巻

[オンデマンド版] 全巻揃本体201,300円

内村鑑三信仰著作全集 全25巻

B 6 判・並製 全巻揃本体87,600円

第1巻	キリスト信徒のなぐさめ 求安録 後世への最大遺物	0208-5	306頁・本体3,300円
第2巻	余はいかにしてキリスト信徒となりしか 過去の夏	0209-3	258頁・本体3,000円
第3巻	宗教座談 キリスト教問答	0210-7	252頁・本体3,000円
第4巻	地人論 興国史談	0211-5	272頁・本体3,000円
第5巻	何ゆえに大文学は出ざるか 宗教と文学 愛吟	0212-3	258頁・本体3,000円
第6巻	代表的日本人 コロンブス伝 ルーテル伝講演集	0213-1	290頁・本体3,200円
第7巻	所感(上)	0214-X	346頁・本体3,600円
第8巻	所感(下)	0215-8	344頁・本体3,600円
第9巻	神 聖霊 三位一体 天使 靈魂	0216-6	230頁・本体2,600円
第10巻	キリスト	0217-4	306頁・本体3,300円
第11巻	聖書	0218-2	268頁・本体3,000円
第12巻	罪 贖罪 赦罪 悔い改め 救い 十字架	0219-0	274頁・本体3,000円
第13巻	最後審判 再臨 復活 天国 来世	0220-4	326頁・本体3,400円
第14巻	宗教 神学 教義 礼典 摂理 神癒 預言	0221-2	306頁・本体3,300円
第15巻	キリスト教	0222-0	342頁・本体3,600円
第16巻	信仰 希望 愛 恩恵 懷疑 平安	0223-9	322頁・本体3,400円
第17巻	伝道	0224-7	346頁・本体3,600円
第18巻	教会 無教会 患難 独立	0225-5	262頁・本体3,000円
第19巻	信仰生涯 信者 兄弟 幸福	0226-3	318頁・本体3,400円
第20巻	家庭 人生 青年(学生) 教育 読書	0227-1	362頁・本体3,700円
第21巻	非戦 無抵抗 戦争 平和 政治 社会	0228-X	354頁・本体3,700円
第22巻	道徳 真理 正義 自由 常識 矛盾	0229-8	402頁・本体4,200円
第23巻	人物 義人 友誼 近代人 武士道 文明	0230-1	324頁・本体3,400円
第24巻	日本 世界 愛国心 東洋と西洋 国家	0231-X	324頁・本体3,900円
第25巻	総索引 年譜	0232-8	806頁・本体7,400円

内村鑑三聖書注解全集 全17巻

B 6 判・並製 全巻揃本体50,600円

第1巻	創世記	0233-6	264頁・本体3,000円
第2巻	出エジプト記 レビ記 民数記 申命記	0234-4	218頁・本体2,500円
第3巻	ヨシュア記 歴史書 ルツ記 エステル記	0235-2	220頁・本体2,500円
第4巻	ヨブ記	0236-0	266頁・本体3,000円
第5巻	詩篇 箴言 伝道の書	0237-9	286頁・本体3,200円
第6巻	イザヤ書 エレミヤ書	0238-7	244頁・本体2,700円
第7巻	エゼキエル書 ダニエル書 小預言書	0239-5	196頁・本体2,300円
第8巻	マタイ伝	0240-9	340頁・本体3,500円
第9巻	ルカ伝	0241-7	234頁・本体2,700円
第10巻	マルコ伝 ヨハネ伝	0242-5	258頁・本体3,000円
第11巻	使徒行伝 ロマ書	0243-3	320頁・本体3,400円
第12巻	コリント書 ガラテヤ書	0244-1	318頁・本体3,400円
第13巻	エペソ書 ピリピ書 コロサイ書 テサロニケ書	0245-X	260頁・本体3,000円
第14巻	テモテ書 ヘブル書 ヤコブ書 ヨハネ書 ピレモン書 黙示録	0246-8	308頁・本体3,300円
第15巻	ガリラヤの道 十字架の道	0247-6	312頁・本体3,300円
第16巻	ロマ書の研究(上)	0248-4	256頁・本体2,800円
第17巻	ロマ書の研究(下)	0249-2	268頁・本体3,000円

内村鑑三英文著作全集 全7巻

B 6 判・並製 全巻揃本体32,000円

- Vol.1 How I Became A Christian, Out of My Diary
(「余はいかにしてキリスト信徒となりしか」1893) 0201-8 308頁・本体4,500円
- Vol.2 Representative Men of Japan
(「代表的日本人」1894) 0202-6 216頁・本体3,400円
- Vol.3 Alone With God and Me
(「英和独語集」1913-1930) 0203-4 410頁・本体5,800円
- Vol.4 The Japan Christian Intelligencer
(1926-1928に「日本キリスト教情報」に発表した論説集) 0204-2 288頁・本体4,300円
- Vol.5 Essays and Editorials I, 1886-JUNE, 1897
(26歳から37歳までの英文エッセイ集) 0205-0 352頁・本体5,000円
- Vol.6 Essays and Editorials II, JULY, 1897-MAY, 1898
(37歳から38歳までの英文エッセイ集) 0206-9 320頁・本体4,700円
- Vol.7 Essays and Editorials III, JUNE, 1898-1924
(38歳から64歳までの英文エッセイ集) 0207-7 288頁・本体4,300円

内村鑑三日記書簡全集 全8巻

B 6 判・並製 全巻揃本体31,100円

- 第1巻 日記1 (1918～1920) 0250-6 366頁・本体3,800円
- 第2巻 日記2 (1921～1923) 0251-4 408頁・本体4,200円
- 第3巻 日記3 (1924～1926) 0252-2 404頁・本体4,200円
- 第4巻 日記4 (1927～1930) 0253-0 442頁・本体4,400円
- 第5巻 書簡1 (1880～1896) 0254-9 352頁・本体3,600円
- 第6巻 書簡2 (1897～1912) 0255-7 382頁・本体3,900円
- 第7巻 書簡3 (1913～1920) 0256-5 296頁・本体3,200円
- 第8巻 書簡4 (1921～1930) 0257-3 370頁・本体3,800円

編集＝佐藤全弘／武田武長／熊川 忠

高橋三郎著作集 全12巻

A 5 判・上製 [在庫僅少]

40年にわたる無教会伝道者としての文筆活動を総括し、真理の証言として後世に残す。

- 1 初期の精神遍歴／晩年の著作 2801-7 418頁・品切 (2000.4)
- 2 無教会論 2802-5 660頁・品切 (2000.8)
- 3 内村鑑三記念講演 2803-3 750頁・品切 (2000.9)
- 4 神学的著作 (上) 2804-1 392頁・本体4,200円 (2000.5)
- 5 神学的著作 (下) 2805-X 456頁・本体4,700円 (2000.6)
- 6 ロマ書講義 2806-8 578頁・品切 (2000.7)
- 7 信仰と政治の間 (上) 2807-6 554頁・本体6,100円 (2000.2)
- 8 信仰と政治の間 (下) 2808-4 500頁・本体5,600円 (2000.3)
- 9 若人に語る (上) 2809-2 352頁・品切 (2000.10)
- 10 若人に語る (下) 2810-6 530頁・品切 (2000.11)
- 11 わが師・わが友 2811-4 564頁・品切 (2000.12)
- 最終巻 2812-2 870頁・本体4,800円 (2012.6)

鈴木範久

内村鑑三 日記録 全12冊

B6判・並製 全12冊揃本体38,600円



内村鑑三研究の第一人者による日記形式の評伝。形成途上の近代日本社会との関わりの中で内村を描いた画期的研究。巻末に資料を付す。

- | | | |
|----|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1 | 青年の旅 1861～1888
出生・札幌農学校・アムースト大学 | 6340-8 268頁・本体2,700円
(1998.2) |
| 2 | 一高不敬事件(上) 1888～1891
帰国・北越学館・不敬事件 | 6288-6 272頁・本体2,300円
(1993.1) |
| 3 | 一高不敬事件(下) 1888～1891
帰国・北越学館・不敬事件 | 6289-4 200頁・本体2,000円
(1993.1) |
| 4 | 後世に残すもの 1892～1896
基督信徒の慰・後世への最大遺物他 | 6295-9 290頁・本体2,500円
(1993.9) |
| 5 | ジャーナリスト時代 1897～1900
万朝報・東京独立雑誌 | 6304-1 380頁・本体3,000円
(1994.5) |
| 6 | 天職に生きる 1900～1902
聖書の研究・足尾鉍毒問題 | 6306-8 394頁・本体3,000円
(1994.9) |
| 7 | 平和の道 1903～1907
非戦論・キリスト教と社会主義 | 6315-7 456頁・本体3,300円
(1995.4) |
| 8 | 木を植えよ 1908～1912
デンマーク国の話・ルツの死 | 6319-X 394頁・本体3,500円
(1995.7) |
| 9 | 現世と来世 1913～1917
第一次大戦・キリスト教と仏教 | 6328-9 400頁・本体3,800円
(1996.5) |
| 10 | 再臨運動 1918～1919
再臨運動・柏木兄弟団 | 6335-1 372頁・本体3,600円
(1997.1) |
| 11 | うめく宇宙 1920～1924
ロマ書講義・大震災 | 6338-6 464頁・本体4,700円
(1997.6) |
| 12 | 万物の復興 1925～1930
信仰五十年・死 | 6352-1 480頁・本体4,200円
(1999.2) |

監修＝南原 繁／斎藤 勇／那須 皓／上代たの

新渡戸稲造全集 全23巻 別巻2

2226-4 四六判・上製・貼函入・各巻400～800頁

全巻揃本体140,000円（分売不可）別巻2のみ分売可本体8,300円（2001.11）

- 第1巻 武士道（矢内原忠雄訳）東西相触れて
第2巻 農業本論 農業発達史
“Über den Japanischen Grundbesitz”
第3巻 米国建国史要 建国美談
ウィルリアム・ベン伝
第4巻 植民政策講義 論文 時評
第5巻 随想録 随感録 偉人群像
第6巻 帰雁の蘆 内観外望 西洋の事情と思想
第7巻 修養 自警
第8巻 世渡りの道 一日一言
第9巻 ファウスト物語 衣服哲学講義
第10巻 人生雑感 人生読本
第11巻 婦人に勧めて 一人の女 読書と人生
第12巻 “Bushido, the Soul of Japan” “Thoughts and Essays”
第13巻 “The Japanese Nation” “The Intercourse between U. S. and Japan”
第14巻 “Japan : Some Phases of Her Problem and Development”
“The Japanese Traits and Foreign Influences”
第15巻 “Lectures on Japan” “Reminiscences of Childhood”
“What the League of Nations Has Done and Is Doing”
“The Use and Study of Foreign Languages in Japan”
“Two Exotic Currents in Japanese Civilization”
“Lao-tzu and the Kojiki”
第16巻 “Editorial Jottings”
第17巻 日本国民（佐藤全弘訳）日米関係史（松下菊人訳）——第13巻の翻訳
第18巻 日本——その問題と発展の諸局面（佐藤全弘訳）日本人の特質と外來の影響（加藤英倫訳）——第14巻の翻訳
第19巻 日本文化の講義（松下菊人訳）日本における外国語の効用とその研究（富田 清訳）
幼き日の思い出 日本文明における外來の二潮流 國際連盟の業績と現状（加藤武子訳）——第15巻の翻訳
第20巻 編集余録（佐藤全弘訳）——第16巻の翻訳、および未収の39篇
第21巻 日本土地制度論（滝沢義郎訳）随想録補遺（佐藤全弘訳）札幌農学校（鳥居清治訳）
泰西思想の影響 日本の農民解放 中国は共和国になれるか 日本の植民 日本における國際連盟運動 日本の経済と財政（佐藤全弘訳）
第22巻 「フレンズ・レビュー」寄稿文「インターチェンジ」寄稿文 英文大阪毎日寄稿文「世界問題調査会第十回會議記録」寄稿文（佐藤全弘訳）宮部金吾宛書簡（鳥井清治訳）ハーバート・B. アダムズ宛書簡 W. E. グリフィス宛書簡（佐藤全弘訳）エルキントン家宛書簡（加藤武子訳）アナ・C. ハーツホーン宛書簡 ロランド・S. モリス宛書簡 W. H. フォーンズ宛書簡 ニコラス・マレー・バトラー宛書簡 モンロー・E. ドイツチュ宛書簡（佐藤全弘訳）
第23巻 “The Imperial Agricultural College of Sapporo, Japan”
“The Influence of the West upon Japan”
“Die Bauernbefreiung in Japan” “China’s Chance for a Republic”
“Japanese Colonization” “The League of Nations Movement in Japan”
“Japan’s Public Economy and Finance”
Articles to the ‘Friends’ Review’, the ‘Interchange’, the Osaka Mainichi and Proceeding of the Institute of World Affairs 1933’
Letters to Kingo Miyabe (1884—1889), H. B. Adams, W. E. Griffis, the Elkinsons, A. C. Hartshorne, R. S. Morris, W. H. P. Faunce, N. M. Butler and M. E. Deutsch Supplements of ‘Editorial Jottings’ and “Letters to Kingo Miyabe”
別巻1 新渡戸博士追憶集
執筆者——佐藤昌介、宮部金吾、大島正健、早川鉄治、串田万蔵、佐伯理一郎、南鷹次郎、高岡熊雄、小谷武治、半沢 洵、河井道子、菅菊太郎、関屋貞三郎、東郷 実、堀内政一、織田 万、菊池寿人、竹内栖鳳、佐々木信綱、近衛文麿、増田義一、前田多門、田島道治、笠間昶雄、岩永裕吉、鶴見祐輔、金井 清、関口 泰、岩切重雄、川西実三、など75名
別巻2 月報・新資料
『新渡戸稲造全集』第一期（1969—70）および第二期（1983—87）刊行時に付された月報を主題別に編集。また、その後発見された新資料として、『エスペラントと國際連盟における言語問題』『農政学の話』『教育の真義』『産業組合の精神に就て』『社会の共同協力』『蝕びまれたる国民』『帝国ホテル午餐会スピーチ』『幸福の道』『宮部金吾宛書簡再補遺』『バトラー宛報告書簡』を一部英語原文と共に併せて収録した。



第43回日本翻訳出版文化賞・第23回梓会出版文化特別賞受賞!



宣教師ニコライの全日記

監修=中村健之介 全9巻

全巻揃本体95,000円(分売不可)

B5判・上製・各巻平均380頁

3501-4 (2007.7)



東京・神田駿河台の「ニコライ堂」にその名をとどめるロシア正教会宣教師ニコライ・カサートキン(1836-1912)の40年にわたる滞日日記の全訳。

第1巻 解説「宣教師ニコライの全日記」
1870-1880年(ロシア帰国時の日記)
「ロシア帰国時の日記」註解

第2巻 1881(明14)年-1891(明24)年8月

第3巻 1891(明24)年9月-1894(明27)年

第4巻 1895(明28)年-1897(明30)年6月

第5巻 1897(明30)年7月-1899(明32)年6月

第6巻 1899(明32)年7月-1901(明34)年6月

第7巻 1901(明34)年7月-1903(明36)年

第8巻 1904(明37)年-1908(明41)年

第9巻 1909(明42)年-1911(明44)年

覚え書(1883-1894年)

ニコライ略年譜、正教用語集

ニコライ日記人名索引、正教会布教地図

佐波 亘編著

植村正久と其の時代 [復刻版] 全5巻 別巻3冊

菊判・上製クロス装・天色・二重函入

全巻揃本体62,000円(分売不可) 2109-8 (2000.10) [3]

新補遺のみ分売 頒布価本体7,000円 2108-X (1976.9)



植村正久の働きと、その背景をなす明治・大正プロテスタント史の日本近代化への貢献を明らかにする菊判5,000頁、図版1,000葉に及ぶ資料集。

第1巻 日本と基督教の接触、最初の宣教師と日本伝道、基督教と武士道他

第2巻 最初のプロテスタント教会、三教会同、宣教開始五十年他

第3巻 日本人の最初の伝道、東京神学社・福音新報を中心とした神学と出版界他

第4巻 聖書に関する資料、讃美歌に関する資料、内外協力の問題、牧会と講壇他

第5巻 基督教と科学、真理一斑、植村対海老名の神学論争、内村と不敬事件他

別巻 補遺・索引 切支丹禁制の高札撤去と岩倉大使一行の米欧回覧、索引他

別巻 植村正久夫人 季野がことども

別巻 新補遺 植村正久関係文献・資料総覧と佐波 亘伝とともに収録。

責任編集＝山極圭司／山田貞光／後神俊文／鈴木範久／清水靖久／岡野幸江

木下尚江全集 全20巻

四六判・上製・函入・各巻400～600頁

全20冊揃本体124,410円 2061-X～2080-6



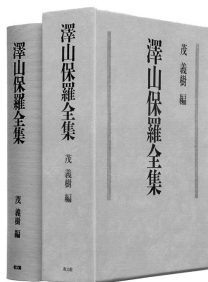
文学（小説・評論）に、ジャーナリズムに、廃娼運動に、公害問題に、非戦・平和に、普通選挙運動に、女性解放に、天皇制批判に、資本主義批判に、キリスト教会批判に、暴力的社会主義批判に、獅子奮迅の働きをした野生の信徒木下の全貌！ 1869（明治2）年の木下尚江生誕から120年にして初めて完全な形で世に出す全集である。既知の著作のほか、論文・草稿・遺稿・書簡類をはじめ演説類も網羅し、厳密な校訂を加えた集大成！

第1巻	足尾鉍毒問題 廃娼之急務 火の柱	解説・山極圭司	2061-X	本体3,398円	(1990.1)
第2巻	良人の自白(上篇・中篇)		2062-8	本体3,883円	(1990.4)
第3巻	良人の自白(下篇・続篇)	解説・山極圭司	2063-6	本体4,369円	(1990.7)
第4巻	懺悔 飢渴	解説・山田貞光	2064-4	本体6,500円	(1994.9)
第5巻	霊か肉か	解説・山田貞光	2065-2	本体4,369円	(1991.1)
第6巻	乞食 墓場	解説・岡野幸江	2066-0	本体4,660円	(1991.5)
第7巻	労働 荒野 火宅	解説・後神俊文	2067-9	本体7,000円	(1994.6)
第8巻	日蓮論 法然と親鸞	解説・鈴木範久	2068-7	本体5,600円	(1993.4)
第9巻	野人語 創造	解説・清水靖久	2069-5	本体5,500円	(1995.1)
第10巻	田中正造翁	解説・清水靖久	2070-9	本体5,631円	(1992.1)
第11巻	神 人間 自由	解説・後神俊文	2071-7	本体5,800円	(1995.11)
[在庫僅少]					
第12巻	論説・感想集 1 (1899年まで)	解説・山田貞光	2072-5	本体5,900円	(1996.6)
第13巻	同 2 (1900年)	解説・山極圭司	2073-3	本体7,700円	(1996.2)
[在庫僅少]					
第14巻	同 3 (1901年)	解説・岡野幸江	2074-1	本体8,000円	(1996.10)
第15巻	同 4 (1902年)	解説・後神俊文	2075-X	本体6,300円	(1997.3)
第16巻	同 5 (1903-04年)	解説・山極圭司	2076-8	本体5,400円	(1997.6)
第17巻	同 6 (1905-07年)	解説・山田貞光	2077-6	本体5,200円	(1998.4)
第18巻	同 7 (1908年以降)	解説・清水靖久	2078-4	本体9,300円	(1999.3)
第19巻	書簡・草稿・補遺	解説・清水靖久	2079-2	本体10,000円	(2003.12)
第20巻	談話・演説類	解説・後神俊文	2080-6	本体9,900円	(2001.6)

梅花学園澤山保羅研究会代表 茂 義樹編

澤山保羅全集 全1巻

2131-4 A5判・上製・1076頁・本体15,000円



明治初期に日本の教会の経済的自立をいち早く唱え、梅花女学校を創立するなど女子教育の先駆者である澤山保羅。その著書・講説・説教草稿・書簡類・関連資料を網羅し、全貌を初めて明らかにする。梅花学園澤山保羅研究会の三十数年にわたる研究の結晶。

(2001.5)

責任編集＝山下幸夫／新井 明／月本昭男

前田護郎選集

全4巻＋別巻1 A5判・上製



聖書学とりわけ新約学を西洋古典学の一部門として我が国に取り入れた第一人者であり、無教会の集会の主宰者として聖書の福音を平明に語り続けたキリスト者であった前田護郎 (1915-1980)。その学問と信仰の全貌を明らかにする。

第1巻 聖書の思想と言語 2821-4 324頁〈品切〉 (2007.12)

聖書の思想／聖書の言語／聖書と古典世界

第2巻 聖書の研究 2822-1 486頁・本体7,600円 (2008.2)

旧約聖書／洗礼者ヨハネ研究／イエスとその周辺／マタイ福音書 [在庫僅少]

第3巻 真理愛の拠点 2823-8 350頁・本体5,000円 (2008.5)

真理を求める心／古典の継承／日常と聖書／若き日の欧州記 [在庫僅少]

第4巻 希望の福音 2824-5 348頁・本体5,000円 (2008.8)

希望の福音／愛の次元／天国への郷愁／師友追想 [在庫僅少]

別巻 新約聖書 2825-2 576頁・本体5,000円 (2009.7)

加藤常昭説教全集 全37巻

四六判・上製



加藤常昭牧師が長きにわたり鎌倉雪ノ下教会で語った講解説教の集大成。巻構成は一つの巻にヨルダン社版と同じ区分の内容が入るよう配慮。また、字句・文章を見直し、新たに版を組み直した。ヨハネの手紙一および第Ⅲ期・第Ⅳ期は新収録。

第Ⅰ期 福音書講解説教 全16巻

- | | | | | |
|----|-------------|--------|-------------------------|-----------|
| 1 | マタイによる福音書 1 | 0329-7 | 502頁・本体4,200円 (2016.1) | [オンデマンド版] |
| 2 | マタイによる福音書 2 | 2712-6 | 592頁・本体4,200円 (2004.5) | |
| 3 | マタイによる福音書 3 | 2713-4 | 680頁・本体4,800円 (2004.6) | |
| 4 | マタイによる福音書 4 | 2714-2 | 768頁・本体5,300円 (2004.7) | |
| 5 | マルコによる福音書 1 | 0336-5 | 546頁・本体4,600円 (2018.4) | [オンデマンド版] |
| 6 | マルコによる福音書 2 | 2716-9 | 436頁・本体3,200円 (2004.2) | |
| 7 | マルコによる福音書 3 | 0330-3 | 524頁・本体4,200円 (2016.1) | [オンデマンド版] |
| 8 | ルカによる福音書 1 | 0333-4 | 462頁・本体3,900円 (2017.1) | [オンデマンド版] |
| 9 | ルカによる福音書 2 | 2719-3 | 584頁・本体4,200円 (2004.9) | [在庫僅少] |
| 10 | ルカによる福音書 3 | 2720-7 | 496頁・本体3,700円 (2004.10) | |
| 11 | ルカによる福音書 4 | 2721-5 | 616頁・本体4,500円 (2004.11) | |
| 12 | ヨハネによる福音書 1 | 0337-2 | 462頁・本体3,900円 (2018.4) | [オンデマンド版] |
| 13 | ヨハネによる福音書 2 | 2723-1 | 498頁・本体3,800円 (2005.1) | |
| 14 | ヨハネによる福音書 3 | 2724-X | 344頁・本体2,700円 (2005.2) | |
| 15 | ヨハネによる福音書 4 | 2725-8 | 344頁・本体2,700円 (2005.3) | |
| 16 | ヨハネによる福音書 5 | 2726-6 | 304頁・本体2,500円 (2005.4) | |

第Ⅱ期 書簡・黙示録講解説教 全9巻

- | | | | | |
|----|-------------------------|--------|-------------------------|--|
| 17 | ローマ人への手紙 1 | 2727-4 | 508頁・本体3,800円 (2005.5) | |
| 18 | ローマ人への手紙 2 | 2728-2 | 488頁・本体3,700円 (2005.6) | |
| 19 | ローマ人への手紙 3 | 2729-0 | 504頁・本体3,800円 (2005.7) | |
| 20 | ローマ人への手紙 4 | 2730-4 | 464頁・本体3,300円 (2005.8) | |
| 21 | ガラテヤ人への手紙・テサロニケ人への第一の手紙 | 2731-2 | 504頁・本体3,800円 (2005.9) | |
| 22 | ヘブライ人への手紙 1 | 2732-0 | 384頁・本体3,000円 (2005.10) | |

23	ヘブライ人への手紙2	2733-9	368頁・本体2,900円 (2005.11)
24	ペテロの第一の手紙・ヨハネの手紙一	2734-7	604頁・本体4,500円 (2005.12)
25	ヨハネの黙示録	2735-5	664頁・本体4,800円 (2006.1)

第Ⅲ期 説教・講話 全5巻

26	主イエスの背を見つめて	2736-3	328頁・本体2,700円 (2006.2)
27	使徒信条	2737-1	608頁・本体4,500円 (2006.4)
28	十戒・ルターの小教理問答	2738-X	546頁・本体4,000円 (2006.5)
29	ニケア信条・バルメン宣言・わたしたちの信仰告白	2739-8	560頁・本体4,100円 (2006.6)
30	雪ノ下カテキズム講話	2740-1	610頁・本体4,500円 (2006.8)

第Ⅳ期 全7巻

31	使徒言行録講話	2741-5	460頁・本体3,900円 (2021.2)
32	コリントの信徒への手紙一講話	2742-2	454頁・本体3,900円 (2021.4)
33	コリントの信徒への手紙二講話	2743-9	448頁・本体3,800円 (2021.6)
34	エフェソの信徒への手紙	2744-6	276頁・本体2,700円 (2020.8)
35	新約聖書書簡の説教1	2745-3	432頁・本体3,700円 (2020.10)
36	新約聖書書簡の説教2	2746-0	384頁・本体3,300円 (2020.12)
37	旧約聖書・福音書	2747-7	448頁・本体3,800円 (2021.8)

加藤常昭編訳

説教黙想集成

全3巻

A5判・上製 全3巻揃本体18,700円



《特徴》

- ①ドイツ告白教会の教会闘争に始まり、戦後広く親しまれた説教黙想の初めての翻訳。
- ②戦前から現代まで、ドイツを代表する聖書学者・神学者が執筆した黙想を精選。
- ③第1巻には、加藤常昭、H. J. イーヴァント、G. アイヒホルツの黙想論・説教論が収録され、説教とは何か、また説教・釈義・説教作成までをどのように進めればよいかを具体的に手引きしてくれる。

- 1 序論・旧約聖書 7273-6 830頁・本体6,200円 (2008.4)
解説、黙想論、創4.1-16、詩22、90、イザ55.5-11、63.15-64.4、エレ17.5-14、哀3.21-33
- 2 福音書 7274-3 910頁・本体6,500円 (2008.8)
マタ10.7-15、16.21-27、18.15-20、ルカ5.1-11、7.11-17、16.1-9、18.1-8、19.1-10、ヨハ1.1-14、11.1-44、16.4-16、21.15-19
- 3 書簡 7275-0 866頁・本体6,000円 (2008.11)
使3.1-10、Iコリ15.12-20、IIコリ1.4-7、ガラ2.16-21、エフェ4.11-16、フィリ2.12-18、3.17-21、Iペト1.3-9、ヤコ5.13-16、Iヨハ2.28-3.3、黙21.1-7

手塚治虫 原案・構成

手塚治虫の旧約聖書物語 In The Beginning

〔豪華9枚組コンプリートDVD BOX + 公式スペシャルガイドブック〕

DVD 9枚組+A5判変型・函入・オールカラー 64頁

世界が絶賛！ 巨匠・手塚の遺作アニメ

手塚治虫が手がけた最後の大作にして、聖書アニメの世界最高峰。天地創造からイエスの誕生まで、壮大な聖書の世界を描いた全26話（旧約24話＋新約2話）。世界各国で放映された不朽のエンターテインメント作品が待望の復活！



〔一般用〕

9005-1 〈品切〉(2018.10)

〔図書館向け商品・著作権承認済〕

9006-8 本体57,000円 (2018.10)

館内視聴・館外貸出 可／館内上映 不可

〔豪華9枚組コンプリートDVD BOX〕

原案・構成：手塚治虫

制作：株式会社 手塚プロダクション

製作・著作：日本テレビ放送網株式会社

イタリア国営放送

音楽：服部克久

監督：出崎 統

日本語監修：今道瑤子（聖パウロ女子修道会）

全26話×25分 日本語・英語音声収録（1992年作品）



〔名話解説付き 公式スペシャルガイドブック〕

《特別インタビュー》

松谷孝征（手塚プロダクション代表取締役）

岡田晋吉（日本テレビ元プロデューサー）

里中満智子（マンガ家）

瀬谷新二（手塚プロダクションアニメーター）

《解説コラム「旧約（リアル）聖書×手塚聖書」》

北 博（旧約聖書学者、東北学院大学教授）

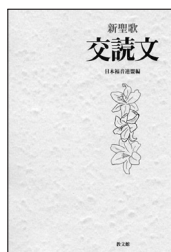
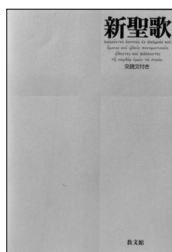
その他、手塚治虫による製作秘話エッセイ、全26話のあらすじ・登場人物紹介、地図・主要人物系図などを収録（教文館出版部編）。



日本福音連盟新聖歌編集委員会編

新聖歌

新聖歌 交読文



- 9101-0 B 6 判・上製・1040頁・本体3,700円 9103-7 B 6 判・上製・156頁・本体900円
 交読文付き (2001.6) [4] (2006.2)
- 9102-7 A 6 判・上製・876頁〈品切〉
 (2003.12) [2]
- 9104-1 B 5 判・上製・888頁・本体12,000円
 (2012.10)

《特色》

- ①全521曲収録。
- ②『聖歌』から278曲、『讃美歌』から126曲。
- ③その他30に及ぶ内外の歌集から、新曲も含め、100以上の曲を収録。
- ④口語訳・新改訳・新共同訳の交読文を一括掲載（B 6 判のみ）。
- ⑤洗練された美しい装丁デザイン。

品 切 本

(1962年以降発行本。注解書、シリーズ、著作集、全集を除く。書名索引・著訳編者名索引に含まれず)

- 愛 L. モリス著
 愛する人を失うとき G. L. シッツァー著
 愛憎無限 北森嘉蔵著
 愛と自由に生きる 本田弘慈著
 愛と憎しみについて 北森嘉蔵著
 愛はどこにある? R. L. ハウ著
 赤岩栄著作集 (全9巻、別1)
 秋月のキリシタン H. チースリク著
 憧れと福音 R. ボーレン著
 アジア・キリスト教史 (1) 呉利明他著
 アジア・キリスト教史 (2) T. V. シトイ他著
 アジアの観光公害 R. オグレディ著
 遊び・笑い・人生 青木敬和著
 アダムとエバ J. エッフェル著
 新しい共同体の倫理学 (下) 大木英夫著
 新しい人間への案内 相沢良一著
 あなたはどこにいるか (正・続) 高橋三郎著
 アブラハム・リンカンの生涯と信仰 鈴木有郷著
 アフリカのキリスト教 A. ヘイスティングス著
 アメリカ神学思想史入門 S. E. オールストローム著
 イエス C. L. ミトン著
 イエス＝キリスト E. シュヴァイツァー著
 イエス時代の言語状況 土岐健治著
 (→イエスは何語を話したか? p.28)
 イエスについての聖書外資料
 F. F. ブルース著
 イエスの時代 H. コンツェルマン他著
 イエスの実像を求めて R. ハイリゲンタール著
 怒れ、光消ゆるとも 中嶋正昭+同人寸莎訳
 生き残り生き直し 中嶋静恵著
 生きる意味について 佐古純一郎著
 生きるということ [CD 付] 三浦綾子著
 イザヤ書は一冊の書物か? 大島 力著
 石島三郎著作集 (全4巻)
 石原吉郎の詩の世界 安西 均編著
 イスラエル宗教史 H. リングレン著
 イスラエル預言者 (上) A. J. ヘッシェル著
 一書の人北村徳太郎 鈴木伝助著
 田舎牧師の日記 宮島新也著
 今こそ傷口をさらけ出して 延原時行編著
 癒されない心の祈り 石井錦一著
 癒しと信仰 近藤勝彦著
 ウェストミンスター大教理問答 宮崎彌男訳
 ウェスレーの救済論 清水光雄著
 ウェスレーの聖餐論 坂本 誠著
 (→電子書籍 p.102)
 ウガリトと旧約聖書 P. C. クレイギー著
 内村鑑三伝 政池 仁著
 内村鑑三とひとりの弟子 山本泰次郎著
 内村鑑三の継承者たち 稲葉満他編
 内村鑑三の根本問題 山本泰次郎著
 生まれたのは何のために 松木 信著
 エレミヤ書講話 北森嘉蔵著
 王としてのイエス 高橋三郎著
 大村純忠伝 松田毅一著
 丘の上のりんご園 丸山孝四郎著
 沖縄ライオン留学記 渡辺信夫著
 「おめでと」で始まり「ありがとう」で終わる人生 市川一宏著
 思い起こせ、キリストの真実を (上・下) 加藤常昭編
 終わりから今を生きる 大貫 隆著
 怨怒の民 紙野柳蔵著
 改革派とは何か I. J. ヘッセリンク著
 賀川豊彦から見た現代 賀川豊彦記念講座委員会編
 賀川豊彦を知っていますか 阿部志郎他著
 榎の木のように 高木幹太著
 風に吹かれて散らされて 星野正興著
 風よ、花を吹きとばせ 宮島新也著
 加藤常昭信仰講話 2, 3, 4, 5, 6, 7 加藤常昭著
 (→信仰への道 p.67)
 釜ヶ崎はワタシの故郷 E. ストローム著
 神さまと共に歩む道 日本キリスト改革派教会大会教育委員会著
 神と人間 大野恵正著
 神の朝に向かって 小島誠志著
 神の民の信仰 旧約篇 左近 淑著
 神の民の信仰 新約篇 松永希久夫著
 神の前に真実に [改訂版] 青山学院宗教センター編
 神は妄想か? A. E. マクグラス他著
 ガラテヤ書講解説教 鷲山林蔵著
 ガラテヤ人への手紙講解説教 北森嘉蔵著
 カリスマとケリユグマ 大串元亮/大串 肇著
 カール・バルト研究 菅 円吉著
 危機のユグノー S. ムール著
 キダー書簡集 フェリス女学院編
 キッテル新約聖書神学辞典

- 王・王国 義 罪 愛 創造
規範なき時代の宗教 土戸 清著
希望に生きる 森野善右衛門著
希望の力 深井智朗著
救済の論理 北森嘉蔵著
旧約外典偽典概説 L. ロスト著
旧約新約 聖書時代史 [改訂版] 山我哲雄／佐藤 研著
旧約新約 聖書神学事典 A. ベルレング他編
旧約新約 聖書大事典 荒井 献他編訳
旧約聖書Ⅰ 律法 関根正雄訳
旧約聖書Ⅲ 預言書 関根正雄訳
旧約聖書 (合本版) 関根正雄訳
旧約聖書 C. レヴィン著
旧約聖書神学事典 東京神学大学神学会編
旧約聖書と現代 関根清三他著
旧約聖書と戦争 佐々木哲夫著
旧約聖書における神の臨在思想 R. E. クレメンツ著
旧約聖書における社会と人間 並木浩一著
旧約聖書における集団と個 H. ロビンソン著
旧約聖書における文化と人間 並木浩一著
旧約聖書の世界観 W. ツィンマリ著
旧約聖書ヘブル語大辞典 名尾耕作他著
旧約の祈り・新約の祈り 大串元亮著
ギュツラフとその周辺 都田恒太郎著
教会一致の神学 日本信仰職制研究会編
教会会議の歴史 N. P. タナー著
教会づくり入門 [新装版] 榎本保郎著
教会と伝道のために 近藤勝彦著
教会暦説教 熊澤義宣著
狂気のアメリカ 山口光朔著
キリエ 宗教詩集 ヨッヘン・クレッパ著
ギリシア語新約聖書釈義事典Ⅰ H. バルツ／G. シュナイダー他編
ギリシア語新約聖書釈義事典 (全巻セット縮刷版) H. バルツ／G. シュナイダー他編
ギリシア正教入門 高井寿雄著
キリシタン教理書 海老沢有道他編著
キリシタン信徒組織の誕生と変容 川村信三著
キリシタン大名 高山右近とその時代 川村信三著
キリスト教学校教育同盟百年史 キリスト教学校教育同盟百年史編纂委員会編
キリスト教死生学論集 熊澤義宣著
キリスト教組織神学事典 東京神学大学神学会編
キリスト教大事典 [改訂新版] キリスト教大事典刊行委員会編
キリスト教とユダヤ教 F. クリュゼマン／U. タイスマン編
キリスト教のいろは 島村亀鶴著
キリスト教の将来 A. E. マクグラス著
キリスト教の戦争責任 森岡 巖／笠原芳光著
キリスト教の霊性 A. E. マクグラス著
キリスト教は女性をどう見てきたか H. キュンク著
キリスト教は他宗教をどう考えるか G. デコスタ編
キリスト教問答 佐古純一郎編
キリスト教歴史観入門 R. H. ベイントン著
キリスト者の世界観 [増補改訂版] A. M. ウォルタース著
キリスト信徒の生と死 高橋三郎著
キリストに捕えられて 五十嵐喜和編
近代旧約聖書研究史 R. E. クレメンツ著
近代主義とキリスト教 P. S. ヘスラム著
近代日本キリスト教の光と影 山口光朔著
近代日本キリスト教文学全集 1－13 クエーカー信仰の本質 ルイス・ベンスン著
草津「喜びの谷」の物語 中村 茂著
苦難からの解放ではなく 船水衛司著
苦難の意味 J. ボウカー著
苦悩する現代文学 S. ホパー編
熊野義孝説教集 熊野義孝／土岐健治編
雲のはしごを望みつづ 阿部光子著
クラーク先生とその弟子たち 大島正健著
クリスマスの起源 O. クルマン著
クリスマスのメッセージ 近藤勝彦著
景教入門 神 直道著
啓示と三位一体 近藤勝彦著
結婚と家庭 高橋三郎著
現代キリスト教入門 笠原芳光著
現代キリスト教の霊性 W. パネンベルク著
現代人の渇き 土居真俊著
現代人はキリスト教を信じられるか P. L. バーガー著
現代に生きる内村鑑三 教文館編
現代日本キリスト教文学全集 1－17 原典古代キリスト教思想史Ⅰ 小高 毅編
講解説教 ヨハネの黙示録上 加藤常昭著
虚空のうちなる本性 上総英郎著
心のおしゃれ (正・続) 阿部光子著
古代教会史 N. ブロックス著
この人を見よ 武田友寿著
左近淑著作集 1, 3－5 左近 淑著
挫折と新生 高橋三郎著
砂漠の知恵

- H. J. M. ナウエン監修／野村祐之編訳
 サマリア人とユダヤ人 コギンズ著
 山上の説教 E. シュヴァイツァー著
 讃美の詩と音楽 由木 康著
 椎名麟三信仰著作集（全13巻）
 史的イエスと福音書 A. M. ハンター著
 使徒行伝と原始キリスト教史 M. ヘンゲル著
 詩篇講話（上） 北森嘉蔵著
 詩編詩人の信仰 H. リングレン著
 島貫兵太夫伝 相沢源七著
 シモーン・ヴェイユの死と信仰 宇田達夫著
 シャバット A. J. ヘッセル著
 宗教改革者の聖餐論 赤木善光著
 宗教改革とその世界的影響
 土戸 清／近藤勝彦編
 宗教改革の思想 A. E. マクグラス著
 十字架の謎 A. E. マクグラス著
 自由と愛の人生 佐古純一郎著
 修道院の歴史 K. S. フランク著
 主が、新しい歌を 加藤常昭編
 ジュネーヴ教会信仰問答 渡辺信夫編訳
 主の義をまといて 熊野清子著
 「主われを愛す」ものがたり 大塚野百合著
 初代教会史 H. R. ボーア著
 白い杖の人々 今駒泰成著
 神学的自伝Ⅱ 北森嘉蔵著
 人権とキリスト教
 明治学院大学キリスト教研究所編
 信仰歳時記 島村哉哉著
 信仰生活のいろは 島村亀鶴著
 信仰つれづれ草 浜崎次郎著
 信仰というもの 椎名麟三著
 信徒と牧師と 中村敏夫著
 信徒のための神学入門 近藤勝彦著
 神父ド・ロの冒険 森 禮子著
 新約聖書解釈における象徴と隠喩
 N. ペリン著
 新約聖書ギリシア語小辞典 織田 昭編
 新約聖書緒論 W. マルクスセン著
 新約聖書神学 山谷省吾著
 新約聖書神学事典 東京神学大学神学会編
 新約聖書入門 石島三郎著
 新約聖書の世界 高橋三郎著
 親鸞とパウロ 真木由香子著
 神話・文学・聖書 荒井 献／川島重成編
 随想集 天国と泥棒 矢代静一著
 隙間だらけの聖書 大貫 隆著
 政治と宗教 山本 和著
 聖書考古学入門 1 G. E. ライト他著
 聖書植物図鑑 大槻虎男著
 聖書地図 旧約新約聖書大事典編集委員会編
 聖書地理 馬場嘉市著
 聖書ところどころ 北森嘉蔵著
 聖書入門 北森嘉蔵著
 聖書のいろは 島村亀鶴著
 聖書のところ 土戸 清著
 聖書の植物 大槻虎男著
 聖書の信仰と思想 関根正雄著
 聖書のなかのマリア 土屋 博著
 聖書翻訳者の成功と挫折 J. B. フィリップス著
 聖書ものがたり（上・下） 矢内原忠雄著
 精神科医の見た聖書の人間像 平山正実著
 正統と異端のあいだ 武田友寿著
 青年ルター E. H. エリクソン著
 聖フランチェスコの小さな花 田辺 保訳
 聖霊と教会 関川泰寛著
 世界キリスト教史物語 R. H. ベイントン著
 世界キリスト教百科事典 D. B. バレット編
 世界宗教事典 R. ケネディ著
 世界の創造
 アレクサンドリアのフィロン著
 世界はどのようにしてできたか 小林融弘著
 説教 F. B. クラドック著
 説教と言葉 山口隆康他編
 絶望と希望 高橋三郎著
 絶妙の真理 北森嘉蔵著
 戦後四十年 高橋三郎著
 想起と和解 R. v. ヴァイツェッカー著
 創世記講話 北森嘉蔵著
 漱石と鑑三 赤木善光著
 ソウルへの道 宋 孝順著
 太陽のように輝いた 吉田信一著
 対話の神学 北森嘉蔵著
 台湾基督長老教会獄中証言集 宋 泉盛編
 台湾基督長老教会説教集 高俊明他著
 高橋三郎著作集 1, 2, 3, 6, 9, 10, 11
 高橋三郎著
 太宰治と聖書 佐古純一郎著
 立ち上がり、歩きなさい 加藤常昭編
 田中忠雄聖書画集 田中忠雄著
 旅する神の民 S. ハワーワス他著
 だれも奪えぬ自由 左近 淑著
 近づきたもうキリスト 清水恵三著
 地の塩となった人々（正・続） 高橋三郎著
 中断される人生 近藤勝彦著
 地を嗣ぐ者 高橋三郎著
 つくしの子どもたち 宮島新也著
 土に祈る 竹中正夫著
 出会いから出会いへ 由木 康著
 抵抗と服従の原点 高橋三郎著

- 抵抗の牧師カイ・ムンク 山室静訳著
 手さぐり聖書入門 清水恵三著
 手塚治虫の旧約聖書物語 [DVD BOX] [一般用]
 手塚治虫原案
 (→ [図書館向け] p.142)
- 電気事始め J. ハミルトン著
 天国と泥棒 矢代静一著
 天地の創造 J. エッフェル著
 ドイツ敬虔主義 M. シュミット著
 童話から童話へ 小出正吾著
 遠い教会 安西 均著
 読書論 佐古純一郎著
 ドストエフスキー箴言と省察 小沼文彦編訳
 どぶのそばの教会 魚住せつ著
 徒労に賭ける 鈴木和男著
 慰めと励ましの言葉
 徳善義和監修／湯川郁子訳
 慰めの共同体・教会 Ch. メラー著
 なぜキリスト教か 土戸 清著
 なぜ日本にキリスト教は広まらないのか
 古屋安雄著
 なぜ無教会か 高橋三郎著
 二元論の復権 S. ペトルマン著
 虹の約束 小島誠志著
 20 人の婦人たち 高見沢潤子著
 新渡戸稲造の信仰と理想 佐藤全弘著
 新渡戸稲造の世界 佐藤全弘著
 日本キリスト教合同史稿 都田恒太郎著
 日本キリスト教児童文学全集 (全15巻、別2巻)
 日本キリスト教史物語 鈴木範久著
 日本人と聖書 北森嘉蔵著
 日本人の宗教意識の本質 仁戸田六三郎編著
 日本伝道論 古屋安雄著
 日本における福音と文化
 隅谷三喜男／山本 和著
 日本のキリスト教は本物か？ 古屋安雄著
 日本のキリスト者作家たち 武田友寿著
 日本の近代化とプロテスタンティズム
 上村敏文／笠谷和比古編
 日本プロテスタント・キリスト教史論
 土肥昭夫著
 日本プロテスタント宣教史 O. ケーリ著
 人間 山本 和著
 人間教育とカウンセリングのこころ
 土戸 清著
 ハイデルベルク信仰問答講話 (下)
 加藤常昭著
 バイブル・ロード 佐藤邦宏著
 パウロによる福音書 A. M. ハンター著
 パウロの中心思想 門脇佳吉著
- 「バカの壁」を超えるもの 大川従道著
 恥と良心 金子晴勇著
 はじめてのカルヴァン C. エルウッド著
 はじめてのバルト J.R. フランク著
 はじめの愛 B. シュリンク著
 芭蕉 佐古純一郎著
 発掘された聖書
 I. フィンケルシュタイン他著
 ハリー・ポッターの世界 竹田伸一著
 晩年の父内村鑑三 内村美代子著
 悲哀をこえて 月本昭男著
 日々の祈り 鈴木崇巨著
 評論集 純粋とユーモア 笠原芳光著
 ビンゲンのヒルデガルト H. シッペルゲス著
 フィリピン民衆の解放とキリスト者
 デ・ラ・トーレ著
 夫婦 小島清子編著
 夫婦論 佐古純一郎著
 福音信仰の政治性 高橋三郎著
 福音のタネ 笑いのネタ 山北宣久著
 藤田若雄 藤田 起編
 ブーバーの人間学 稲村秀一著
 フロイトと神 H. キュング著
 ヘボン W.E. グリフィス著
 ヘボン物語 村上文昭著
 ヘレニズム世界 F.W. ウォールバンク著
 ぼくの見た夢 嶺尾泰輝著
 ポスト・モダン世界のキリスト教
 A.E. マクグラス著
 ほんとうの生き方 高橋三郎著
 マイモニデス伝 A.J. ヘッセル著
 マインド・コントロールからの救出
 S. ハッサン著
 前田護郎選集 1 前田護郎著
 魔性と聖性 矢代静一著
 マタイ福音書講義 関根正雄／伊藤 進著
 マリア
 聖公会・ローマ・カトリック教会国際委員会著
 見たから信じたのか 大沼 隆著
 明洞のキリスト 金 元植編
 民衆の神学
 キリスト教アジア資料センター編
 みんなでつくった小さな学校 外村民彦著
 明治期のキリスト教 工藤英一著
 明治の日本ハリストス正教会 ニコライ著
 黙示文学入門 W. シュミットハルス著
 物語の神学とキリスト教倫理 東方敬信著
 物語る教会の神学 芳賀 力著
 矢内原忠雄 藤田若雄著
 山室軍平聖書注解全集・民衆の聖書 全巻

湯浅八郎と二十世紀	武田清子著	ルカによる福音書注解	G. B. ケアード著
夕風に立つ	三浦光世著	ルシファー	J. B. ラッセル著
遊行する牧者	杉井六郎著	ルターと内村鑑三	高橋三郎／日永 康著
ゆくてはるかに	竹中正夫著	霊性の飢饉	J. カルヴァン著
ユダヤ教聖典入門		霊南坂教会	児島昭雄写真集
R. C. ムーサフ＝アンドリーセ著		歴史の証言	土肥昭夫著
ユダヤ人虐殺とドイツの教会	雨宮栄一著	ロゴスとソフィア	大貫 隆著
ユダヤ人迫害史	黒川知文著	ロシア・キリスト教史	黒川知文著
ユングと聖書	W. G. ロリンズ著	ローマ書講話	北森嘉蔵著
預言者エレミヤと現代	小泉 仰著	「ローマ書」を読む	佐藤敏夫著
預言と契約	R. E. クレメンツ著	わが十字架・三里塚	戸村一作著
ヨブ記	G. グティエレス著	わが主よ、わが神よ	竹森満佐一著
ヨブ記講話	北森嘉蔵著	私にとってのキリスト教	
夜も昼のように		明治学院大学キリスト教研究所編	
小島誠志＝文／森本二太郎＝写真		私の内村鑑三論	由木 康著
喜びも、悲しみも		私の人生論	北森嘉蔵著
小島誠志＝文／渡辺総一＝画		私のドストエフスキー体験	椎名麟三著
ライ園留学記	渡辺信夫著	我能う故に我在り	滝口三郎著
来日メソジスト宣教師事典		われらの父よ	K. リーゼンフーバー著
J. W. クランメル編		Consider the flowers	竹中正夫著
ラインホルド・ニーバーの人間観		HYMNS in English and German	津川主一編
鈴木有郷著		Search for Meaning	土居真俊著
『六合雑誌』の研究『六合雑誌』総目次		Studies on First Peter	島田和人著
同志社大学人文科学研究所編			

書名索引

あ

哀歌	25
哀愁のプリマドンナ	96
愛と意志と生成の神	46
愛と自由の福音	40
愛とゆるし	71
愛に根ざして生きる	66
愛の祭典	73
愛の思想史	56
愛の手紙・説教	20
愛の類比	69
愛は死のように強く	38
アウグスティヌス	46
アウグスティヌス『神の国』を読む	47
アウグスティヌス研究	81
アウグスティヌス講話	80
アウグスティヌス神学著作集	6
アウグスティヌス神学における歴史と社会	81
アウグスティヌス著作集	122, 123
アウグスティヌス伝	46
アウグスティヌスの神学	47
アウグスティヌスの母モニカ	47
アガペー	14
悪魔	81
悪と神の正義	15
アシジの聖フランシスコ伝記資料集	6
朝の道しるべ	75
明日へのかけ橋	92
アタナシオス神学の研究	46
アダムとエバ物語	37
新しい歌を主に	38
新しい共同体の倫理学(上)	13
新しい創造の神学	34
新しいものはあるか	38
アッジジのフランチェスコと自然	82
アドルフ・フォン・ハルナックにおける 「信条」と「教義」	54
あなたに話したい聖書の世界	72
あなたは愛されています	65
あなたはわたしの愛する子	67
アブラハムと現代精神	80
アブラハム・カイパー入門	54
アブラハム物語(上・下)	37
アホかて生きているんや	100
アーミシュ研究	80
アメリカン・ボード宣教師	60
争いから交わりへ	22
荒野を見る目	64
アレクサンドリアのフィロン	76
アレクサンドリアのフィロン入門	76
イエス(E. P. サンダース)	28
イエス(J. ロロフ)	28
イエス・神の譬え	33
イエス・キリスト時代の	

ユダヤ民族史(Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ, Ⅵ)

	130
イエス・キリストについて(1533年)	49
イエス研究史料集成	27
イエス最後の一週間	29
イエス時代のユダヤ教	33
イエズス会日本コレジヨの 講義要綱(Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ)	7
イエスと洗礼・聖餐の起源	21
イエスと出会う	38
イエスとパウロ	30
イエスとパウロの間	34
イエスとは誰か?	28
イエスとパリサイ派	31
イエスとマタイ福音書	33
イエスの「神の国」のイメージ	28
イエスの降誕物語	39
イエスの言葉	31
イエスの山上の説教	32
イエスの受難	29
イエスの生涯(Ⅰ, Ⅱ)	9
イエスは何語を話したか?	28
イエス・ルネサンス	33
生きるための教育	91
生きるユダヤ教	75
憩いのほitori	73
イスラエル	77
イスラエル預言者(下)	77
異端信仰	56
異端の歴史	43
一日一生	74
一日一生[新版]	74
一日一生(続)	74
一致信条書	50
いつも喜びをもって	41
命のファイル	69
祈りと瞑想	47
祈りへの道[新装版]	67
祈る	72
いま、震災・原発・憲法を考える	84
いま、共にいますキリスト	68
癒しの説教	20
色とりどりの国	98
イングランドの宗教[新装版]	53
ウェストミンスター小教理問答	53
ウェストミンスター大教理問答	53
ウェスレーの聖餐論[Kindle版]	102
植村正久	60
植村正久と其の時代	137
ウェールズ教会史	55
内なる光	68
内村鑑三英文著作全集	134
内村鑑三信仰著作全集	133
内村鑑三聖書注解全集	133
内村鑑三全集	133, 134

内村鑑三著作・研究目録 [CD-ROM 付]	62	神と人間のあいだ	77
内村鑑三日録	135	神と人間の書 (上・下)	31
内村鑑三日記書簡全集	134	神に愛された女性たち	65
内村鑑三の聖書講解	86	神の痛みの神学	10
奪われる子どもたち	93	神の王的支配	25
海はワイン色	36	神の科学	16
永遠の支え	65	神の国 (上・下)	6
英語聖書の歴史を知る事典	112	「神の国」思想の現代的展開	83
英文聖書を読む (I, II)	98	神の国とエゴイズム	80
EKK 新約聖書註解	115	神の国とキリスト教	90
N.T. ライト新約聖書講解	116	神の国と経済倫理	14
エーバハルト・ユンゲル説教集	132	神の国と世界の回復	14
海老名弾正	61	神の国の福音	39
海老名弾正関係資料	61	神の知られざる顔	82
エペソ書講解説教	41	神の選民	31
絵本へのとびら	92	神のドラマトゥルギー	12
エラスムス神学著作集	6	神の名と人間の主体	25
エロヒム歌集	38	神の庭にやすらう	66
遠藤周作と探偵小説	95	「神」の発見	81
老いと死を考える	93	神のみ手の陰に	101
大いなる物語の始まり	72	神のみ前に立って	24
大西 祝・幾子書簡集	61	神は愛なり	95
起きよ、光を放て	68	神は悪の問題に答えられるか	15
オックスフォード キリスト教辞典	107	神は何のために動物を造ったのか	16
おもしろキリスト教 Q&A 77	73	ガラテヤ書講義	41
おもしろキリスト教質問箱 [Q&A 77]	73	カルヴァン	51
オリゲネスの祈禱論	46	カルヴァン神学入門	51
恩師言	62	カルヴァンと旧約聖書	51
		カルヴァンの詩編の神学	51
か		カルヴァンの宗教改革教会論	51
改革教会信仰告白集	50	カルヴァンの終末論	51
改革教会の伝道と教会形成	18	カルヴァン論争文書集	51
改革教会の伝統と将来	19	韓国キリスト教神学思想史	56
改革派教会の礼拝	52	観想的生活・自由論	78
改革派正統主義の神学	52	感動ものがたり	65
改憲問題とキリスト教	84	聞き書き 加藤常昭	20
解説 ユダの福音書	29	帰郷	94
雅歌	97	義認と自由	21
科学が宗教と出会うとき	17	義認の教理に関する共同宣言	22
科学史の中のキリスト教	84	木下尚江全集	138
科学としての神学の基礎	16	希望のありか	85
科学と宗教 [新装版]	16	希望の旅	66
輝ける悪徳	81	ぎやどべかどる	7
賀川豊彦	63	救済史と終末論	11
学問論と神学	10	Q資料注解	34
頑な心と新しい心	25	窮地に生きた信仰	68
加藤常昭信仰講話	67, 68	Q文書	27
加藤常昭説教全集	140, 141	旧約新約聖書ガイド	114
学校ブックトーク入門	93	旧約新約聖書語句大辞典	104
各個教会史をどう書くか	63	旧約聖書 (関根正雄訳) (II, III, IV)	103
カトリックとプロテスタント	71	旧約聖書外典偽典概説	23
カトリック入門	80	旧約聖書緒論講義	23
悲しみ多き日にこそ	94	旧約聖書と教会	36
神が美しくなるために	19	旧約聖書と社会学	33
神こそわれらの砦 [CD つき]	62	旧約聖書と伝承史	32
神さまに用いられた人三浦綾子	72	旧約聖書と様式史	32
神と遺伝子	17	旧約聖書に見るユーモアとアイロニー	36
		旧約聖書入門 (上・下)	23

旧約聖書の釈義	23	キリスト教と日本人	90
旧約聖書の象徴世界	24	キリスト教と文学(現代キリスト教文学全集18)	95
旧約聖書の女性たち	25	キリスト教人間学入門	87
旧約聖書文学史入門	23	キリスト教の死生観	15
旧約預言の歴史	25	キリスト教の主要神学者(上・下)	9
教育改革者ルター	50	キリスト教の世界政策	83
教会教育の歩み	63	キリスト教の伝統(1～5)	131
教会実務を神学する	21	キリスト教は進化論と共存できるか?	17
教会生活の手引き	67	キリスト教美術の源流を訪ねて(1, 2)	99
教会に生きる祈り	67	キリスト教平和学事典	110
教会に生きる喜び	64	キリスト教弁証学	13
教会の社会教説	79	キリスト教名句名言事典	112
「教会」の読み方	99	キリスト教養育	91
教会暦	43	キリスト教倫理学	13
共感する神	69	キリスト教倫理入門	87
共同体のキリスト教的基礎	14	キリスト教霊性思想史	42
共同の宣教に召されて	22	キリスト教霊性の歴史	56
きょうは何の日?	73	キリスト教礼拝史	43
教理史要綱	43	キリスト教を知る事典	112
「きよしこの夜」ものがたり	97	キリスト者として生きる	64
虚無の霊に抗して	65	キリスト者の自由	49
キリエ	94	キリスト者の証言	22
ギリシア語新約聖書	103	キリスト者は何を信じているか	10
ギリシア語新約聖書釈義事典(Ⅱ, Ⅲ)	105	キリストと創造	11
キリシタン海の道紀行	95	キリストとローマ皇帝たち	45
キリシタン時代の婚姻問題	8	キリストにならいて[新装版]	73
キリシタン時代の日本人司祭	8	キリストの肖像	99
キリシタン史の謎を歩く	95	キリストの模範	81
きりしたん受容史	9	キリストは甦られた	74
キリシタン南蛮文学入門	58	キリストへの愛と忠誠に生きる教会	18
きりしたんのおらしよ	8	近代化する九州を生きたキリスト教	60
きりしたんの殉教と潜伏	8	近代カトリックの説教	57
キリシタン版 太平記抜書 一～三	8	近代日本社会思想史研究	60
キリシタン文学における日欧文化比較	8	近代日本のキリスト教と女子教育	61
キリシタン歴史探求の現在と未来	58	近代日本のバイブル	86
キリスト教	79	近代日本の預言者	62
キリスト教音楽への招待	96	金の子牛像事件の解釈史	24
キリスト教会と旧約聖書	17	苦難と救済	15
キリスト教学校教育史話	63	グノーシス	78
キリスト教学校教育同盟百年史 年表	64	クリスマス講話	70
キリスト教教義史概説(上・下)	43	クリスマスの約束	39
キリスト教教父事典	109	苦しみと悪を神学する	15
キリスト教教父著作集	120, 121	啓示の意味	11
キリスト教綱要(1536年版)	51	芸術と建築について	98
『キリスト教綱要』物語	51	結婚と家族の絆	91
キリスト教史(菊地榮三／菊地伸二)	42	ゲツセマネの夜	71
キリスト教史(コンバクトヒストリー)	56	権威なき者のごとく	20
キリスト教神学基本用語集	108	原始キリスト教の背景としてのローマ帝国	42
キリスト教神学事典	108	源氏物語と神学者	19
キリスト教神学入門	9	現代教会建築の魅力	99
キリスト教神学の主要著作	9	現代宗教への問い	83
キリスト教信仰	6	現代神学はどこへ行くか	12
キリスト教神秘思想の源流	44	現代人のための教理史ガイド	44
キリスト教神秘主義著作集	124, 125	現代に生きる新渡戸稲造	86
キリスト教シンボル・デザイン事典	113	現代のたとえ話	101
キリスト教聖書としての七十人訳	26	現代牧師烈伝	90
キリスト教大学の使命と課題	89		
キリスト教哲学序論	83		

現代を生きるキリスト教 [改訂新版].....	64	讃美歌集 (近代日本キリスト教文学全集 15).....	96
原典古代キリスト教思想史 (2, 3).....	44	賛美、それは沈黙のあふれ.....	97
講解説教 ヨハネの黙示録 (下).....	42	賛美のいけにえ.....	97
講解説教 ヨブ記.....	37	幸せが猟犬のように追いかけてくる.....	77
公共の哲学の構築をめざして.....	84	C. S. ルイスの生涯.....	85
公共福祉とキリスト教.....	84	C. S. ルイスの読み方.....	86
誤解されたイエス.....	28	死海写本とイエス.....	28
黒人霊歌の即興性.....	96	死海写本の謎を解く.....	76
告白録.....	6	『死海文書』物語.....	76
ここが知りたいキリスト教.....	70	しかし、勇気を出しなさい.....	68
心からわき出た美しい言葉.....	50	四季のパンセ.....	66
心で感じる神.....	87	市場倫理とキリスト教倫理.....	15
こころの深呼吸.....	75	詩人イエス.....	94
心を新たに.....	74	自然科学とキリスト教.....	17
ゴシック芸術に学ぶ現代の生きかた.....	99	自然と神.....	16
古代イスラエル宗教史.....	24	「自然」を神学する.....	16
古代イスラエルにおける聖戦.....	35	時代を生きる.....	73
古代イスラエルの礼拝.....	24	七十人訳聖書入門.....	26
古代教会における財産と富.....	45	十戒.....	24
古代教会の説教.....	57	使徒行伝講解説教 1~4.....	40
古代ギリシア教父の霊性.....	44	使徒行伝講義.....	40
古代キリスト教思想の精神.....	44	使徒行伝講話.....	40
古代キリスト教と哲学.....	44	使徒言行録講解 1~6.....	40
古代キリスト教の社会教説.....	45	使徒的共同体.....	19
古代キリスト教文学入門.....	43	使徒パウロの神学.....	30
古代のキリスト教徒と軍隊.....	45	死と向き合って生きる.....	93
古代のシナゴグ.....	24	死にいたる病.....	85
古代ユダヤ社会史.....	76	死のただ中にある命.....	69
古典ユダヤ教事典.....	106	死の文化史.....	56
言葉と音楽.....	97	自分史心得帖.....	94
ことばと思索.....	88	自分らしい最期を生きる.....	93
言葉を歌う.....	96	詩篇講話 (下).....	37
子どもと親のカテキズム.....	71	詩編選釈.....	25
子どもと共に学ぶ 新・明解カテキズム.....	70	詩篇註解 (上・中・下).....	25
子どもとの宗教対話.....	91	社会学者、聖書を読む.....	87
子どもの賛美歌ものがたり.....	97	シャロンの花.....	101
子ども、本、祈り.....	92	ジャン・カルヴァン.....	51
「この男は何者なのか」.....	35	主イエスの生涯 (上).....	67
この苦しみはいつまで?.....	15	十九世紀のドイツ・プロテスタンティズム.....	54
コーランの中のキリスト教.....	80	宗教改革時代の説教.....	57
これだけは知っておきたいキリスト教史.....	42	宗教改革者たちの信仰.....	48
これだけは知っておきたい史的イエス.....	27	宗教改革小史.....	57
コンテムツスムンヂ.....	7	宗教改革著作集.....	126, 127
コンパクト旧約聖書入門.....	23	宗教改革の知的な諸起源.....	47
コンパクト聖書注解.....	117, 118	宗教再考.....	82
コンパクト評伝シリーズ.....	132	宗教と心理学の対話.....	84
さ		宗教と対話.....	83
最初のクリスマス.....	29	宗教と理性をめぐる対話.....	83
最初の良心的兵役拒否.....	62	宗教を考える教育.....	91
サタン.....	81	十字架と復活への道.....	39
砂漠に引きこもった人々.....	44	十字架につけられた精神.....	16
サビールの祈り.....	16	十字架のキリスト以外に福音はない.....	69
澤山保羅全集.....	139	自由と愛に生きる.....	49
サンタクローズって、だあれ?.....	98	自由と恩寵.....	82
サントスのご作業.....	7	自由への指針.....	91
		終末論入門.....	12

十四歳からの読書ナビ	96	真理の受肉	70
受難と復活の賛美歌ものがたり	97	真理は「ガラタ」の中に	80
受難物語の起源	34	水牛神学	15
主の祈り	38	水平から垂直へ	72
主はわたしの羊飼い	50	スザンナ・ウェスレーものがたり	53
主よ、あわれみたまえ	50	図説 ギリシア語聖書の写本	22
峻烈なる洞察と寛容	86	救いの歴史と信仰の倫理	41
ジョヴァンニ・バッティスタ・シドティ	58	スピリツアル修行	7
勝利者キリスト	11	正教のイコン	79
初期キリスト教とユダヤ教	34	聖句研究 (左近 淑著作集)	26
贖罪	35	聖公会が大切にしてきたもの	71
贖罪信仰の社会的影響	11	聖餐	21
贖罪論とその周辺	11	聖書解釈としての詩歌と修辭	46
植民地化・デモクラシー・再臨運動	61	聖書外典偽典	118, 119
書物の民	75	聖書ガイドブック	35
知られていなかったキリスト教	79	聖書考古学入門 2	31
自立への苦闘	88	聖書古代誌	78
シルクロードの宗教	79	聖書集 (近代日本キリスト教文学全集 14)	94
神学 (年刊)	102	聖書神学をどう行うのか?	34
神学通論	10	聖書人名事典	107
人格と人権 (上・下)	13	聖書動物事典	106
神学と暴力	16	聖書と共同体の倫理	89
新カトリック教会小史	55	聖書とコーラン	80
新共同訳旧約聖書語句事典	105	聖書と西洋精神史	83
新共同訳旧約聖書統編語句事典	105	聖書とモンゴル	79
新共同訳新約聖書語句事典	105	聖書における食物規定	28
新キリスト教組織神学事典	109	聖書に聴く「人生の苦難と希望」	72
人権思想とキリスト教	89	聖書に聴く「生と死」	72
信仰と倫理	14	聖書の国の日常生活	36
信仰への道	67	聖書の思想とその展開	30
信仰論 (E. トレルチ)	9	聖書の植物よもやま話	99
信仰論 (F. G. イミンク)	19	聖書の時を生きる	36
真実の愛を求めて	101	聖書の理解 (左近 淑著作集)	26
信じるということ (上・下)	74	聖書は性についてどう教えるか	87
新聖歌	143	聖書は誰のものか?	43
新聖歌 交読文	143	聖書を考える	87
新聖書植物図鑑	106	聖書を取り戻す	17
人生のすべての物語を新しく	12	聖人崇拜	56
新生の福音	41	聖卓に集う	21
神秘主義事典	109	正典としての旧約聖書	31
新約外典・使徒教父文書概説	27	聖なる生涯を慕い求めて	72
新約学と文学批評	31	聖なる書物	32
新訳旧約聖書	103	聖なるものの息吹	79
新約ギリシア語辞典	104	西洋古典文学と聖書	23
新約ギリシア語逆引辞典	104	西洋史とキリスト教	42
新約聖書	27	聖霊の神学	12
新約聖書概説	26	西暦はどのようにして生まれたのか	43
新約聖書ギリシア語初歩	22	世界説教史 (I, II, III, IV)	55, 56
新約聖書釈義入門	26	世界・日本キリスト教文学事典	110
新約聖書神学概説	27	世界の諸宗教 (I, II)	78
新約聖書神学とは何か	29	関根正雄著作集 別巻	26
新約聖書正典	29	説教者としての J. S. バッハ	96
新約聖書における祈り	34	説教による旧約思想入門	36
新約聖書における教会形成	27	説教によるキリスト教教理	68
新約聖書の釈義	27	説教の神学	20
新約聖書の倫理	27	説教批判・説教分析	20
親鸞	94	説教黙想集成	141
真理探究の旅	71	宣教師	90

宣教師と日本人	59	伝道と文化の神学	17
宣教師ニコライの全日記	137	伝道の神学	17
戦時下のキリスト教	62	天皇制国家と女性	61
戦時下のキリスト教主義学校	63	天を仰ぎ、地を歩む	45
戦時下の女子学生たち	63	ドイツ告白教会の説教	57
創世記に聞く	36	ドイツの宗教改革	48
草平君の選んだ学校	101	統一協会の素顔〔新装改訂版〕	88
組織神学序説	10	東京の白い天使	62
その神の名は?	65	〈尊びの愛〉としてのアガペー	14
それゆけ伝道	73	東方キリスト教思想におけるキリスト	10
		東方キリスト教の歴史	79
		時の徴	88
		トーマス・ミュンツァー	48
		囚われの民、教会	55
		トレチ研究(上・下)	13
		トレチとバルト	12
た		な	
第一テサロニケ書講義・病床雑感	42	中原中也の詩の世界	94
大作曲家の信仰と音楽	96	慰めのほとりの教会	19
大統領が語るキリスト者人間像	89	嘆きの谷を通るときも	38
第二ヴァチカン公会議	55	なぜ人間に倫理が必要か	14
高橋三郎著作集	134	なぜ未受洗者の陪餐は許されないのか	21
卓上語録	49	ナチ時代に旧約聖書を読む	23
竹森満佐一の説教	20	何かが起ころうとしている	74
確かな救い	69	南原繁の生涯	63
ただ一つの慰め	52	南蛮伴天連の道	95
楽しいラテン語	42	ニカイア信条講解	10
ダビデの歌	38	ニカイア信条・使徒信条入門	10
多文化空間のなかの古代教会	45	ニコライ堂の女性たち	61
魂の養いと思案のために	51	二十一世紀と福音信仰	81
魂への配慮としての説教	19	21世紀の説教を求めて	20
田村直臣のキリスト教教育論	61	二十一世紀の礼拝	21
タルムード入門(I, II, III)	76	二十世紀のカトリック神学	22
だれもが知りたい キリスト教神学Q&A	9	二十世紀の主要な神学者たち	13
短歌調哀歌	25	新渡戸稲造事典	113
チェルノブイリの子どもたち	101	新渡戸稲造全集	136
地球共生社会の神学	84	新渡戸稲造と歩んだ道	87
地上を歩く神	40	新渡戸稲造に学ぶ	86
地の塩、世の光〔CD-ROM 付き〕	64	新渡戸稲造の精神	86
中世キリスト教の社会教説	46	日本カトリック教会復活史	59
中世キリスト教の典礼と音楽〔新装版〕	47	日本から世界宣教へ	63
中世の説教	57	日本キリスト教史(鈴木範久)	58
中東文化の目で見たイエス	29	日本キリスト教史年表〔改訂版〕	58
長老教会の歴史	52	日本キリスト教歴史人名事典	111
疲れたものに力を	66	日本キリスト教歴史大事典	111
出会いとしての真理	11	日本語化したキリスト教用語	64
抵抗権と人権の思想史	89	日本史におけるキリスト教宣教	58
帝国都市と宗教改革	48	日本人にもわかるキリスト教の人生訓	64
出来事の言葉・説教	20	日本人のイエス観	82
手さぐり人生入門	70	日本人の宗教意識とキリスト教	90
ですから、聖書に戻ります	65	日本人の宗教性とキリスト教	18
手塚治虫の旧約聖書物語 In the Beginning		日本と西洋における内村鑑三	86
〔図書館向け商品〕	142	日本の教会の活性化のために	18
鉄道きょうだい	100	日本のキリスト教	90
デモクラシーの神学思想	13	日本のキリスト教に未来はあるか	90
テレビンの木陰で	26	日本のことと『武士道』	86
天国なんてどこにもないよ	70		
天国の歴史	82		
天国への凱旋門	101		
天地創造物語	37		
伝道する教会の形成(上田光正)	18		
伝道する教会の形成(近藤勝彦)	18		

日本の神学(年刊).....	102	万物の救済.....	68
日本の伝道.....	18	ヒイデスの導師.....	7
日本の伝統思想とキリスト教.....	60	ヒエロニムスの聖書翻訳.....	46
日本の友へ.....	19	光の降誕祭.....	74
日本は変わるか?.....	88	光は闇のなかに.....	40
日本プロテスタント諸教派史の研究.....	59	光を感じるとき.....	95
人間学.....	11	ひですの経.....	8
人間学から見た霊性.....	87	美徳の中のキリスト者.....	14
人間性の崩壊を救うもの.....	83	人になれ人、人になせ人.....	60
人間を探し求める神.....	77	人の「優しさ」と「強さ」.....	83
ぬくもりの記憶.....	66	人は独りではない.....	77
ノアとバベル物語.....	37	ひとりでも最後まで自宅で.....	93
残された言葉.....	98	人を生かす神の息.....	69
野村胡堂・あらえびすとその時代.....	95	ヒブル語入門[改訂増補版].....	22
		非暴力革命への道.....	55
は		ビュリタン牧師バクスター.....	53
『ハイジ』の生まれた世界.....	82	開かれた扉.....	89
ハイデルベルク教理問答講解(Ⅰ,Ⅱ).....	71	フォーサイス神学概論.....	54
ハイデルベルク信仰問答講話(上).....	67	福音主義自由教会の道.....	18
ハイデルベルク信仰問答との対話.....	52	福音と諸教会.....	12
『ハイデルベルク信仰問答』入門.....	52	福音とは何か.....	43
『ハイデルベルク信仰問答』の神学.....	52	福音と笑い これぞ福笑い.....	73
排耶論の研究.....	59	福音の神学と文化の神学.....	10
パウロ.....	30	富士山とシナイ山.....	15
パウロ神学の心理学的側面.....	30	武士道.....	86
パウロの生涯と神学[増補改訂版].....	30	二つの宗教改革.....	48
パウロの宣教.....	34	二つの福音は波濤を越えて.....	59
パウロの弁護人.....	100	ふたりのエアリエル.....	100
迫害下のロシア教会.....	55	ふたりのスケーター.....	100
幕末キリスト教経済思想史.....	59	覆刻・日本基督一致教会信仰ノ箇条.....	59
始まりのことば.....	75	フランスにやって来たキリストの弟子たち.....	82
はじめてのアウグスティヌス.....	46	ブルンナー著作集.....	129
はじめてのウェスレー.....	53	プロテスタンティズム.....	47
はじめてのキング牧師.....	54	プロテスタント思想文化史.....	47
はじめての宗教改革.....	48	プロテスタントの宗教建築.....	99
はじめてのジョナサン・エドワーズ.....	53	文学としての聖書.....	32
はじめてのニーバー兄弟.....	54	文化は宗教を必要とするか.....	84
はじめてのボンヘッファー.....	54	文明の衝突とキリスト教.....	84
はじめてのルター.....	48	平和とは何か.....	14
はじめて学ぶキリスト教.....	69	ペトロ.....	35
パスカル著作集.....	128	ペトロ岐部カスイ.....	58
パスカルとサド.....	85	ヘブライの神.....	23
パスカルの信仰.....	85	ヘボン在日書簡全集.....	59
長谷川誠三.....	62	ベルリンの壁に打ち勝って.....	89
発達障害サポート入門.....	93	牧師の仕事.....	21
果てなき探究 旧約聖書の深みへ.....	26	『星の王子さま』からの クリスマス・メッセージ.....	98
花と子どもと神の国.....	65	牧会書簡注解.....	30
花の祈り.....	71	香港の民主化運動と信教の自由.....	89
ハーバー聖書注解.....	114		
ハープ祝祭暦.....	99	ま	
バプテスマのヨハネ.....	35	マインドフルネスとキリスト教の霊性.....	93
ハーマンの思想と生涯.....	85	前田護郎選集.....	139
パリサイ派とは何か.....	76	まことの聖餐を求めて.....	21
遙かなるパン.....	36	まさか、この私が.....	100
バルト神学の真髄.....	12	マタイによる福音書講解説教(Ⅰ,Ⅱ).....	39
バルトと近代市民社会.....	13	マタイの神学.....	33
バレエ・シューズ.....	100		
パンセ.....	6		

マタイ福音書講義 (上・中・下)	39	ユダヤ教の霊性	76
マタイ福音書講話 (上・下)	39	ユダヤ慈善研究	76
マタイ福音書神学の研究	29	ユダヤ人イエス [決定版]	28
まだひと言も語らぬ先に	37	ユングにおける悪と宗教的倫理	84
松居直と絵本づくり	92	よく生きる人を育てる	91
松居直のすすめる 50 の絵本	92	よくわかるイスラエル史	36
マックス・ヴェーバー「倫理」論文を読み解く	54	よくわかるカトリック	79
マルコ福音書講話	39	よくわかるキリスト教@インターネット	68
マルチン・ルター (徳善義和)	48	よくわかるクリスマス	98
マルティン・ルター (W. カスパー)	49	預言者 I	32
マンハッタン教会から	70	預言者 II	35
見出された命	66	預言者・牧会者	
見えない希望のもとで	71	エドゥアルト・トゥルンアイゼン	
御言葉の泉	66	(上・下)	19
ミシュナ I ゼライム	77	ヨシヤの改革	35
ミシュナ II モエード	78	ヨハネ福音書入門	30
ミシュナ IV 別巻 アヴォート	78	ヨハネ福音書のこころと思想 1~7	40
ミステリの深層	11	ヨハネ福音書の神秘主義	33
ミドラシュとは何か	33	ヨーハン・ゲオルク・ハーマン	85
民衆と歩んだウェスレー	53	「ヨブ記」論集成	24
昔話とこころの自立	92	喜び祝い、喜び躍ろう	68
昔話の死と誕生	92	喜びへの道	72
無教会としての教会	62	ヨーロッパ宗教改革の連携と断絶	48
無教会とは何か	70	ヨーロッパの改宗	45
霧社緋桜の狂い咲き	88	ヨーロッパの思想文化	87
明治カトリック教会史 (1, 2)	60	弱さを絆に	88
明治期カトリック聖歌集	96		
明治キリスト教の一断面	61	ら	
恵み深い主に感謝せよ	38	理由もなく	37
メソジストって何ですか	53	ルカ神学の探究	30
メディアにむしばまれる子どもたち	93	ルカの神学と表現	33
メフィストフェレス	81	ルカ福音書講解 (全6巻)	39
目を醒ませ、死者の中から	65	ルター	49
黙示文学の世界	57	ルターと宗教改革事典	110
黙想十字架上の七つの言葉	67	ルター教会暦説教集	49
モーセ (E. オットー)	24	ルター神学討論集	49
モーセ (原田陽子画)	97	ルター著作選集	6
モーセ五書入門	34	ルターの言葉	49
モーセ五書の伝承史的問題	32	ルターの十字架の神学	50
モラル教育の再構築を目指して	89	ルターのりんごの木	78
		ルターの霊性思想	50
や		ルターはマリアを崇敬していたか?	50
八木重吉とキリスト教	95	霊性神学入門	17
約束の言葉への信仰	41	礼拝の祈り	70
ヤコブと放蕩息子	29	歴史と伝承	12
やさしさの贈り物	75	歴史における近代科学とキリスト教	85
やさしさの暴走	101	歴史の神学の行方	13
安らぎへの招き	37	恋愛論	91
山本秀煌とその時代	60	労働者の司教ケテラーとその時代	54
友愛の絆に生きて	88	ロシア中世教会史	47
ユーオーディア	98	ロバート・モリソンとその周辺	59
雪ノ下カテキズム [改訂新版]	67	ローマ史のなかのクリスマス	45
ユダの秘密	29	ロマ書講義	41
ユダヤ教 (G. シュテンベルガー)	75	ロマ書の研究	40
ユダヤ教 (J. ニューズナー)	75	ローマ帝政初期のユダヤ・キリスト教迫害	44
ユダヤ教の国土観	32	ローマ帝政中期の国家と教会	45
ユダヤ教の福音書	29	ローマ人への手紙	41

ローマ人への手紙講解1～5	41	わたしたちはどんな死に方をしたいのか？	100
		わたしの居場所はどこ？	90
わ		わたしの絵本体験	92
ワイマール時代のユダヤ文化ルネサンス	77	わたしはどこへ行くのか	69
和解の福音	18	わたしはなぜファンタジーに向かうのか	92
若者と生きる教会	90	わたしを求めて生きよ	66
若者に届く説教	91		
私にとって聖書とは	80	Christian Art in Asia	97
わたしたちはどんな医療が欲しいのか？	101	Christianity in Japan, 1971-90	58
		NITOBÉ INAZO	63

- あ
- 相賀 昇…………… 10, 15
相澤 一…………… 84
アウグスティヌス…………… 6, 122, 123
アウトカ, G.…………… 14
アウレン, G.…………… 11
青木 孝子…………… 79
青木 義紀…………… 52
青野 太潮…………… 115, 119
青山学院宗教センター…………… 64
青山学院大学キリスト教文化研究センター…………… 89
青山学院大学総合研究所
キリスト教文化研究部…………… 11, 89
赤木 善光…………… 21, 122
秋山 学…………… 120
秋吉 輝雄…………… 97
朝岡 勝…………… 64
浅野 淳博…………… 29, 30, 116
芦名 定道…………… 16, 64
安達かおり…………… 130
足立 杉子…………… 132
安足磨由美…………… 96
アッボルド, K. G.…………… 57
厚谷 欣一…………… 26
アーデ, ヴォルフガング・R.…………… 100, 101
アティーク, N.…………… 16
アティーヤ, A. S.…………… 79
アテナゴラス…………… 121
アーノルト…………… 125
アーノルド, D.…………… 132
阿部 善彦…………… 124
阿部 美哉…………… 78
アヤラ, フランシスコ・J.…………… 17
新井 明…………… 139
荒井 英子…………… 88
荒井 献…………… 88, 105, 115, 119, 120
荒井 章三…………… 23, 32, 33, 35, 96, 114
新井登美子…………… 90
荒井 幸康…………… 79
荒井 洋一…………… 123
新垣 壬敏…………… 97
荒木 亨…………… 128
アリ, A.…………… 38
アリエティ, S.…………… 80
アリスティデス…………… 121
アリソンJr., D. C.…………… 27
有地 美子…………… 59
アルベリーゴ, G.…………… 55
アルベルツ, R.…………… 35
アルント…………… 125
アワズラー, F.…………… 101
安 廷苑(アン・ジョンウォン)…………… 8
アンセルムス, カンタベリーの…………… 47
アンダーソン, B. W.…………… 34
安東 伸介…………… 127
アンドレーエ…………… 125
飯 謙…………… 32
飯島 啓二…………… 127
飯島 宗享…………… 85
飯田 仰…………… 116
飯野由里子…………… 20
イエール, Z.…………… 105
池澤 夏樹…………… 97
池田 裕…………… 28, 36
池永 倫明…………… 117, 118
池谷 文夫…………… 126
井阪 民子…………… 42, 78
石井 研士…………… 78
石井 雅之…………… 124
石川耕一郎…………… 77, 78, 118
石関 敬三…………… 61
石田 一子…………… 132
石田 友雄…………… 132
石田 学…………… 43
石原 謙…………… 111
石原 知弘…………… 51
石引 正志…………… 48, 126, 127
泉 治典…………… 6, 35, 109, 122, 123
井田 泉…………… 127
井谷 嘉男…………… 121
一色 義子…………… 90
一致に関するルーテル＝ローマ・カトリック
委員会…………… 22
井出 新…………… 116
伊藤 明生…………… 116
伊藤 勝啓…………… 117, 126
伊藤 由里…………… 93
稲垣 久和…………… 14, 16, 54, 84
伊吹 雄…………… 115, 119
今井館教友会…………… 62
今井 誠二…………… 34
今高 義也…………… 95
イミンク, F. G.…………… 19
岩上 敬人…………… 116
岩城 聰…………… 16
岩隈 直…………… 104
岩田 圭一…………… 125
岩田三枝子…………… 16, 54
岩波 哲男…………… 9, 61
岩野 祐介…………… 62
岩村 信二…………… 64
岩本 修一…………… 115
ヴァイゲル…………… 125
ヴァイニング, エリザベス・G.…………… 88
ヴァルボット…………… 126
ウィクリフ…………… 126
ヴァイトカンフ, L. TH.…………… 118
ウィリアムズ, R.…………… 64
ウィルケン, R. L.…………… 44

- ヴィルケンス, U. 115
 ウィルコックス 127
 ウイルソン, R. R. 33
 ヴィルトベルガー, H. 25
 ウィンター, M. T. 90
 ヴェスターマン, C. 25, 117
 上田 和夫 77
 植田 兼義 49, 109, 124
 上田 光正 15, 18
 上村 静 130
 上村 直樹 46, 123
 植村 正久 137
 ヴェルカー, M. 12
 ヴェルメシュ, G. 29
 ヴェンテ, M. 9
 ウォーカー, D. 55
 内川永一郎 (Uchikawa, E.) 63
 内坂 晃 37, 64, 65
 内村 鑑三 40, 74, 133, 134
 内山 稔 126
 宇都宮秀和 16, 31, 32, 33
 内海 革 11
 宇野 元 20
 梅津 順一 53, 65
 ウルシヌス 127
 ウルリッヒ, シュトラスブルクの 124
 エイブラハム, W. J. 53
 エイミー, J. L. 55
 エイレナイオス 120
 エヴァンズ, G. R. 56
 エウセビオス 121
 エコランパディウス 126
 エッカルツハウゼン 125
 エックハルト 124, 127
 エーティンガー 125
 NCC 教育部歴史編集委員会 63
 海老沢有道 7, 58, 111
 江本 真理 26
 エラスムス 6, 126
 エリザベス1世 127
 エルドリッジ, J. 65
 遠藤 勝信 116
 遠藤 周作 95
 遠藤 徹 14
 遠藤 敏雄 104
 遠藤 祐 110
 及川 信 37, 39
 笈川 博一 119
 大石 祐一 12
 大岡 昇平 94
 大川 従道 65
 大木 英夫 10, 13, 14, 41, 88
 大串 肇 23, 24, 25
 大串 元亮 37, 38, 40, 65
 大澤 耕史 24
 大嶋 重徳 39, 90, 91
 大嶋 裕香 65, 92
 大島 力 25, 26
 大島 春子 122, 123
 大島 宏 63
 大住 雄一 24, 26
 太田 愛人 95
 太田 修司 30, 76, 132
 大塚野百合 53, 65, 97
 大友 陽子 115
 大西 晴樹 63
 大貫 隆 27, 28, 35, 80, 100, 105, 119, 120, 121
 大野 恵正 26, 65
 大庭 昭博 130
 大宮 有博 116
 大宮 謙 116
 大宮チエ子 66
 大宮 溥 39, 40, 41, 54, 66
 大村 修文 129
 岡田 典夫 60
 尾形 隆文 13
 岡野 昌雄 122, 123
 岡野 幸江 138
 岡部 一興 59, 60, 62, 111
 岡部 雄三 125
 岡本不二夫 61
 岡山 慶子 101
 小河 陽 29, 31, 33, 115, 119, 130
 小河 信一 25, 36
 奥泉 康弘 76
 尾崎 安 96, 98
 小澤 優子 92
 小澤 良雄 72
 小塩 節 81, 112
 小島 誠志 66, 75
 小田 信士 59
 小高 毅 10, 17, 44, 55, 57, 79
 小田垣雅也 66
 小田島太郎 118
 小田島嘉久 66
 オッカム 126
 オットー, E. 24
 小友 聡 14, 26, 36
 小野寺一清 16
 オーバーマン, H. A. 48
 尾原 悟 7, 8
 小原 信 94, 96
 折井 善果 8
 オリゲネス 120, 121
 オールド, H. O. 52
- か
- カー, ファーガス 22
 カイザー, R. 30
 カヴァノー, P. 96
 カヴァルノス, C. 79
 カウフマン, T. 49
 加賀美久夫 127
 掛川 富康 43
 影山 礼子 63

索引

笠原 信一	58	川村 信三	58
笠原 芳光	82	関西学院大学キリスト教と文化研究センター	110
梶原 直美	46	カントリーマン, L. W.	33
カステリョ	127	ガントン, C. E.	11, 68
カスパー, W.	49	菊地 榮三	42
カーター, M.	101	菊地 純子	51, 74
片野安久利	117	菊地 伸二	42, 123
片柳 榮一	9, 12, 122, 123	木崎さと子	38
片柳 弘史	66, 67, 75	木田 献一	25
片山 英男	126	喜田川 信	12, 36, 40, 41
カタリーナ, シエナの	127	北代美和子	58
勝又 悦子	75, 83	木谷 文計	123
勝又 直也	75	北野佐久子	99
ガーディナー, P.	132	北森 嘉蔵	10, 37, 39, 40, 82
加藤久美子	23	木塚 隆志	125
加藤 隆	34	キッペンベルク, H. G.	76
加藤 武	122	木寺 廉太	10, 56, 107, 113, 121
加藤 武子	136	木下 量熙	127
加藤 常昭	10, 19, 20, 41, 42, 57, 67, 74, 89, 94, 132, 140, 141	木下 智雄	55
加藤 哲平	46	木下 尚江	138
加藤 英倫	136	木下 教子	65
加藤 実	88	木ノ脇悦郎	126, 132
カートライト	127	ギヒテル	125
門脇由紀子	125	偽フィロン	78
金井 新二	83	ギフォード, H.	132
金井 美彦	25	キブリアヌス	121
金田 幸男	52	金 承哲 (キム・スン Chol)	17, 95
金田 俊郎	82	金 纓 (キム・ヨン)	56
カニンガム, L. S.	56, 79	木村 和良	27, 28, 76, 130
金丸 英子	42, 55	ギャンプル, H. Y.	32
金子 啓一	127	ギュイヨン夫人	125
金子 晴勇	6, 42, 46, 47, 48, 49, 50, 87, 122, 123, 124, 125, 126, 132	キュンク, H.	78
兼利 琢也	76	キリスト教学校教育同盟百年史編纂委員会	64
加納 和寛	15, 54	キリスト教史学会	54, 58, 59, 61, 62
加納 政弘	121	キルケゴール	85
加太 宏邦	128	ギルモア, A.	112
カーペンター, H.	132	クザーヌス	125, 127
鎌田伊知郎	123	楠原 博行	21
カミンスキー, A.	89	クック, E. M.	76
加山 久夫	16, 33, 103	グッドイナフ	76
カルヴァン, J.	51, 127	グッドスピード, E. J.	43
カルヴァン・改革派神学研究所	51	工藤 英一	60
カルヴォコレッシ, P.	107	國友 淑弘	96
カールシュタット	126	グニルカ, J.	80
河井田研朗	127	クーパー, S. A.	46
河口 英治	132	熊川 忠	134
川口 光治	128	熊澤 義忠 (Kumazawa, Y.)	39, 58, 129
川越 敏司	20	熊田陽一郎	124
川崎 経子	88	久米あつみ	51, 88, 127
川島 貞雄	28, 35, 45, 105	久米 博	87
川島 重成	41	久山 道彦	120
川田 殖	129	久山 康	111
川中なほ子	132	クラーク, G.	47
川中子義勝	19, 72, 85, 94	グラーフ, F. W.	9, 47
川端由喜男	103	クライバー, W.	35, 36
川村 輝典	34, 119	クライン, R. A.	9

- クラウク, H. J. 115
 倉沢 正則 16
 倉塚 平 126, 127
 クラドック, F. B. 20
 クラフト, H. 109
 倉松 功 10, 126
 グラント, R. M. 43
 クランマー 127
 クリクトン, R. 98
 クリステイ=マレイ, D. 43
 クリステンセン, M. 101
 グリンダル 127
 クールマン 125
 クルマン, O. 34
 クレイルスハイマー, A. 132
 グレゴリオス, ニュッサの 124
 クレツパー, ヨッヘン 94
 グレーベル 126
 樽松かほる 63
 クレメンズ, アレクサンドリアの 120
 クレメンツ, R. E. 31
 黒岩 俊介 99
 黒川 知文 42, 58
 黒木 安信 36, 38, 68
 グロステスト, R. 124
 クロッサン, J. D. 27, 29
 クローナー, R. 82
 グロール, W. 12
 ケーゼマン, E. 80
 ケニー, A. 132
 ケリー, T. 68
 ケール, O. 24
 ゲルツ, H. J. 48
 ケルトナー, U. H. J. 15
 ケンビス 127
 小池 三郎 6, 122
 小泉 一郎 68
 小泉 健 19
 小泉 文子 68
 神代真砂実 9, 11
 高祖 敏明 8, 58
 河野 一典 123
 紅野 敏郎 61
 後神 俊文 138
 小阪 康治 45
 ゴシュ, K. 98
 コズィラ, A. 86
 コッホ, K. 32, 35
 後藤光一郎 119
 後藤 哲夫 63
 ゴードン, B. 51
 小中陽太郎 101
 小沼 文彦 128, 132
 五野井隆史 58
 木幡 藤子 23, 32
 小林 高德 16, 116
 小林 孝吉 86
 小林 稔 119, 120
 小原 克博 12, 68, 83
 コーヘン, A. 76
 小見のぞみ 61
 小峯 明 52
 小柳 敦史 10
 小山 晃佑 15, 16
 小山 英之 79
 コリンズ, J. J. 76
 ゴルデイス, R. 31
 コレット 127
 五郎丸仁美 11
 ゴンサレス, J. 42, 108
 コンツェルマン, H. 30
 今 義博 123
 近藤 存志 99
 近藤 勝彦 10, 11, 13, 17, 18, 68, 69, 83, 129, 132
 近藤 司朗 105
 紺野 馨 76
 今野喜和人 125
- さ
- 斎藤 惇夫 92
 斎藤宗次郎 62
 斎藤 勇 136
 斎藤 忠資 115
 サヴォナローラ 127
 ザウター, G. 12
 佐伯 晴郎 90
 堺 正憲 123
 坂井 信生 80
 酒井 紀幸 125
 榊原 康夫 39, 40, 41
 坂口 昂吉 122
 坂本 堯 125, 127
 坂本 誠 74, 102
 桜井 健吾 54
 佐古純一郎 94
 迫川 由和 20
 左近 淑 23, 26, 118
 左近 義慈 22, 103
 佐々木勝彦 9, 11, 14, 37, 38, 56, 69, 90
 佐々木しのぶ 96
 佐々木 勉 47
 佐々木哲夫 69
 佐々木 弘 95
 佐々木 悠 9, 96
 佐々木征夫 101
 佐々木陽太郎 85
 笹淵 友一 94
 笹森 建美 101
 佐竹 明 115, 119
 佐藤 司郎 14, 43, 132
 佐藤 貴史 10
 佐藤 哲典 127
 佐藤 敏夫 11, 129
 佐藤真基子 47, 123

佐藤 全弘	70, 85, 86, 87, 113, 134, 136
佐藤 研	30
佐藤 泰正	94, 128
佐藤 陽二	31
佐藤 吉昭	119
ザトラー	126
佐波 亘	137
ザビエル, F.	127
佐柳 文男	11, 43, 47, 54, 85, 107, 108
澤 正彦	56
澤田 昭夫	50
澤田 和夫	127
澤山 保羅	139
サンシャイン, G. S.	48
サンダース, E. P.	28, 30, 132
サンダース, J. A.	31
サン＝マルタン	125
椎名 麟三	95
シェリング	125
シェル, K. -H.	63
ジェルソン	127
シェルドレイク, P.	56
シェロング, D.	13
シェンク, K.	76
ジェンソン, R. W.	17
塩野 和夫	60
塩野 靖男	31
茂泉 昭男	14, 81, 122, 123
茂 義樹	139
志田 雅宏	75
柴田 有	118, 119, 120
柴沼 真	63
芝山 豊	79
澁村美貴子	123
島崎 光正	94
島田 宗洋	100, 101
清水 恵三	70
清水 正	10, 129
清水 正照	122
清水 光雄	53
清水 靖久	138
標 宣男	16, 84
シモンズ	126
シャルンシュラーガー	126
シュヴァイツァー, E.	33, 115
シュヴァイツァー, F.	91
シュヴェンクフェルト	125
宗教教育研究会	91
ジューエル	127
シュタウピッツ	125
シュタウファー, E.	45
シュタトラー	126
シュテンベルガー, G.	75
シュトラウス, D. F.	9
シュトゥールマツハー, P.	34, 115
シュトローム, C.	51
シュナイダー, G.	105
シュナッケンブルク, R.	115
シュバルン, W.	49
シュミット, W. H.	23, 24
シュミート, K.	23
シュラー, E.	130
シュライアマハー, F.	6, 10
シュレーマン, M.	82
上代 たの	137
ジョーンズ, A. H. M.	45
シレシウス	125
シンガー, C.	38
信条集専門委員会	50
新見 宏	118
Swain, David L.	58
末松こずえ	77
杉岡 良彦	16
スコット, M. S. M.	15
鈴木 一郎	121
鈴木 崇巨	21, 70
鈴木 宣明	127
鈴木 範久	58, 62, 86, 111, 135, 138
鈴木 浩	50, 108, 131
鈴木 有郷	70
鈴木 佳秀	25
須田 拓	11
スチュワート, D.	23
スティッド, C.	44
ステッド, T.	93
須藤 和夫	124
ストークス, A.	90
ストレットフィールド, N.	100
スネイデルス, L. A.	117
春原 鈴子	90
スマイリー, J. H.	52
スマート, N.	78
スミス, J. C.	63
住谷 眞	43, 115
隅谷三喜男	111
スュラン	125
聖公会・ルーテル共同委員会	22
聖書文学学会	114
關岡 一成	60, 61
関川 泰寛	10, 14, 44, 46, 50, 70
関 啓子	100
関田 寛雄	55, 56
関根 清三	119
関根 正雄	25, 26, 103, 118
関野 和寛	70
関谷 登	15
ゼーベルク, R.	43
セルヴェトウス	127
セルダーハウス, H. J.	51
千石 喬	124
全国統一協会被害者家族の会	88
全国連合長老会日曜学校委員会	70
ゾイゼ	124
ソレル, R. D.	82

- タイセン, G. 27, 30, 100
 田内 千里 123
 タウラー, J. 124
 高木 一雄 59, 60
 高木 幹太 91
 高桑弥須子 93
 高瀬 幸恵 63
 高野 晃兆 45, 46
 高橋 三郎 38, 39, 40, 41, 42, 70, 71, 134
 高橋 洋代 98
 高橋 虔 104
 高橋 保行 55, 79
 高橋 優子 35
 高橋 由典 87
 高橋 敬基 31
 高見沢潤子 101
 高宮 利行 127
 高谷 道男 59
 高柳伊三郎 104
 高柳 俊一 49, 56, 57, 110, 132
 高柳 富夫 34
 田川 建三 119
 ダーガン, E. 55, 56
 滝澤 克彦 79
 滝沢 陽一 132
 滝沢 義郎 136
 田口 義弘 80
 竹内 一也 99
 武田 清子 60, 86, 111
 武田 武長 134
 武田なほみ 116
 竹中 正夫 (Takenaka, M.) 71, 97
 竹原 創一 125
 田子多津子 76, 123, 124
 田澤 雄作 93
 田島 恵三 101
 田島 伸悟 132
 タッカー, G. M. 32
 タナー, N. 55
 田中 真造 48, 126
 田中 利光 76
 田中 文雄 107
 田中 従子 44
 田辺 保 6, 71, 82, 85, 98, 128, 132
 棚村 重行 44, 59
 谷 隆一郎 123, 124
 田村 宏之 28
 ダン, J. D. G. 30
 チェスタトン, G. K. 98
 崔 達用 (チョエ・ダルヨン) 98
 チースリク, H. 8
 千葉 眞 80
 チャドウィック, H. 46, 132
 チャドウィック, O. 132
 チャールズワース, J. H. 27
 鄭 玗汀 (チョン・ヒョンジョン) 61
 ツヴィッケル, W. 24
 ツヴィングリ 126, 127
 ツェラー, D. 34
 塚田 理 53
 塚田 富治 127
 月本 昭男 36, 38, 82, 139
 筑和 正格 132
 辻内 宣博 47
 辻 直人 63
 辻 学 33, 64
 蔦田 崇志 116
 土戸 清 34, 40, 83
 筒井 賢治 27, 105, 121
 筒井 砂 58
 堤 稔子 62
 常塚 聰 79
 角田信三郎 115
 津村 春英 116
 都留 仙次 104
 鶴岡 賀雄 125
 デイヴィス, D. J. 56
 デイヴィス, S. T. 15
 デイオニシオス・アレオパギテース 124
 デイクストラ, M. 117
 デイベリウス, M. 30
 テイラー, J. 23
 テイラー, R. 99
 テイリー, M. 24
 デイリー, R. J. 45
 ティリッヒ, P. 84, 98
 ティール, W. 23
 ティンダル 127
 デインツェルバッハー, P. 109
 デーヴィス, W. D. 32
 手島 佑郎 76
 手塚 治虫 142
 手塚儀一郎 104
 デ・フリース, E. 118
 出村 彰 48, 51, 57, 126, 127
 出村 和彦 46, 123
 出村 伸 48, 127
 出村みや子 120, 121
 デ・リッター, ミヒヤエル 100, 101
 テルトウリアヌス 121
 デンク 126
 デン・ヘイヤール, C. J. 117, 118
 土井 健司 44, 45, 46, 64, 78, 81, 121
 ドイツ福音主義教会常議員会 21
 東京神学大学神学会 102, 109
 同志社大学人文科学研究所 59, 60
 東方 敬信 14, 84, 91
 登家 勝也 71, 117, 118, 127
 土岐 健治 22, 23, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 34, 42, 76, 78, 118, 119, 121, 132
 土岐 正策 31, 121
 徳善 義和 6, 48, 49, 57, 71, 126, 127
 徳田 直宏 127
 徳田 信 12
 俊野 文雄 126

- 戸田 聡…………… 29, 44, 45, 121
 鳥羽 和雄…………… 101
 鳥羽 徳子…………… 101
 都馬バイカル…………… 79
 土肥 昭夫…………… 63
 トーマス, G.…………… 55
 富岡幸一郎…………… 88
 富坂キリスト教センター…………… 93
 富田恵美子・ドロテア…………… 94
 富田 清…………… 136
 富田 裕…………… 94
 戸村 潔…………… 127
 外村 民彦…………… 112
 トランス, T. F.…………… 16
 鳥居 清治…………… 136
 鳥海百合子…………… 62
 トルチヴィア, M.…………… 58
 トレルチ, E.…………… 9, 45, 46
 トロウガー, Th. H.…………… 20
 トロクメ, E.…………… 34
- な
- 中井 章子…………… 125
 中川 純男…………… 123
 長窪 専三…………… 33, 76, 78, 106
 中澤 務…………… 123
 中嶋 正昭…………… 55, 56
 長島世津子…………… 91
 長島 正…………… 91
 永田 竹司…………… 27, 71, 103
 中野 実…………… 27, 116
 中村 悦子…………… 61
 中村賢二郎…………… 126
 中村健之介…………… 61, 137
 中村 茂…………… 127
 中村 妙子…………… 100
 中村 保夫…………… 116
 中山 善樹…………… 124
 長山 道…………… 17
 ナーゲル, W.…………… 43
 那須 輝彦…………… 47
 那須 皓…………… 136
 名取 四郎…………… 99
 並木 浩一…………… 24, 77, 114
 成瀬 治…………… 126
 南原 和子…………… 125
 南原 繁…………… 136
 南原 実…………… 124, 125
 ニコライ・カサートキン…………… 137
 西田 隆義…………… 117, 118
 西谷 幸介…………… 12
 西原 廉太…………… 64, 71
 ニスベット, M.…………… 98
 ニーゼル, W.…………… 12
 新田 一郎…………… 42
 新渡戸稲造…………… 86, 136
 ニーパー, H. R.…………… 11
 日本カルヴァン研究会…………… 48
- 日本キリスト改革派教会大会
 教育委員会…………… 71
 日本基督教学会…………… 102
 日本基督教協議会文書事業部
 コンコダグス委員会…………… 104
 日本キリスト教歴史大事典
 編集委員会…………… 58, 111
 日本新約学会…………… 30
 日本聖書学研究所…………… 118
 日本福音連盟新聖歌編集委員会…………… 143
 日本ルター学会…………… 48
 日本ルーテル神学大学ルター研究所…………… 110
 ニューズナー, J.…………… 33, 75, 76
 ネズビット, E.…………… 100
 ネルソン橋本ジョシュア諒…………… 64
 野口 崇子…………… 75
 野崎 卓道…………… 47, 74
 野沢 建彦…………… 123
 野谷 啓二…………… 55
 ノックス…………… 127
 信岡 巽…………… 128
 野町 啓…………… 76, 122
 野村 信…………… 15
 野村美紀子…………… 28, 43, 81
 野本 真也…………… 68
- は
- バー, J.…………… 32
 バイアー, O.…………… 85
 バイシュラーク, K.…………… 43
 ハイリゲンタル, R.…………… 28
 ハウズ, J. F.…………… 62
 パウルス3世…………… 127
 芳賀 力…………… 12, 17, 19, 21, 52, 72, 129
 バーガー, P. L.…………… 82
 袴田 康裕…………… 18, 19, 50, 53
 朴 憲郁 (パク・ホンウク)…………… 30, 115
 バーズ, G. M.…………… 9
 橋本 滋男…………… 33, 114
 橋本 淳…………… 128, 132
 橋本 裕明…………… 127
 パスカル…………… 6, 128
 支倉 崇晴…………… 128
 畑 宏枝…………… 123
 バーダー…………… 125
 バード, J. P.…………… 53
 花井 一典…………… 123
 羽仁 翹…………… 91
 パネンベルク, W.…………… 10, 11, 14, 16
 馬場 嘉市…………… 104
 馬場 幸栄…………… 130
 バーバー, I. G.…………… 17
 ハーバー, J.…………… 47
 波部雄一郎…………… 98
 ハーマー, H. E.…………… 61
 濱 和弘…………… 12
 濱崎 史朗…………… 112, 128
 濱崎 雅孝…………… 9, 10, 14, 16, 56

- 早川 良躬 35
 林 あまり 95
 林 明弘 123
 原 敬子 22
 原 正幸 122
 原口 尚彰 26, 27, 33, 34
 パラケルスス 125
 原田多恵子 90
 原田 葉子 38
 原田 陽子 97
 バルツ, H. 105
 ハルディングスフェルト, L. v. 118
 春名 純人 83
 ハルバータル, M. 75
 バールリンク, H. 117, 118
 バロウ 127
 バロウ, R. 54
 ハワーウス, S. 14
 バーンズ 127
 バーンズ, J. P. 45
 ハンハルト, R. 23
 ビエルマ, L. D. 52
 東馬場郁生 9
 樋口 欣三 132
 樋口 進 25, 32, 36
 久松 英二 44
 日高貴士耶 87
 ピーターセン, N. 31
 ヒック, J. 83
 ヒッポリュトス 121
 日野原重明 71
 ピホワリス 88
 ヒュッテンマイスター, F. G. 24
 平岡 仁子 21, 26
 平野 克己 20, 74, 116
 平野 保 32, 103
 平野和歌子 47
 平林 孝裕 132
 平松 良夫 106
 平山 正実 93
 ビーリッツ, K. H. 43
 ヒルデガルト・フォン・ビンゲン 124
 ヒルデブラント, J. 55
 ヒルトン 127
 蛭沼 寿雄 119
 広瀬 良一 132
 廣部千恵子 106
 ピンチス, C. 14
 ヒンメルファープ, M. 57
 ファーガソン, D. 14
 ファン・アッセルト, W. J. 52
 ファン・セルムス, A. 117
 ファン・デル・フリート, J. 27
 ファン・リューラー, A. 10, 17
 ファン・レーウエン, C. 117
 フィー, G. D. 27
 フィッシュ 127
 フィールド 127
 フィロン, アレクサンドリアの 78
 フェスロン 125
 フェンネル, J. 47
 フォックス 127
 フォルツ, R. C. 79
 フォン・ラート, G. 23, 35
 深井 智朗 10, 12, 16, 54, 84
 深堀 純 127
 福井 一光 82
 福井 達雨 100
 福田 誠二 22, 78
 フーゴー, サン・ヴィクトルの 124
 藤井 清久 17, 85
 藤井 潤 48
 藤井 茂 113
 藤田 豊 62
 藤野 正克 132
 藤村 和義 118, 119
 藤本 朝巳 92
 藤本 満 53
 フス 126
 ブツァー 126, 127
 ブッカー 127
 「覆刻・日本基督一致教会信仰ノ箇条」
 出版委員会 59
 ブッシュネル, H. 91
 ブッター 126
 フート 126
 船水 衛司 31
 船本 弘毅 54, 72
 フープマイア 126
 ブラウン 127
 ブラウン, P. 46
 プラスガー, G. 51, 52
 ブラック, K. 20
 プラーテン, C. E. 17
 フラーフラント, J. J. 15
 フランク 125
 ブラング, M. 62
 フランケンベルク 125
 フランシスコ会日本管区 6
 フランス, P. 106
 ブリックレ, P. 48
 フリードマン, D. N. 31
 ブリュッケマン, W. / ブルッケマン, W. 14, 24
 ブリンガー 126, 127
 プール 127
 古荘 純一 93
 古田 暁 47
 フルッサー, D. 28
 ブルンナー, E. 11, 129
 古屋 安雄 90, 108
 ブレードホルン, H. 24
 ブレンキンソップ, J. 25
 ブレンナー, M. 77
 ブロックス, N. 115
 ブロッホ, E. 80

フロム, E.	80	マーカス, R. A.	81
ブロムリー	125	牧内 勝	98
ペイス, S. R.	54	マクグラス, A. E.	9, 16, 47, 50, 85, 114
ペイリー, ケネス・E.	29	増島 俊之	72
ヘイル, L. B.	54	増本 浩子	48
ヘインズ, S. R.	54	間瀬 啓允	83
ベーズ	127	マーチー, D. N.	69
ヘッセル, A. J.	77	松居 直	92
ペーメ, ヤコブ	125	松居 友	92
ベラルミーノ	127	松浦 純	124
ペリカン, J.	43, 131	松浦 忠孝	98
ベルガー, K.	28	マッキム, D. K.	51
ヘルジラント, J.	45	マッコニカ, J.	132
ベルナール	124	松崎 一平	47, 123
ヘルマン, S.	35, 36	松下 菊人	136
ペールマン, H. G.	28	松田 禎二	122
ヘルモント	125	松谷 暁介	89
ヘンゲル, M.	26, 34, 35, 45	松永 希久夫	27, 32, 114, 119
ベンコ, S.	42	松永 美穂	116
ヘンゼラー, E.	96	松村 康平	47
ヘンドリックス, K. C.	101	松村 菅和	111
ボアズ, H.	31	松本 卓夫	104
ボウカー, J.	31	松本 宣郎	121
ボウスト, W. E.	113	松山與志雄	43, 126
ボウデン, J.	108	マーベック	126
ホウトマン, C.	117	マルクシース, C.	45, 78
帆 莉 猛	45	マルクス, H. J.	105, 127
ボーキングホーン, J.	17	マールシンク, B.	117
ボーグ, M. J.	29, 33	丸山 忠孝	52, 127
保坂 高殿	44, 45, 105	三浦 謙	126
ホスキング, D.	106	三浦 望	116
ホスキング, E.	106	三小田敏雄	120
堀田 雄康	105	水落 健治	44, 123
ボーディジ	125	水垣 渉	16, 109, 120
ボナヴェントゥラ	124	光用 行江	132
ボフ, L.	38	南 純	126
ホームズ, G.	132	ミヌキウス・フェリックス	121
ボヤーリン, D.	29	嶺重 淑	28, 30, 98
ホーランド, H. W.	118	峯野 龍弘	72
堀内 昭	99	都田恒太郎	59, 104
堀江 優子	63	宮 嵩 薫	14
ボルケ, C.	9	宮下 聡子	84
ボールソン, S.	48	宮嶋 裕子	72
ホルツ, T.	115	宮庄 哲夫	126
ボーレン, R.	19, 72	宮谷 尚実	49, 85
本多 峰子	9, 15, 17, 112, 114	宮谷 宣史	6, 47, 81, 122, 123
本間 邦雄	125	宮野 裕	47
本間 敏雄	22	宮原 守男	65
ま		ミュラー, P.	35
		ミュルデル, H.	117
マイアー, H.	43	ミュルデル, M. J.	117
マウ, R.	54	ミュンツァー	126
前川 登	22	三好 明	50
前川 道郎	98	三好 迪	77, 115
前川 裕	30	武藤 慎一	46
前田 護郎	139	棟居 洋	48, 82
前田 貞一	21	村井 文夫	125
前間 良爾	126	村井みどり	127

村岡 崇光	28, 76, 118, 119
村田 真弓	125
村山 盛忠	79
村山 盛葦	116
メイエンドルフ, J.	10
メイズ, J. L.	114
メスマー	125
メッツガー, B. M.	22
メヒティルト, マクデブルクの	124
メラー, B.	48
メラー, Ch.	19
メランヒトン	126, 127
メリトン	121
モア, トマス	127
毛利 稔勝	28
百瀬 文晃	71
森 清	93
森 壮也	20
森 幹郎	93
森 泰男	123
森 禮子	95
森井 眞	51, 127
森泉 弘次	15, 16, 29, 56, 77, 80
森川 甫	128
森重 ツル子	96
森島 豊	89
森田美千代	91
森田 光博	118
森田 安一	48, 82, 126
森田雄三郎	12
森野善右衛門	73
モリノス	125
森本あんり	11, 53
森本二太郎	73, 94
森安 達也	118
モリーヤック, F.	98

や

矢内	義顯	47, 51, 80
八木	綾子	119
八木	誠一	119
矢口	以文	126
矢澤	励太	17
八代	崇	126, 127
安酸	敏眞	6, 9
矢内原	忠雄	136
柳田	敏洋	93
柳田	洋夫	68
山内	一郎	27, 33, 114
山我	哲雄	23, 24, 32, 34, 117
山形	和美	98, 110, 112
山北	宣久	73
山極	圭司	138
山口	周三	63
山口	隆康	132
山口	俊夫	52, 63
山口	希生	116
山口	雅弘	30

山崎	龍一	21
山下	幸夫	139
山下	慶親	54
山田	晶	80
山田	経三	38
山田	耕太	27
山田	貞光	138
山田	望	81
山田	由香里	88
山野	貴彦	24
山本	尚子	35
山森	みか	75
山谷	省吾	104
山吉	智久	23, 35, 76
ヤング, F.		10
柳	東植 (ユ・ドンシク)	56
由木	康	73, 128
湯川	郁子	26, 48, 49, 76
ユスティノス		120
ユーダル		127
ユート		126
ユーバーフェルト		125
ユンゲル, エーバハルト		132
横山	匡	36, 106
吉沢伝三郎		128
吉澤	柳子	91
吉田	新	15, 35, 43
吉田	隆	52
吉田	幸弘	96

51

ライト, N. T.	15, 116
ラウ, J.	89
ラウス, A.	44
ラウバー, D.	9
ラウハウス, A.	74
ラクタンティウス 121	121
ラコック, A.	87
ラスト, W. E.	32
ラッセル, J. B.	81
ラッセル, P. E.	132
ラティマー 127	127
ラング, B.	23
ランダウ, R.	74
リーヴァー, ロビン・A.	96
リヴィングストン, E. A.	107
リカルドウス, サン・ヴィクトルの 124	124
リクール, P.	87
リシャー, R.	20
リチャードソン, A.	108
リード 125	125
リード, T. J.	132
リドリ 127	127
リュースブルク 124	124
リンゼイ, A.	16
リンドバーク, C.	56
ルカ, E.	127
ルケーニ, A. L.	132

索引

ルシー, A.	74
ルスターホルツ, A.	28, 75
ルター, M.	6, 49, 50, 125, 126, 127
ルツ, U.	33, 115
ルーテル／ローマ・カトリック共同委員会	22, 20
ルードルフ	127
ルミス, A.	90
レイスロップ, G. W.	21
レイリング, J.	118
レヴァイン, A. -J.	27
レベール, W.	27
レモン, B.	99
レントルフ, R.	32
ロー	125
ローゼ, E.	27
ローデル, J. A.	117
ロートマン	126

ロバートソン, D.	32
ロビンソン, J. M.	29
ローマ・カトリック教会／ルーテル世界連盟	22
ロヨラ, イグナチウス	127
ロロフ, J.	28
ロング, T. G.	74

わ

ワイブレイ, R. N.	34
鷺山 林蔵	41
和田 幹男	114
渡辺 俊之	45
渡辺 信夫	12, 40, 127
渡辺 康磨	30
渡辺 淑子	132
渡部 漣	55

新地書房在庫目録

(教文館扱い)

どの本も在庫僅少書籍です。
お早めにお求めください。

関根正雄著作集 全20巻（別巻1）

【体裁】A5判・上製・函入



言語学、ヘブライ語学、文献学等の最新の研究成果に基づく註解、講解、諸論文とともに、『預言と福音』の巻頭言、講演、評論等を収める。学者として、また信仰的実在としての著者の魂の鼓動を聴く。

- 1 聖書の信仰 ●本体4,500円
主筆誌『預言と福音』の創刊号から330号までの巻頭言他を収録。
- 2 聖書と現代 ●本体4,900円
聖書の立場から現代の諸問題の評論、講演、神学的論文、書評等。
- 3 信仰と人生 ●本体4,500円
預言書、ヨブ記他の平易な聖書講義、自伝的文章、追憶、随想等。
- 4 旧約聖書序説 ●品 切
広く読まれた『旧約聖書』（創元選書）の書き下ろし新版。
- 5 旧約学論文集（上） ●品 切
- 6 旧約学論文集（中） ●品 切
- 7 旧約学論文集（下） ●品 切
思想、神学、思想史、社会学、歴史、文学、言語の諸方面にわたる論文数十篇を集める。1942年から、1979年にいたる40年に近い成果である。
- 8 イザヤ書註解（1章～39章） ●品 切
真正のイザヤ預言とともに初期黙示をかなり含むと見る最新の研究に基づき、現代へのイザヤ書の使言を明らかにする。
- 9 ヨブ記註解 ●品 切
思想史的・文学史的な新しい観点からのヨブ記註解の改訂版。
- 10 詩篇註解（上） → p.25
- 11 詩篇註解（中） → p.25
- 12 詩篇註解（下） [在庫僅少] ●本体3,500円
1970年代に盛んになったヘブライ詩文の「行を数える方法」を採用し、各詩篇の形態を内容に即して明らかにし、訳文のみでも味読しうるようにした。解釈上も最新の研究を参照。
- 13 創世時代講解（1章～11章9節） ●本体3,900円
現代との苦闘の只中で、日曜集会での講義を基に平易に講解。
- 14 エレミヤ書註解（上） ●品 切
- 15 エレミヤ書註解（下） ●品 切
ティールの研究以来エレミヤ書の編集史的研究は大幅に変わった。新しい研究と対決しつつ、エレミヤ書の深みを探る。
- 16 申命記講解（上） [在庫僅少] ●本体5,000円
- 17 申命記講解（下） [在庫僅少] ●本体4,700円
最新の研究を縦横に駆使し、ヨシヤ王の宗教改革の本質を明らかにし、契約と律法と信仰、旧約と新約の関係を解明。
- 18 ローマ人への手紙講解（上） ●本体4,000円
- 19 ローマ人への手紙講解（中） ●品 切
- 20 ローマ人への手紙講解（下） ●品 切
旧約学の権威である著者は新約聖書についても造詣が深く、特にロマ書を系統的に研究し、1952年から78年にかけて3回講解を行なった。本書はこれらを整理し、ヴィルケンスの大著「福音主義的・カトリック新約註解」と対決して講解。

別巻 補遺 → p.26

飯島宗享編

キルケゴールの講話・遺稿集 全9巻

【体裁】四六判・上製・函入



キルケゴールは「いかにして真のキリスト者となるか」の問題と死闘した護教的著作者である。だから、キリストにある真理を直接伝達する『講話』を抜きにしてその思想を十分には理解できない。すべてキルケゴール自身の苦悩の体験に裏打ちされた、まことに稀有な講話である。

1 巻～7 巻：講話集

8 巻～9 巻：遺稿集

- | | |
|---|---------------------|
| 1 「二つの建徳的講話 1843年」「三つの建徳的講話 1843年」
「四つの建徳的講話 1843年」「牧師資格取得説教」 | ●本体3,200円 |
| 2 「二つの建徳的講話 1844年」「三つの建徳的講話 1844年」
「四つの建徳的講話 1844年」 | ●品 切 |
| 3 「さまざまの精神における建徳的講話 1, 2」 | ●品 切 |
| 4 「さまざまの精神における建徳的講話 3」
「想定された機会における三つの講話」 | ●本体3,900円
[在庫僅少] |
| 5 「単独者」「キリスト教的講話 1, 2」 | ●本体2,700円
[在庫僅少] |
| 6 「キリスト教的講話 3, 4」「野の百合と空の鳥」 | ●品 切 |
| 7 「二つの倫理的・宗教的小論」「大祭司・取税人・罪ある女」
「一つの建徳的講話」「金曜日の聖餐式における二つの講話」
「これは言わねばならぬ、だからここで言わせてもらう」
「公認のキリスト教をキリストはいかに判断するか」
「神の不変性」 | ●品 切 |
| 8 「いまなお生ける者の手記より」
「ヨハネス・クリマクス、またはすべてのものが疑われねばならぬ」
「倫理的伝達の、また倫理 - 宗教的伝達の弁証法」
「武装せる中立」 | ●本体3,200円
[在庫僅少] |
| 9 「アドラーの書」 | ●本体3,700円
[在庫僅少] |

S. サフライ M. シュテルン編
長窪専三 川島貞雄 土戸 清 池田 裕
関根正雄訳

総説・ユダヤ人の歴史 全3巻

キリスト教成立時代のユダヤ的生活の諸相

A5判

(上) 542頁 本体8,500円

(中) 582頁 本体9,100円

(下) 552頁 本体8,600円

〔(下) 在庫僅少〕

1世紀のユダヤ民族史は、近年におけるパレスティナ考古学の成果と文献学的方法論の革新のゆえに、その見直しと書き替えが迫られている。本書は、この要求に応え、古代末期の世界史の枠組みの中で、1世紀のユダヤ民族の全体像を総合的に叙述しようとする野心的な試みである。しかも本書は、それぞれの専門分野に関して権威あるユダヤ人学者やキリスト教徒の学者を執筆陣に配することにより、主題上のバランスを保つと同時に、従来の研究にしばしば認められるような特定の神学的前提や偏向を排除することに成功している。ユダヤ民族史や原始キリスト教史の研究においてのみならず、古代末期の世界史一般の研究においても不可欠な二次的文献である。

H. ケスター 井上大衛・永田竹司訳

新しい新約聖書概説

(上) ヘレニズム時代の歴史・文化・宗教

(下) 初期キリスト教の歴史と文献

A5判 (上) 636頁 本体8,500円 (下) 514頁 品切

本書は従来の概論学の枠を越えて、ユダヤとヘレニズム世界の政治・思想の歴史の中に新約聖書を位置づけ、広い視野に独自の研究成果を展開させた新約学の驚くべき成果である。(橋本滋男)

M. ヘンゲル 大庭昭博訳 〔在庫僅少〕

ゼーロータイ(熱心党)

A5判 730頁 本体12,000円

新約時代史の第一人者である著者は、主としてヨセフスを資料として用い、ゼーロータイ運動の成立から最後まで、またその思想的、実践的特徴を、ひろくかつ深く背景を探りながら、美事に描き出している。(佐竹 明)

U. ドゥフロウ 佐竹 明ほか訳 〔在庫僅少〕

神の支配と この世の権力の思想史

聖書、アウグスティヌス、中世、ルター

A5判 862頁 本体9,500円

本書は、キリスト教が信仰の立場から、世界をどのように観て、対処したかを批判的に明らかにする。しかも、現代のキリスト教徒が信仰に準拠した政治的態度を正しく把握するために理論的前提を提示しようとする。(鷲見誠一)

山本書店在庫目録

(教文館扱い)

どの本も在庫僅少書籍です。
お早めにお求めください。

イザヤ・ベンダサン	[在庫僅少] 120000
日本人とユダヤ人	四六判・208頁・本体1,068円
F. ジェイムズ 山本七平訳	[在庫僅少] 120012
旧約聖書の人びと3	B 6判・280頁・本体2,000円
岩隈 直訳註	[在庫僅少] 120034
希和对訳脚注付新約聖書2上 マタイ福音書上	A 5判・172頁・本体2,718円
岩隈 直訳註	[在庫僅少] 120036
希和对訳脚注付新約聖書3上 ルカ福音書上	A 5判・156頁・本体2,800円
岩隈 直訳註	[在庫僅少] 120042
希和对訳脚注付新約聖書6 パウロ初期書簡	A 5判・134頁・本体2,718円
岩隈 直訳註	[在庫僅少] 120051
希和对訳脚注付新約聖書13 ヨハネ黙示録	A 5判・176頁・本体2,718円
日本聖書学研究所	[在庫僅少] 120121
死海文書	A 5判・340頁・本体5,905円
M. ブラック 新見 宏訳	[在庫僅少] 120122
死海写本とキリスト教の起源	A 5判・276頁・本体4,758円
ヨセフス 新見 宏・秦 剛平訳	[在庫僅少] 120123
ユダヤ戦記1	B 6判・280頁・本体3,700円
ヨセフス 新見 宏・秦 剛平訳	120124
ユダヤ戦記2	B 6判・304頁・本体3,700円
H. ビールス編 竹田純朗・三国千秋他訳	[在庫僅少] 120175
解釈学とは何か	B 6判・272頁・本体2,524円
中沢洽樹	[在庫僅少] 120205
旧約遍歴	A 5判・240頁・本体4,854円
写真＝善養寺康之	[在庫僅少] 120234
詩編の旅3	A 5変判・80頁・本体2,427円
写真＝善養寺康之	[在庫僅少] 120236
詩編の旅4	A 5変判・80頁・本体2,427円
山本七平編	[在庫僅少] 120239
勝利の生涯 上	B 6判・412頁・本体1,941円
山本七平編	[在庫僅少] 120240
勝利の生涯 下	B 6判・524頁・本体2,427円
山本七平著 山本良樹編	[在庫僅少] 120243
山本家のイエス伝	B 6判・300頁・本体1,942円
山本七平著 山本良樹編	120244
山本七平とゆく聖書の旅	B 6判・330頁・本体2,095円

岩隈 直

福音書

[在庫僅少] 120245

A 5判・458頁・本体2,800円

山本れい子 山本良樹

山本七平ガンとかく闘えり

[在庫僅少] 120246

B 6判・224頁・本体1,300円

山本七平

宗教からの呼びかけ

120247

B 6判・220頁・本体1,300円

キリスト教専門書店

〈北海道〉

北海道キリスト教書店

060-0807 札幌市北区北7条西6丁目
北海道クリスチャンセンター内
011-737-1721

オアシス札幌店

060-0002 札幌市中央区北2条西3丁目
タケサトビル3F
03-6855-8811

光明社

065-0011 札幌市東区北11条東2丁目
011-721-7841

〈東北〉

善隣館書店

020-0025 盛岡市大沢川原3-2-37
奥羽キリスト教センター1F
019-654-1216

仙台キリスト教書店

980-0012 仙台市青葉区錦町1-13-6
東北教区センター・エマオ1F
022-223-2736

聖パウロ書院

980-0014 仙台市青葉区本町1-2-12
022-223-8639

平福音センター

970-8026 いわき市平字尼子町2-7
0246-23-1317

〈関東〉

恵泉書房

260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
千葉クリスチャンセンタービル2F
043-238-1224

アドベンチストブックセンター

299-0265 袖ヶ浦市長浦拓1-1
0438-60-7506

横浜キリスト教書店

231-0063 横浜市中区花咲町3-96
045-241-3820

オアシス横浜店

221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-35-9
第2伊藤ビル2F
03-6855-8811

ヒズブランド

242-0029 大和市上草柳6-1-15
大和カルバリーチャペル内
046-200-1010

〈東京〉

教文館

104-0061 中央区銀座4-5-1
03-3561-8448

バイブルハウス南青山（通販専門）

104-0061 中央区銀座4-5-1
03-3567-1995

救世軍出版供給部

101-0051 千代田区神田神保町2-17
03-3237-0881

オアシスお茶の水店

101-0062 千代田区神田駿河台2-1
OCCビル内
03-6855-8811

聖イグナチオ教会案内所

102-0083 千代田区麹町6-5
03-3230-3509

東京キリスト教書店（外販専門）

162-0814 新宿区新小川町9-1
03-3260-5663

アバコ・ブックセンター（ABC）

169-0051 新宿区西早稲田2-3-18
03-3203-4121

サンパウロ

160-0004 新宿区四谷1-2
03-3357-8642

ドン・ボスコ社

160-0004 新宿区四谷1-9-7
03-3351-7041

スペースセントポール

112-0014 文京区関口3-16-15
03-5981-9009

待晨堂書店

167-0053 杉並区西荻南3-16-1
03-3333-5778

東宣社

189-0025 東村山市廻田町1-30-1
042-391-3696

〈北陸〉

清光書店

951-8114 新潟市中央区営所通一番町313
025-229-0656

ライフセンター新潟書店

950-1147 新潟市中央区高美町2-7
03-6855-8811

CLCこひつじ書店

920-0277 石川県河北郡内灘町千鳥台3-13
076-225-8104

〈中部〉

聖書と聖品の店ロザリオ

386-1102 長野県上田市上田原522-25
shop@rosa-rio.com

静岡聖文舎

420-0866 静岡市葵区西草深町20-26
054-260-6644

名古屋聖文舎

464-0850 名古屋市中千種区今池5-28-4
052-741-2416

聖パウロ書院

461-0004 名古屋市東区葵1-13-2
052-936-4443

オアシス名古屋店

460-0022 名古屋市中区金山2-1-3
金山クリスチャンセンター2F
03-6855-8811

〈関 西〉

京都ヨルダン社

602-0854 京都市上京区荒神口通河原町東入ル
075-211-6675

CLCからしだね書店

607-8216 京都市山科区勸修寺東出町75
からしだね館
075-574-1001

福音の家 Kyoto

604-8035 京都市中京区新嘉極通り六角西入ル
075-211-7867

大阪キリスト教書店

530-0013 大阪市北区茶屋町2-30
大阪聖パウロ教会1F
06-6377-6026

オアシス梅田店

530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-200
大阪駅前第二ビル2F
03-6855-8811

BIBLE HOUSE びぶろすの森

591-8041 堺市北区東雲東町1-1-16
072-257-0909

Books & Gifts ジョイフル

591-8023 堺市北区中百舌鳥町2-87
072-255-4970

神戸キリスト教書店

650-0021 神戸市中央区三宮町3-9-18
三陽ビル2F
078-331-7569

カペナント書店

650-0004 神戸市中央区中山手通1-25-2
078-242-7003

〈中 国〉

Le Livre 街の灯

700-0823 岡山市北区丸の内1-1-15
禁酒会館内
086-224-1859

広島聖文舎

730-0841 広島市中区舟入町12-7
広島バプテスト教会内
082-208-0022

聖パウロ書院

730-0016 広島市中区鞆町4-29
082-502-0583

広島CLC

732-0816 広島市南区比治山本町3-22
2F
082-255-7025

〈四 国〉

リバーサイドブックス

779-1105 徳島県阿南市羽ノ浦町古庄大道ノ西
13番地
090-8694-4986

高知福音書房

780-0912 高知市八反町2-11-20
088-823-3968

松山キリスト教書店

790-0804 松山市中一万町1-23
089-921-5519

はこぶね書房

790-0807 松山市平和通り1-6-6
089-924-8567

〈九 州〉

新生館

810-0073 福岡市中央区舞鶴2-7-7
九州キリスト教会館1F
092-712-6123

セントポール FUKUOKA

810-0041 福岡市中央区大名2-7-7
092-741-4588

ライフセンター福岡書店

812-0013 福岡市博多区博多駅東1-11-15
博多駅東口ビル4F
03-6855-8811

北九州キリスト教ブックセンター

802-0022 北九州市小倉北区上富野5-2-18
富野バプテスト教会内
093-967-0321

キリスト教書店ハレルヤ

862-0971 熊本市中央区大江4-20-23
096-372-3503

宮崎ともしび書房

880-0905 宮崎市中村西2-10-20-101
0985-53-5505

鹿児島キリスト教センター

892-0846 鹿児島市加治屋町5-5
099-227-1152

鹿屋クリスチャンセンター

893-0064 鹿屋市西原町1-28-18
0994-42-4444

〈沖 縄〉

沖縄キリスト教書店

904-2151 沖縄市松本7-18-7
098-927-0220

ライフセンタービブロス堂

900-0002 那覇市曙3-6-24
098-868-4406